令和７年度　長泉町
高齢者の暮らしと介護についてのアンケート

調査結果報告書

令和８年３月
長　泉　町

目　次

Ⅰ　調査概要 1

１　調査目的 1
２　調査の内容 1
３　調査の設計 1
４　回収結果 2
５　調査結果参照の際の注意点 2

Ⅱ　調査結果《65 歳以上一般高齢者》 3

調査対象者自身のことについて 3
からだを動かすことについて 6
食べることについて 16
毎日の生活について 20
就労について 26
地域での活動について 32
「たすけあい」について 50
健康について 58
介護について 80
認知症について 84
その他について 105

Ⅲ　調査結果《要介護認定者》 136

対象者本人について 136
介護保険サービスの利用について 142
主な介護者の方について 147
その他について 159
【参考】介護保険サービスについて 163

Ⅳ　調査票 173

①65 歳以上一般高齢者 173
②要介護認定者 189

Ⅰ　調査概要

1　調査目的

長泉町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の準備として、一般高齢者等の福祉サービス等の実態調査、要介護認定者の介護保険サービスの利用実態調査等を実施し、計画で取り組むべき課題を検討するための基礎資料とすることを目的とし、アンケート調査を実施いたしました。

2　調査の内容

（1）65 歳以上一般高齢者調査

◎　本調査に回答をいただいた方について

1．調査対象者自身のことについて
2．からだを動かすことについて
3．食べることについて
4．毎日の生活について
5．就労について
6．地域での活動について
7．「たすけあい」について
8．健康について
9．介護について
10．認知症について
11．その他について

（2）要介護認定者調査

◎　本調査に回答をいただいた方について

1．調査対象者自身のことについて
2．介護保険サービスの利用について
3．主な介護者について
4．その他について

3　調査の設計

（1）65 歳以上一般高齢者調査

対 象 者：要介護認定を受けていない 65 歳以上の方
標 本 数：2,236 人
調査方法：郵送配布－郵送回収（お礼兼督促状 1 回発送）
調査期間：令和７年 12 月３日～12 月 19 日

（2）要介護認定者調査

対 象 者：要介護認定を受け、在宅で介護を受けている方
標 本 数：725 人
調査方法：郵送配布－郵送回収（お礼兼督促状 1 回発送）
調査期間：令和７年 12 月３日～12 月 19 日

４　回収結果

調査種別	発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
65 歳以上一般高齢者調査	2,236 件	1,799 件	1,792 件	80.1%
要介護認定者調査	725 件	474 件	449 件	61.9%

※有効回収数は、回収数のうち無効票（回答が極端に少ないもの及び調査対象として不適なもの）・白票等を除いた数。

５　調査結果参照の際の注意点

・各調査結果で用いている分析軸の分類は、以下のとおりです。

（１）65 歳以上一般高齢者調査

性別	・男性 ・女性
年代別	・前期高齢者：65～74 歳 ・後期高齢者：75 歳以上
認定状況別	・認　定　な　し：要支援認定を受けていない方 ・総合事業対象者：介護予防・日常生活支援総合事業対象者 ・要支援認定者：要支援１・２を受けている方

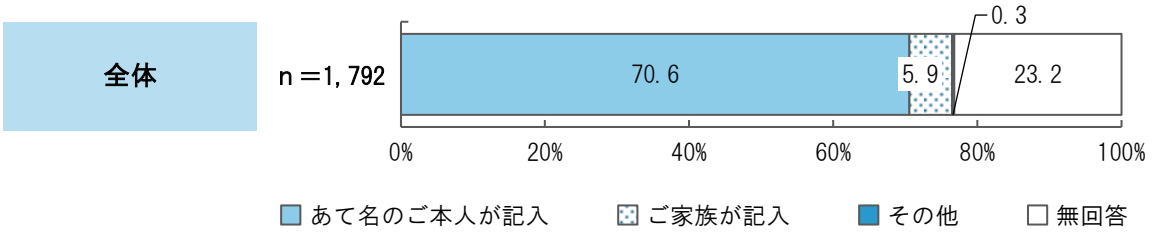
（２）要介護認定者調査

性別	・男性 ・女性
年代別	・前期高齢者：65～74 歳 ・後期高齢者：75 歳以上
介護度別	・要介護１～２の認定を受けている方 ・要介護３～５の認定を受けている方

・回答率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出し小数点以下第２位を四捨五入しているため、比率の数値の合計が 100.0%にならない場合があります。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合があります。
・複数回答可の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
・スペースの関係上、一部設問や選択肢を省略しています。
・グラフ中の「ｎ（Ｎｕｍｂｅｒ　ｏｆ　ｃａｓｅの略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表しています。
・令和４年度調査との比較と、性別・年代別・認定状況別および介護度別のグラフに対するコメントは、それぞれ 5.0 ポイント以上の差異がある回答についてのみ掲載しています。また、回答件数が 30 件未満のものについてはコメントを割愛し、一部集計表を掲載しています。

Ⅱ　調査結果《65 歳以上一般高齢者》

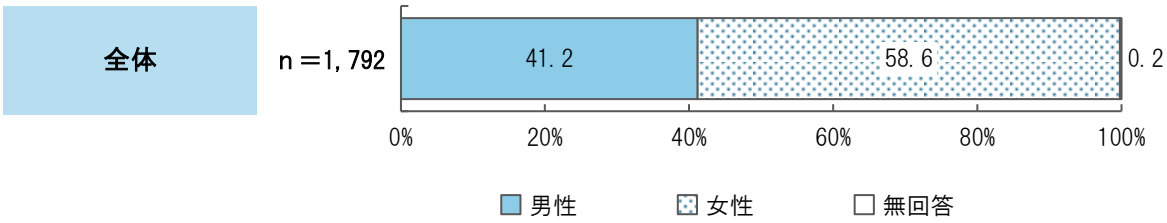
■　調査票の記入者



調査票の記入者は「あて名のご本人が記入」が 70.6%、「ご家族が記入」が 5.9%、「その他」が 0.3%となっています。

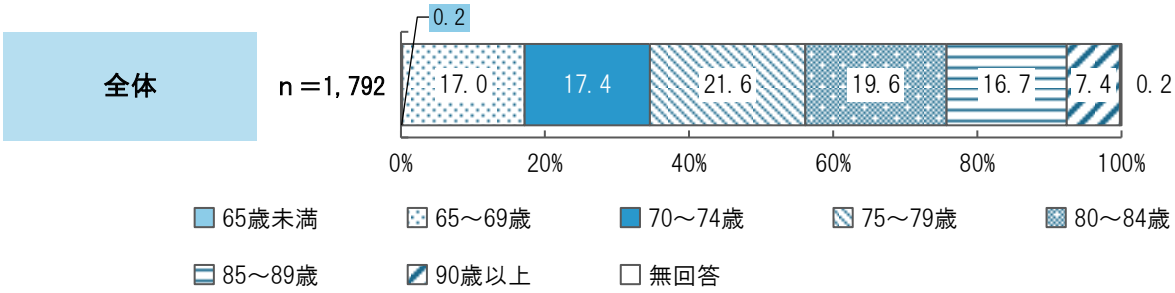
調査対象者自身のことについて

■　性別



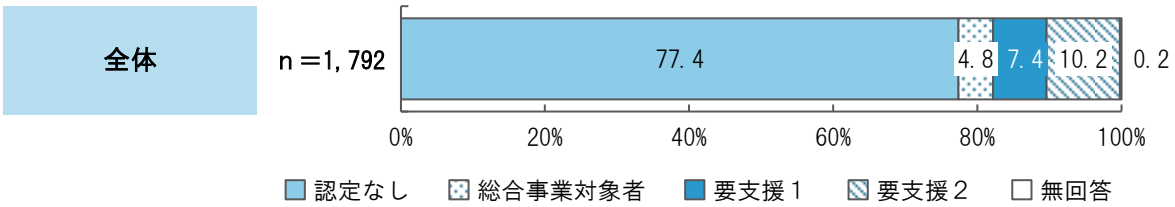
対象者の性別は「男性」が 41.2%、「女性」が 58.6%となっています。

■　年齢（令和７年 11 月 15 日現在）



対象者の年齢は「65 歳未満」が 0.2%、「65～69 歳」が 17.0%、「70～74 歳」が 17.4%、「75～79 歳」が 21.6%、「80～84 歳」が 19.6%、「85～89 歳」が 16.7%、「90 歳以上」が 7.4%となっています。

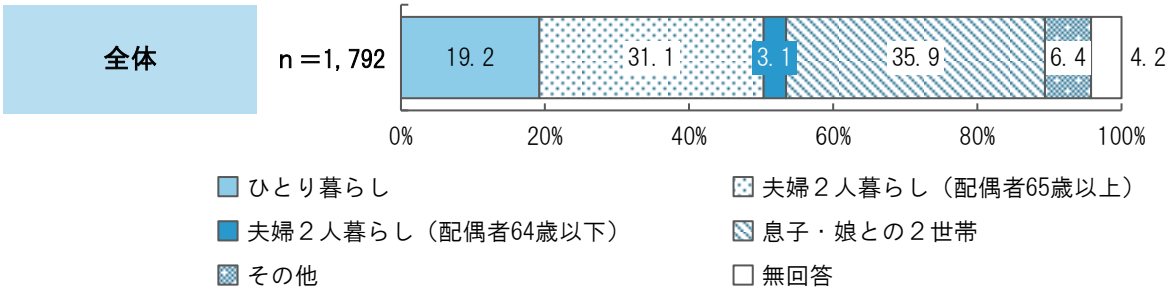
■　要支援認定の状況



※総合事業対象者：生活機能の低下がみられる方で、通所・訪問サービスの利用者のこと。

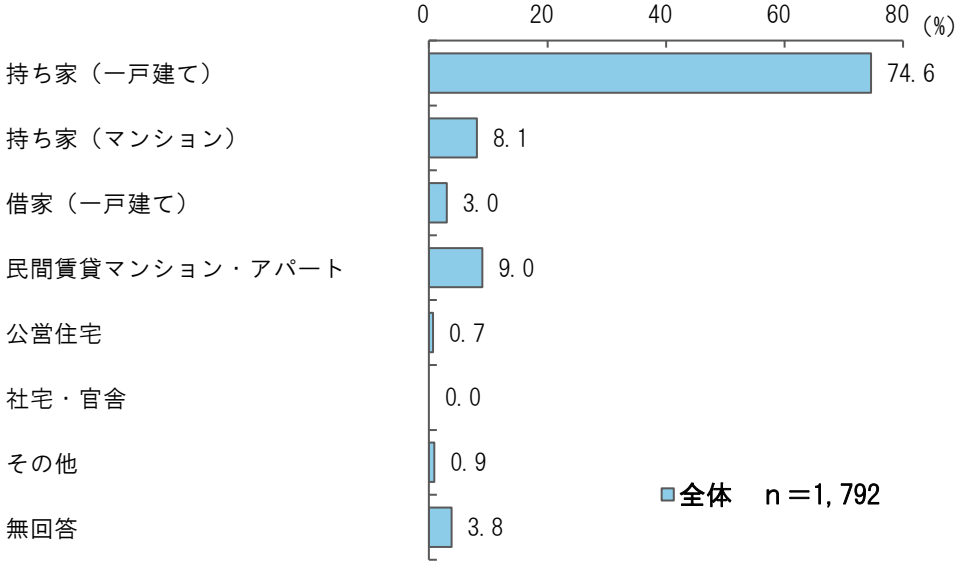
要支援認定の状況は「要支援１」が 7.4%、「要支援２」が 10.2%、「総合事業対象者」が 4.8%、「認定なし」が 77.4%となっています。

問１　あなたの家族構成を教えてください。（○は１つ）



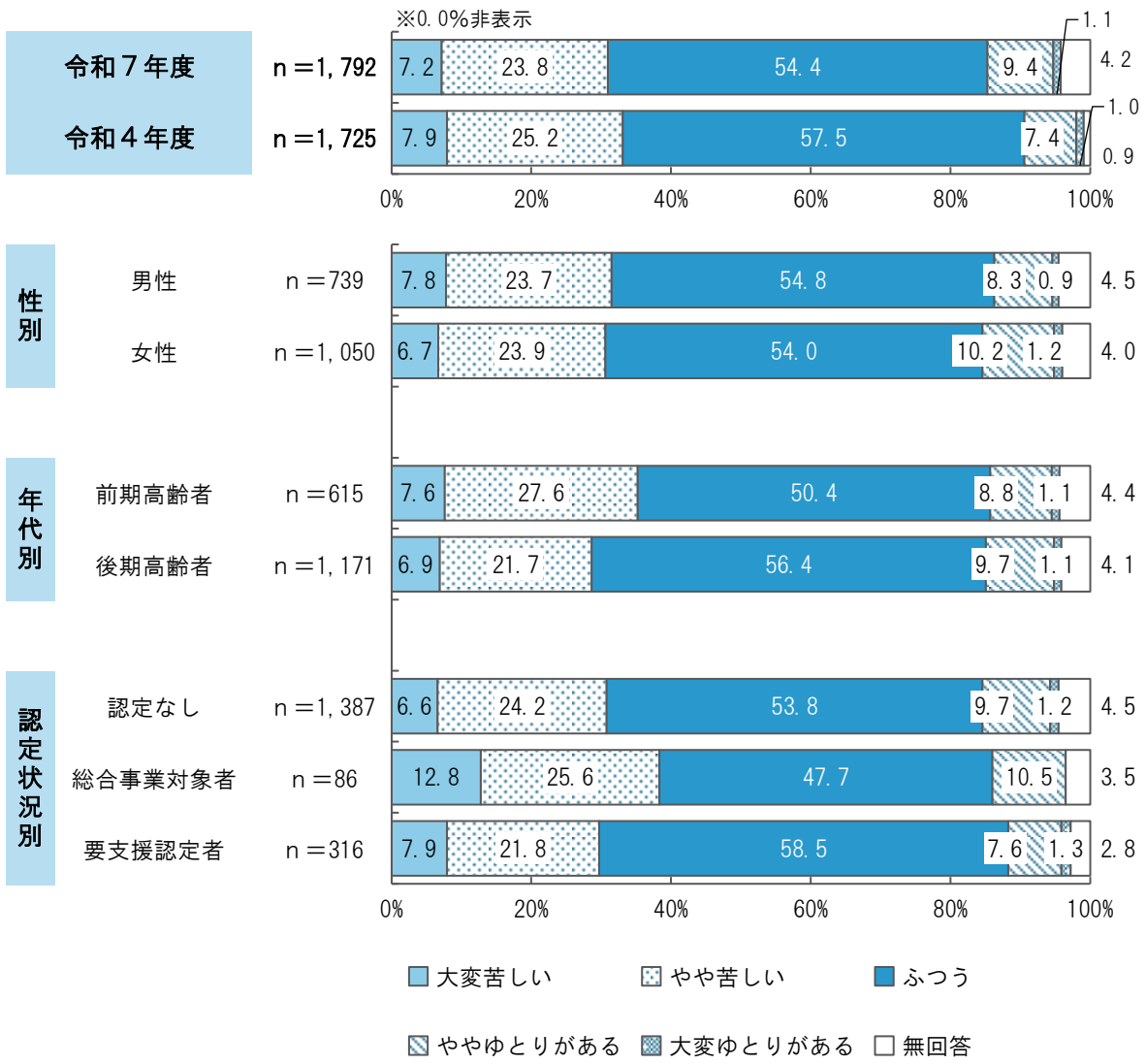
家族構成は「息子・娘との２世帯」が 35.9%と最も多く、次いで「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上)」が 31.1%、「ひとり暮らし」が 19.2%などとなっています。

問２　あなたのお住まいの状況はどれですか。（○は１つ）



住まいの状況は「持ち家（一戸建て)」が 74.6%と最も多く、次いで「民間賃貸マンション・アパート」が 9.0%、「持ち家（マンション)」が 8.1%などとなっています。

問３　あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。（○は１つ）



※『苦しい』：「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合
　『ゆとりがある』：「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた割合

経済的にみた現在の暮らしの状況は「ふつう」が 54.4%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 23.8%、「ややゆとりがある」が 9.4%などとなっています。また、『苦しい』は 31.0%、『ゆとりがある』は 10.5%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

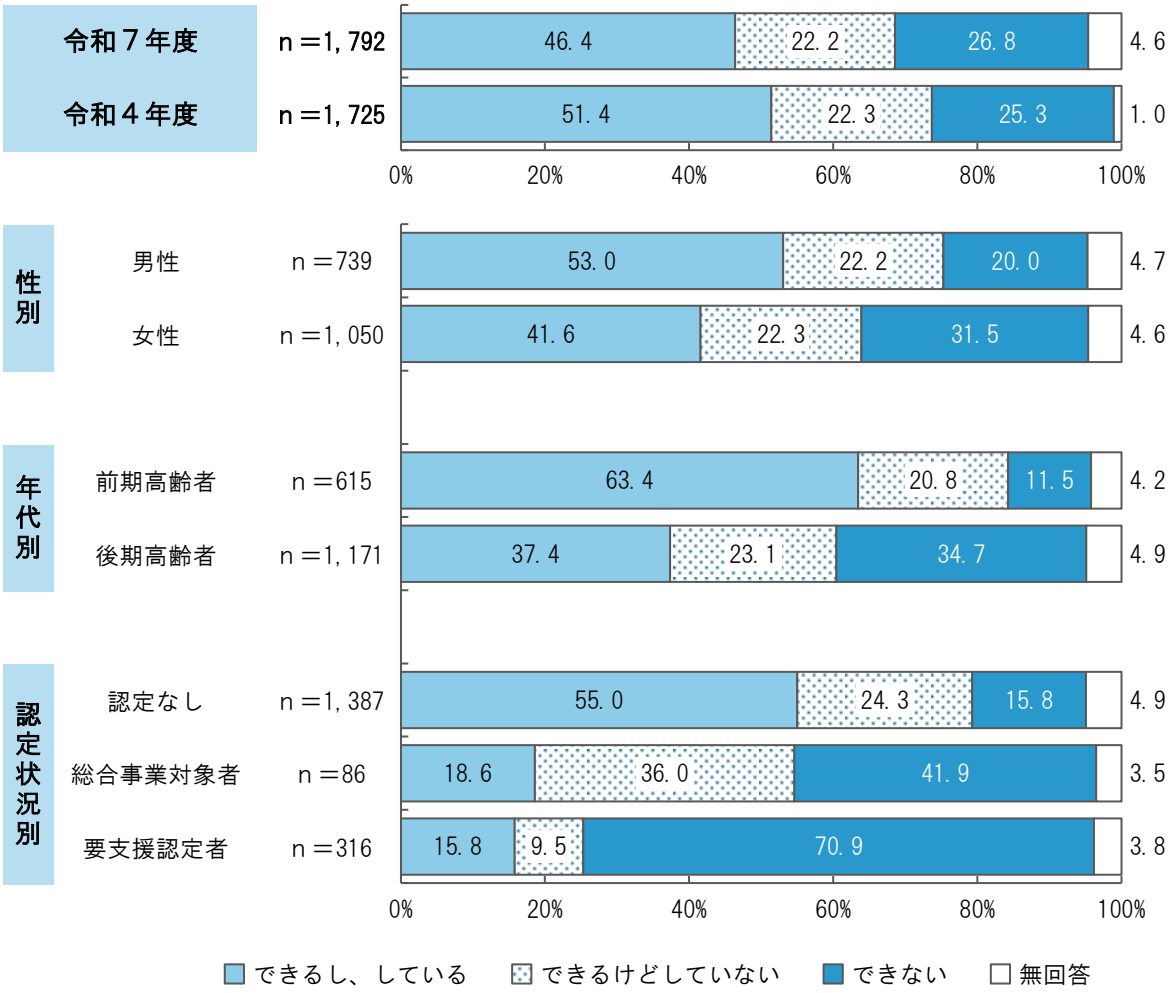
性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において『苦しい』が 35.2%と後期高齢者より 6.6 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「ふつう」が 56.4%と前期高齢者より 6.0 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、総合事業対象者において『苦しい』が 38.4%と他より高くなっています。

からだを動かすことについて

問４　あなたは、階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は１つ）



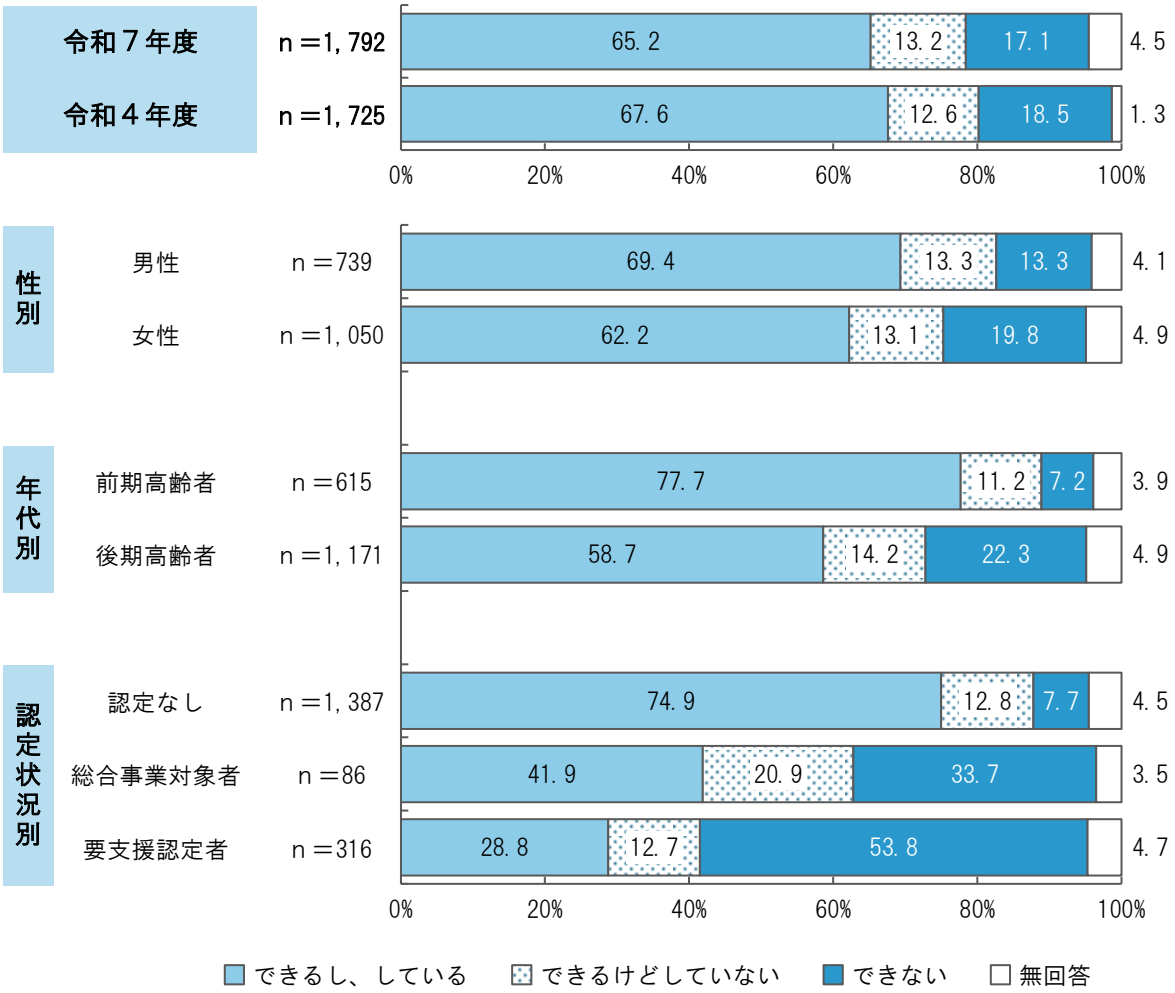
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っているかは「できるし、している」が 46.4%、「できるけどしていない」が 22.2%、「できない」が 26.8%となっています。令和４年度と比較すると、「できるし、している」が 5.0 ポイント減少しています。

性別でみると、男性において「できるし、している」が 53.0%と女性より 11.4 ポイント高くなっています。女性においては「できない」が 31.5%と男性より 11.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 63.4%と後期高齢者より 26.0 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 34.7%と前期高齢者より 23.2 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 55.0%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「できるけどしていない」が 36.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 70.9%と他より高くなっています。

問５　あなたは、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は１つ）



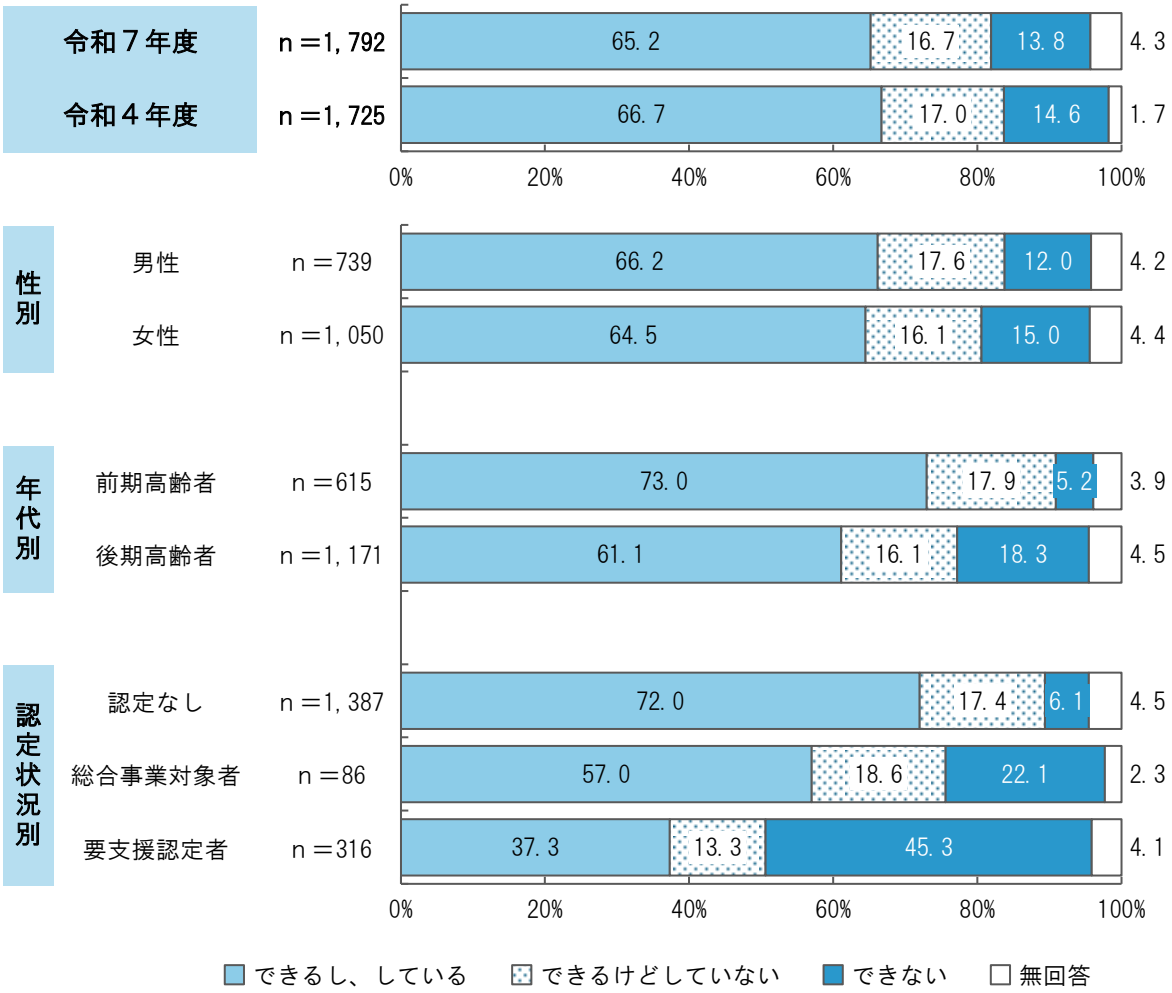
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは「できるし、している」が65.2%、「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が17.1%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「できるし、している」が69.4%と女性より7.2ポイント高くなっています。女性においては「できない」が19.8%と男性より6.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が77.7%と後期高齢者より19.0ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が22.3%と前期高齢者より15.1ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が74.9%と他よりなっています。総合事業対象者においては「できるけどしていない」が20.9%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が53.8%と他より高くなっています。

問６　あなたは、15 分位続けて歩いていますか。（○は１つ）



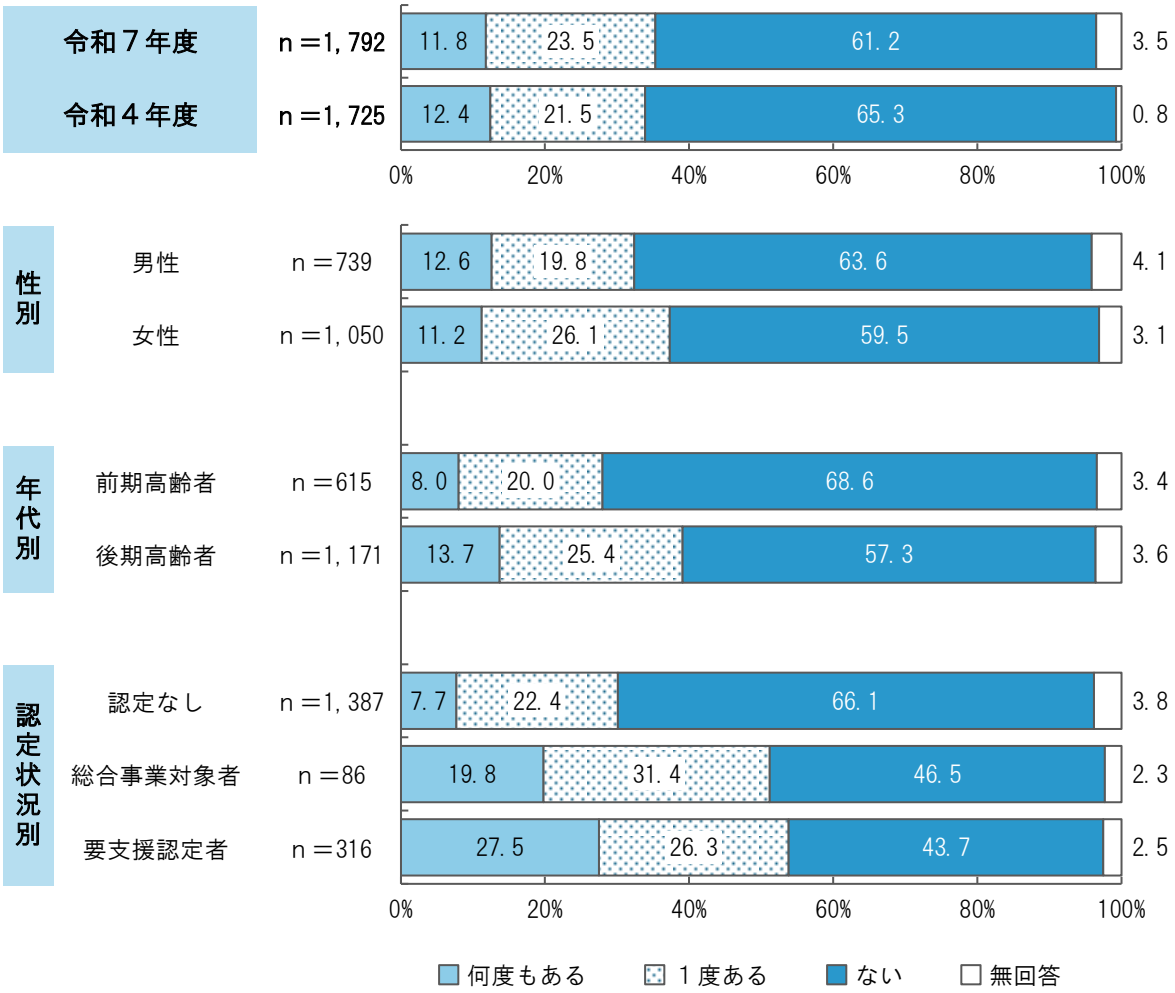
15 分位続けて歩いているかは「できるし、している」が 65.2%、「できるけどしていない」が 16.7%、「できない」が 13.8%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 73.0%と後期高齢者より 11.9 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 18.3%と前期高齢者より 13.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 72.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 45.3%と他より高くなっています。

問７　あなたは、過去１年間に転んだ経験がありますか。（○は１つ）



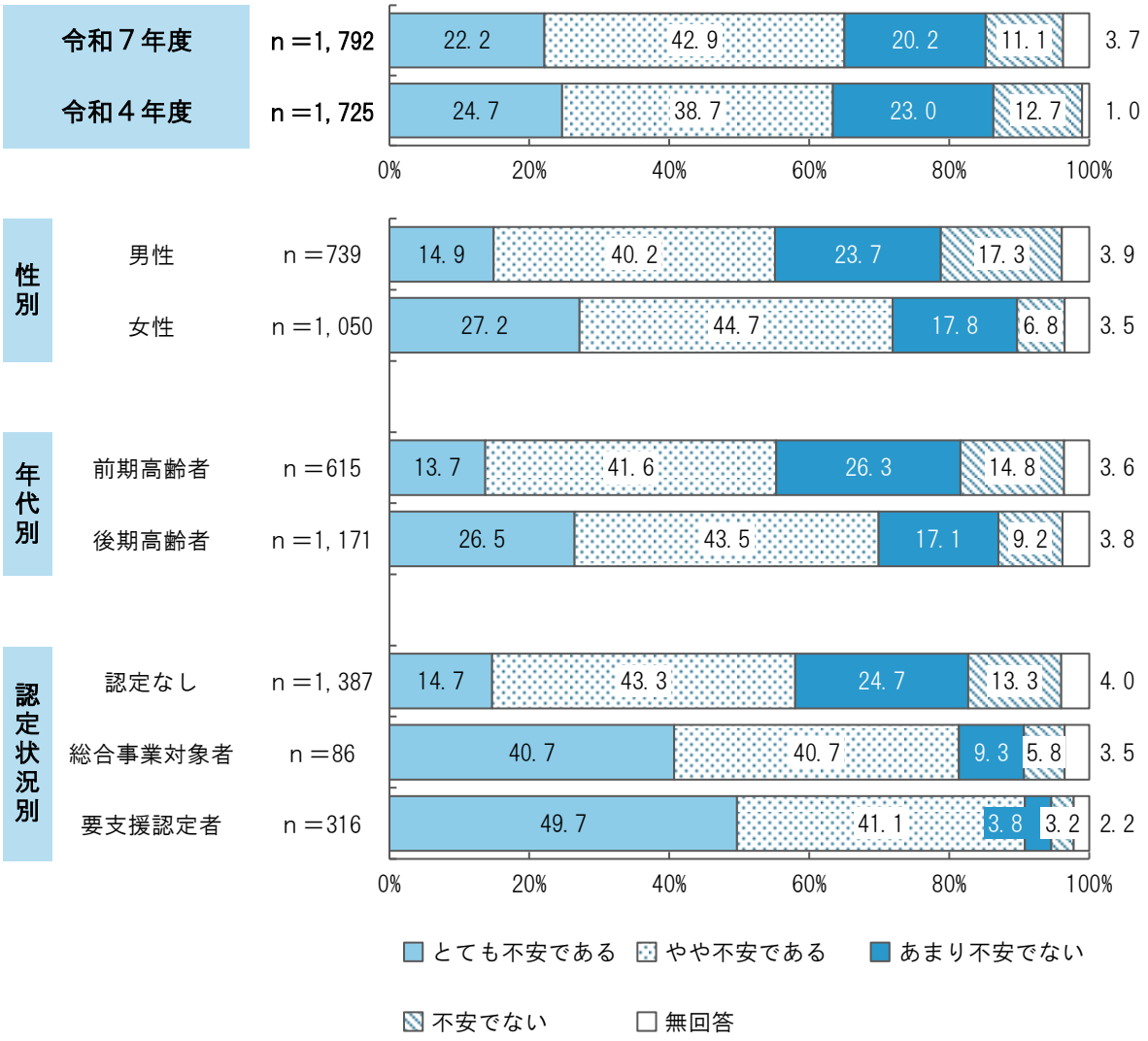
過去１年間に転んだ経験があるかは「何度もある」が 11.8%、「１度ある」が 23.5%、「ない」が 61.2%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において「１度ある」が 26.1%と男性より 6.3 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「ない」が 68.6%と後期高齢者より 11.3 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「何度もある」が 13.7%と前期高齢者より 5.7 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「ない」が 66.1%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「１度ある」が 31.4%と他より高くなっています。要支援認定者においては「何度もある」が 27.5%と他より高くなっています。

問８　転倒に対する不安は大きいですか。（○は１つ）



※『不安である』:「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた割合
　『不安でない』:「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた割合

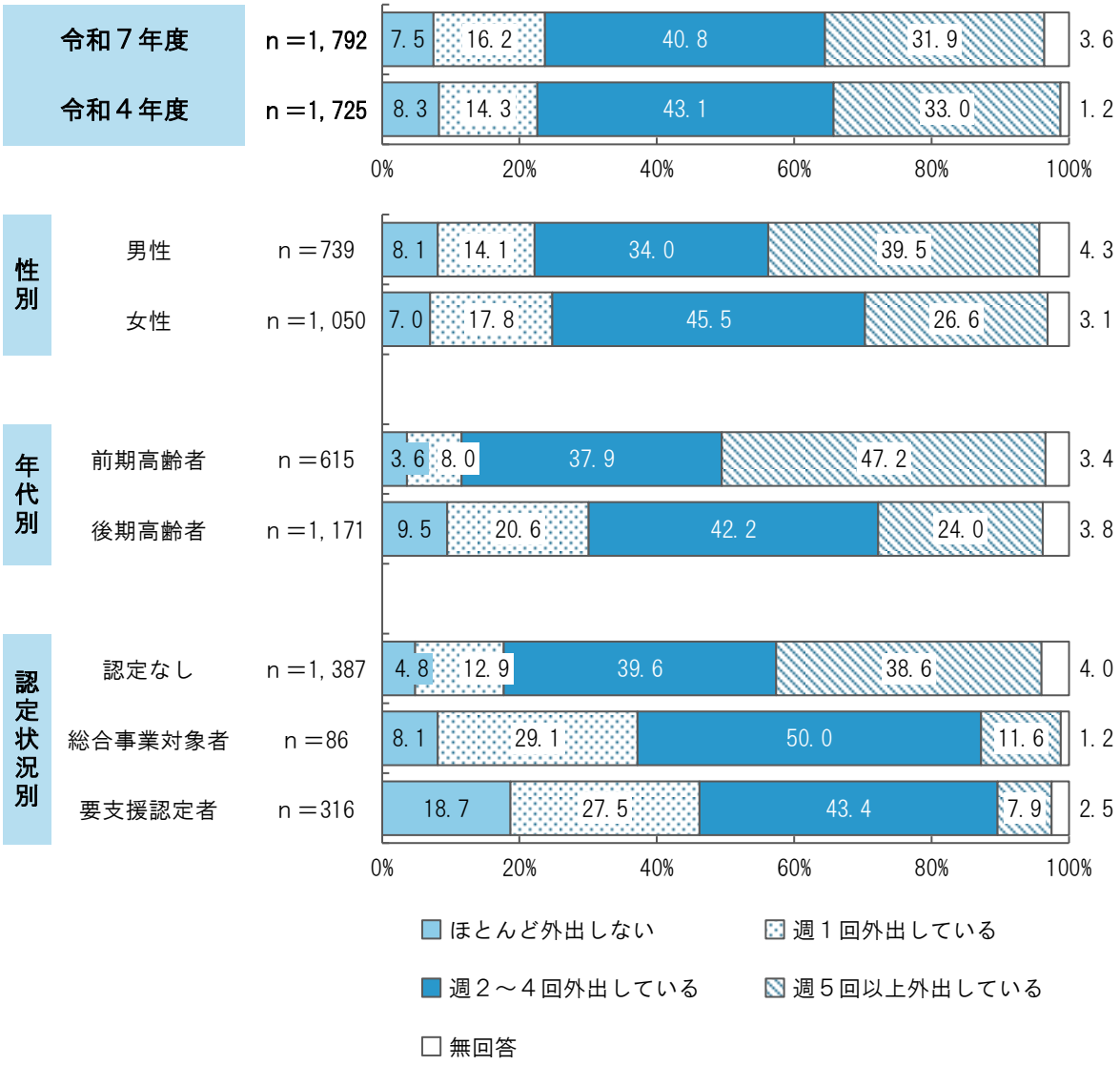
転倒に対する不安が大きいかは「やや不安である」が42.9%と最も多く、次いで「とても不安である」が22.2%、「あまり不安でない」が20.2%などとなっています。また、『不安である』は65.1%、『不安でない』は31.3%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において『不安である』が71.9%と男性より16.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において『不安でない』が41.1%と後期高齢者より14.8ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて『不安でない』が38.0%と他より高くなっています。

問９　あなたは、週に１回以上は外出していますか。（○は１つ）



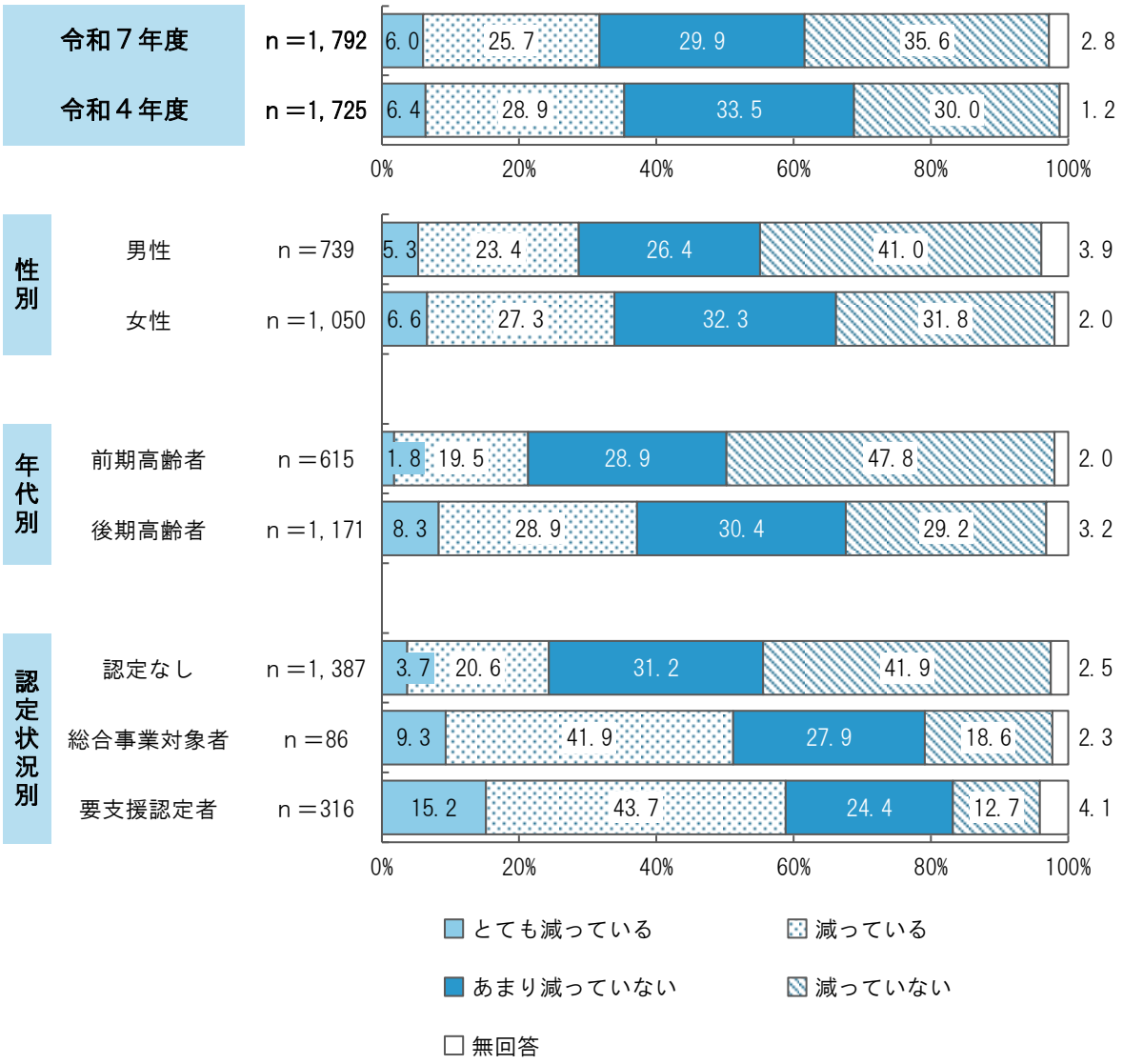
週に１回以上、外出しているかは「週２～４回外出している」が 40.8%と最も多く、次いで「週５回以上外出している」が 31.9%、「週１回外出している」が 16.2%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「週５回以上外出している」が 39.5%と女性より 12.9 ポイント高くなっています。女性においては「週２～４回外出している」が 45.5%と男性より 11.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「週５回以上外出している」が 47.2%と後期高齢者より 23.2 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「週１回外出している」が 20.6%と前期高齢者より 12.6 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「週５回以上外出している」が 38.6%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「週２～４回外出している」が 50.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「ほとんど外出しない」が 18.7%と他より高くなっています。

問 10　あなたは、昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は１つ）



※『減っている』：「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合
　『減っていない』：「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた割合

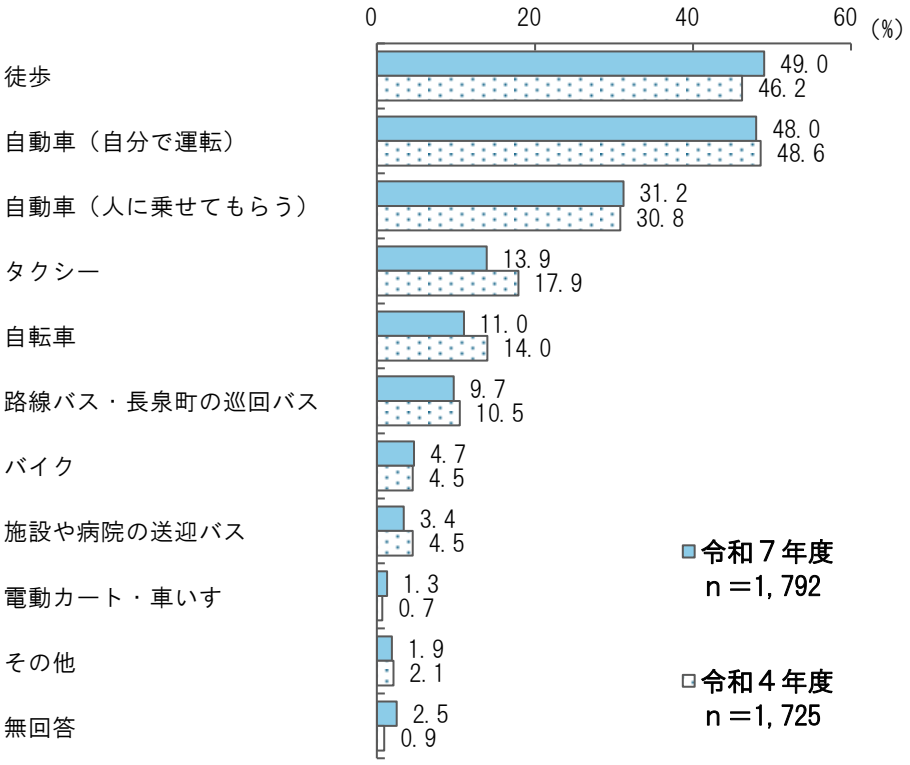
昨年と比べて外出の回数が減っているかは「減っていない」が 35.6%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が 29.9%、「減っている」が 25.7%などとなっています。また、『減っている』は 31.7%、『減っていない』は 65.5%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において『減っている』が 33.9%と男性より 5.2 ポイント高くなっています。

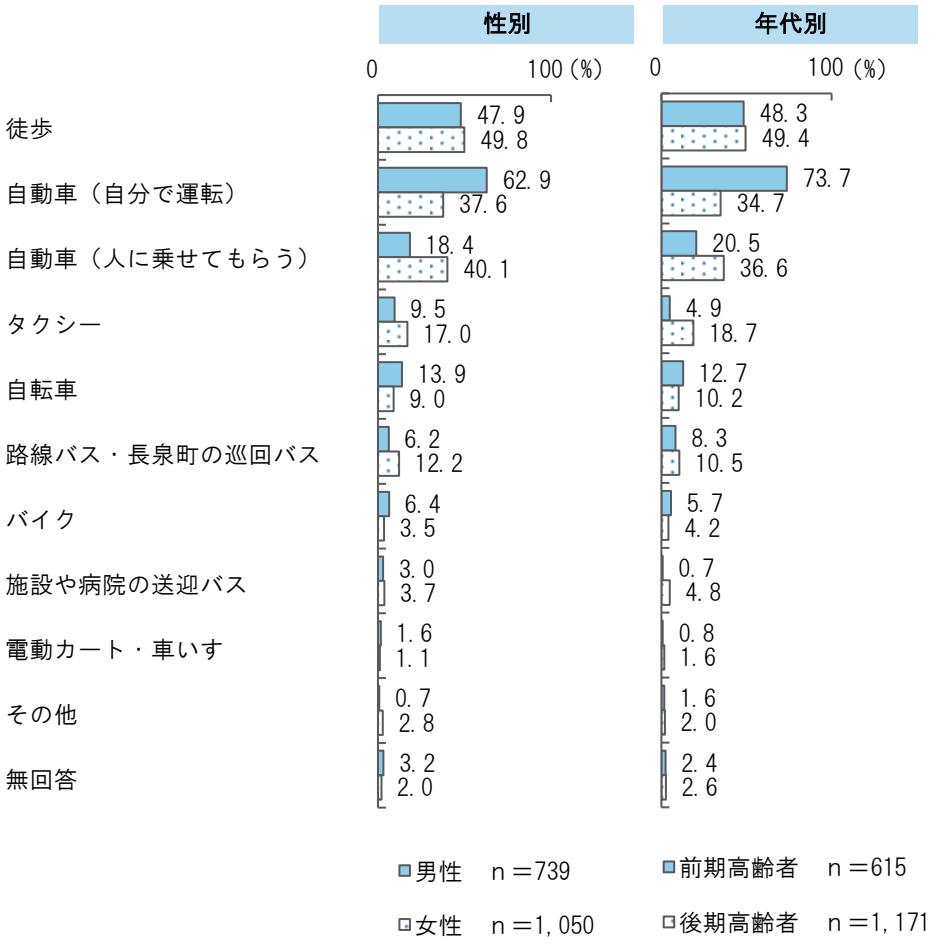
年代別でみると、前期高齢者において『減っていない』が 76.7%と後期高齢者より 17.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて『減っていない』が 73.1%と他より高くなっています。

問 11　あなたが外出する場合の、主な手段は何ですか。（○はいくつでも）

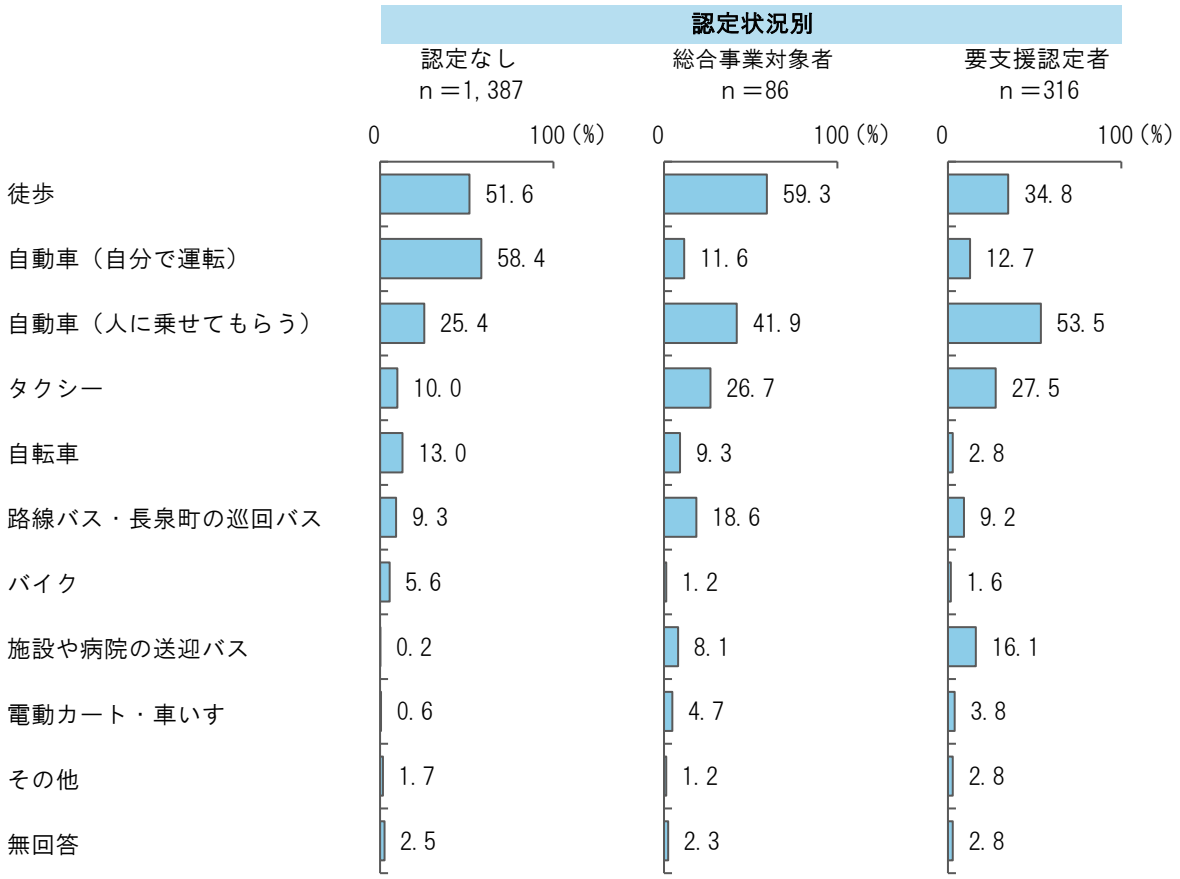


外出する場合の主な手段は「徒歩」が 49.0%と最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」が 48.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 31.2%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



性別でみると、男性において「自動車（自分で運転）」が 62.9%と女性より 25.3 ポイント高くなっています。女性においては「自動車（人に乗せてもらう）」が 40.1%と男性より 21.7 ポイント高くなっています。

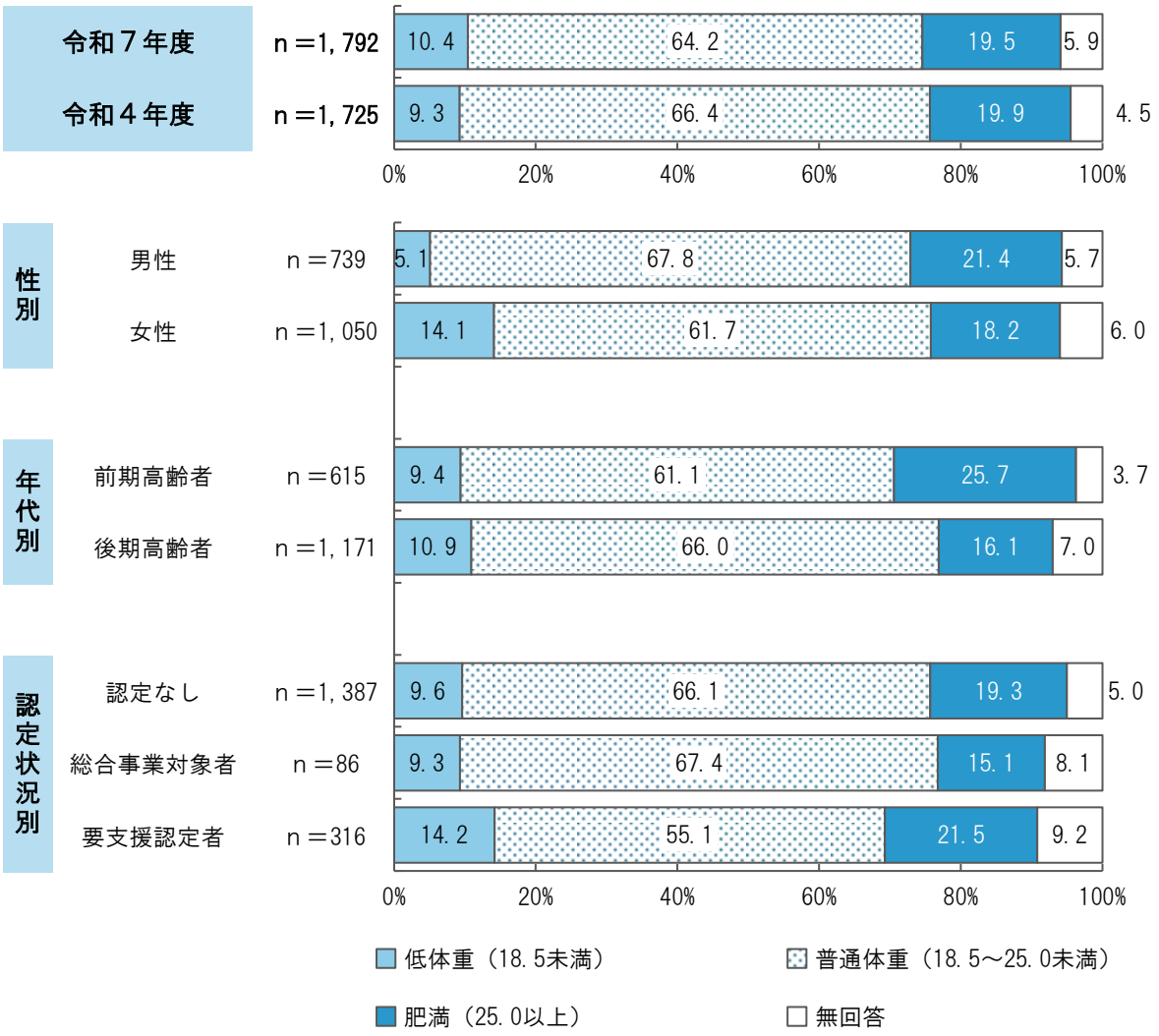
年代別でみると、前期高齢者において「自動車（自分で運転）」が 73.7%と後期高齢者より 39.0 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「自動車（人に乗せてもらう）」が前期高齢者より 16.1 ポイント高くなっています。



認定状況別でみると、認定なしにおいて「自動車（自分で運転）」が58.4%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「徒歩」「路線バス・長泉町の巡回バス」が他より高くなっています。要支援認定者においては「自動車（人に乗せてもらう）」「施設や病院の送迎バス」が他より高くなっています。

食べることについて

問 12　あなたの身長と体重をお書きください。（⇒身長・体重からＢＭＩ指数を算出）



※肥満度（ＢＭＩ指数）は、「体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））」にて算出

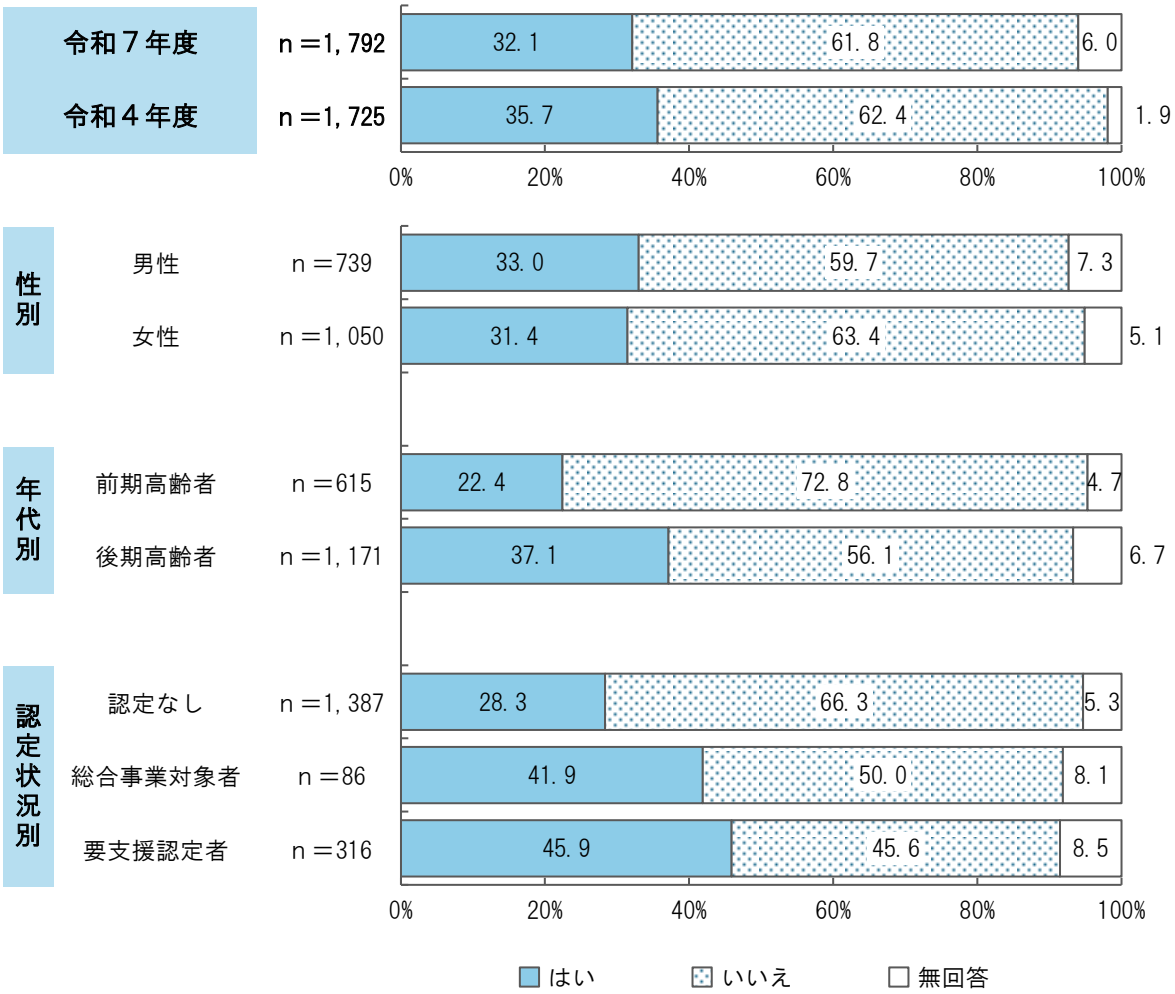
身長・体重から算出したＢＭＩ指数は、「低体重（18.5 未満）」が 10.4%、「普通体重（18.5～25.0 未満）」が 64.2%、「肥満（25.0 以上）」が 19.5%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「普通体重（18.5～25.0 未満）」が 67.8%と女性より 6.1 ポイント高くなっています。女性においては「低体重（18.5 未満）」が 14.1%と男性より 9.0 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「肥満（25.0 以上）」が 25.7%と後期高齢者より 9.6 ポイント高くなっています。

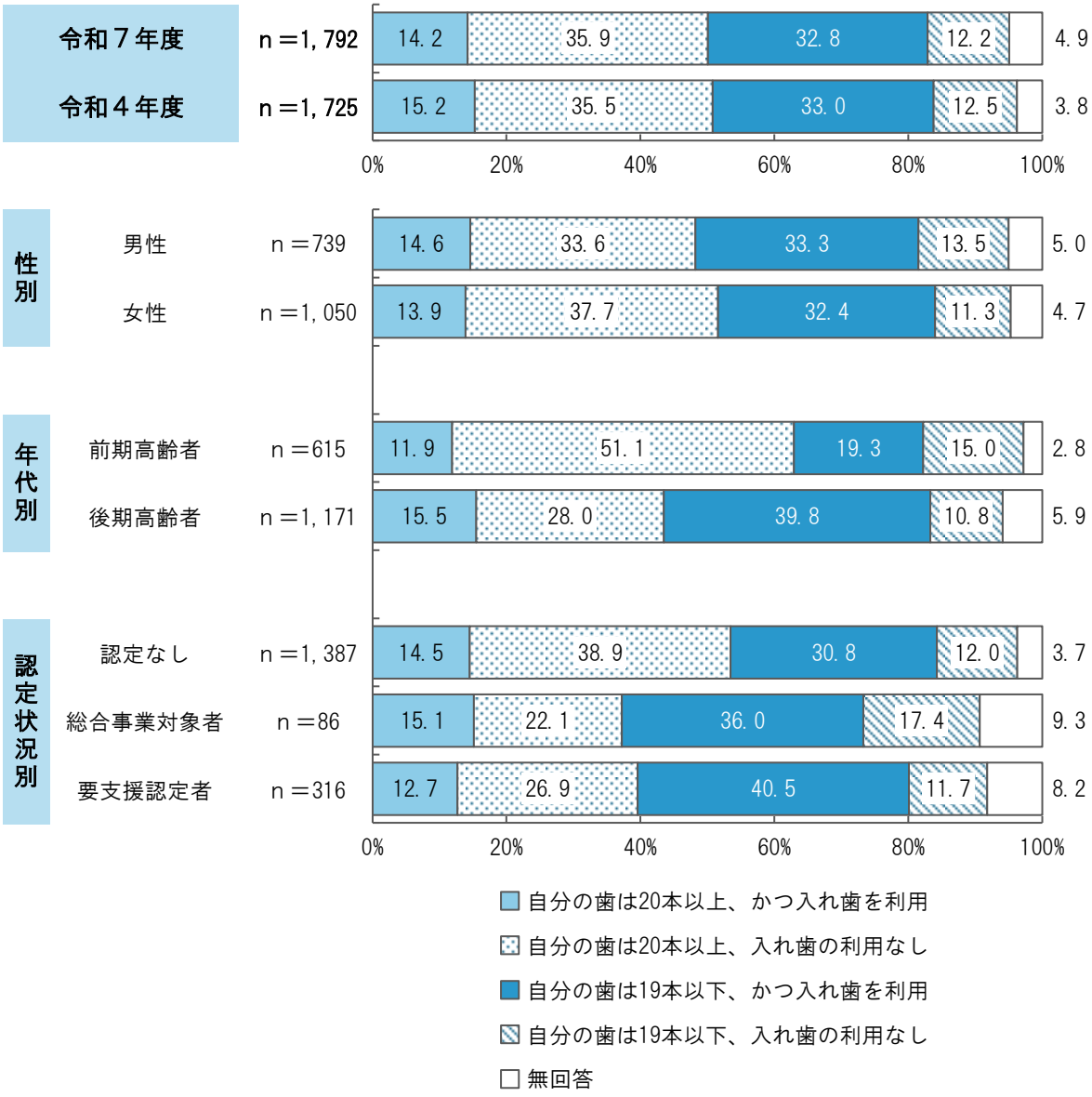
認定状況別でみると、大きな差異はありません。

問 13　あなたは、半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は１つ）



半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは「はい」が 32.1%、「いいえ」が 61.8%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。
性別でみると、大きな変化はみられません。
年代別でみると、前期高齢者において「いいえ」が 72.8%と後期高齢者より 16.7 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、認定なしにおいて「いいえ」が 66.3%と他より高くなっています。

問 14　あなたの歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（○は１つ）



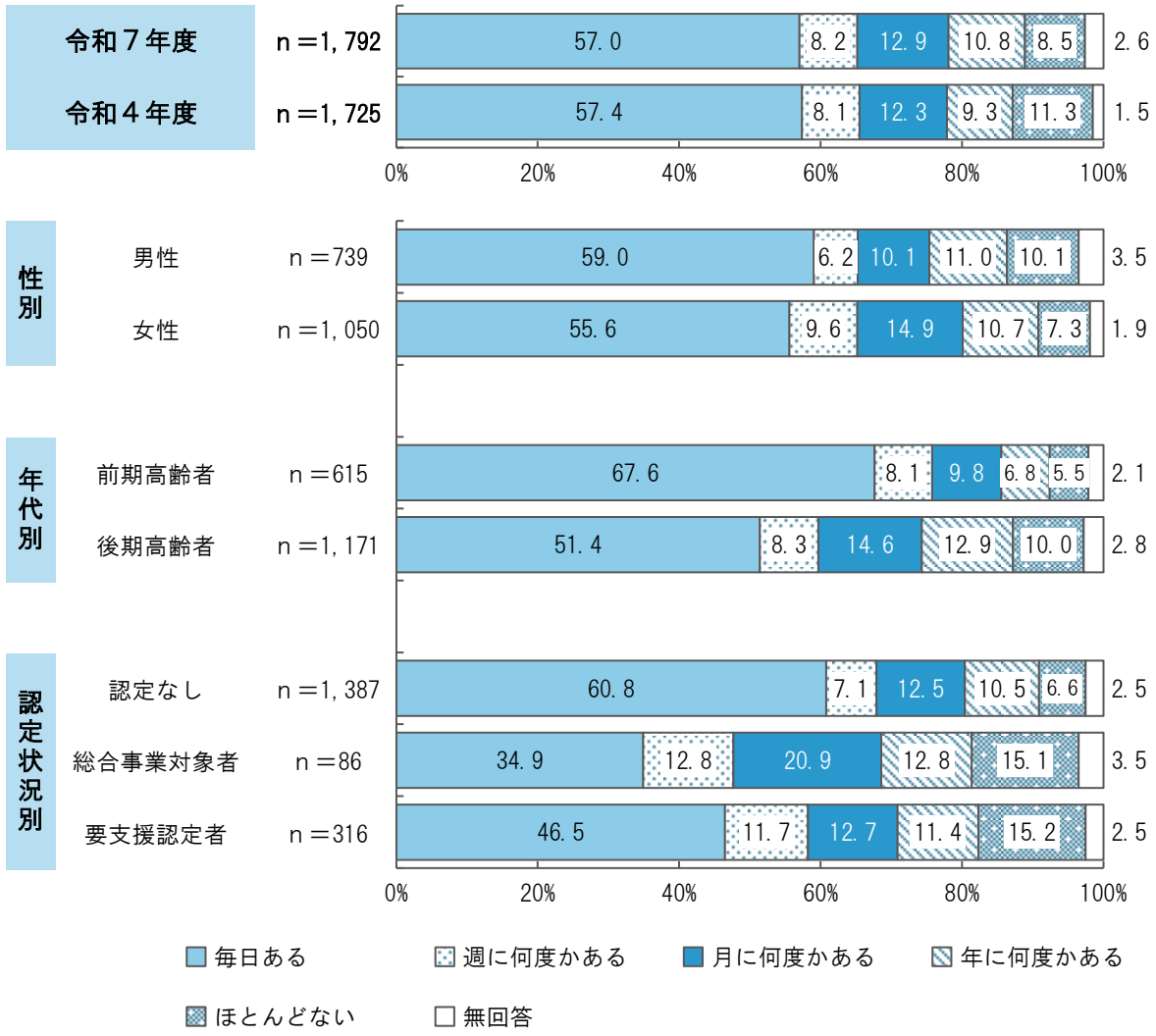
歯の数と入れ歯の利用状況は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.9%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 32.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.2%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 51.1%と後期高齢者より 23.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 39.8%と前期高齢者より 20.5 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.9%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 17.4%と他より高くなっています。

問 15　あなたは、どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は１つ）



誰かと食事をともにする機会の有無は、「毎日ある」が 57.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 12.9%、「年に何度かある」が 10.8%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

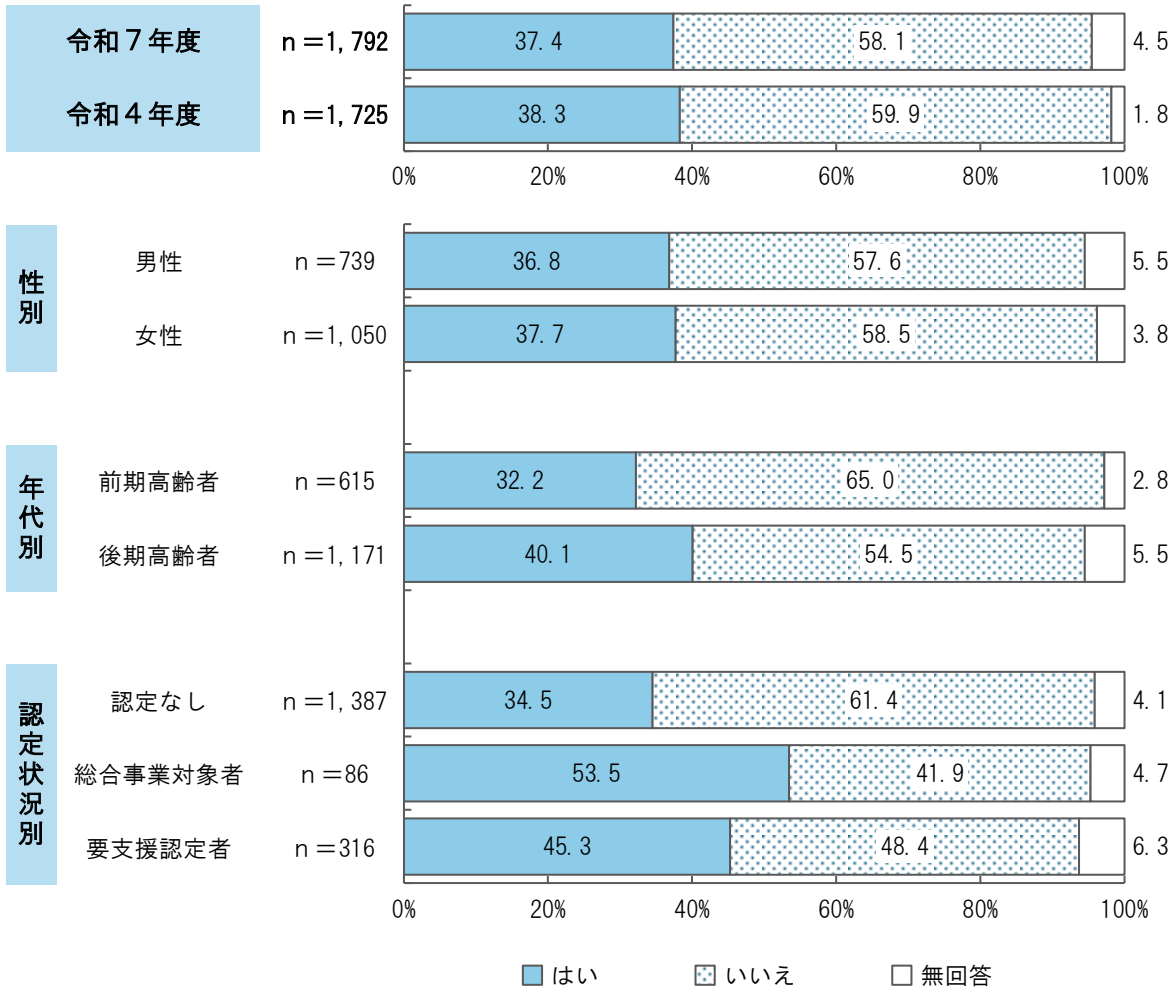
性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「毎日ある」が 67.6%と後期高齢者より 16.2 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「年に何度かある」が 12.9%と前期高齢者より 6.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「毎日ある」が 60.8%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「月に何度かある」が 20.9%と他より高くなっています。

毎日の生活について

問 16　あなたは、物忘れが多いと感じますか。（○は１つ）



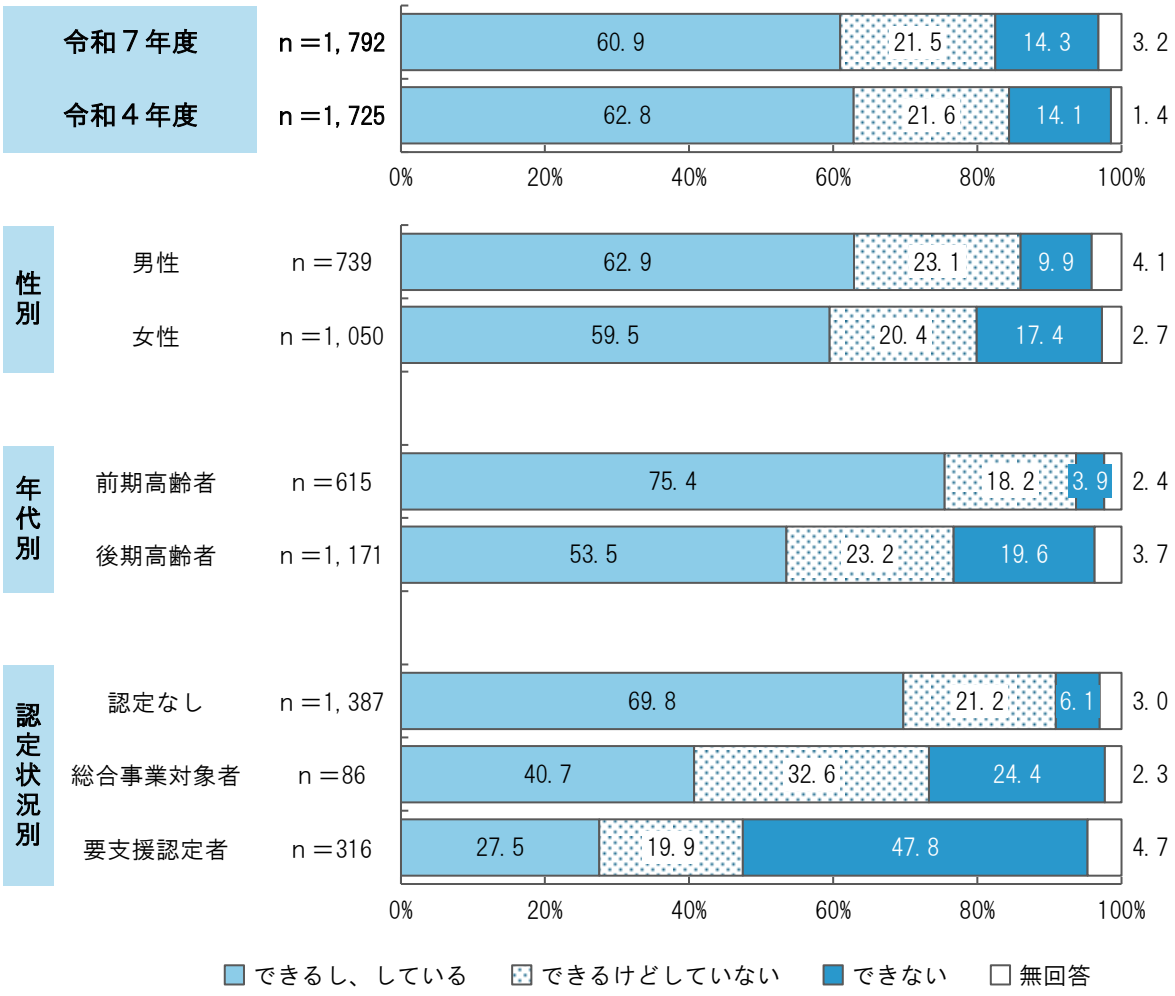
物忘れが多いと感じるかは「はい」が 37.4%、「いいえ」が 58.1%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「いいえ」が 65.0%と後期高齢者より 10.5 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「いいえ」が 61.4%と他より高くなっています。

問 17　あなたは、バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）
（○は１つ）



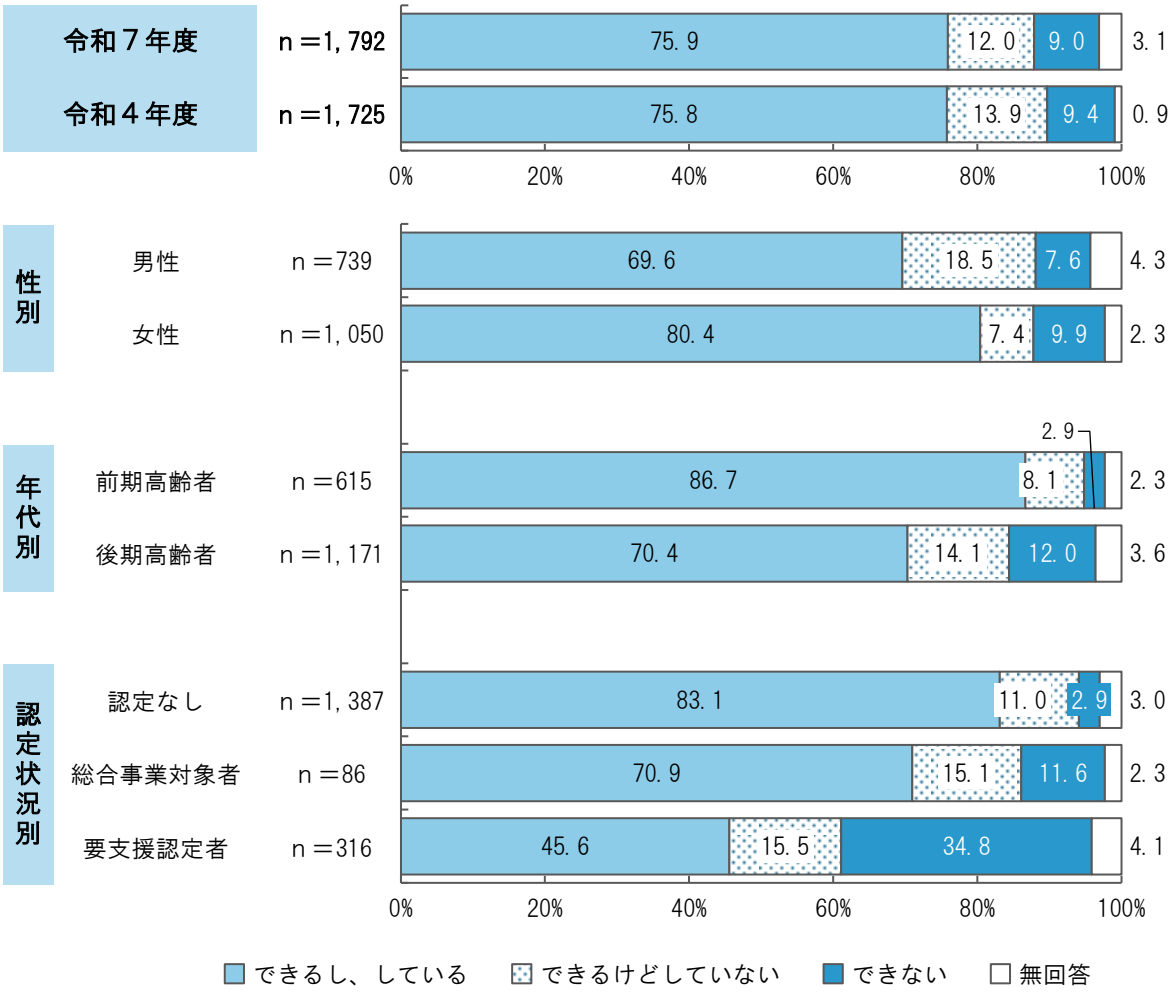
バスや電車を使って１人で外出しているかは「できるし、している」が 60.9%、「できるけどしていない」が 21.5%、「できない」が 14.3%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において「できない」が 17.4%と男性より 7.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 75.4%と後期高齢者より 21.9 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 19.6%と前期高齢者より 15.7 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 69.8%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「できるけどしていない」が 32.6%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 47.8%と他より高くなっています。

問 18　あなたは、自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は１つ）



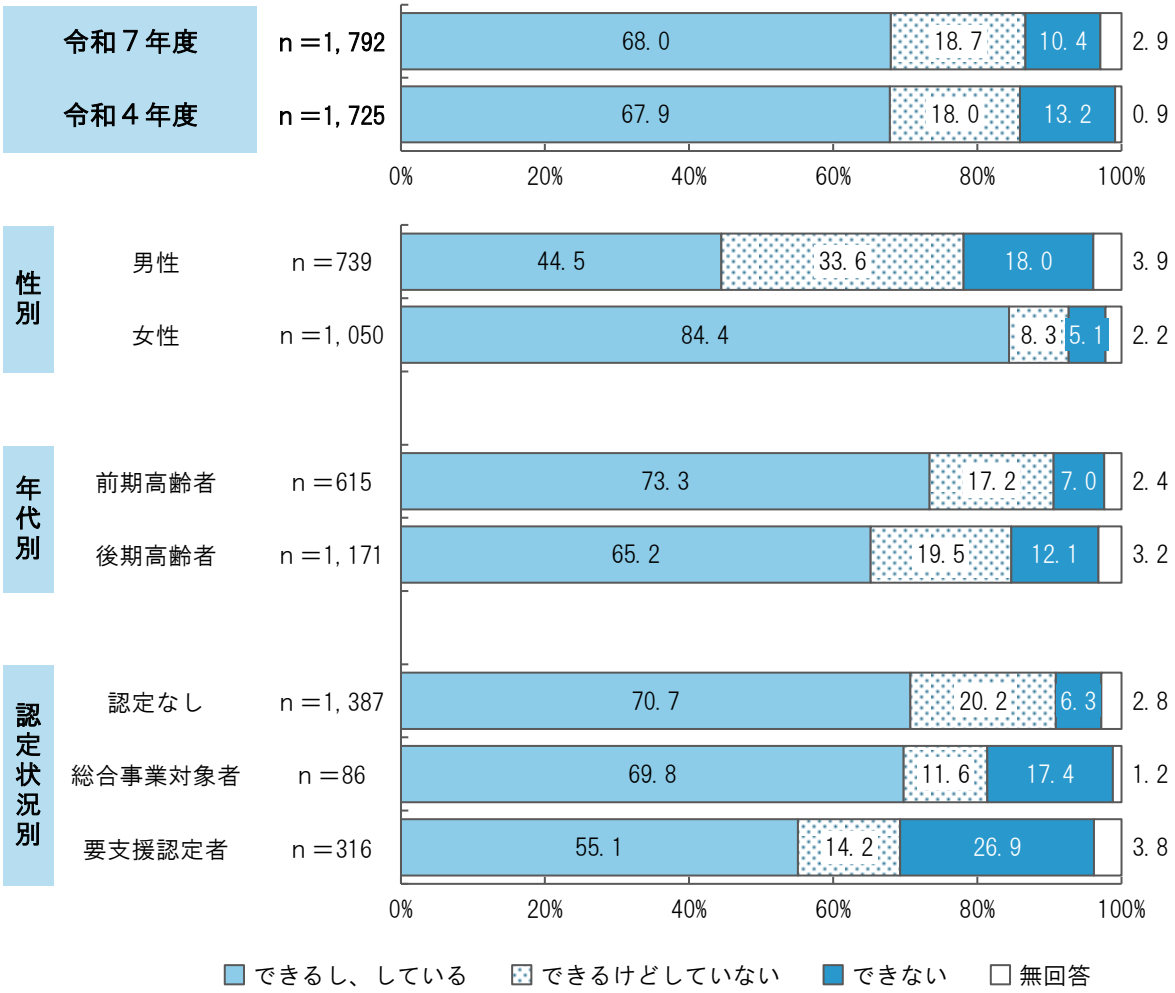
自分で食品・日用品の買物をしているかは「できるし、している」が 75.9%、「できるけどしていない」が 12.0%、「できない」が 9.0%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「できるけどしていない」が 18.5%と女性より 11.1 ポイント高くなっています。女性において「できるし、している」が 80.4%と男性より 10.8 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 86.7%と後期高齢者より 16.3 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 12.0%と前期高齢者より 9.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 83.1%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 34.8%と他より高くなっています。

問 19　あなたは、自分で食事の用意をしていますか。（○は１つ）



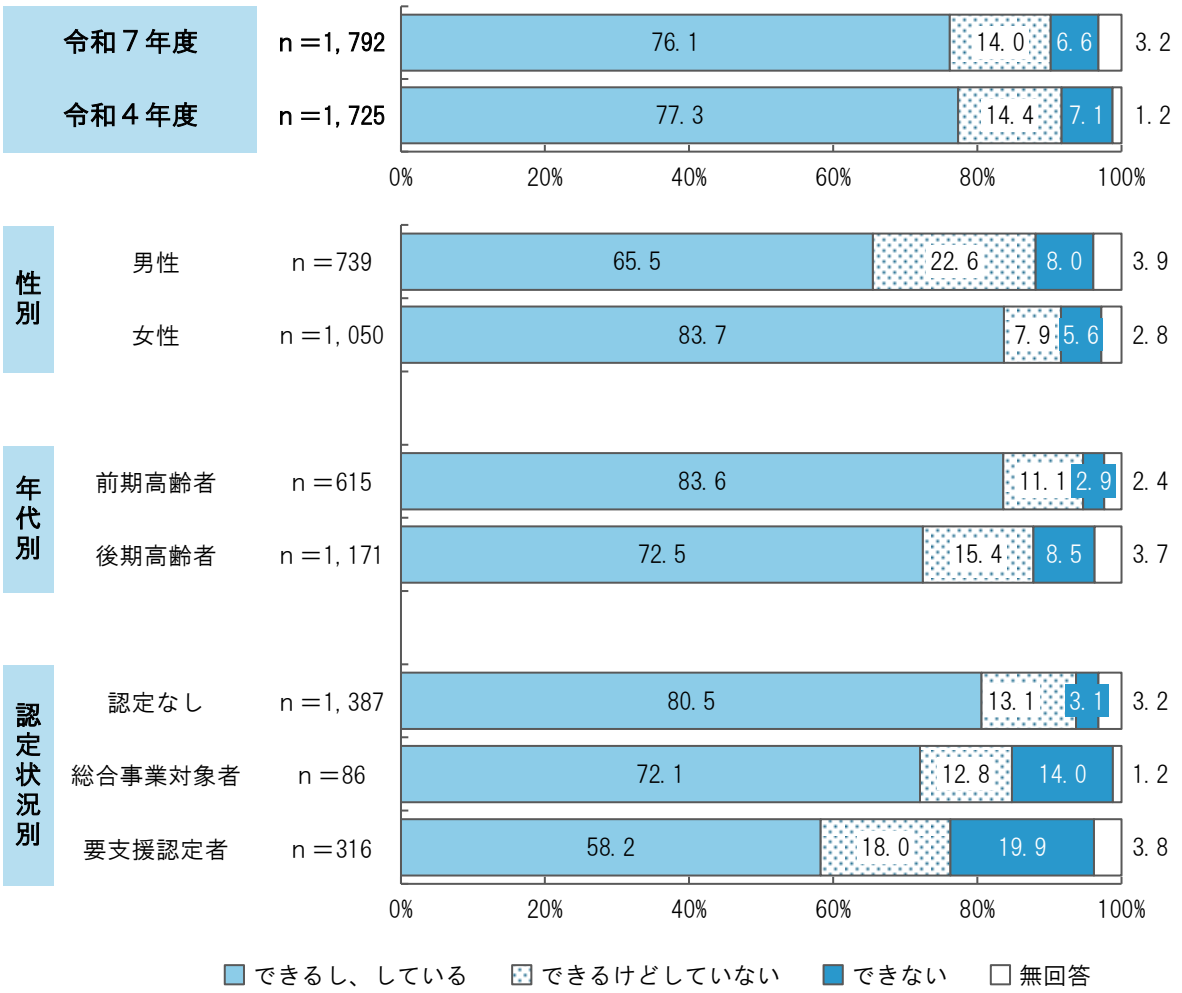
自分で食事の用意をしているかは「できるし、している」が 68.0%、「できるけどしていない」が 18.7%、「できない」が 10.4%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「できるけどしていない」が 33.6%と女性より 25.3 ポイント高くなっています。女性においては「できるし、している」が 84.4%と男性より 39.9 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 73.3%と後期高齢者より 8.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 12.1%と前期高齢者より 5.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるけどしていない」が 20.2%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 26.9%と他より高くなっています。

問 20　あなたは、自分で請求書の支払いをしていますか。（○は１つ）



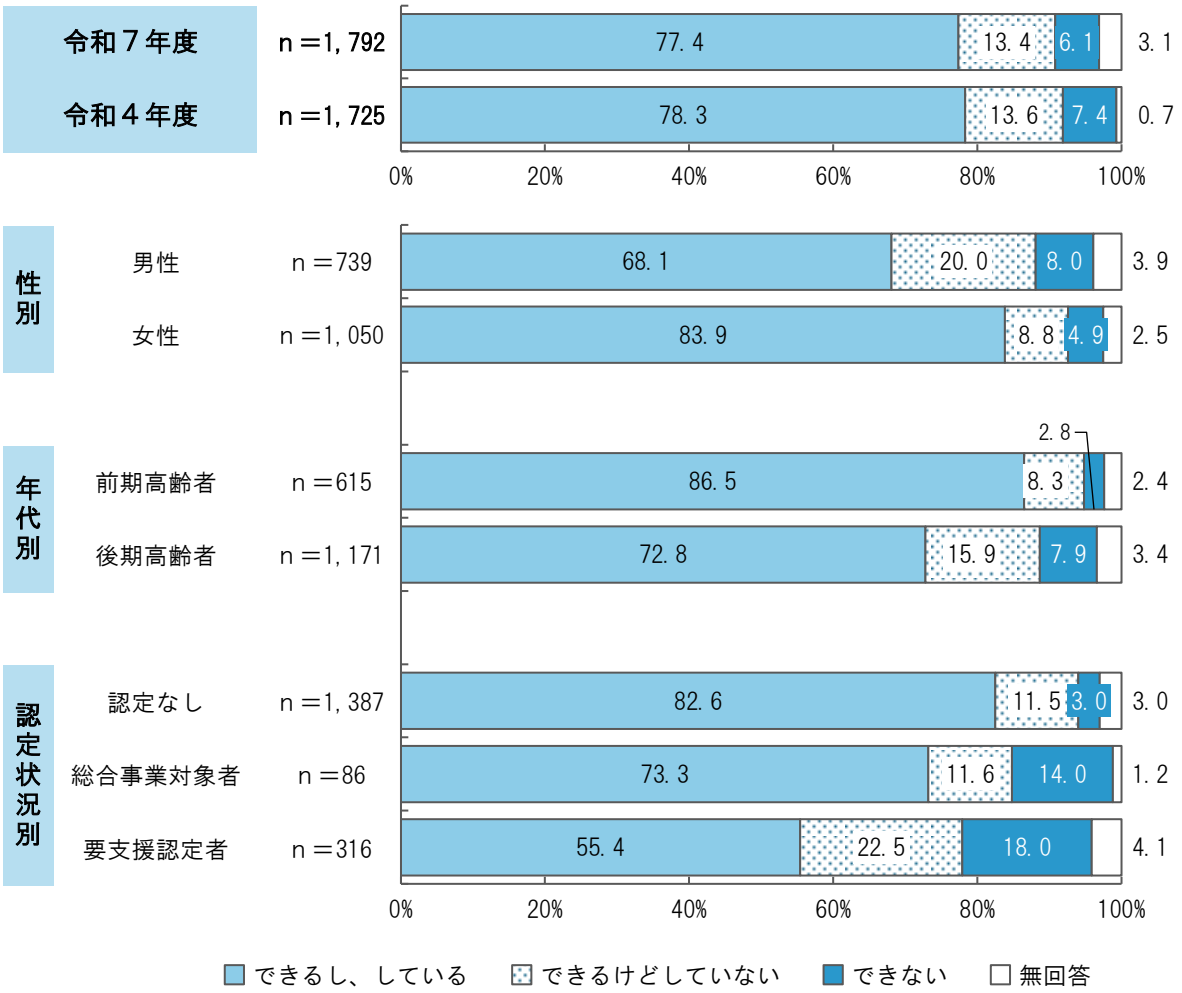
自分で請求書の支払いをしているかは「できるし、している」が 76.1%、「できるけどしていない」が 14.0%、「できない」が 6.6%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「できるけどしていない」が 22.6%と女性より 14.7 ポイント高くなっています。女性においては「できるし、している」が 83.7%と男性より 18.2 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 83.6%と後期高齢者より 11.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できない」が 8.5%と前期高齢者より 5.6 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 80.5%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できない」が 19.9%と他より高くなっています。

問 21　あなたは、自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は１つ）



自分で預貯金の出し入れをしているかは「できるし、している」が 77.4%、「できるけどしていない」が 13.4%、「できない」が 6.1%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

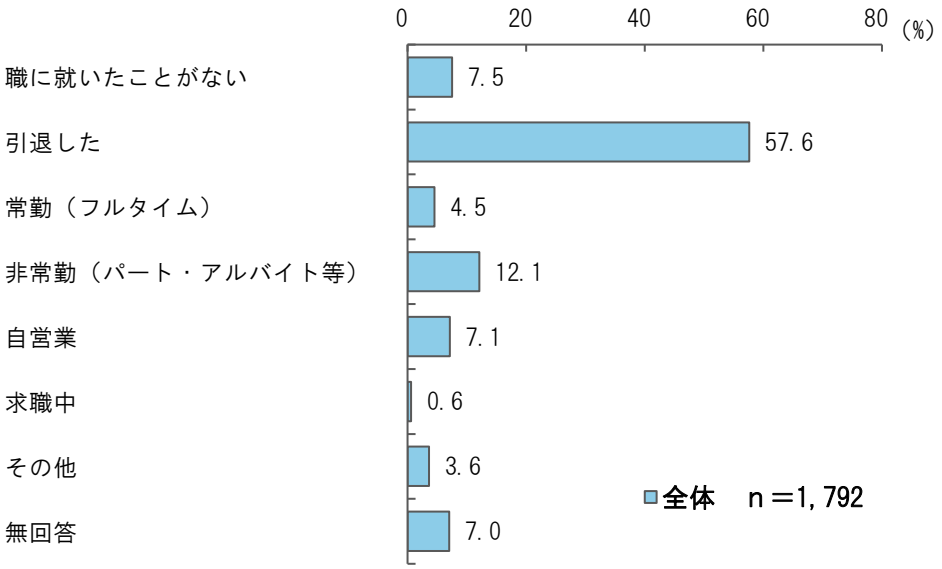
性別でみると、男性において「できるけどしていない」が 20.0%と女性より 11.2 ポイント高くなっています。女性においては「できるし、している」が 83.9%と男性より 15.8 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「できるし、している」が 86.5%と後期高齢者より 13.7 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「できるけどしていない」が 15.9%と前期高齢者より 7.6 ポイント高くなっています。

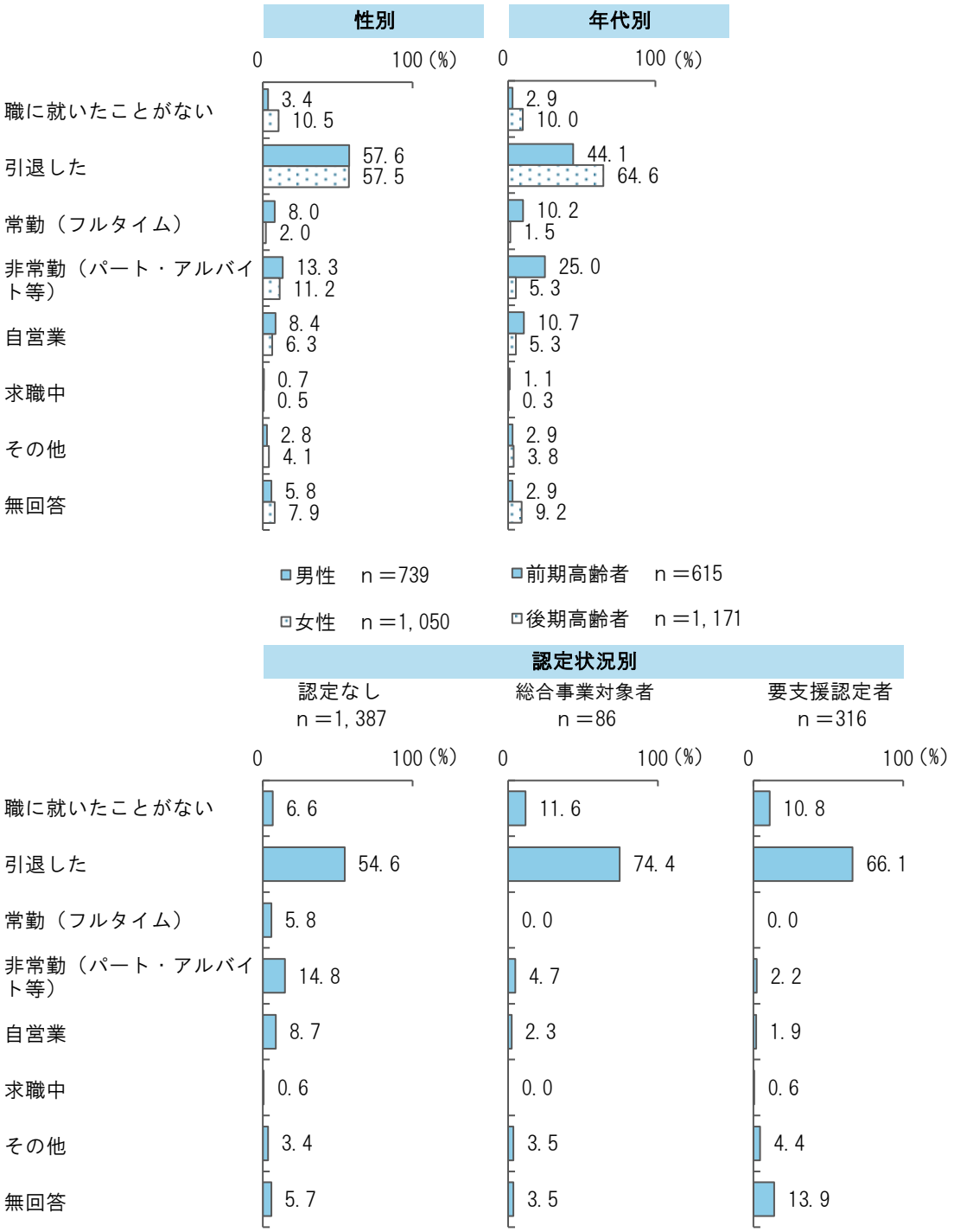
認定状況別でみると、認定なしにおいて「できるし、している」が 82.6%と他より高くなっています。要支援認定者においては「できるけどしていない」が 22.5%と他より高くなっています。

就労について

問 22　現在のあなたの就労状態はどれですか。（○は１つ）



現在の就労状態は「引退した」が 57.6%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 12.1%、「職に就いたことがない」が 7.5%などとなっています。



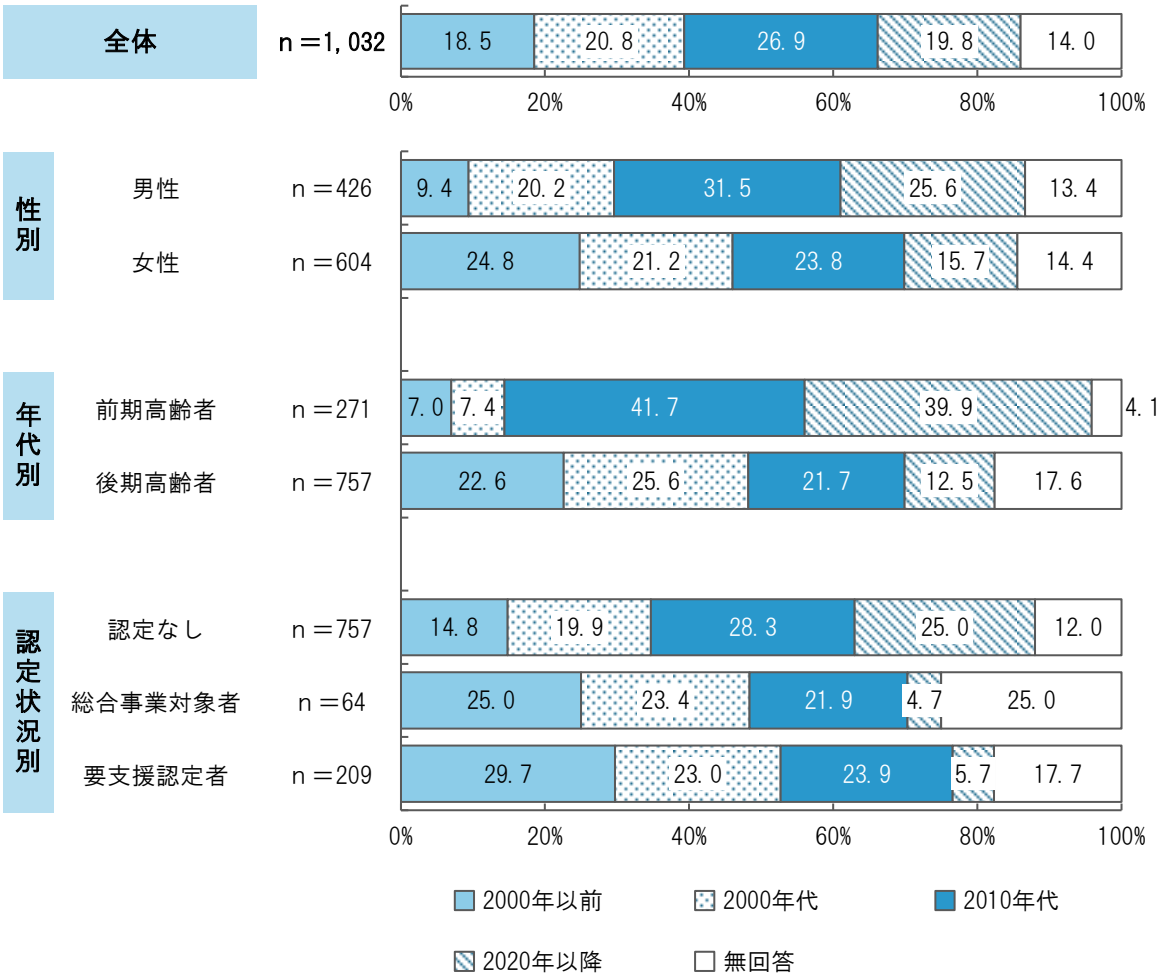
性別でみると、男性において「常勤（フルタイム）」が 8.0%と女性より 6.0 ポイント高くなっています。女性においては「職に就いたことがない」が 10.5%と男性より 7.1 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「非常勤（パート・アルバイト等）」が 25.0%と後期高齢者より 19.7 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「引退した」が 64.6%と前期高齢者より 20.5 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」「自営業」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「引退した」が 74.4%と他より高くなっています。

問 22 で「引退した」と回答した方にお伺いします

問22－１　あなたはいつ引退しましたか。（数字で記入）



仕事を引退した時期は「2010 年代」が 26.9%と最も多く、次いで「2000 年代」が 20.8%、「2020 年以降」が 19.8%となっています。

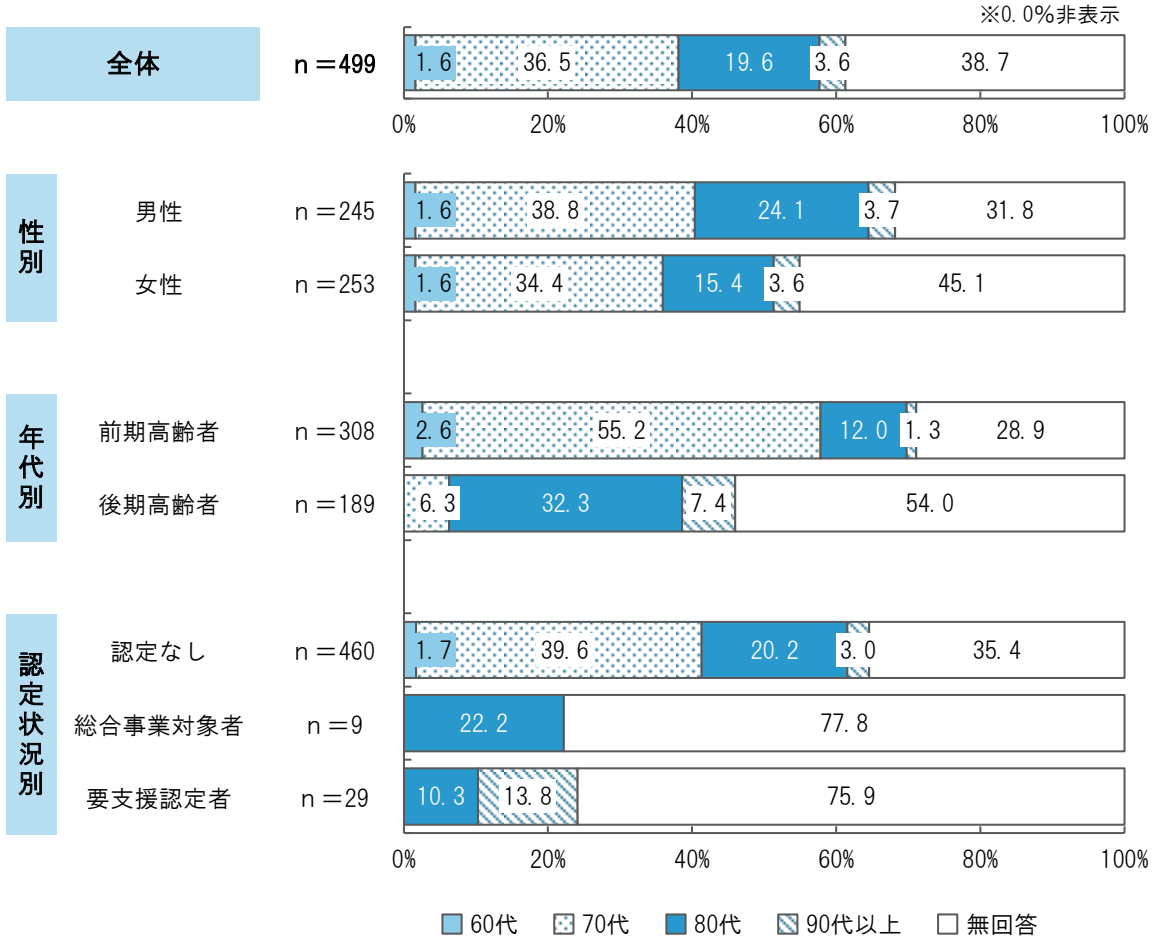
性別でみると、男性において「2020 年以降」が 25.6%と女性より 9.9 ポイント高くなっています。女性においては「2000 年以前」が 24.8%と男性より 15.4 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「2020 年以降」が 39.9%と後期高齢者より 27.4 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「2000 年代」が 25.6%と前期高齢者より 18.2 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「2020 年以降」が 25.0%と他より高くなっています。

問 22 で「常勤（フルタイム）」～「その他」と回答した方にお伺いします

問22－２　あなたは、自分が何歳になる頃まで働くことができると考えていますか。年齢で回答してください。（数字で記入）

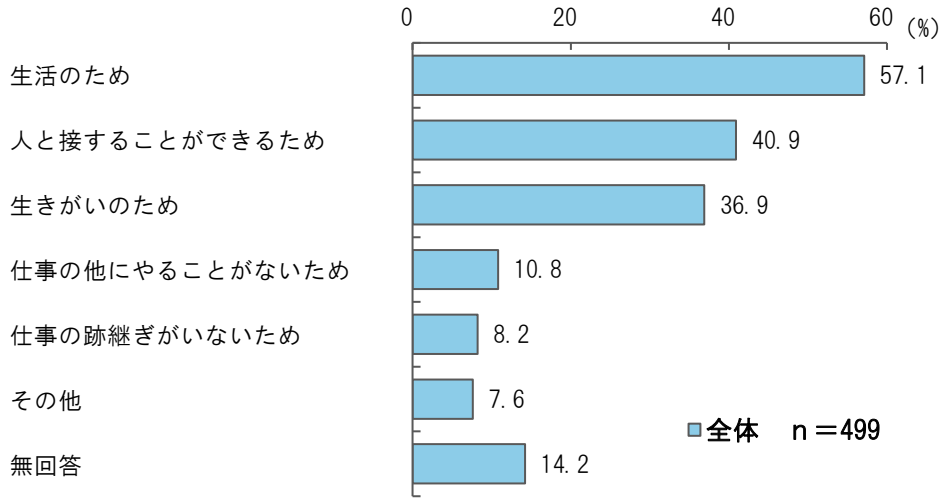


自分がこの先働くことができると考えている年齢は「70 代」が 36.5%と最も多く、次いで「80 代」が 19.6%、「90 代以上」が 3.6%となっています。

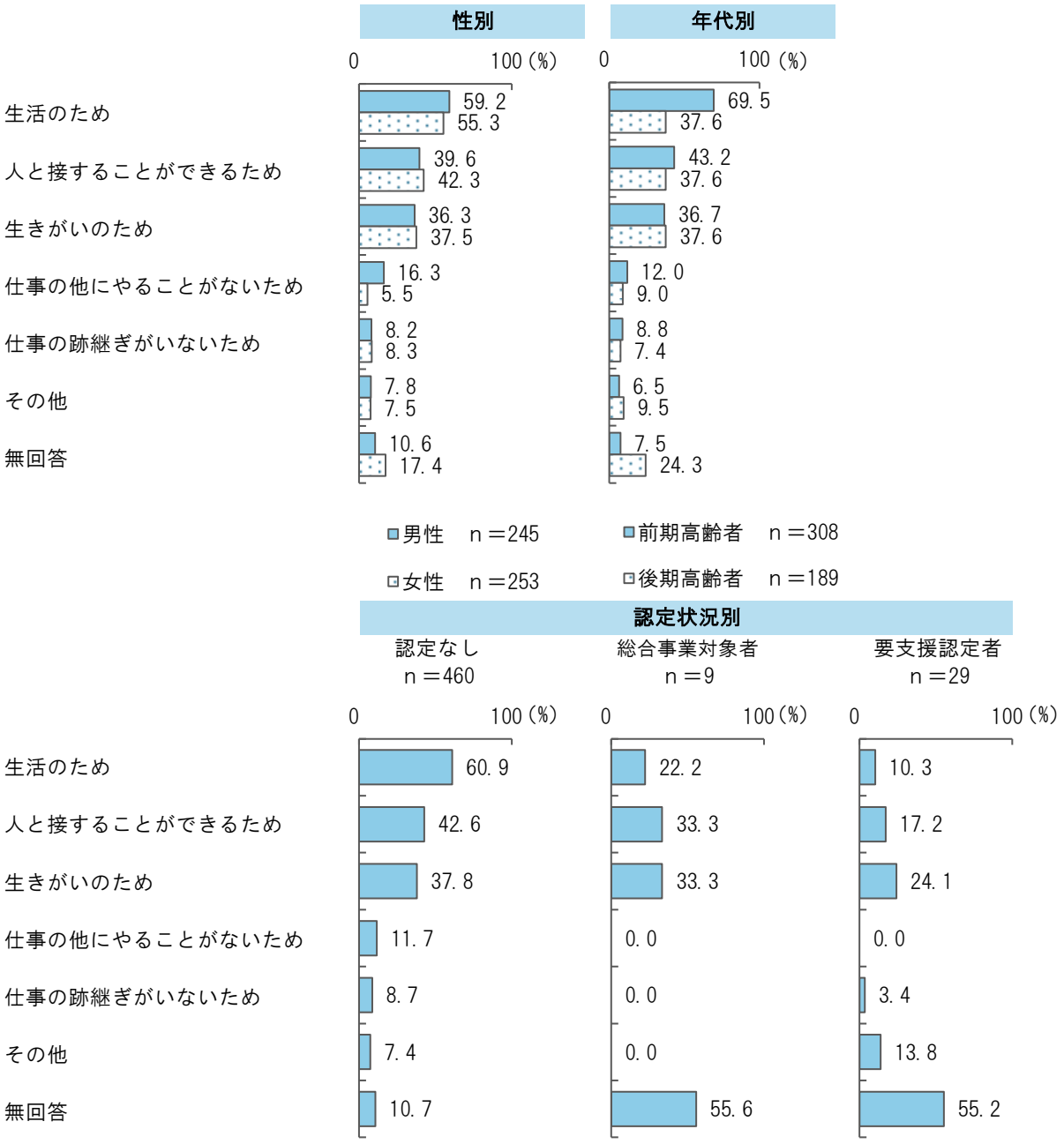
性別・年代別・認定状況別でみた結果、いずれも「無回答」の占める割合が高いため、コメントは割愛します。

問 22 で「常勤（フルタイム）」～「その他」と回答した方にお伺いします

問22－３　現在、あなたが就労している理由を教えてください。（○はいくつでも）



現在、就労している理由は「生活のため」が 57.1%と最も多く、次いで「人と接することができるため」が 40.9%、「生きがいのため」が 36.9%などとなっています。

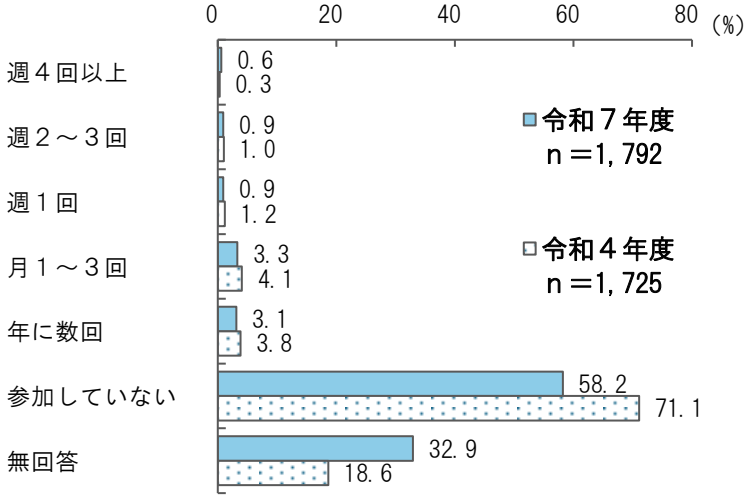


性別でみると、男性において「仕事の他にやることがないため」が 16.3%と女性より 10.8 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「生活のため」が 69.5%と後期高齢者より 31.9 ポイント高くなっています。

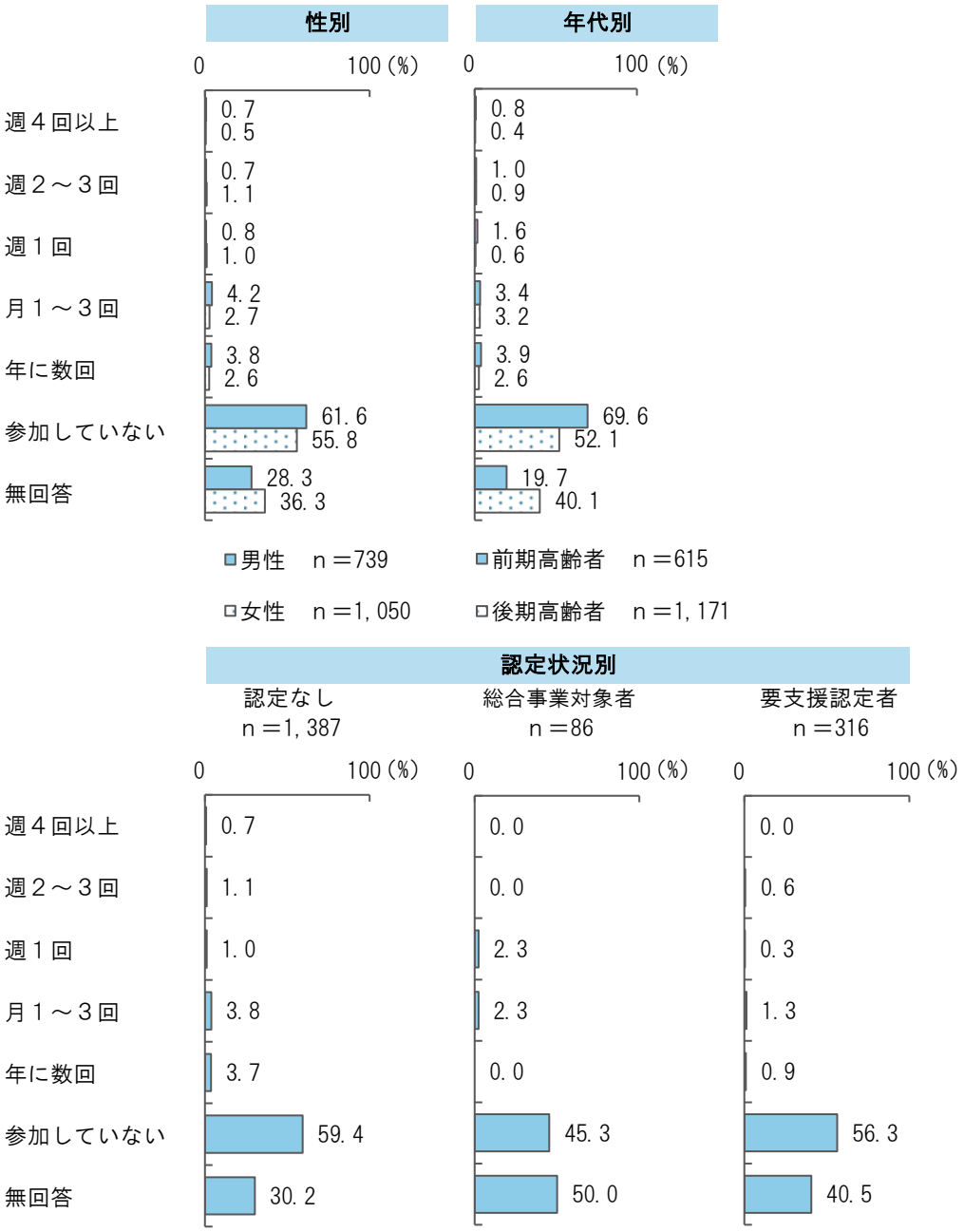
地域での活動について

問 23　あなたは、次の①～⑧の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
（○は①～⑧それぞれ１つ）

①ボランティアのグループ

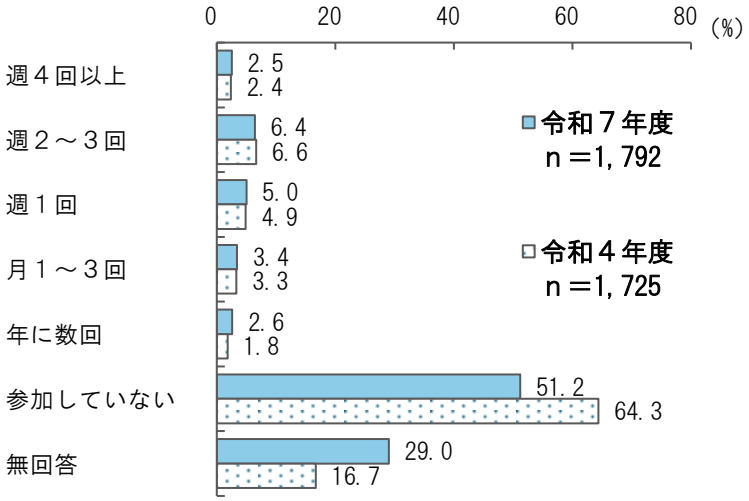


ボランティアのグループへの参加頻度は「参加していない」が 58.2%と最も多く、次いで「月１～３回」が 3.3%、「年に数回」が 3.1%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が 12.9 ポイント減少しています。

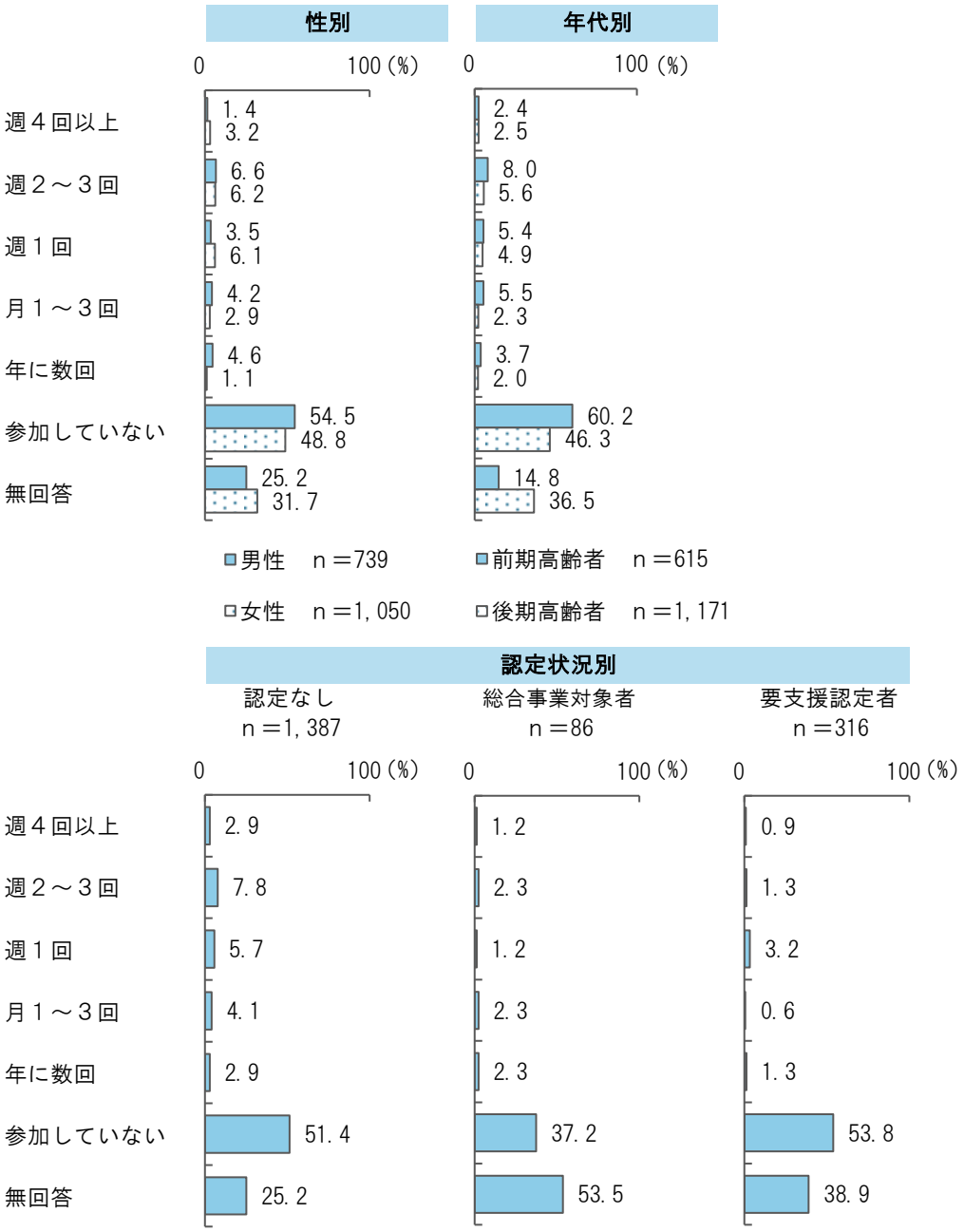


性別でみると、男性において「参加していない」が 61.6%と女性より 5.8 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 69.6%と後期高齢者より 17.5 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、大きな差異はありません。

②スポーツ関係のグループやクラブ

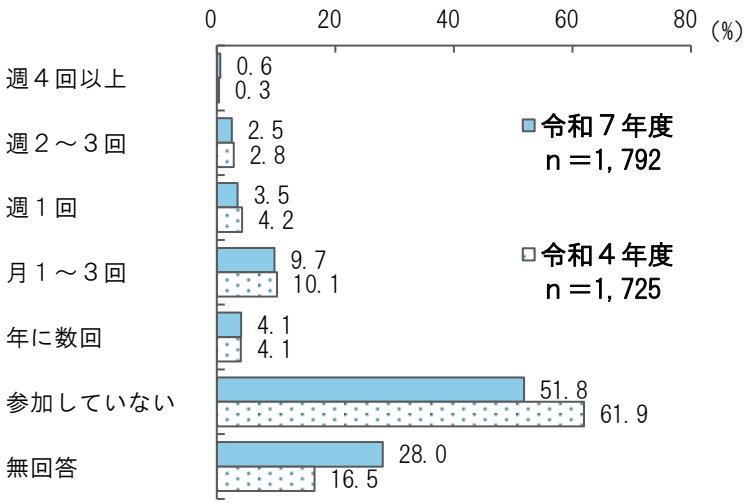


スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度は「参加していない」が51.2%と最も多く、次いで「週２～３回」が6.4%、「週１回」が5.0%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が13.1ポイント減少しています。

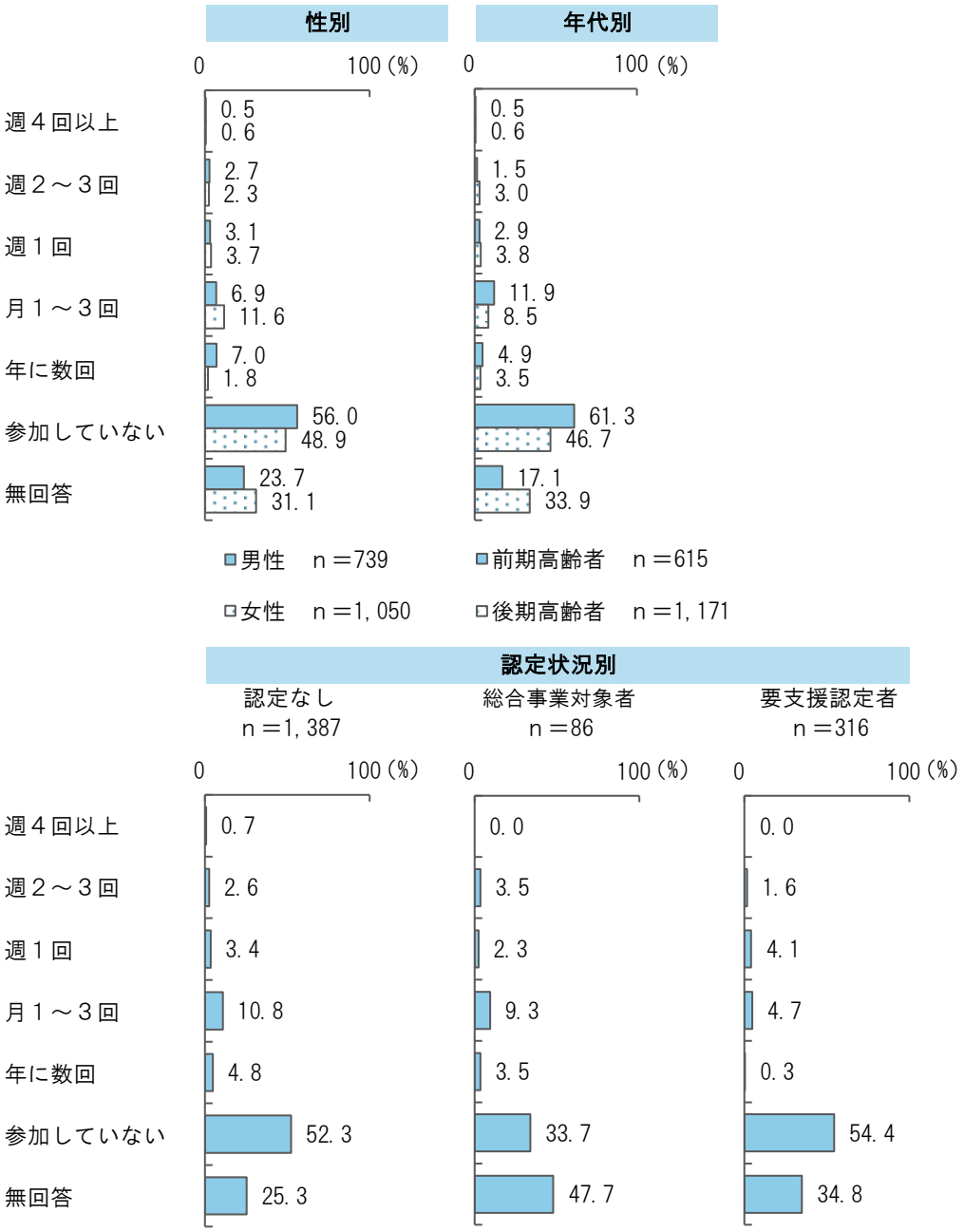


性別でみると、男性において「参加していない」が 54.5%と女性より 5.7 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 60.2%と後期高齢者より 13.9 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、認定なしにおいて「週２～３回」が 7.8%と他より高くなっています。

③趣味関係のグループ

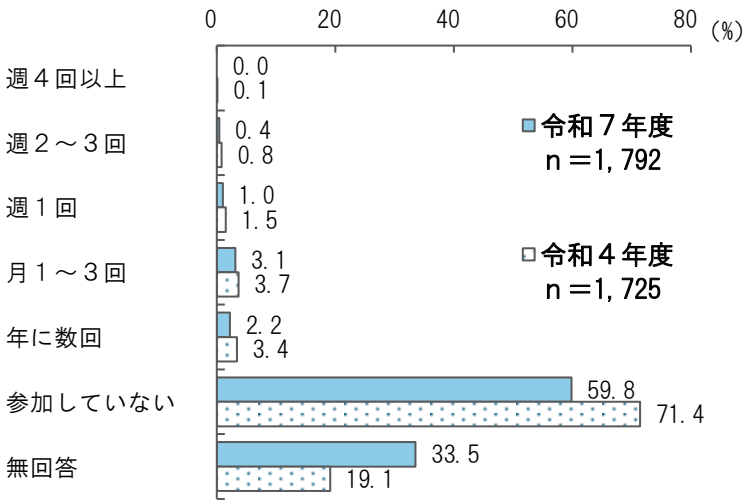


趣味関係のグループへの参加頻度は「参加していない」が51.8%と最も多く、次いで「月１～３回」が9.7%、「年に数回」が4.1%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が10.1ポイント減少しています。

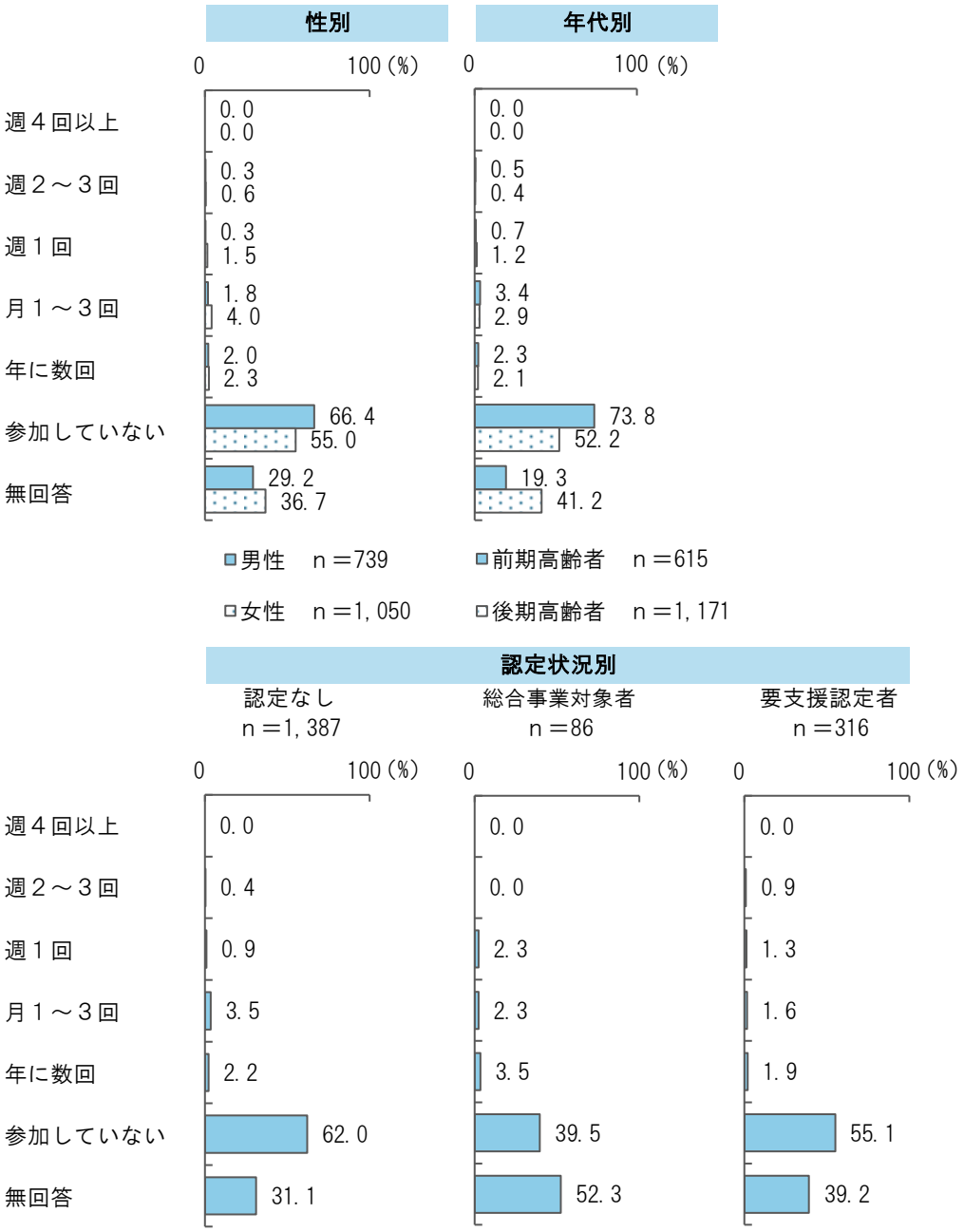


性別でみると、男性において「参加していない」が 56.0%女性より 7.1 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 61.3%と後期高齢者より 14.6 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、大きな差異はありません。

④学習・教養サークル

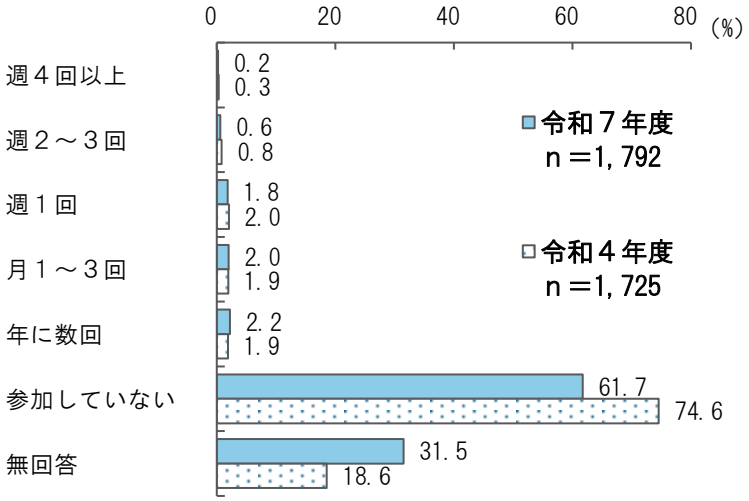


学習・教養サークルへの参加頻度は「参加していない」が59.8%と最も多く、次いで「月１～３回」が3.1%、「年に数回」が2.2%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が11.6ポイント減少しています。

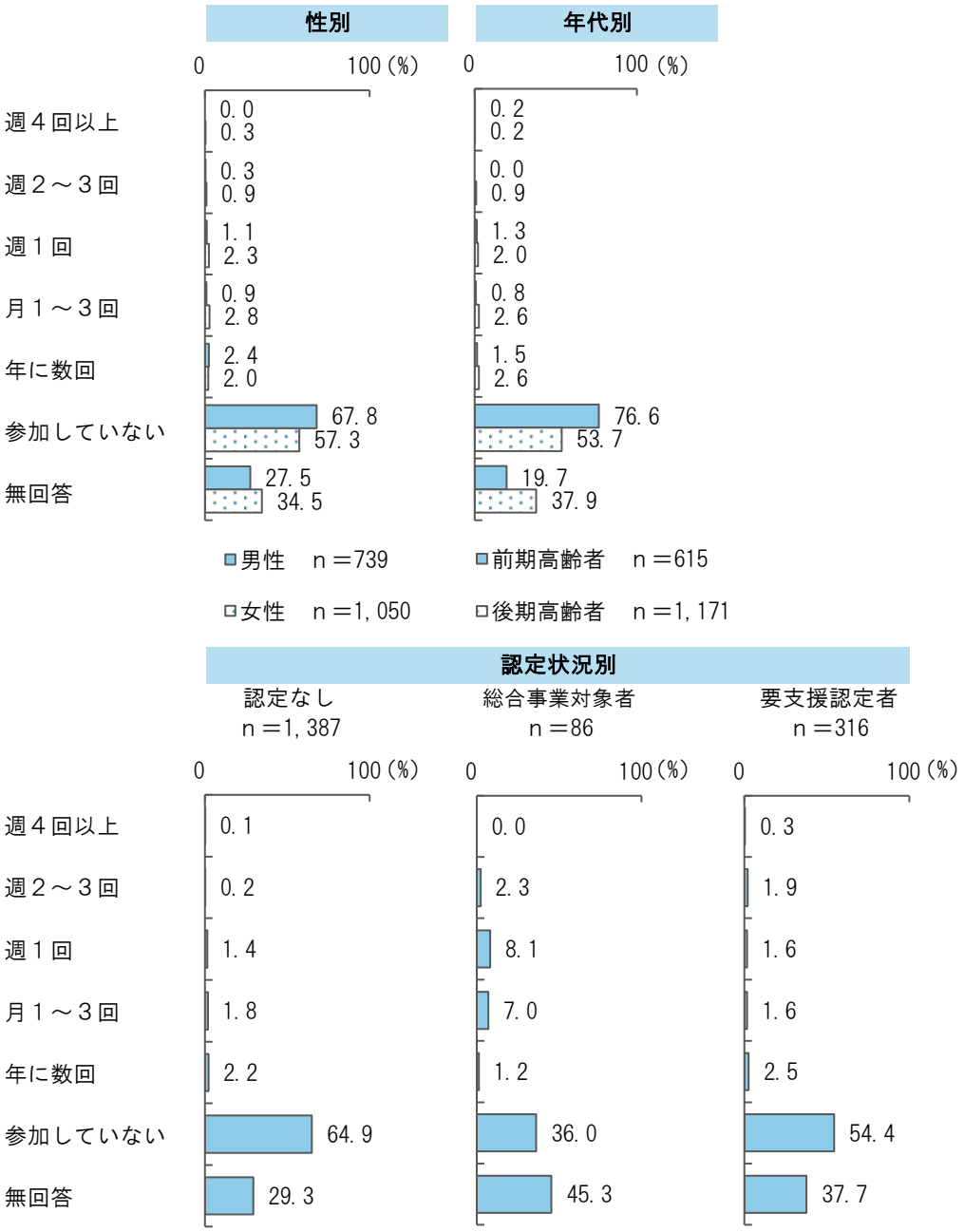


性別でみると、男性において「参加していない」が 66.4%と女性より 11.4 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 73.8%と後期高齢者より 21.6 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、認定なしにおいて「参加していない」が 62.0%と他より高くなっています。

⑤地区の公民館などで行われている介護予防のための通いの場



地区の公民館などで行われている介護予防のための通いの場への参加頻度は「参加していない」が 61.7%と最も多く、次いで「年に数回」が 2.2%、「月１～３回」が 2.0%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が 12.9 ポイント減少しています。

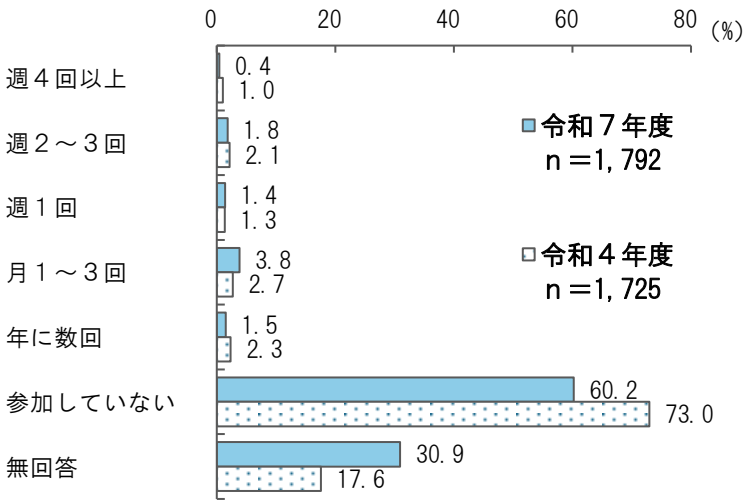


性別でみると、男性において「参加していない」が 67.8%と女性より 10.5 ポイント高くなっています。

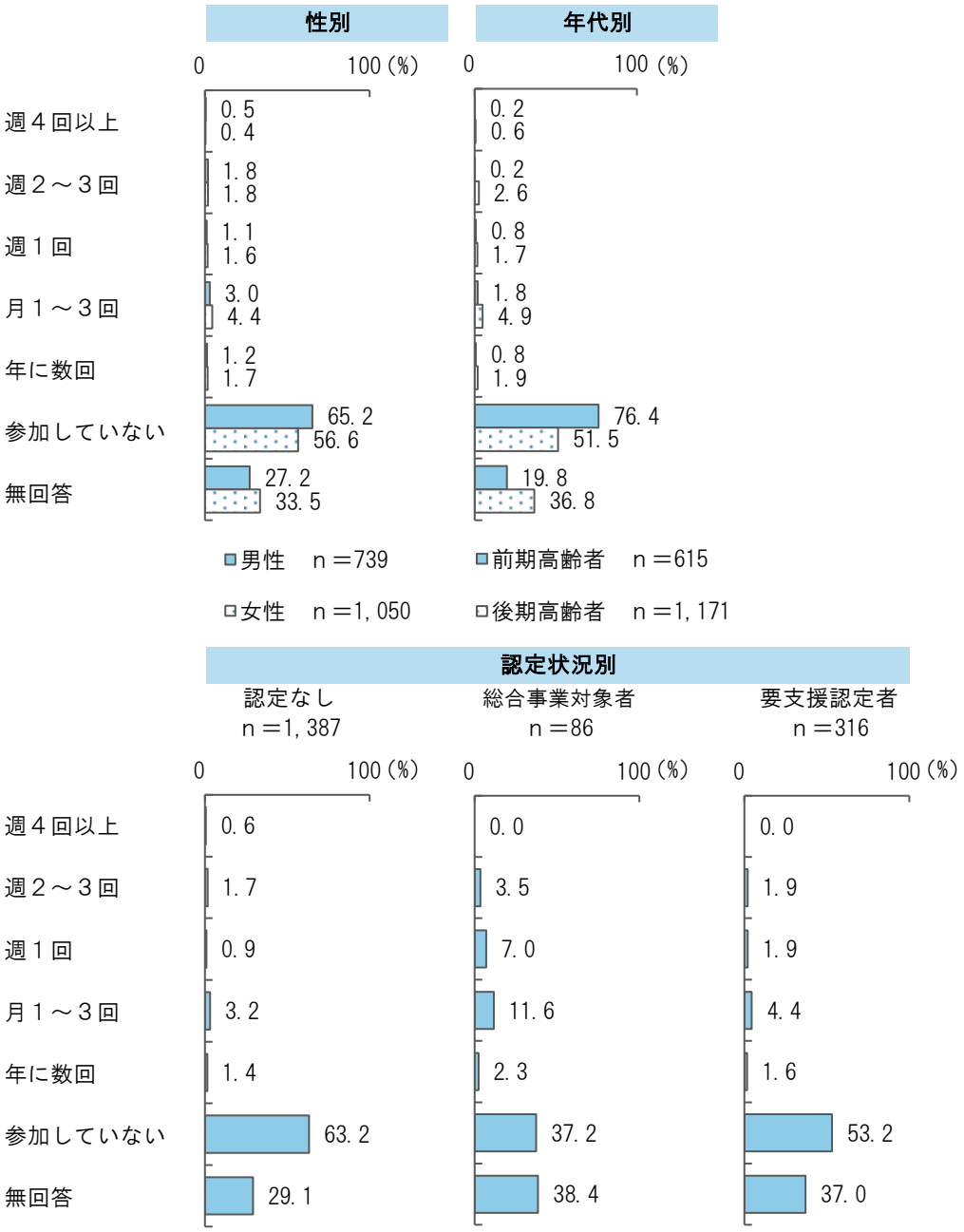
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 76.6%と後期高齢者より 22.9 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「参加していない」が 64.9%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「週１回」「月１～３回」が他より高くなっています。

⑥シニアクラブ



シニアクラブへの参加頻度は「参加していない」が 60.2%と最も多く、次いで「月１～３回」が 3.8%、「週２～３回」が 1.8%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が 12.8 ポイント減少しています。

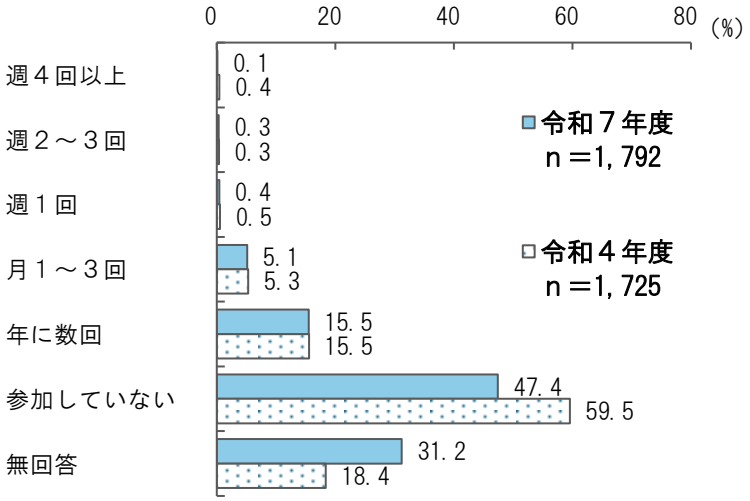


性別でみると、男性において「参加していない」が 65.2%と女性より 8.6 ポイント高くなっています。

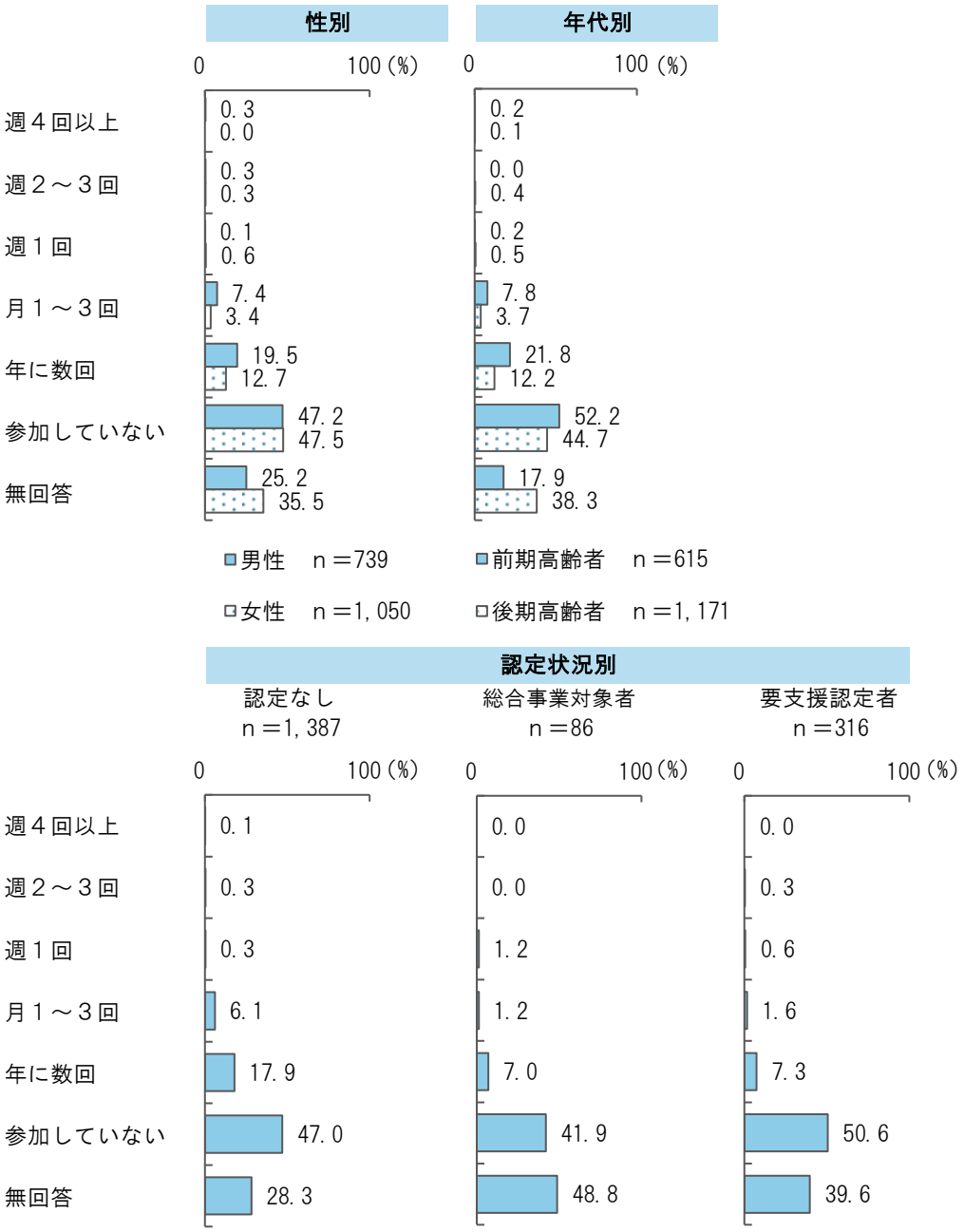
年代別でみると、前期高齢者において「参加していない」が 76.4%と後期高齢者より 24.9 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「参加していない」が 63.2%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「週１回」「月１～３回」が他より高くなっています。

⑦町内会・自治会

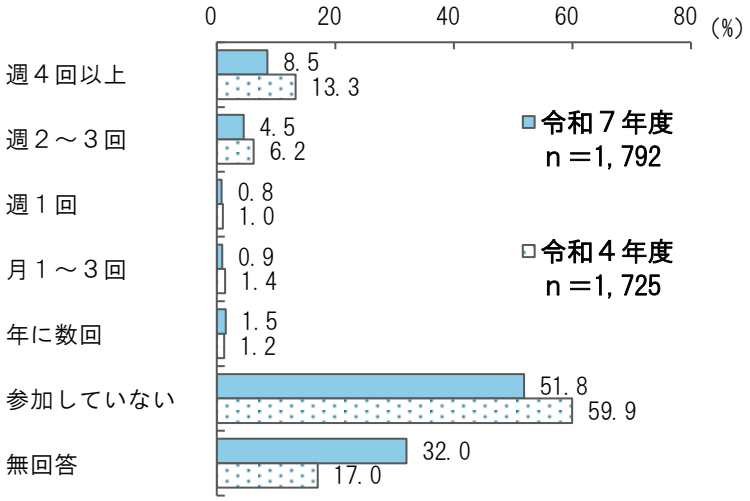


町内会・自治会への参加頻度は「参加していない」が47.4%と最も多く、次いで「年に数回」が15.5%、「月１～３回」が5.1%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が12.1ポイント減少しています。

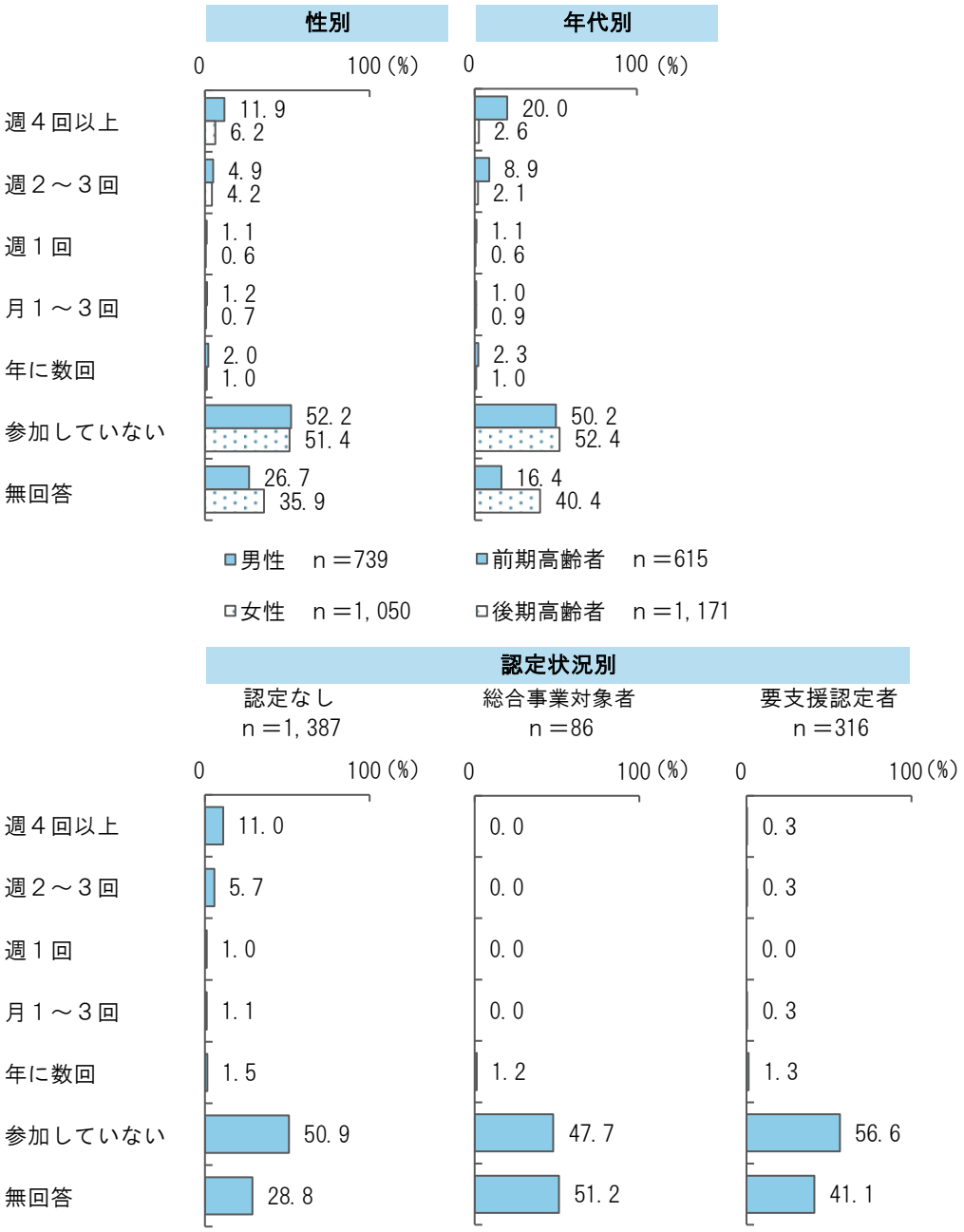


性別でみると、男性において「年に数回」が 19.5%と女性より 6.8 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「年に数回」が 21.8%と後期高齢者より 9.6 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、認定なしにおいて「年に数回」が 17.9%と他より高くなっています。

⑧収入のある仕事



収入のある仕事への参加頻度は「参加していない」が 51.8%と最も多く、次いで「週４回以上」が 8.5%、「週２～３回」が 4.5%などとなっています。令和４年度と比較すると「参加していない」が 8.1 ポイント減少しています。



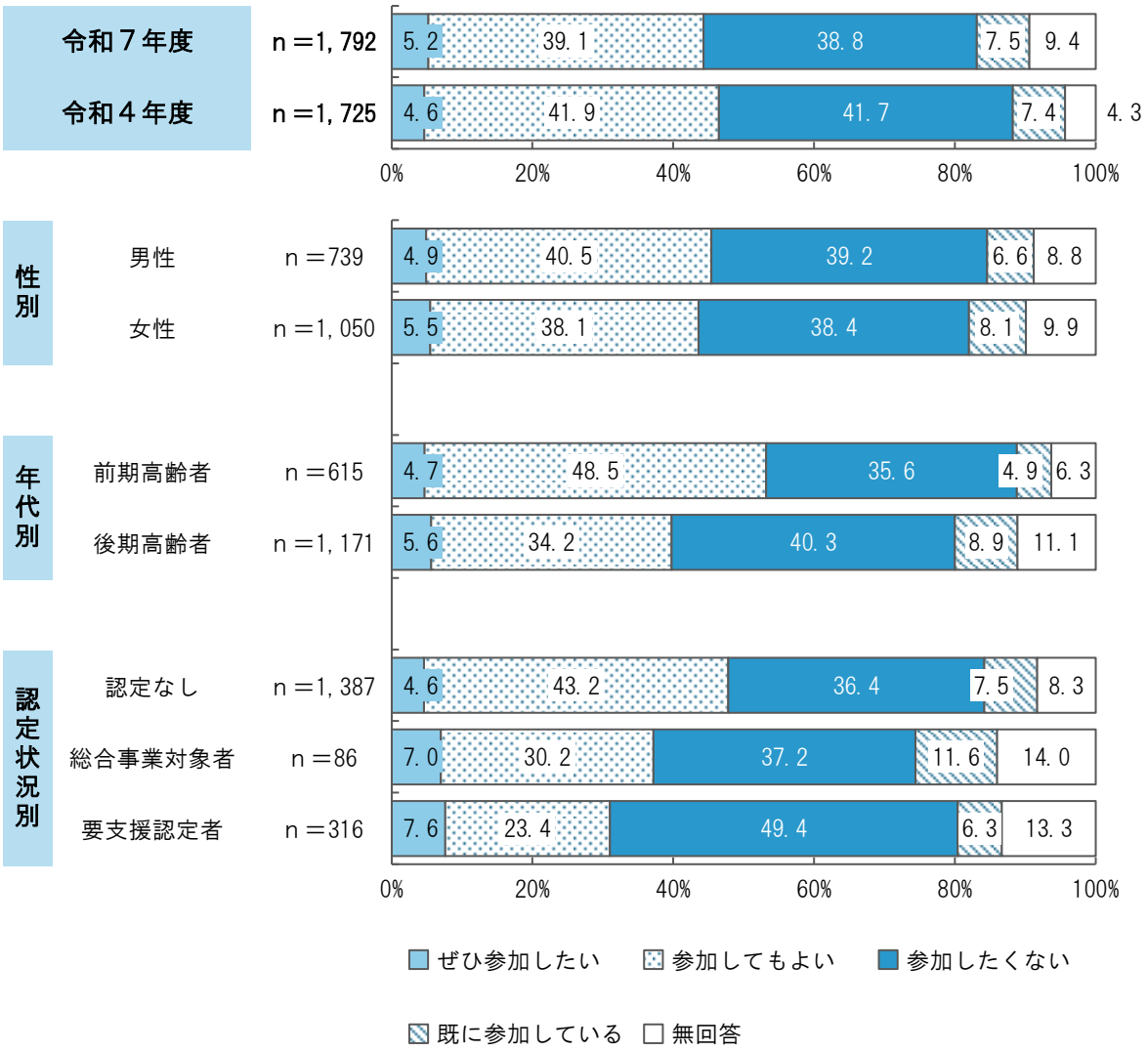
性別でみると、男性において「週４回以上」が 11.9%と女性より 5.7 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「週４回以上」が 20.0%と後期高齢者より 17.4 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「週４回以上」「週２～３回」が他より高くなっています。要支援認定者においては「参加していない」が 56.6%と他より高くなっています。

問24　地域住民の有志によって健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行い、いきいきした地域づくりを進めることについて、あなたのお考えを教えてください。

（１）その活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は１つ）



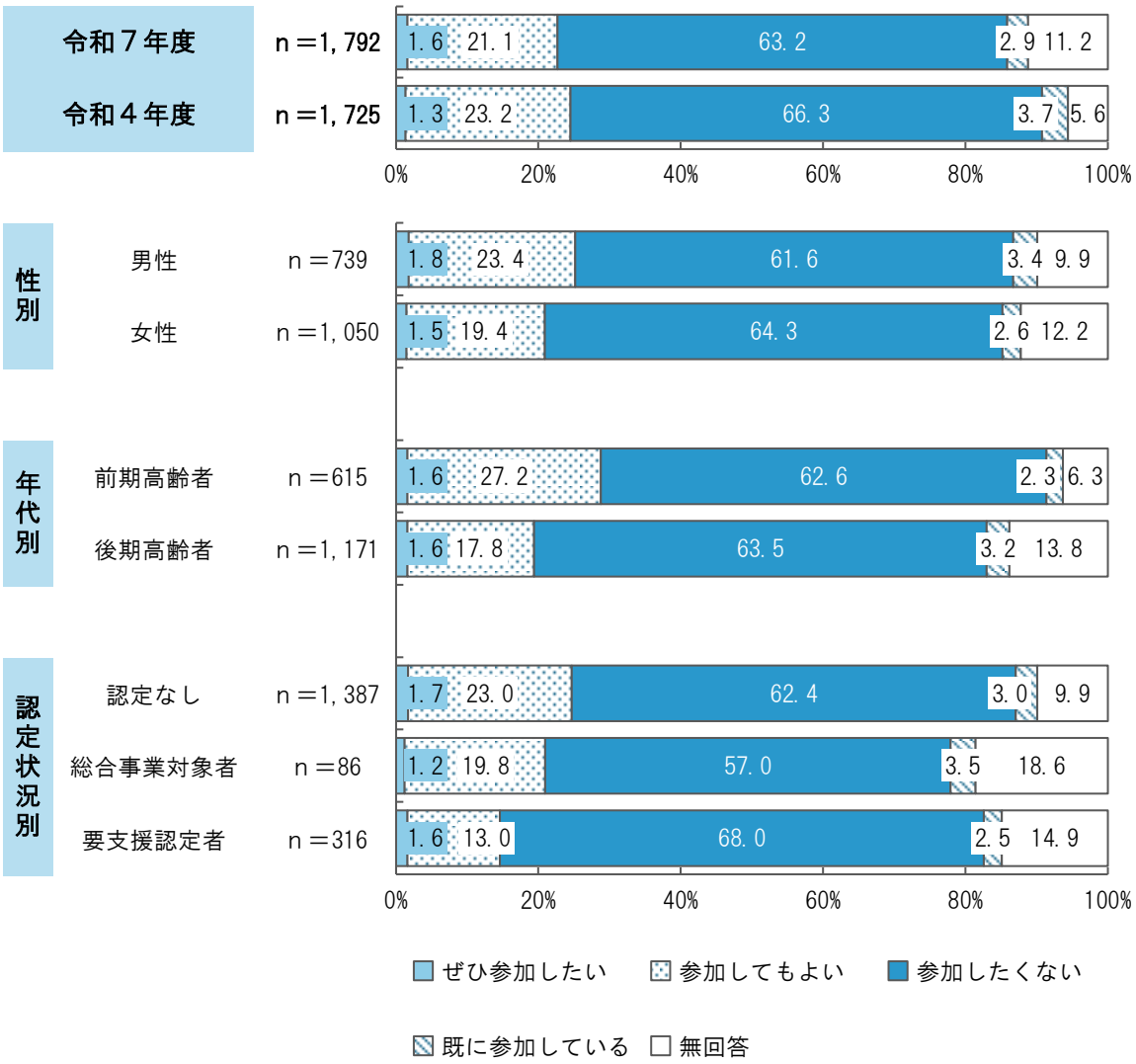
地域住民の有志による地域づくり活動に参加者として参加してみたいかは「参加してもよい」が 39.1%と最も多く、次いで「参加したくない」が 38.8%、「既に参加している」が 7.5%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「参加してもよい」が 48.5%と後期高齢者より 14.3 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「参加してもよい」が 43.2%と他より高くなっています。要支援認定者においては「参加したくない」が 49.4%と他より高くなっています。

（２）その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。
（○は１つ）



地域住民の有志による地域づくり活動に企画・運営として参加してみたいかは「参加したくない」が 63.2%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 21.1%、「既に参加している」が 2.9%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

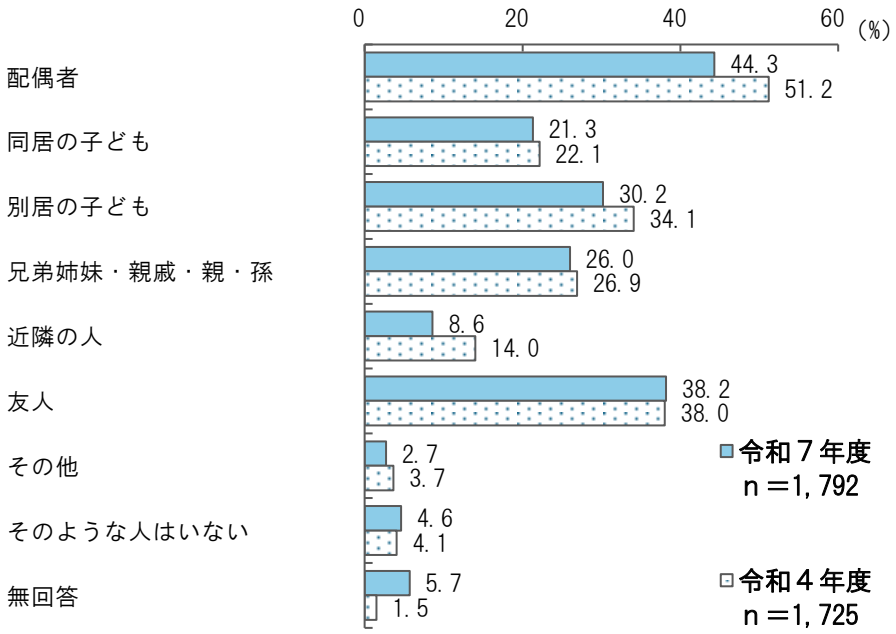
性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「参加してもよい」が 27.2%と後期高齢者より 9.4 ポイント高くなっています。

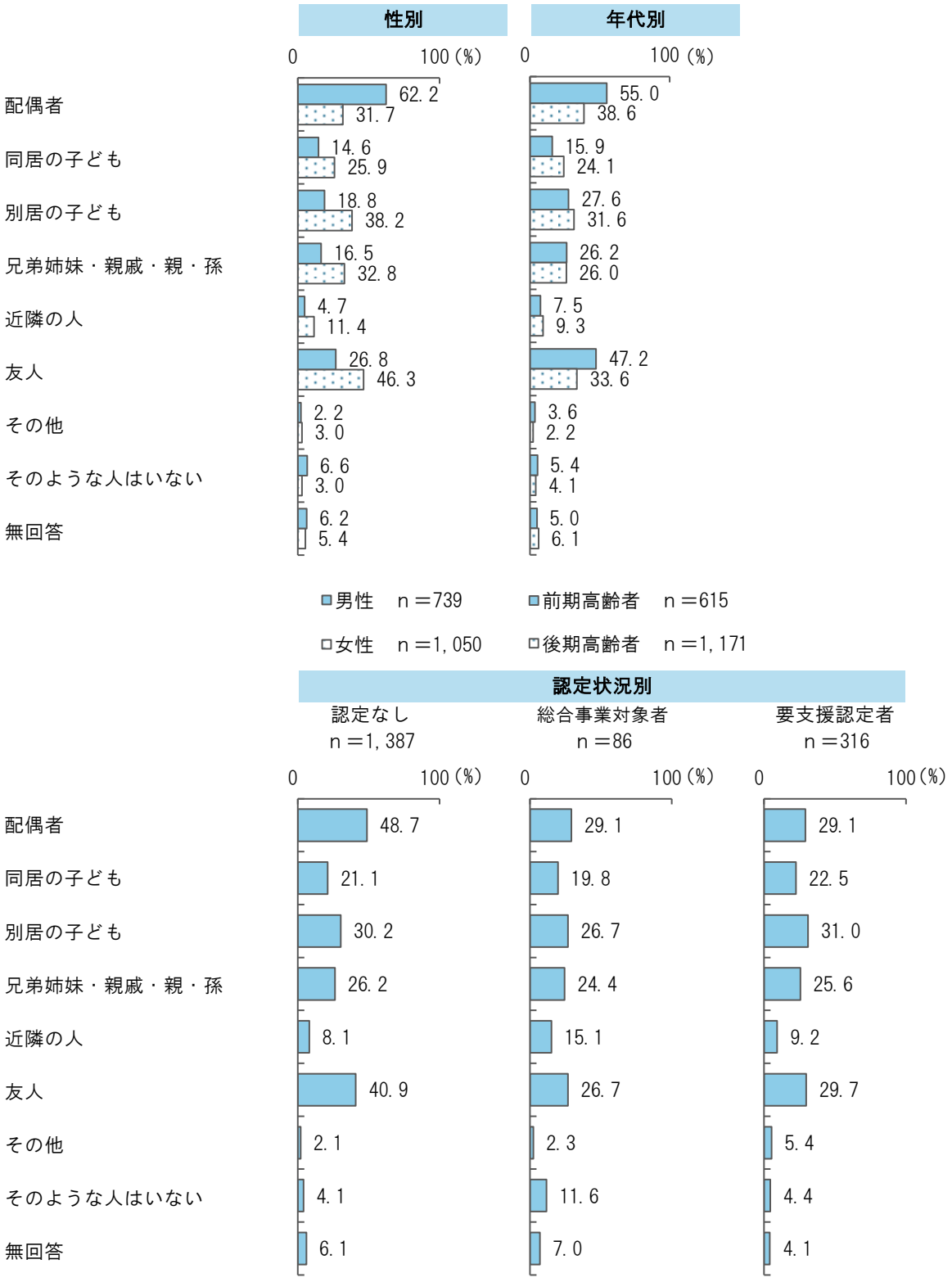
認定状況別でみると、要支援認定者において「参加したくない」が 68.0%と他より高くなっています。

「たすけあい」について

問 25　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも）



心配事や愚痴を聞いてくれる人は「配偶者」が 44.3%と最も多く、次いで「友人」が 38.2%、「別居の子ども」が 30.2%などとなっています。令和４年度と比較すると「配偶者」「近隣の人」が減少しています。

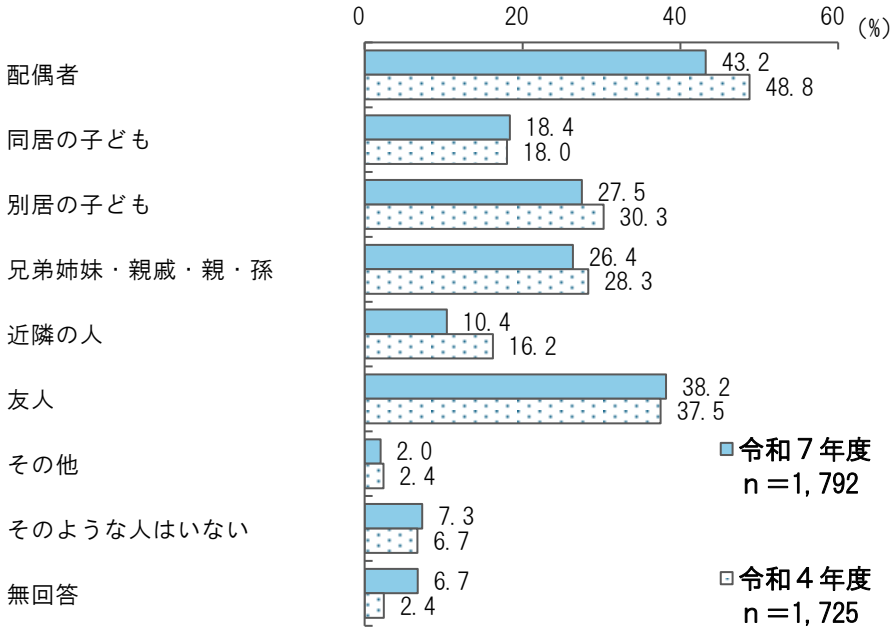


性別でみると、男性において「配偶者」が 62.2%と女性より 30.5 ポイント高くなっています。女性においては「友人」が 46.3%と男性より 19.5 ポイント高くなっています。

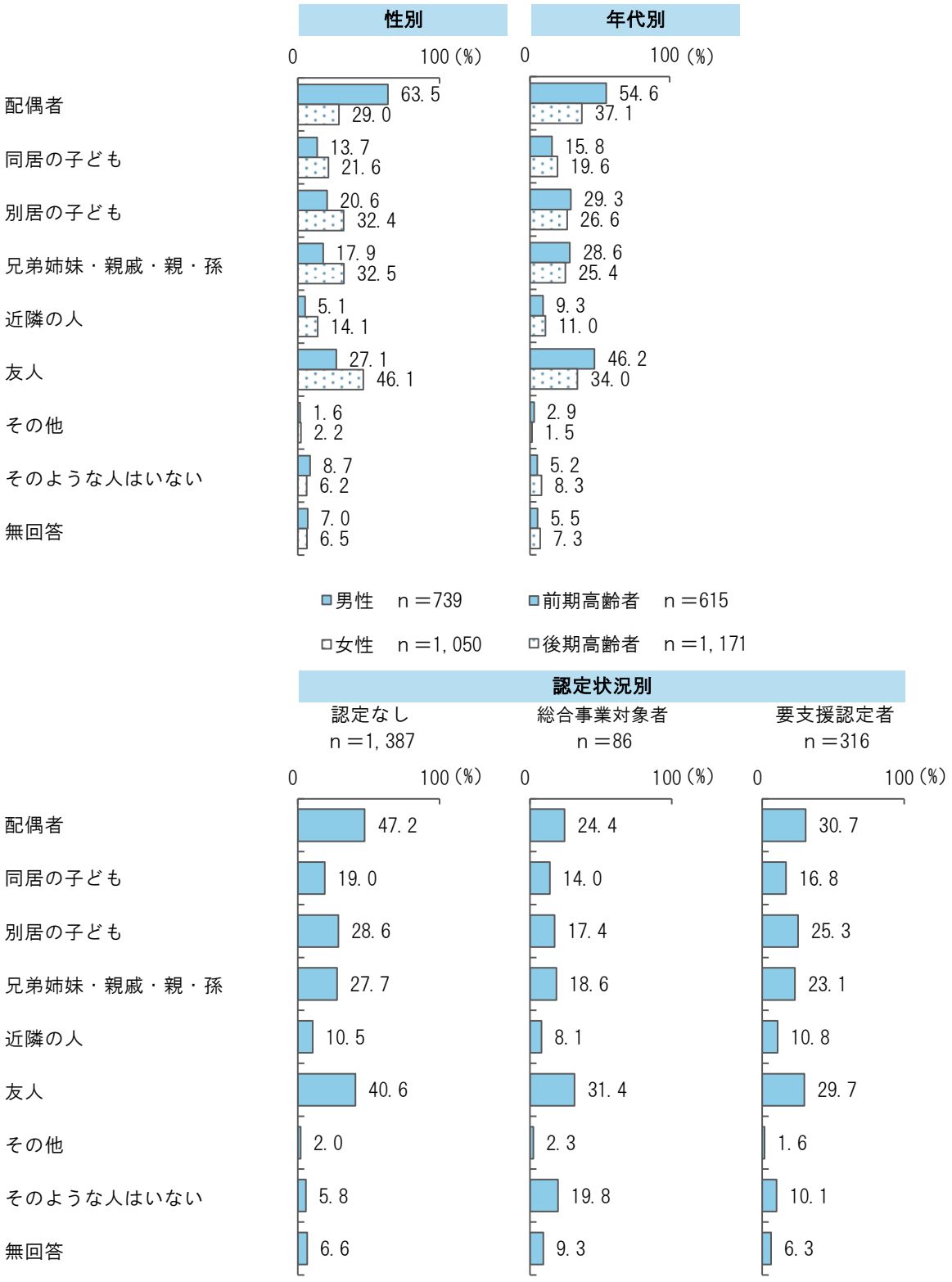
年代別でみると、前期高齢者において「配偶者」が 55.0%と後期高齢者より 16.4 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「同居の子ども」が 24.1%と前期高齢者より 8.2 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「配偶者」「友人」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「近隣の人」「そのような人はいない」が他より高くなっています。

問26　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。
（○はいくつでも）



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人は「配偶者」が43.2%と最も多く、次いで「友人」が38.2%、「別居の子ども」が27.5%などとなっています。令和４年度と比較すると「配偶者」「近隣の人」が減少しています。

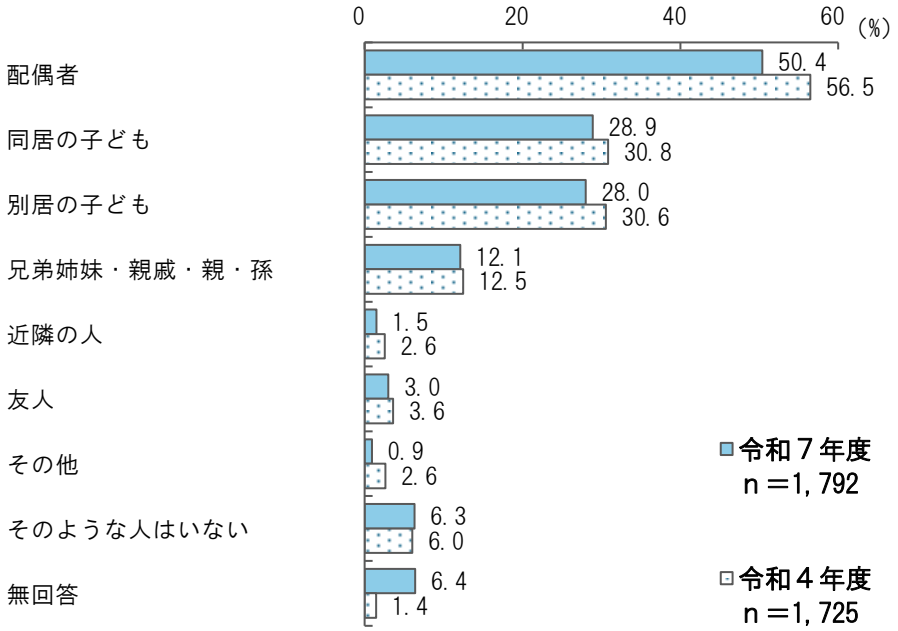


性別でみると、男性において「配偶者」が 63.5%と女性より 34.5 ポイント高くなっています。女性においては「友人」が 46.1%と男性より 19.0 ポイント高くなっています。

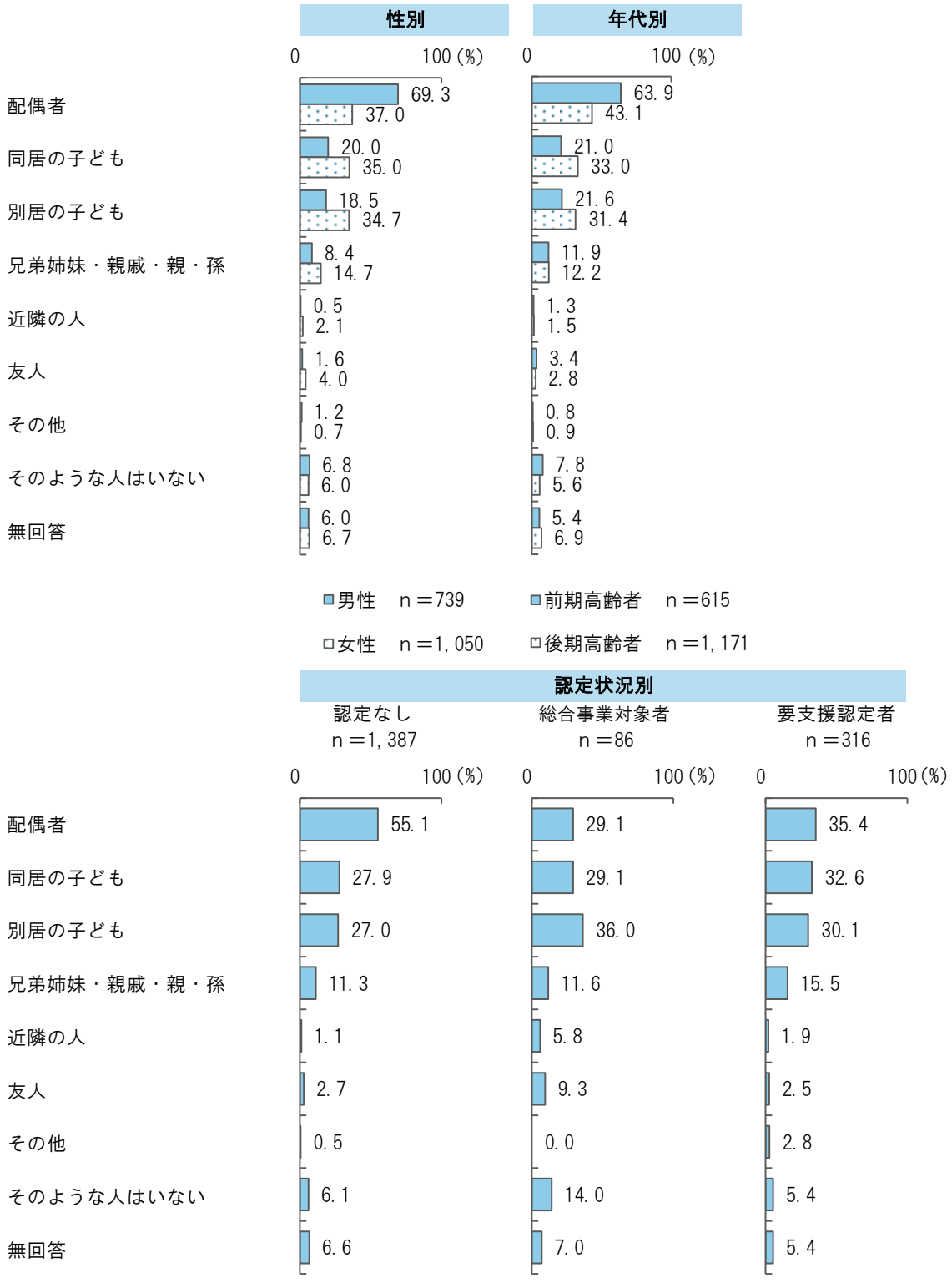
年代別でみると、前期高齢者において「配偶者」が 54.6%と後期高齢者より 17.5 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「配偶者」「友人」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「そのような人はいない」が 19.8%と他より高くなっています。

問27　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
（○はいくつでも）



病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人は「配偶者」が 50.4%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 28.9%、「別居の子ども」が 28.0%などとなっています。令和４年度と比較すると「配偶者」が 6.1 ポイント減少しています。

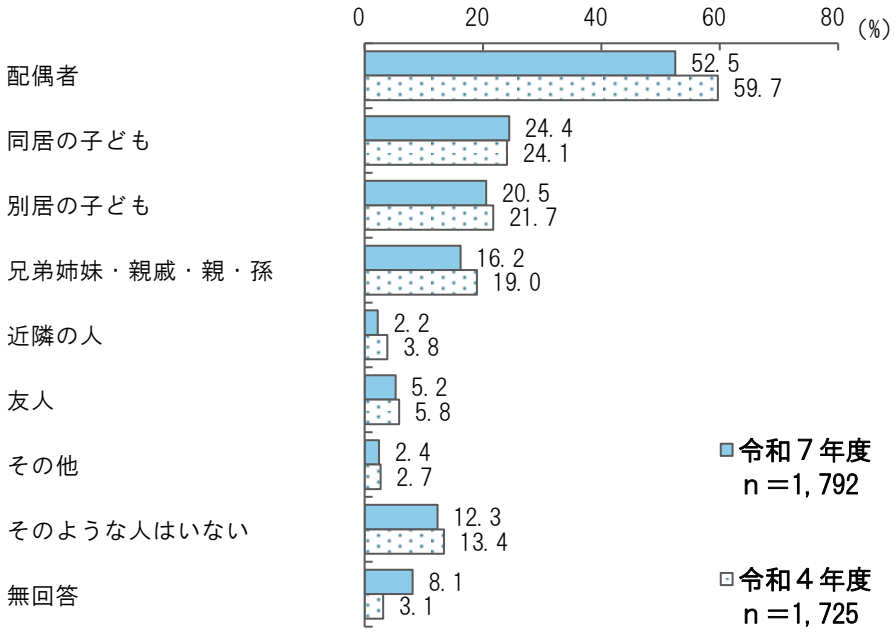


性別でみると、男性において「配偶者」が 69.3%と女性より 32.3 ポイント高くなっています。女性においては「別居の子ども」が 34.7%と男性より 16.2 ポイント高くなっています。

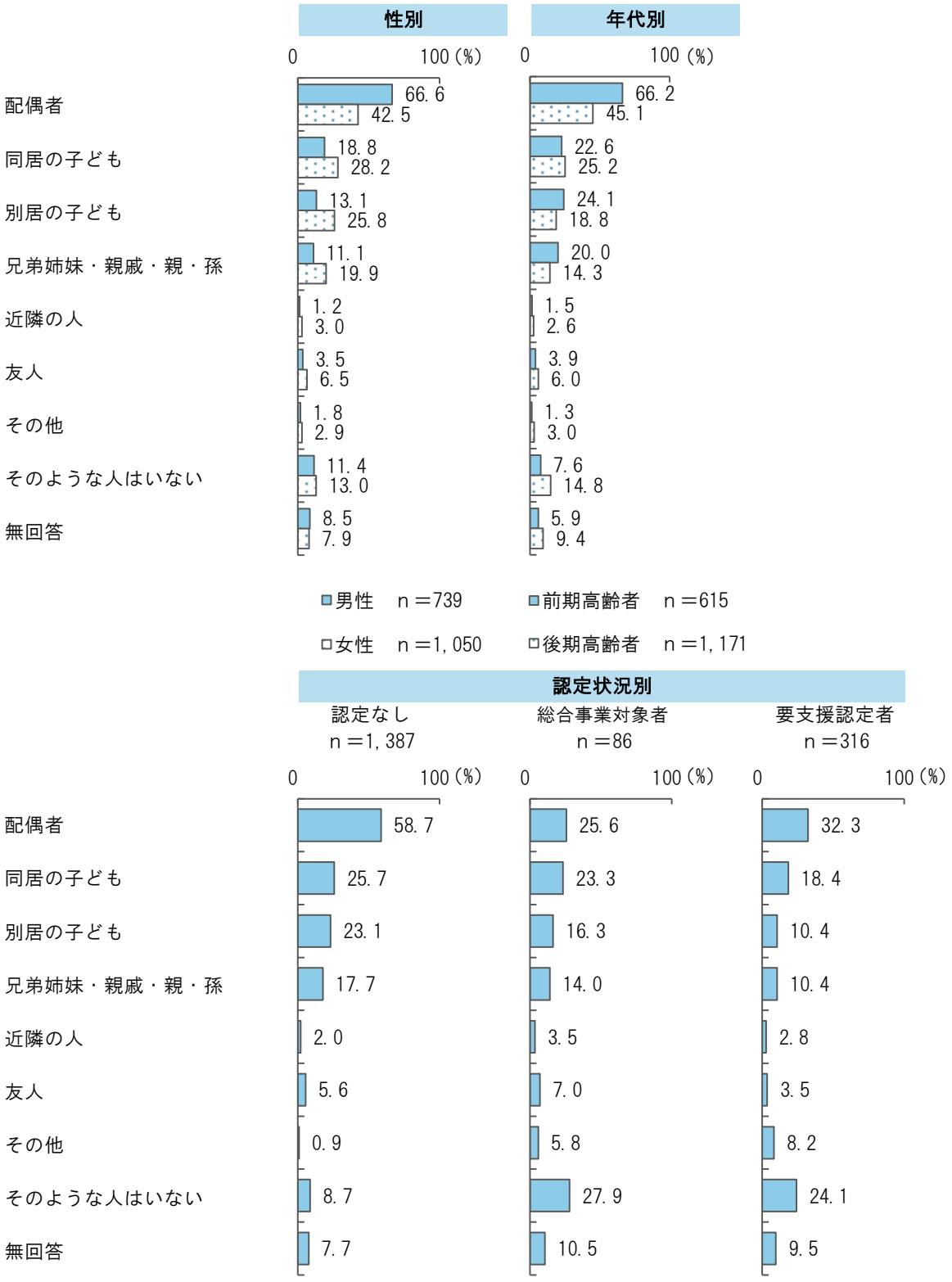
年代別でみると、前期高齢者において「配偶者」が 63.9%と後期高齢者より 20.8 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「同居の子ども」が 33.0%と前期高齢者より 12.0 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「配偶者」が 55.1%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「別居の子ども」「友人」「そのような人はいない」が他より高くなっています。

問28　反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）



病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてあげる人は「配偶者」が 52.5%と最も多く、次いで「同居の子ども」が 24.4%、「別居の子ども」が 20.5%などとなっています。令和４年度と比較すると「配偶者」が 7.2 ポイント減少しています。



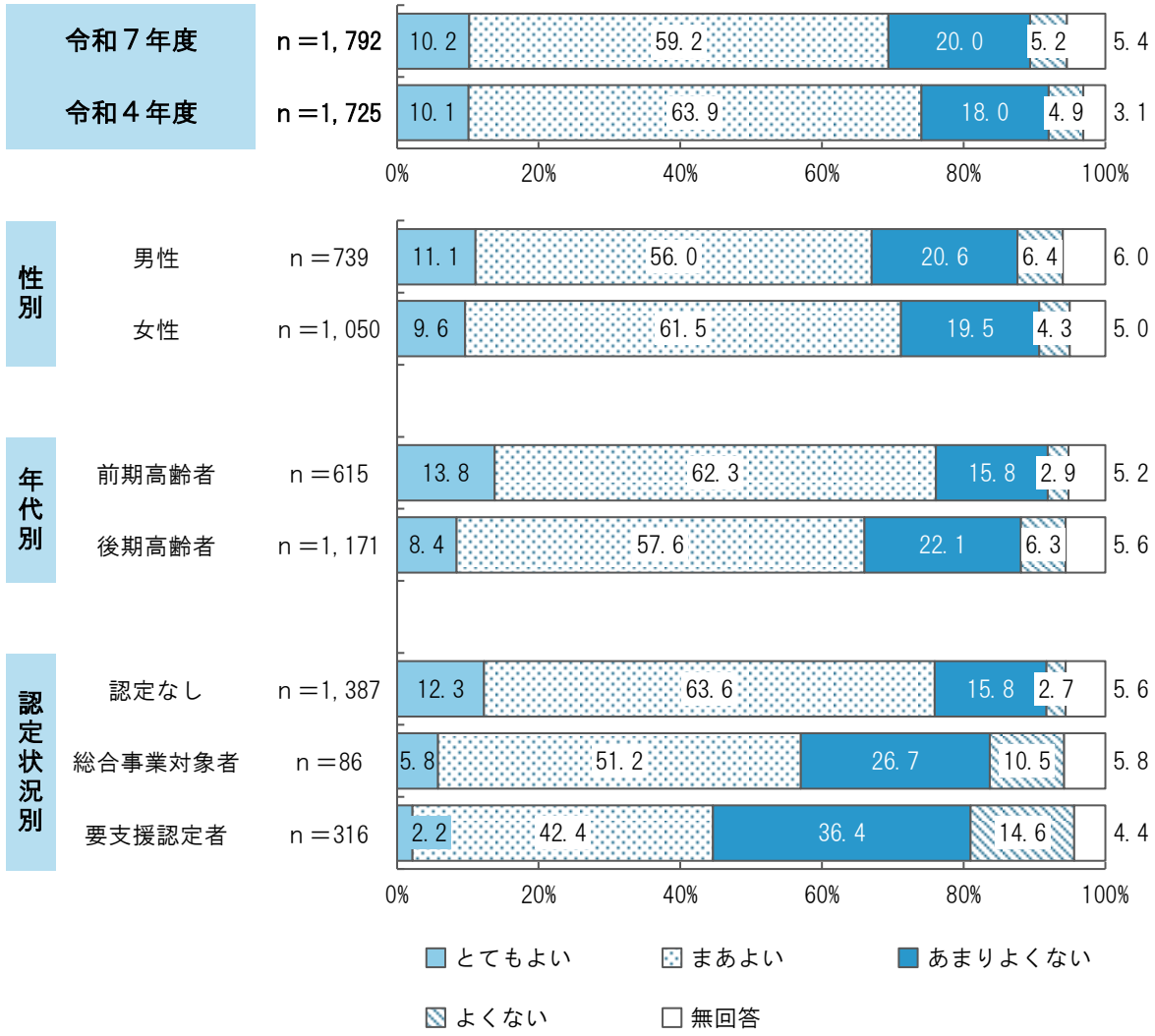
性別でみると、男性において「配偶者」が66.6%と女性より24.1ポイント高くなっています。女性においては「別居の子ども」が男性より12.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「配偶者」が66.2%と後期高齢者より21.1ポイント高くなっています。後期高齢者においては「そのような人はいない」が14.8%と前期高齢者より7.2ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「配偶者」「別居の子ども」が他より高くなっています。

健康について

問 29　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は１つ）



※『よい』：「とてもよい」と「まあよい」を合わせた割合
　『よくない』：「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合

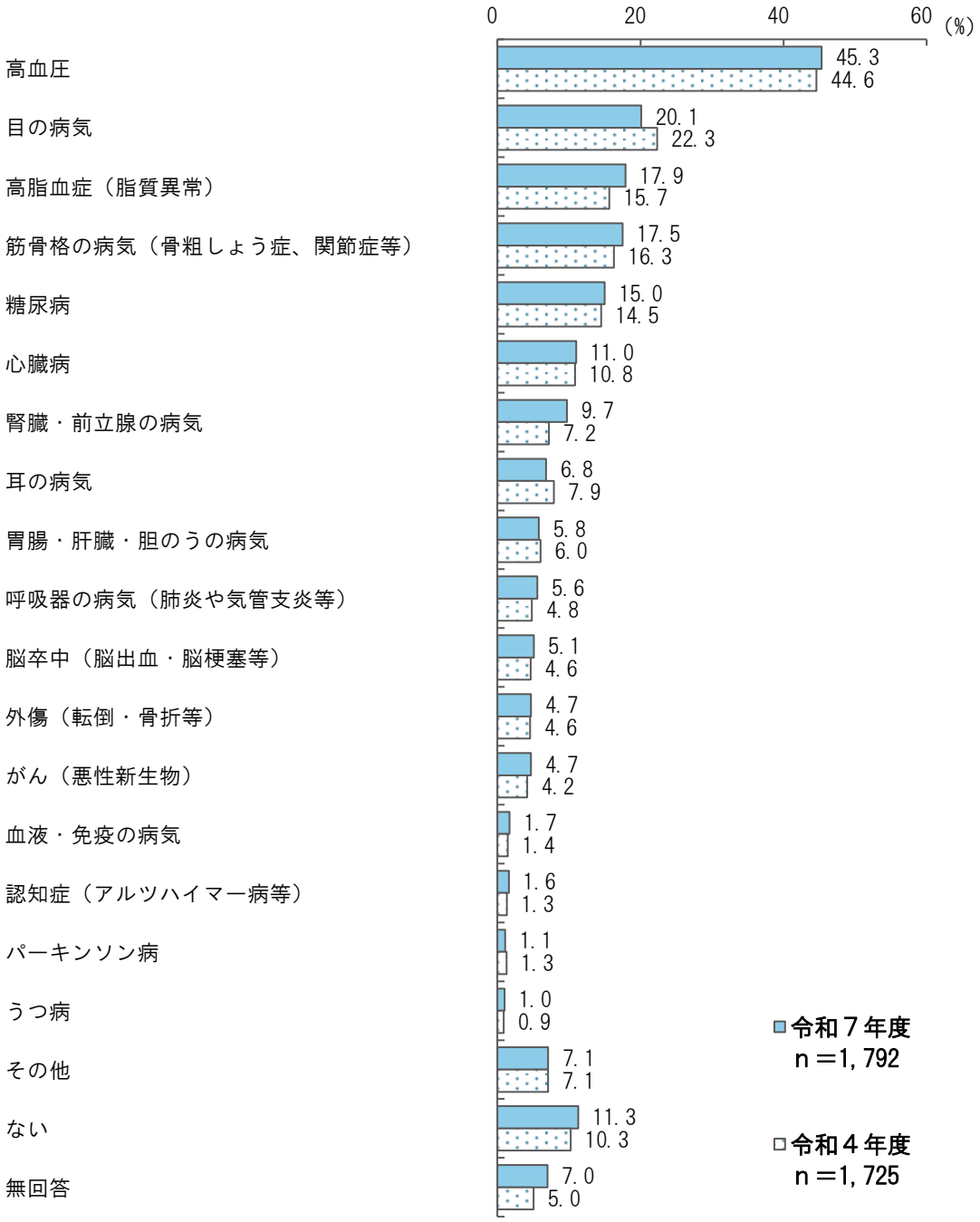
現在の健康状態は「まあよい」が 59.2%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 20.0%、「とてもよい」が 10.2%などとなっています。また、『よい』は 69.4%、『よくない』は 25.2%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において「まあよい」が 61.5%と男性より 5.5 ポイント高くなっています。

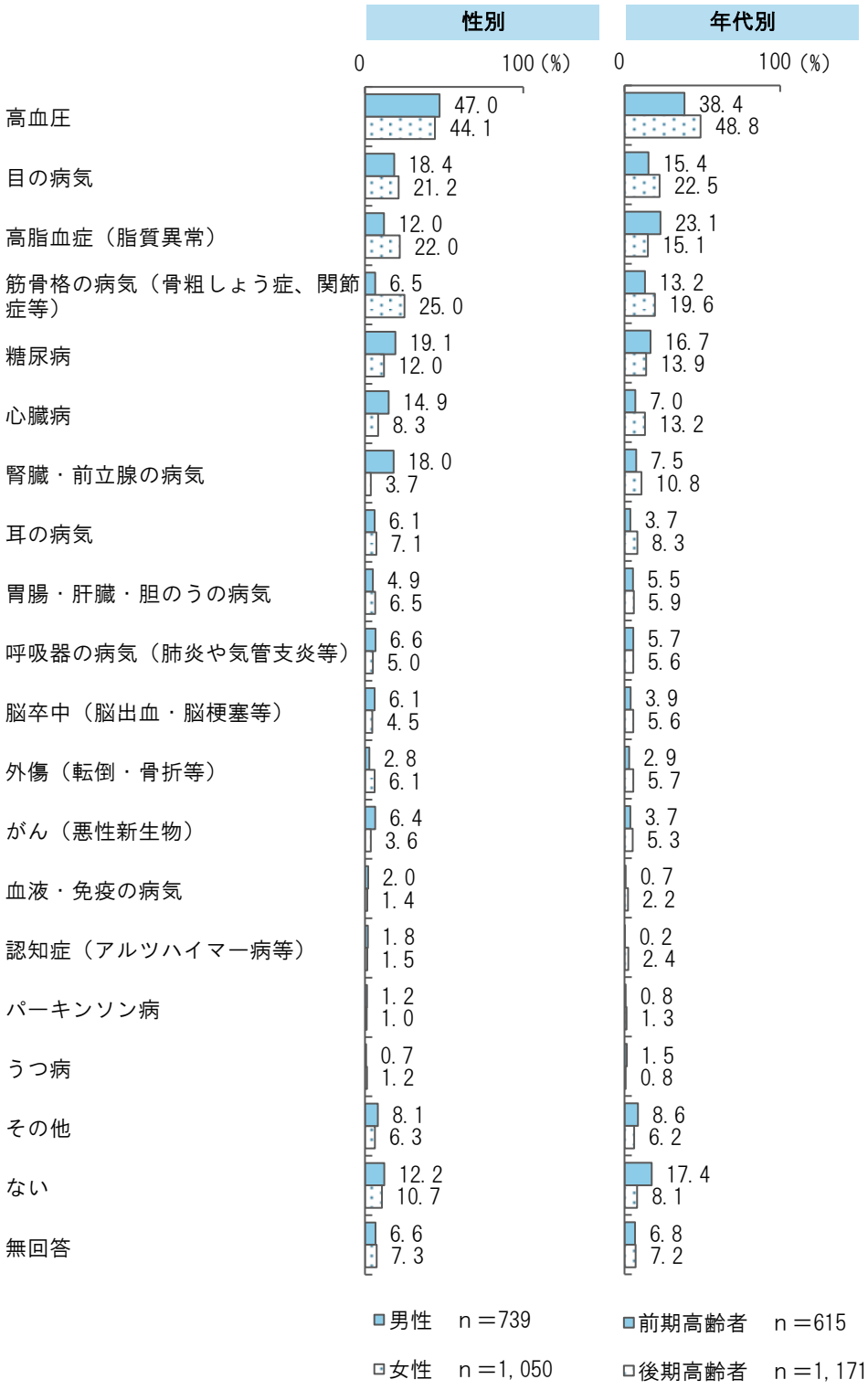
年代別でみると、前期高齢者において『よい』が 76.1%と後期高齢者より 10.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて『よい』が 75.9%と他より高くなっています。

問30　現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

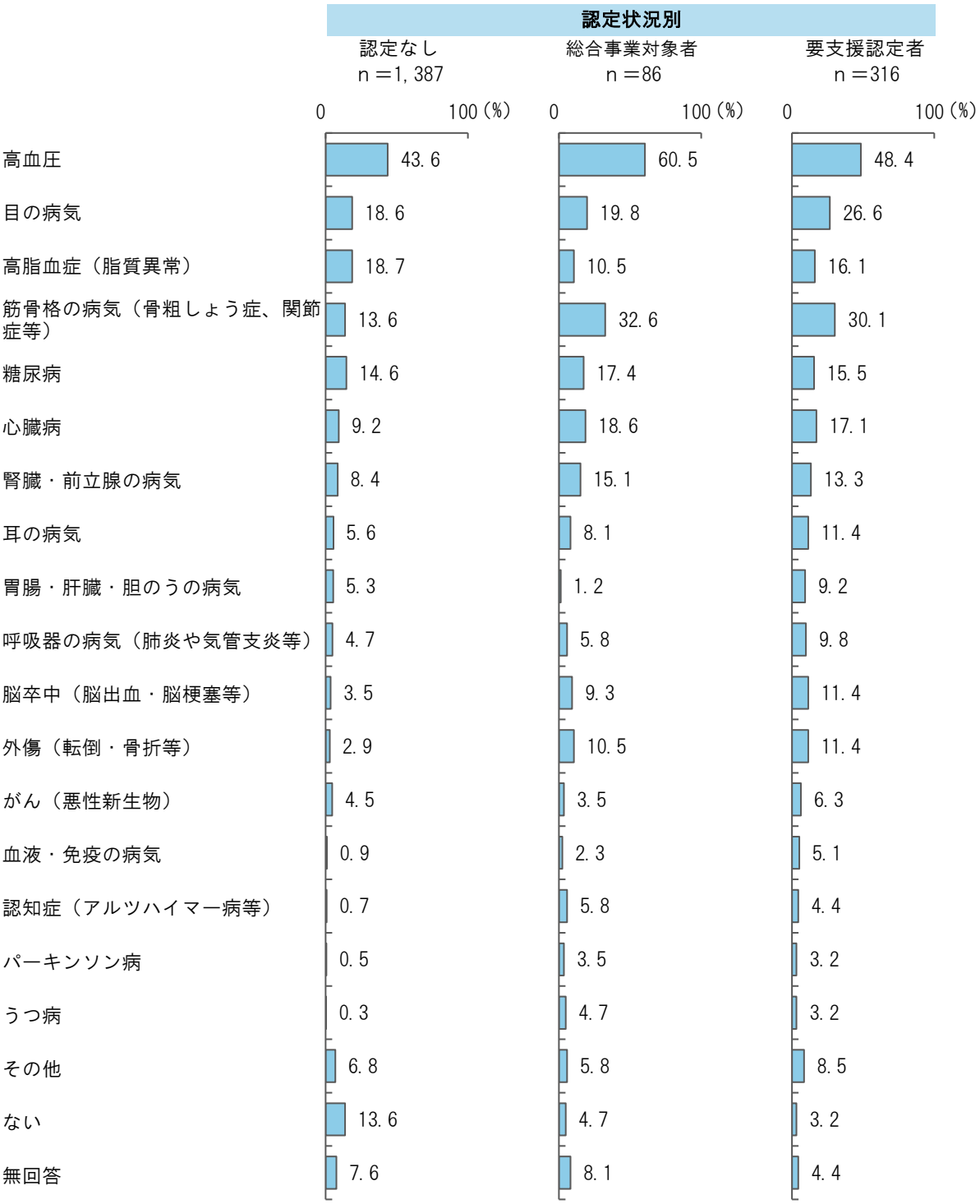


現在治療中、または後遺症のある病気は「高血圧」が 45.3%と最も多く、次いで「目の病気」が 20.1%、「高脂血症（脂質異常）」が 17.9%などとなっています。令和４年度と比較すると大きな変化はみられません。



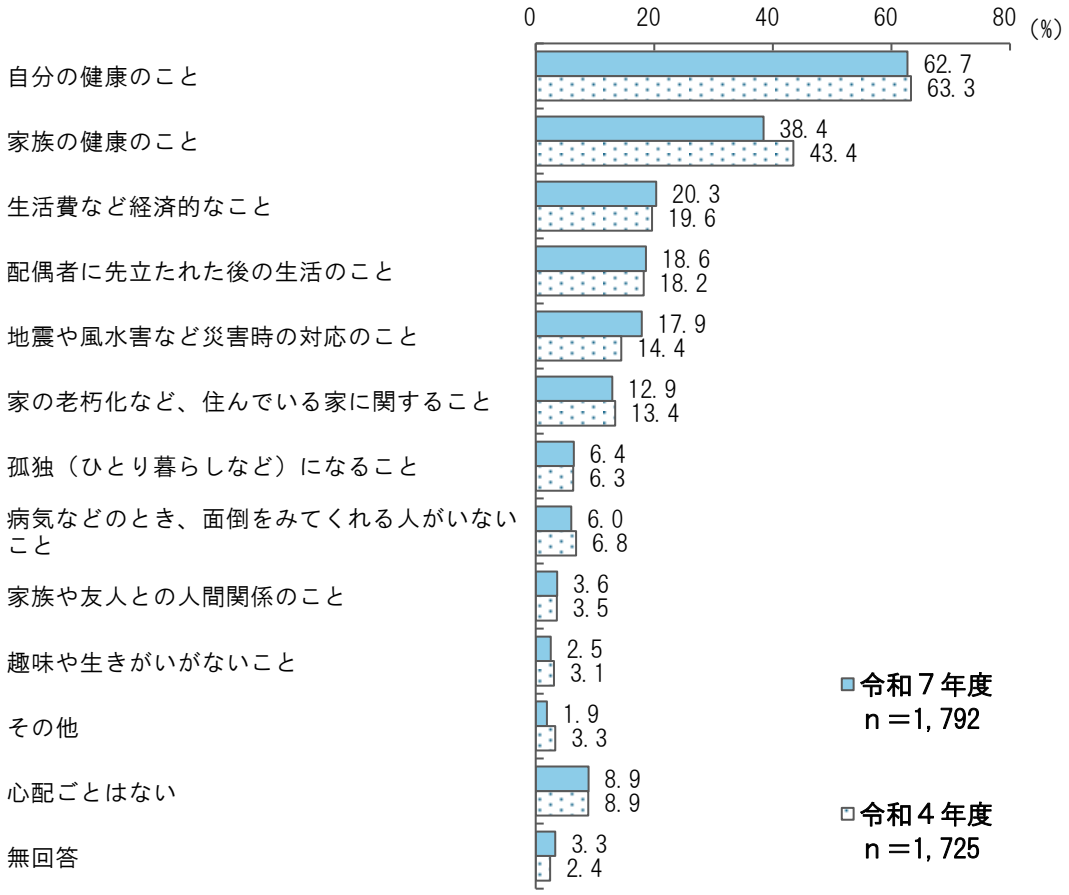
性別でみると、男性において「腎臓・前立腺の病気」が 18.0%と女性より 14.3 ポイント高くなっています。女性においては「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 25.0%と男性より 18.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「ない」が 17.4%と後期高齢者より 9.3 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「高血圧」が 48.4%と前期高齢者より 10.4 ポイント高くなっています。

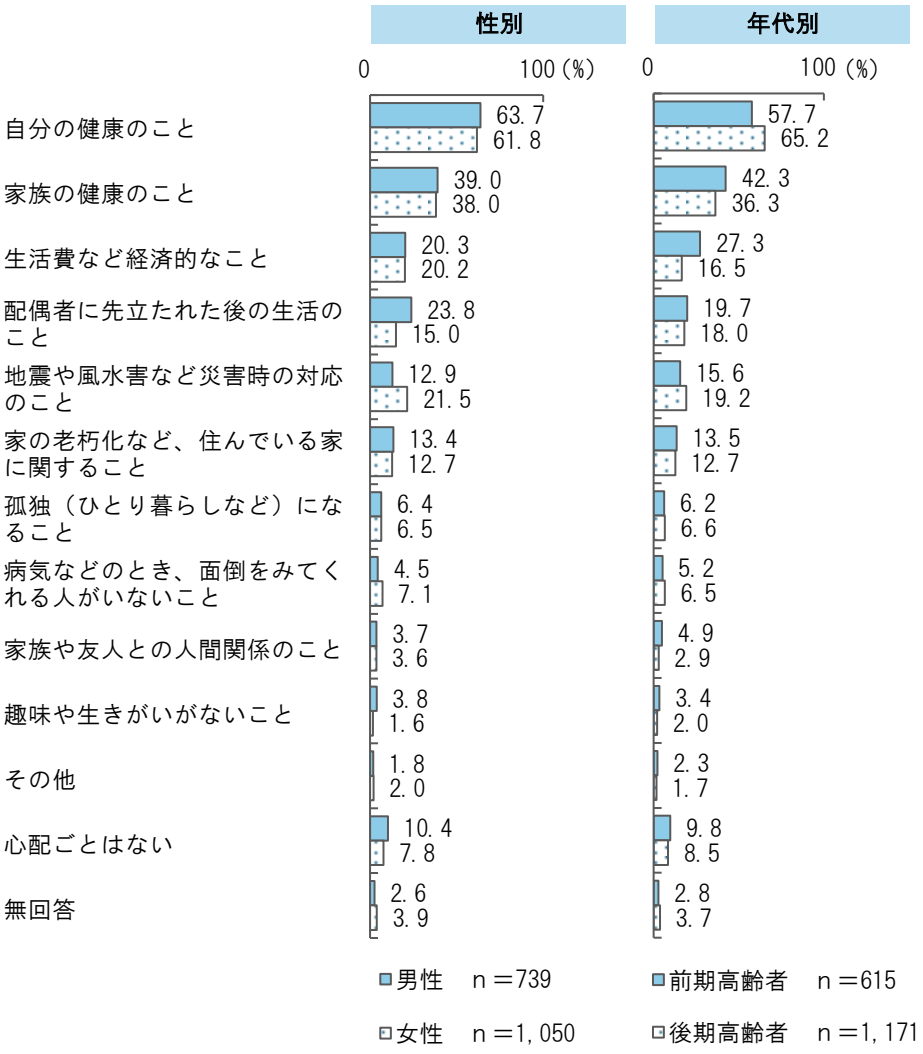


認定状況別でみると、認定なしにおいて「ない」が 13.6%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「高血圧」が 60.5%と他より高くなっています。要支援認定者においては「目の病気」が 26.6%と他より高くなっています。

問31　あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。（○は３つまで）

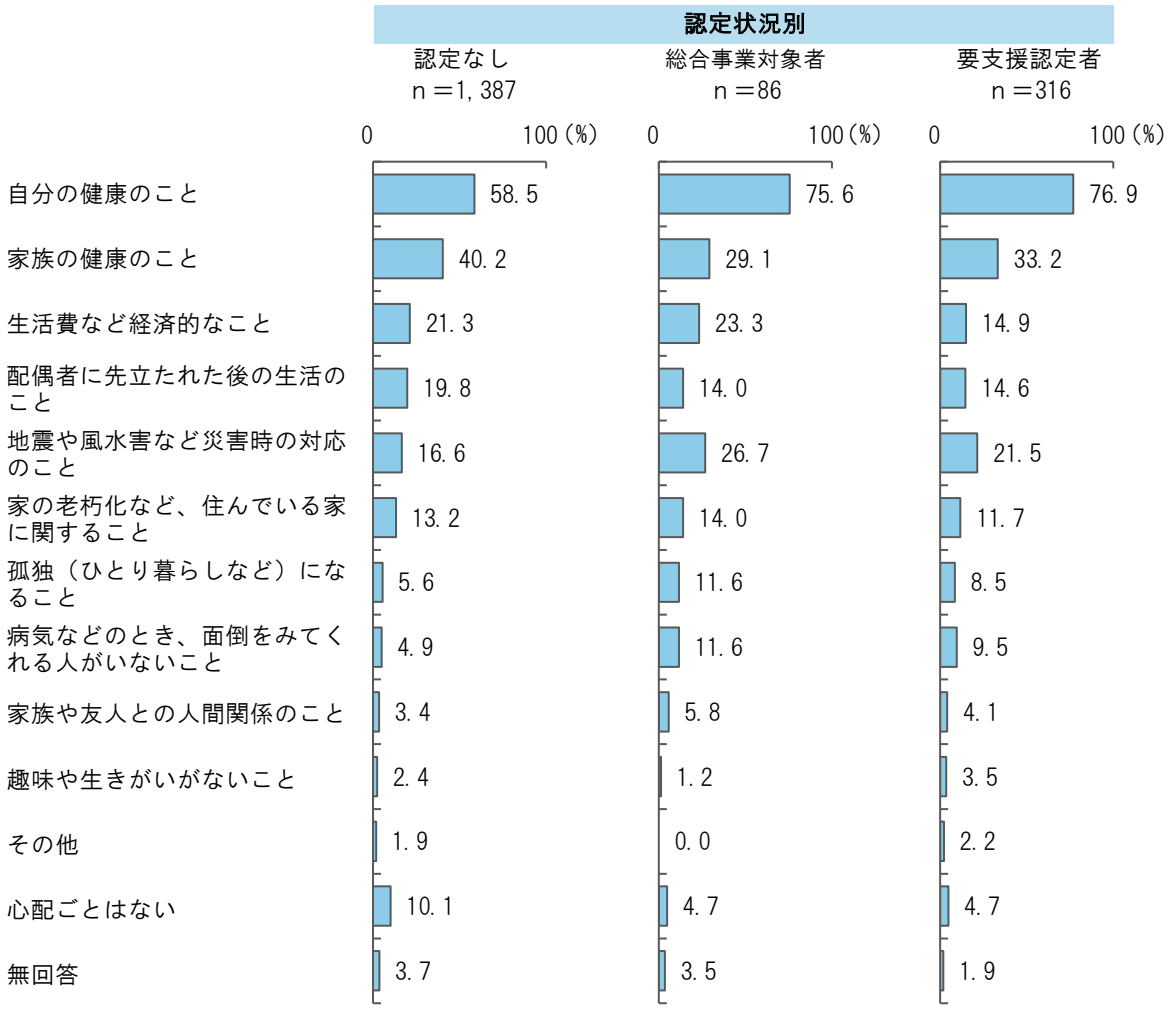


心配ごとや悩みごとがあるかは「自分の健康のこと」が 62.7%と最も多く、次いで「家族の健康のこと」が 38.4%、「生活費など経済的なこと」が 20.3%などとなっています。令和４年度と比較すると「家族の健康のこと」が 5.0 ポイント減少しています。



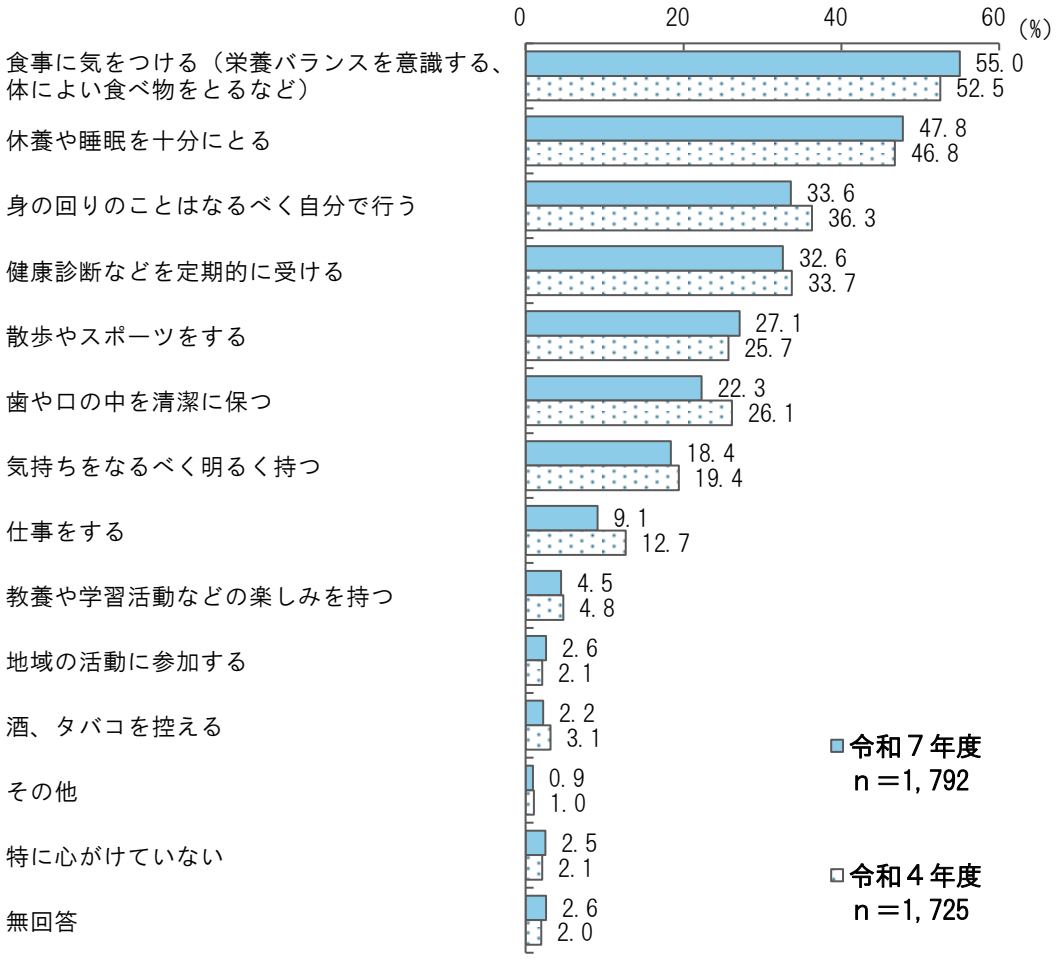
性別でみると、男性において「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が 23.8%と女性より 8.8 ポイント高くなっています。女性においては「地震や風水害など災害時の対応のこと」が 21.5%と男性より 8.6 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「生活費など経済的なこと」が 27.3%と後期高齢者より 10.8 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「自分の健康のこと」が 65.2%と前期高齢者より 7.5 ポイント高くなっています。

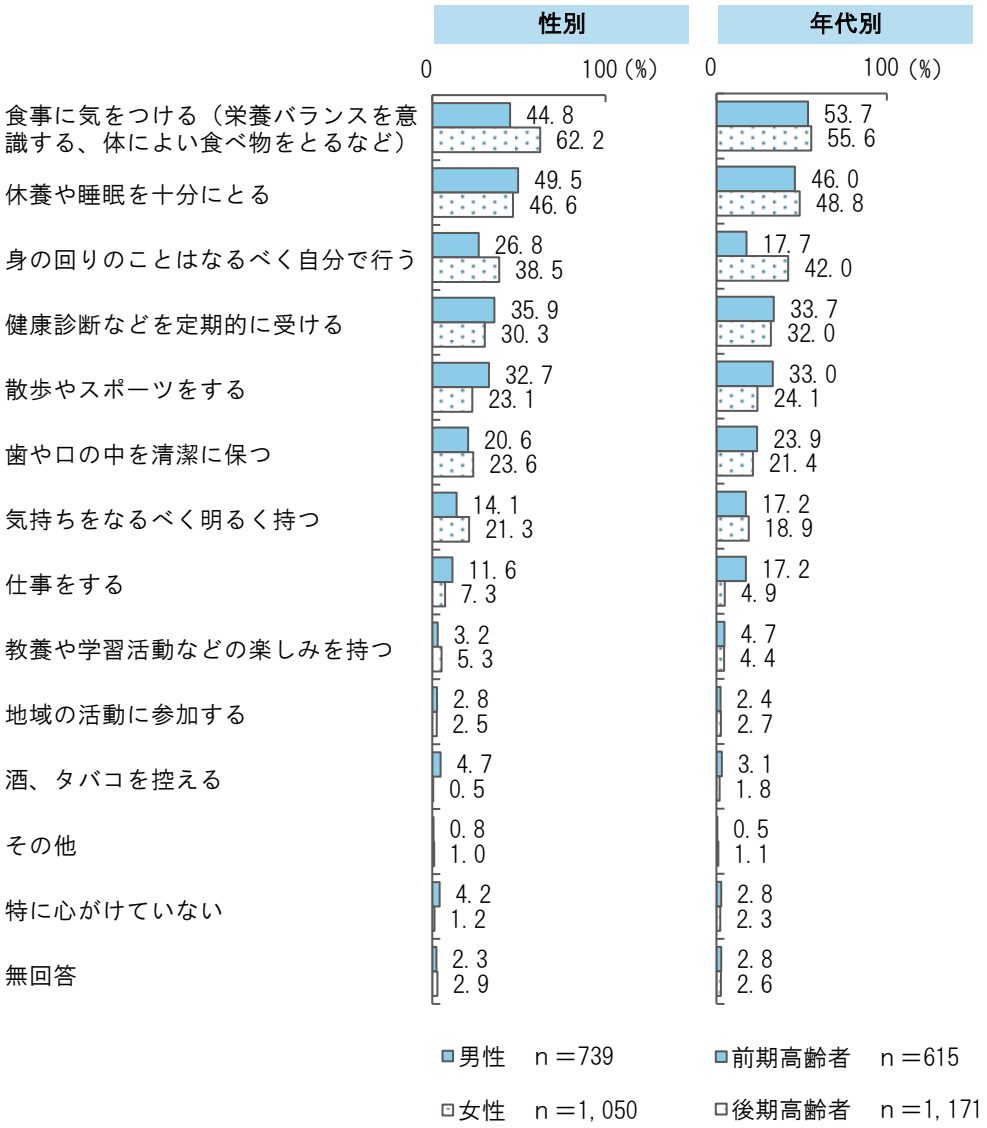


認定状況別でみると、認定なしにおいて「家族の健康のこと」「配偶者に先立たれた後の生活のこと」「心配ごとはない」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「地震や風水害など災害時の対応のこと」が26.7%と他より高くなっています。

問32　あなたは、ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。（○は３つまで）

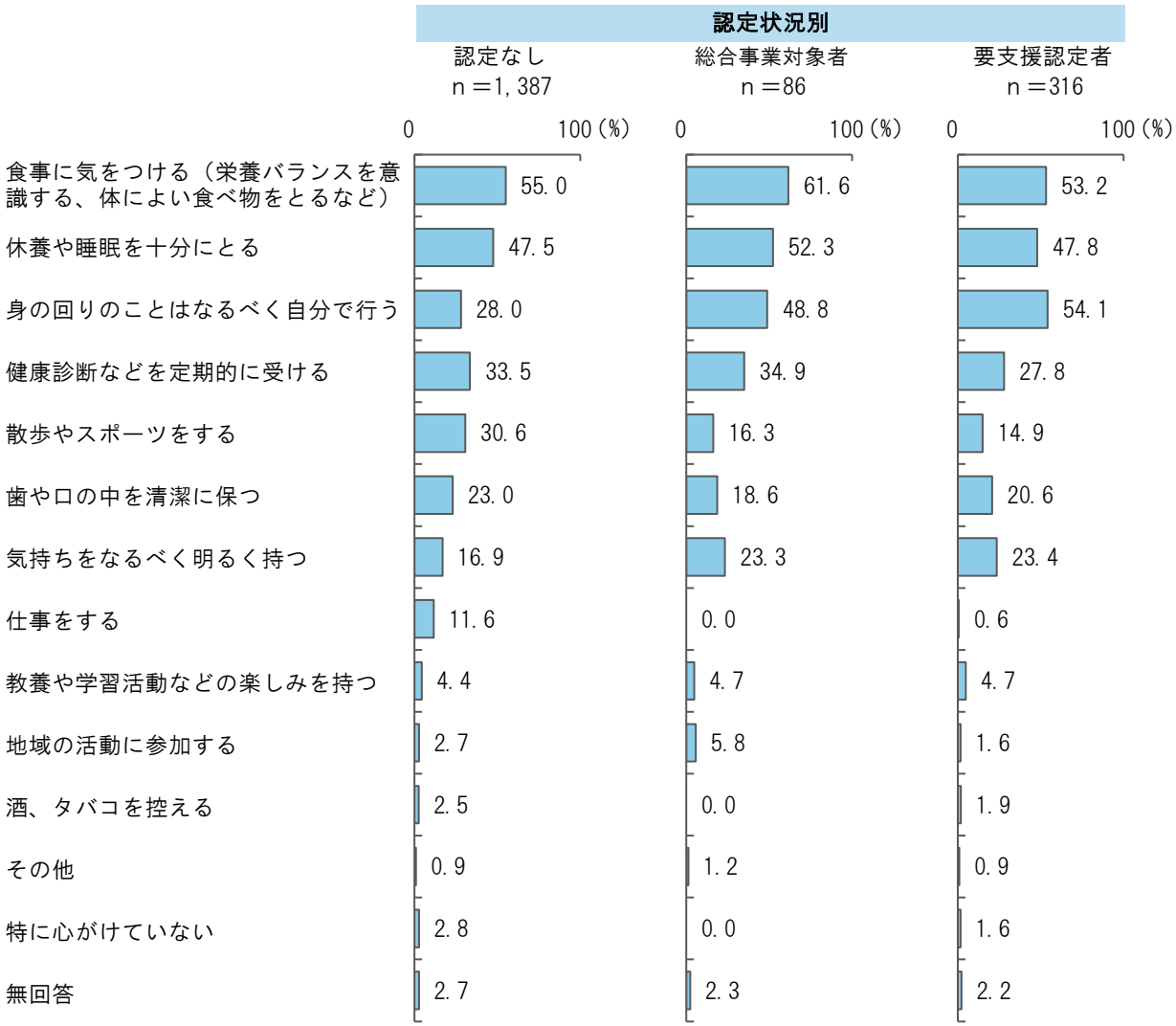


自分の健康のために心がけていることは「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体によい食べ物をとるなど)」が 55.0%と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が 47.8%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が 33.6%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



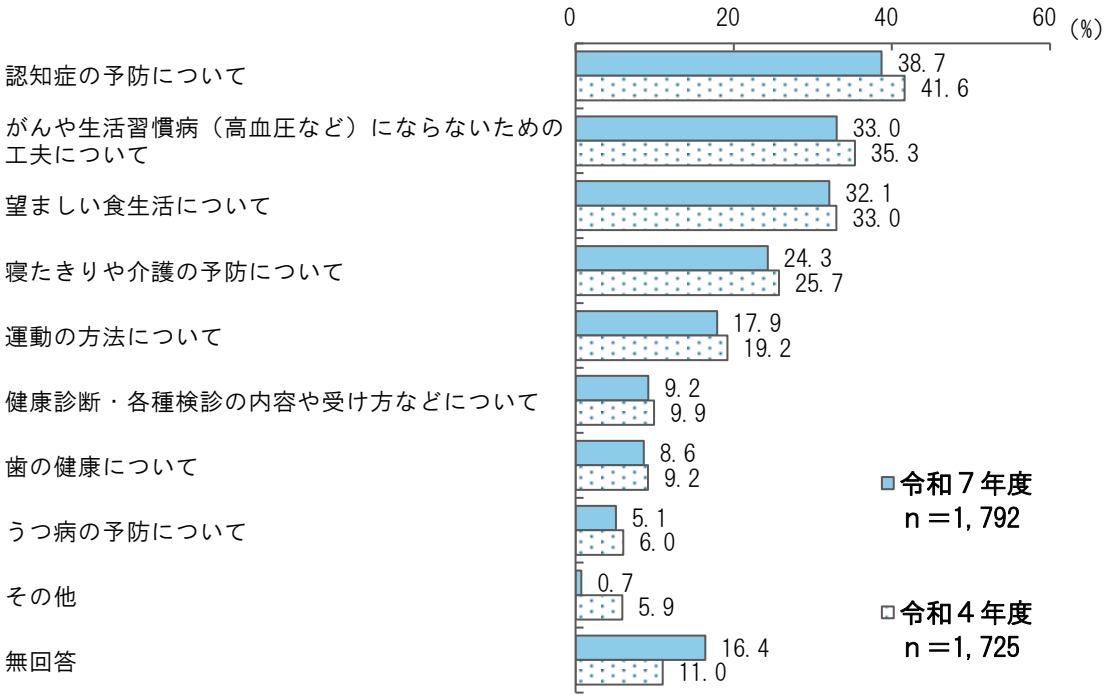
性別でみると、男性において「散歩やスポーツをする」が32.7%と女性より9.6ポイント高くなっています。女性においては「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体によい食べ物をとるなど)」が62.2%と男性より17.4ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「仕事をする」が17.2%と後期高齢者より12.3ポイント高くなっています。後期高齢者においては「身の回りのことはなるべく自分で行う」が42.0%と前期高齢者より24.3ポイント高くなっています。

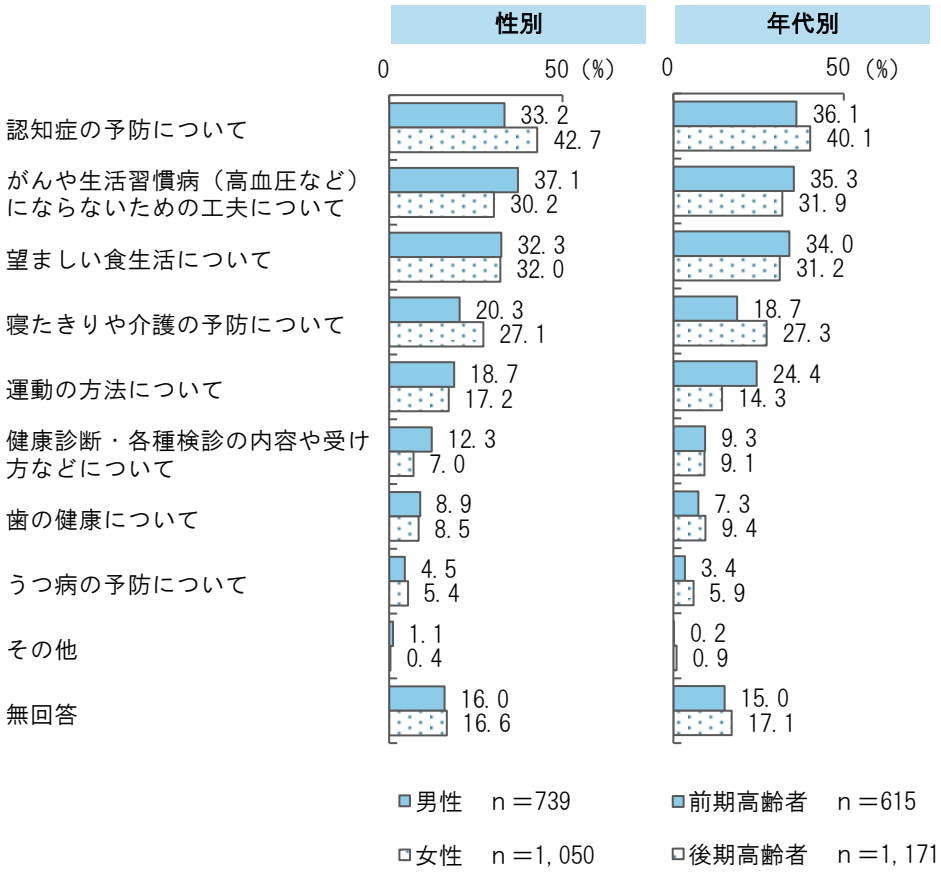


認定状況別でみると、認定なしにおいて「散歩やスポーツをする」「仕事をする」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体によい食べ物をとるなど)」が 61.6%と他より高くなっています。要支援認定者においては「身の回りのことはなるべく自分で行う」が 54.1%と他より高くなっています。

問33　健康についてどのようなことが知りたいですか。（○は３つまで）

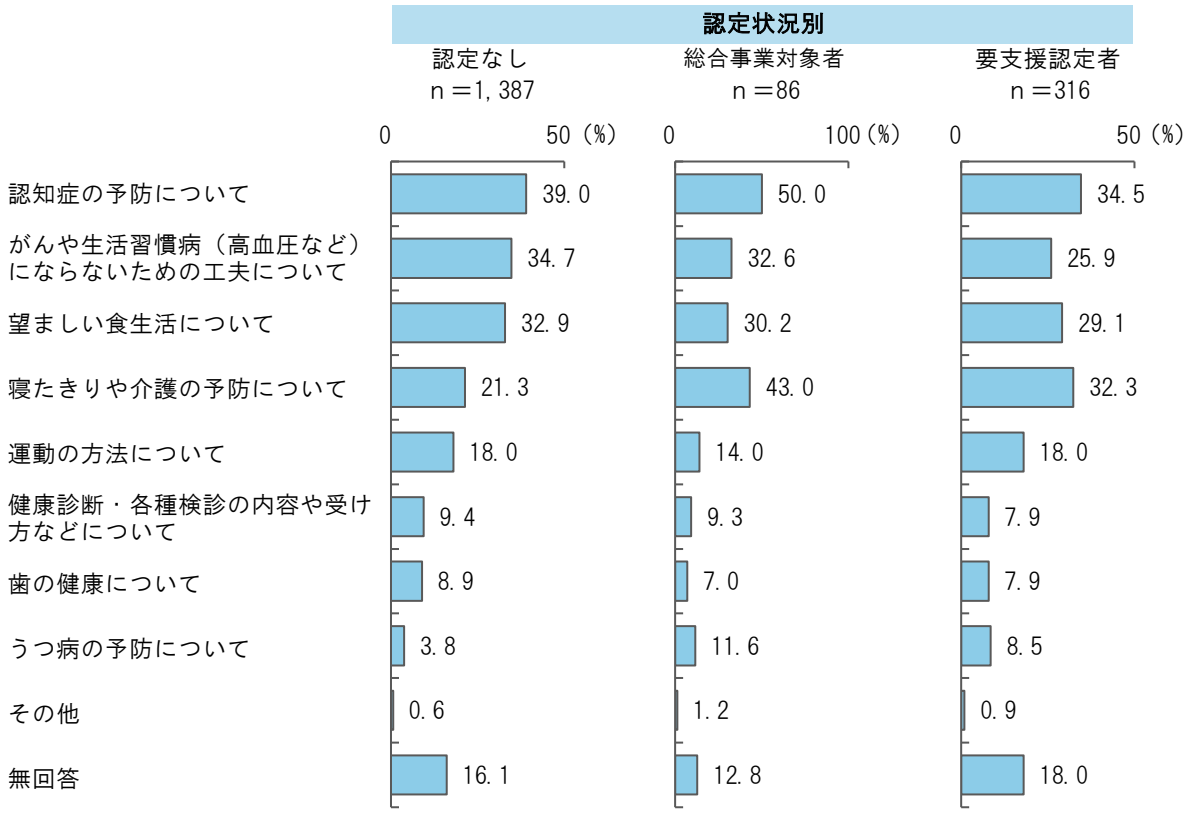


健康について知りたいことは「認知症の予防について」が 38.7%と最も多く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が 33.0%、「望ましい食生活について」が 32.1%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



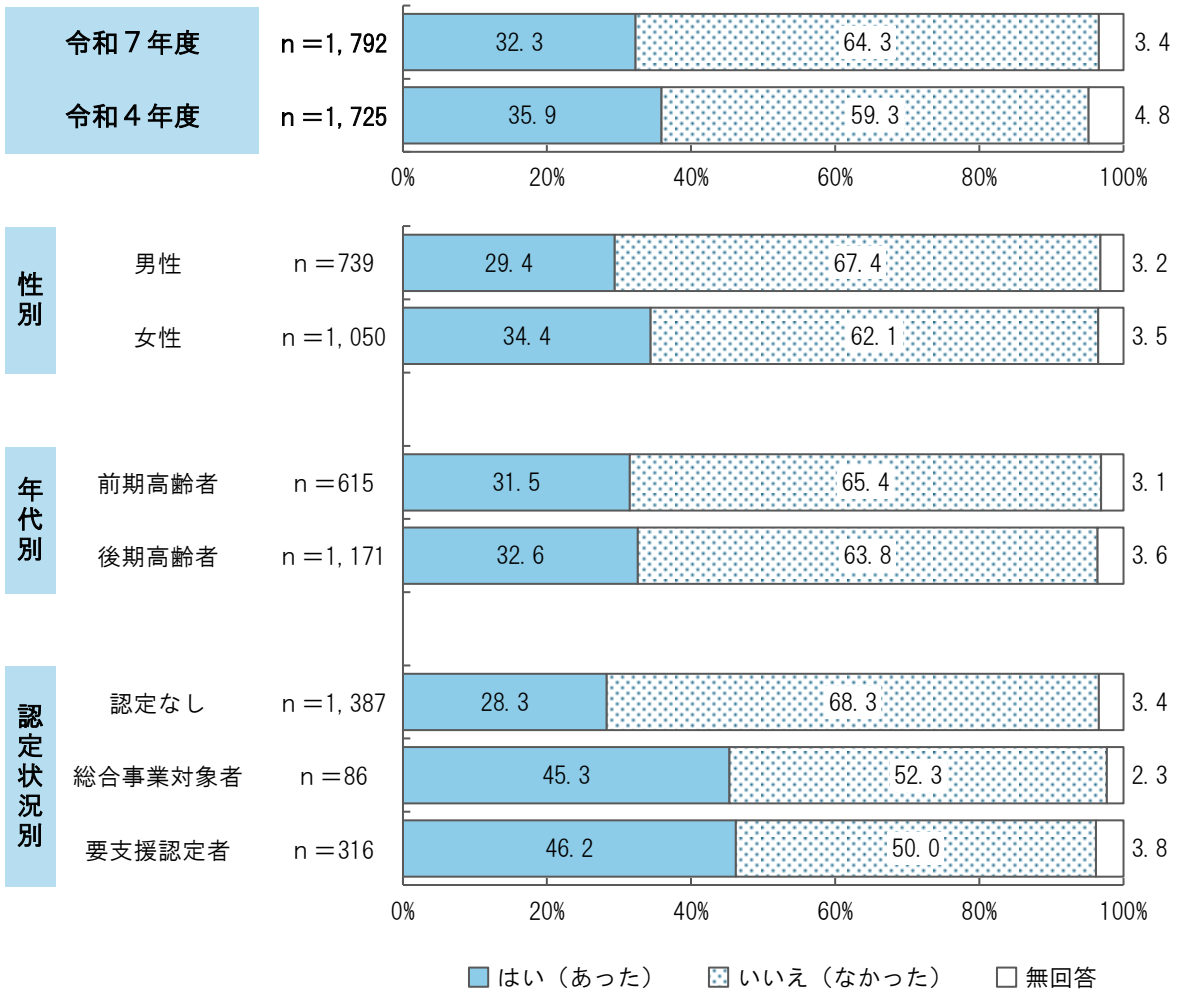
性別でみると、男性において「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が 37.1%と女性より 6.9 ポイント高くなっています。女性においては「認知症の予防について」が 42.7%と男性より 9.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「運動の方法について」が 24.4%と後期高齢者より 10.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「寝たきりや介護の予防について」が 27.3%と前期高齢者より 8.6 ポイント高くなっています。



認定状況別でみると、総合事業対象者において「認知症の予防について」「寝たきりや介護の予防について」が他より高くなっています。

問34　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
（○は１つ）



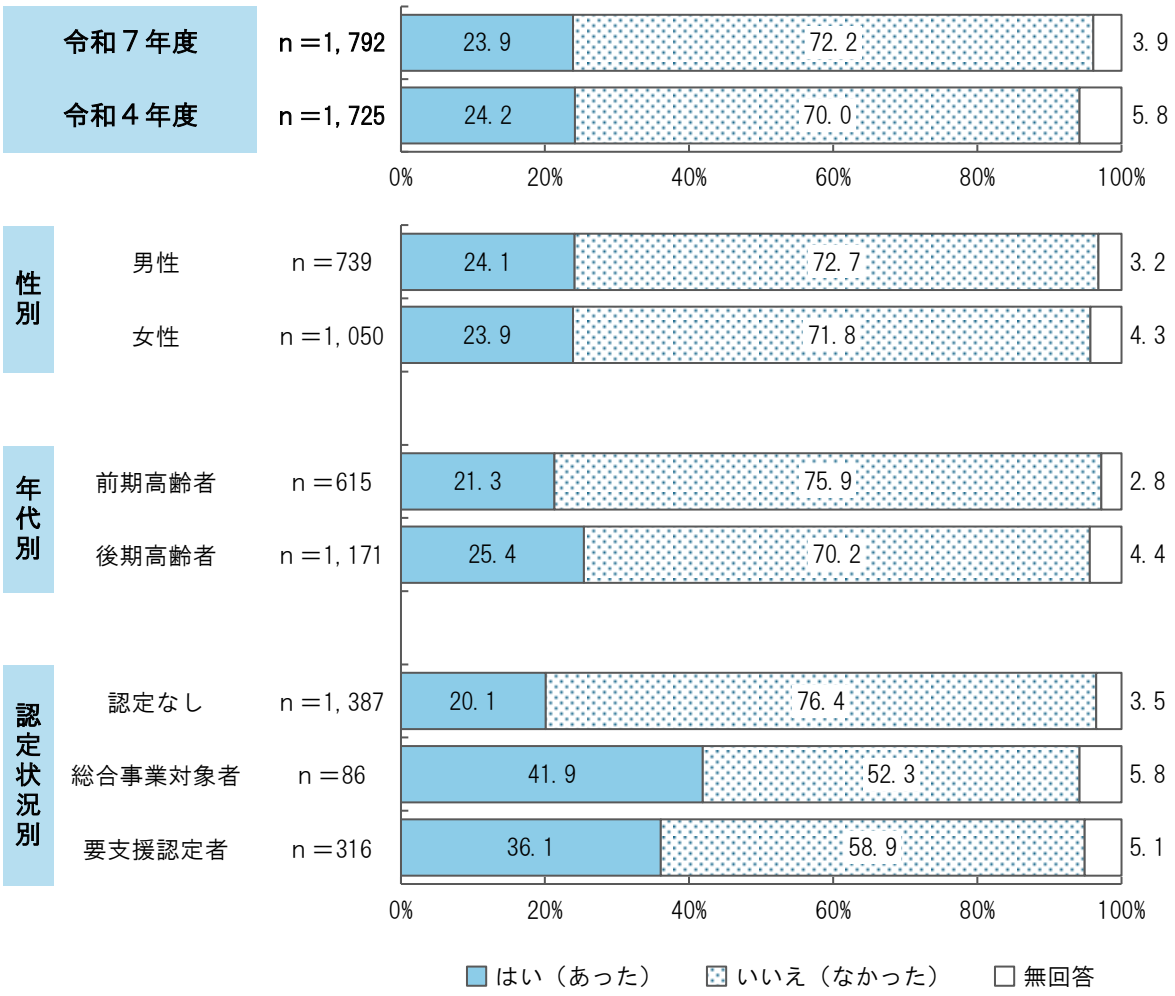
直近１か月間で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったかは「はい（あった）」が 32.3%、「いいえ（なかった）」が 64.3%となっています。令和４年度と比較すると、「いいえ（なかった）」が 5.0 ポイント増加しています。

性別でみると、男性において「いいえ（なかった）」が 67.4%と女性より 5.3 ポイント高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はありません。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「いいえ（なかった）」が 68.3%と他より高くなっています。

問35　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は１つ）



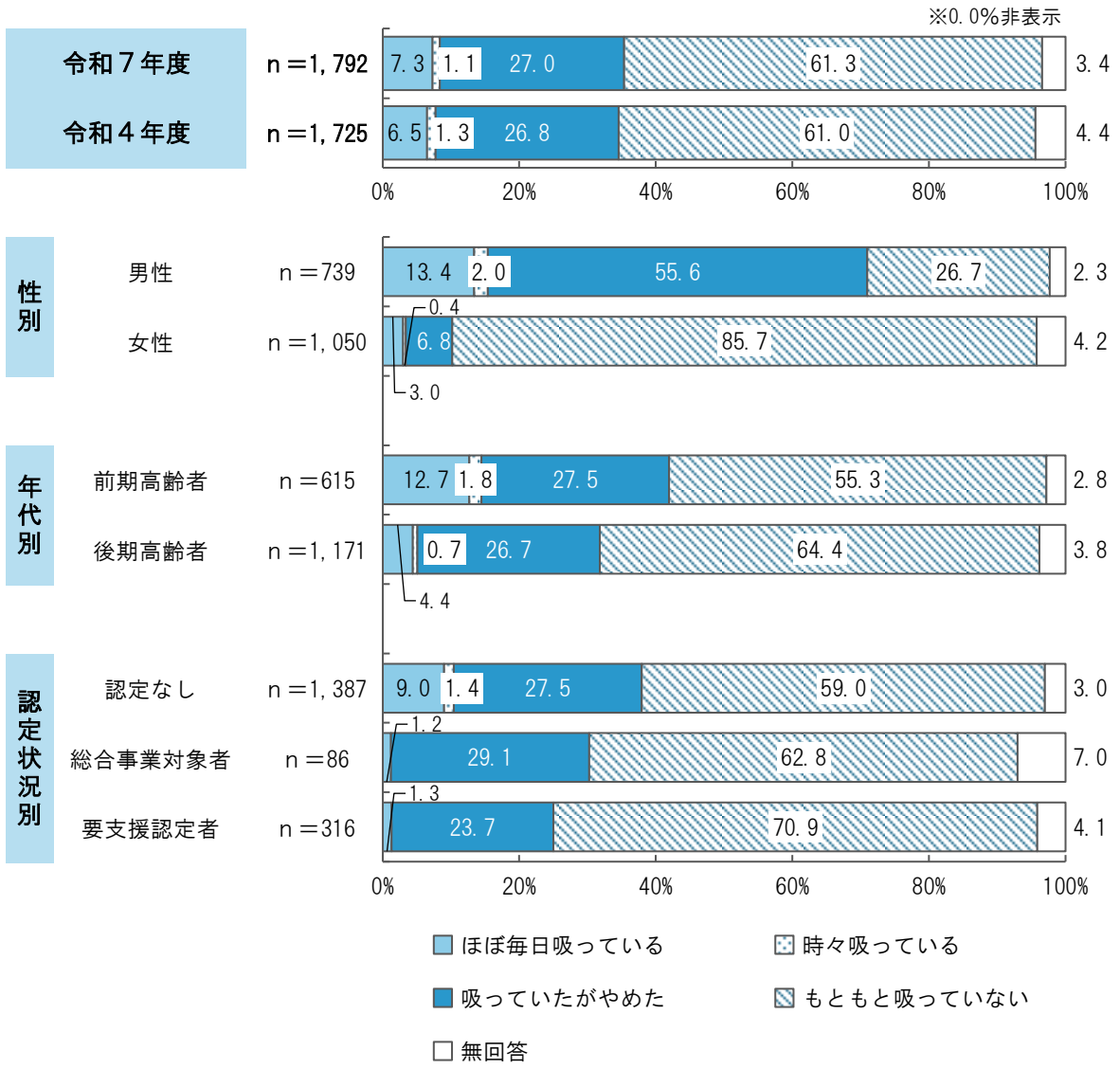
直近１か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかは「はい（あった）」が 23.9%、「いいえ（なかった）」が 72.2%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「いいえ（なかった）」が 75.9%と後期高齢者より 5.7 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「いいえ（なかった）」が 76.4%と他より高くなっています。

問36　タバコは吸っていますか。（○は１つ）



※『吸っている』：「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた割合
　『吸っていない』：「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた割合

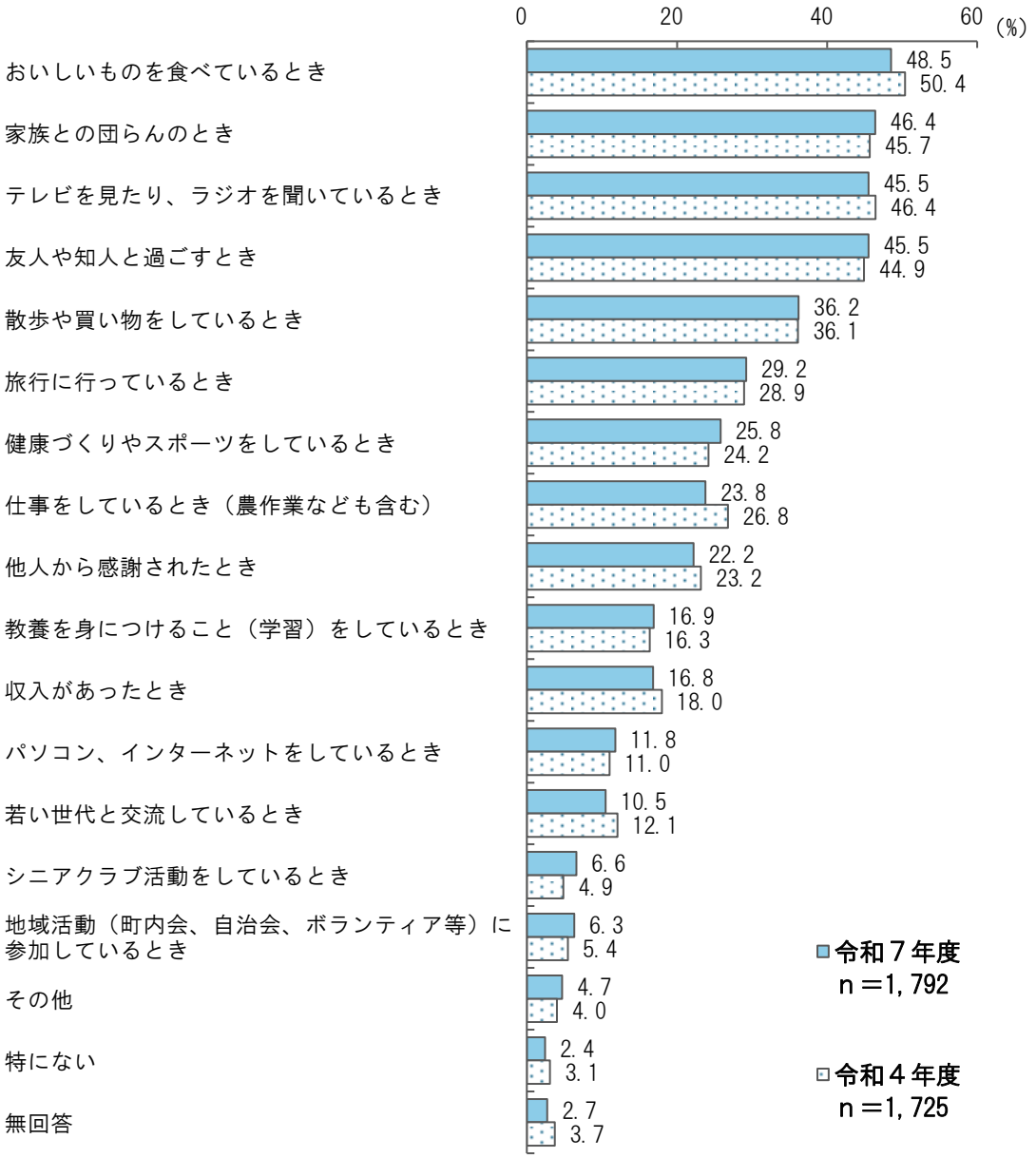
喫煙の有無は「もともと吸っていない」が61.3%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.0%、「ほぼ毎日吸っている」が7.3%などとなっています。また、『吸っている』は8.4%、『吸っていない』は88.3%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において『吸っている』が15.4%と女性より12.0ポイント高くなっています。

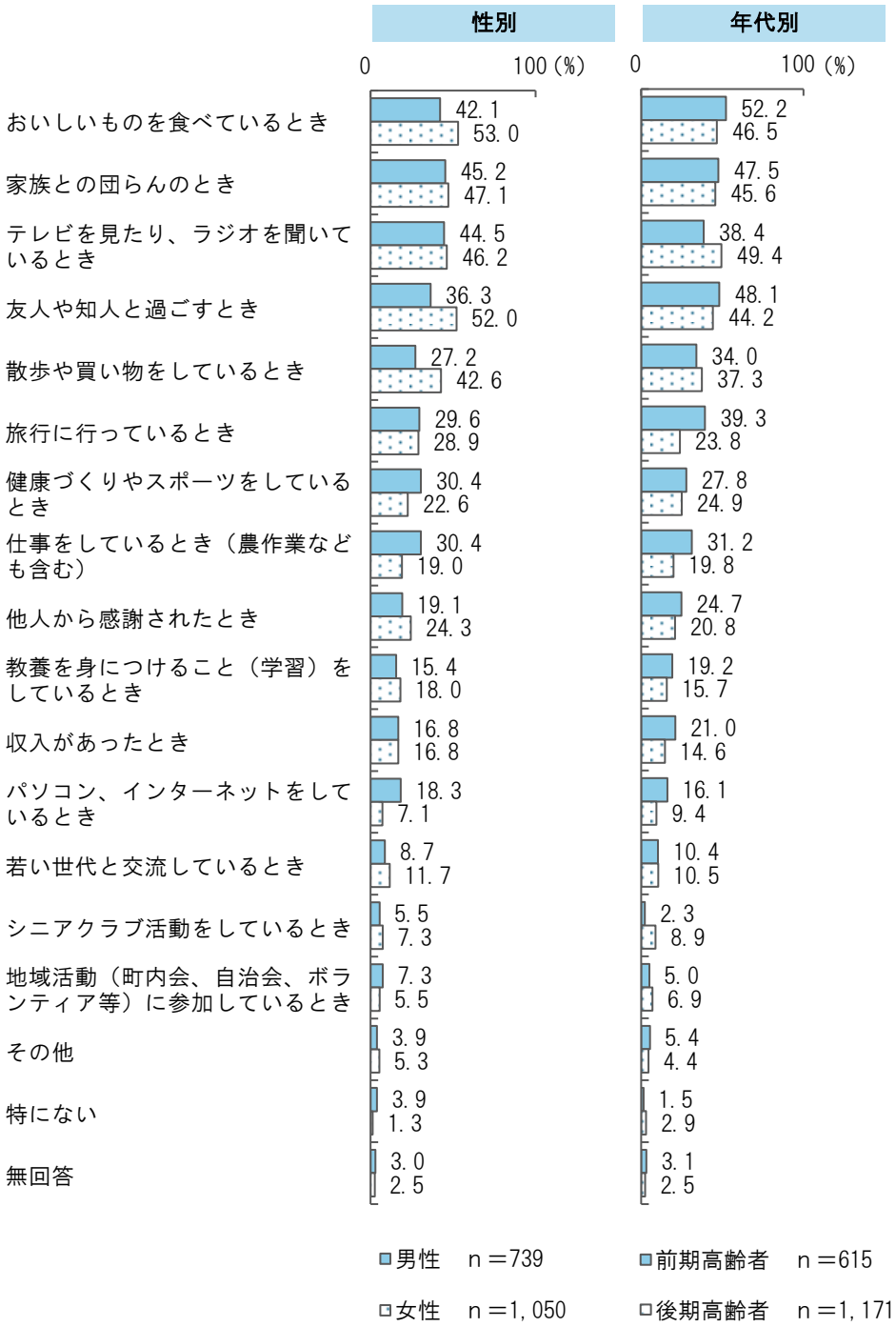
年代別でみると、前期高齢者において『吸っている』が14.5%と後期高齢者より9.4ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて『吸っている』が10.4%と他より高くなっています。

問37　生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのようなときですか。（○はいくつでも）

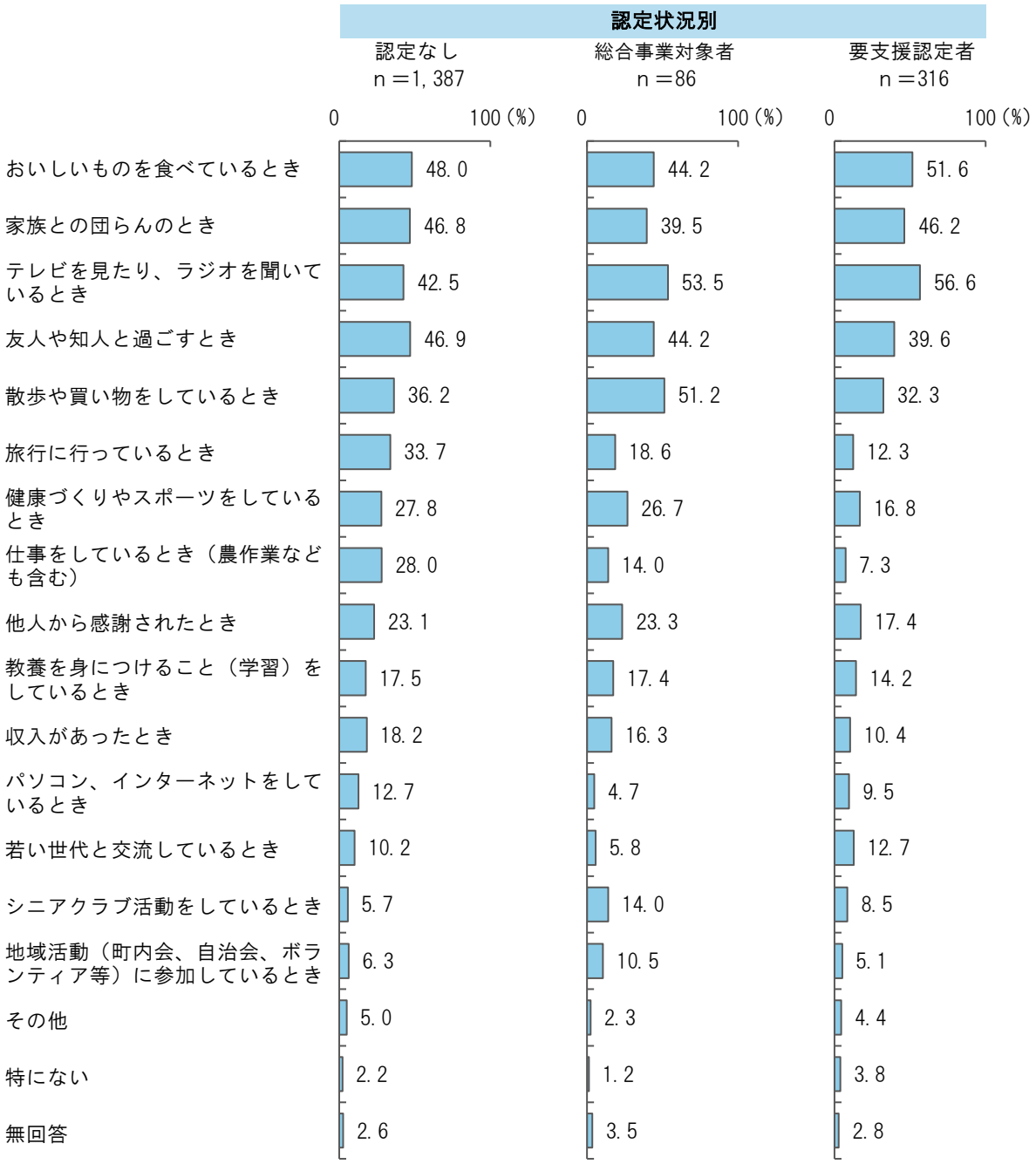


生きがい（喜びや楽しみ）を感じるときは「おいしいものを食べているとき」が48.5%と最も多く、次いで「家族との団らんのとき」が46.4%、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が45.5%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



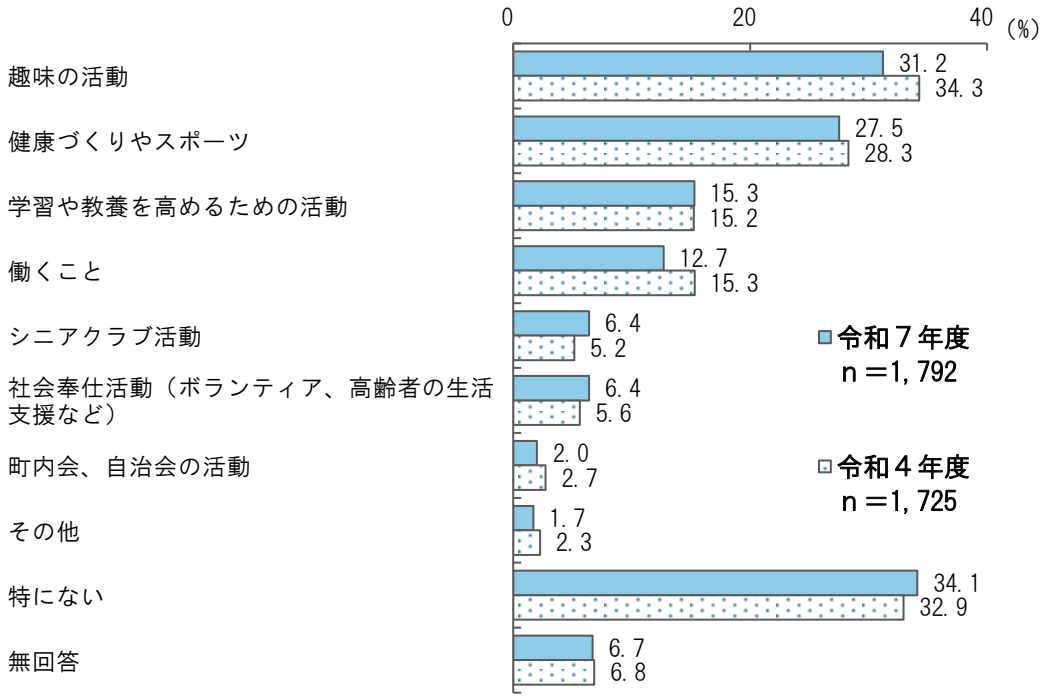
性別でみると、男性において「仕事をしているとき（農作業なども含む）」が 30.4%と女性より 11.4 ポイント高くなっています。女性においては「友人や知人と過ごすとき」が 52.0%と男性より 15.7 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「旅行に行っているとき」が39.3%と後期高齢者より15.5ポイント高くなっています。後期高齢者においては「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が49.4%と前期高齢者より11.0ポイント高くなっています。

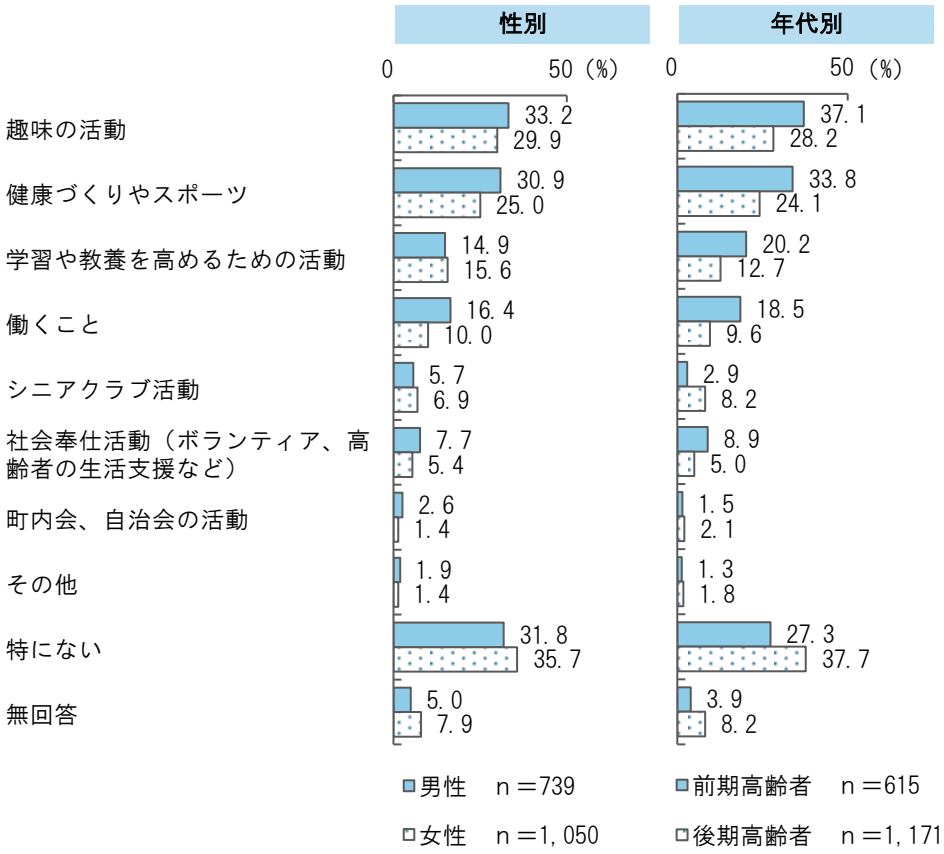


認定状況別でみると、認定なしにおいて「旅行に行っているとき」「仕事をしているとき（農作業なども含む）」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「散歩や買い物をしているとき」「シニアクラブ活動をしているとき」が他より高くなっています。

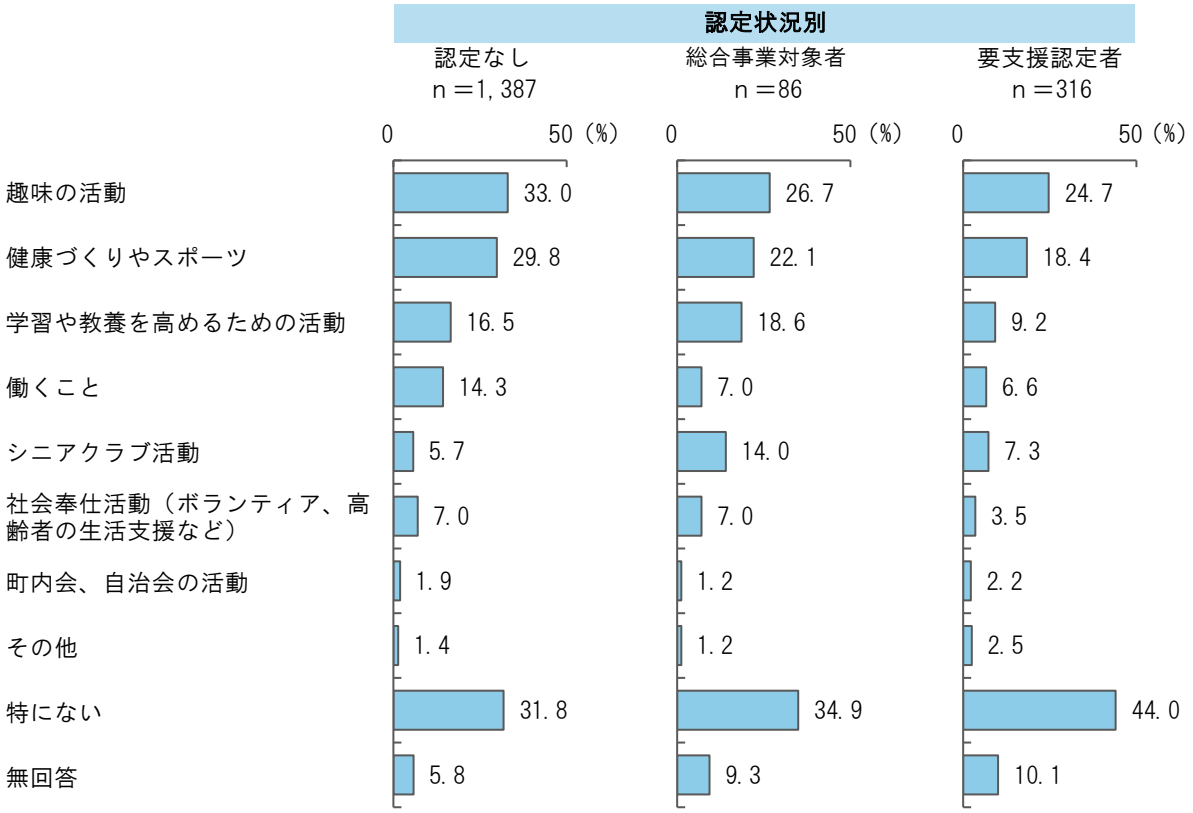
問38　あなたが、今後やってみたいと思うものは何ですか。（○はいくつでも）



今後やってみたいと思うものは、「趣味の活動」が 31.2%と最も多く、次いで「健康づくりやスポーツ」が 27.5%、「学習や教養を高めるための活動」が 15.3%などとなっています。また、「特にない」は 34.1%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



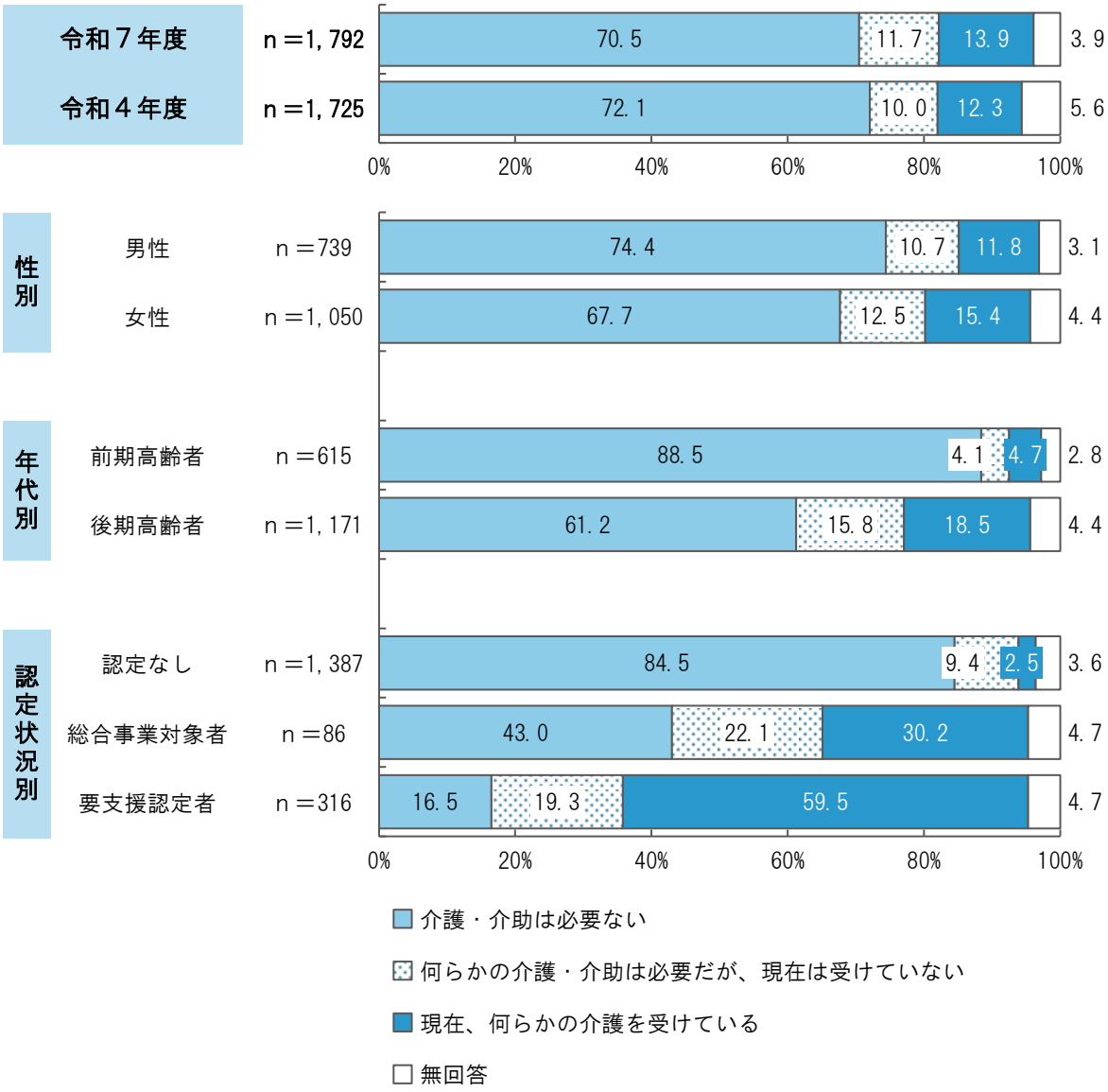
性別でみると、男性において「働くこと」が16.4%と女性より6.4ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「健康づくりやスポーツ」が33.8%と後期高齢者より9.7ポイント高くなっています。後期高齢者においては「シニアクラブ活動」が8.2%と前期高齢者より5.3ポイント高くなっています。



認定状況別でみると、認定なしにおいて「趣味の活動」「健康づくりやスポーツ」「働くこと」などが他より高くなっています。総合事業対象者においては「シニアクラブ活動」が 14.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「特にない」が 44.0%と他より高くなっています。

介護について

問 39　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は１つ）



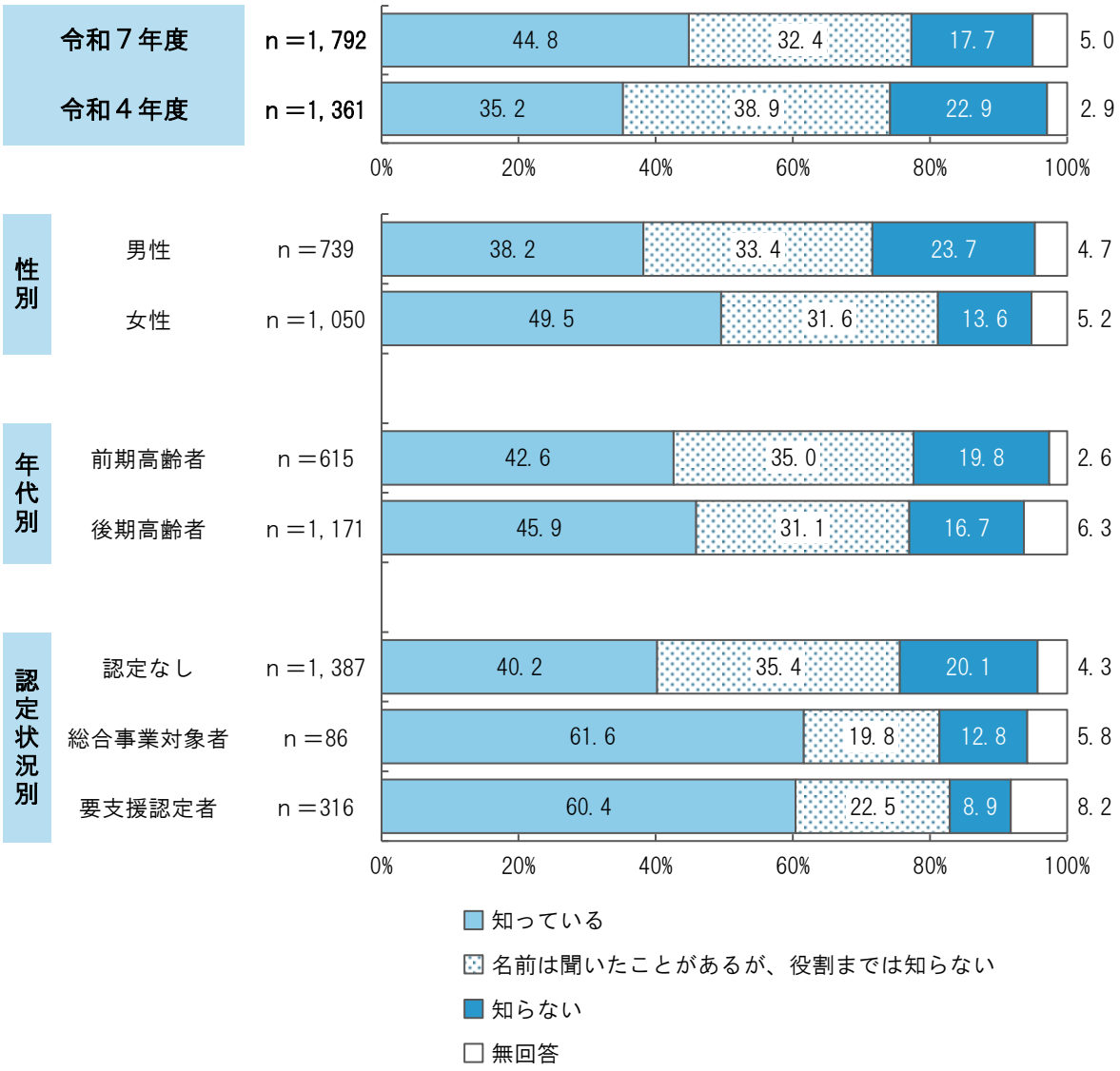
普段の生活で介護・介助が必要かは「介護・介助は必要ない」が 70.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 11.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が 13.9%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において「介護・介助は必要ない」が 74.4%と女性より 6.7 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「介護・介助は必要ない」が 88.5%と後期高齢者より 27.3 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「現在、何らかの介護を受けている」が 18.5%と前期高齢者より 13.8 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「介護・介助は必要ない」が 84.5%と他より高くなっています。要支援認定者においては「現在、何らかの介護を受けている」が 59.5%と他より高くなっています。

問40　あなたは、地域包括支援センターの役割や存在を知っていますか。（○は１つ）



地域包括支援センターの役割や存在の認知度は「知っている」が 44.8%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 32.4%、「知らない」が 17.7%となっています。

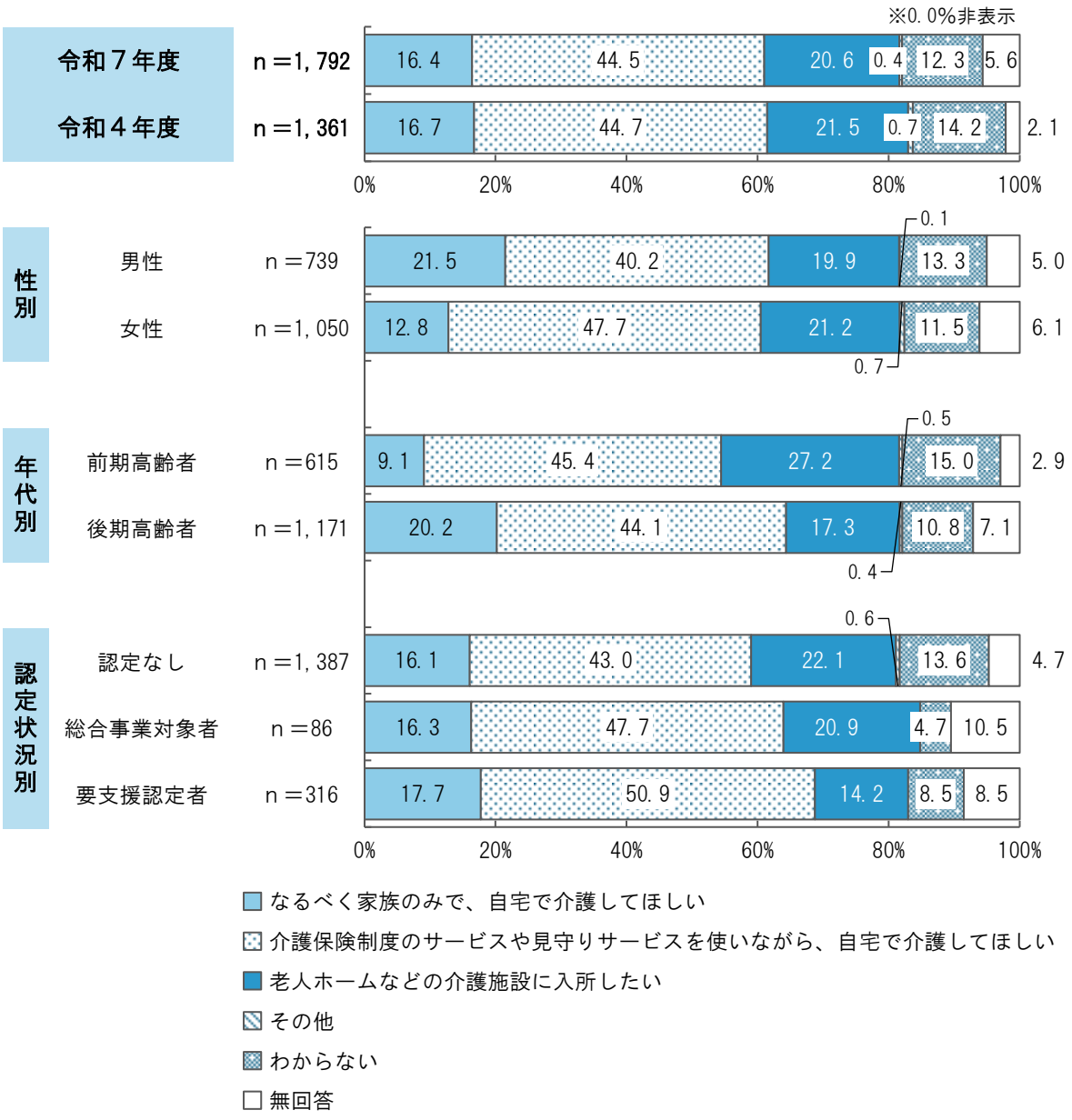
性別でみると、男性において「知らない」が 23.7%と女性より 10.1 ポイント高くなっています。女性においては「知っている」が 49.5%と男性より 11.3 ポイント高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はありません。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」「知らない」が他より高くなっています。

※経年比較においては、回答対象が異なるため、令和４年度調査は参考値としコメントは割愛します。

問41　あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は１つ）



自身に介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思うかは「介護保険制度のサービスや見守りサービスを使いながら、自宅で介護してほしい」が 44.5%と最も多く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所したい」が 20.6%、「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 16.4%などとなっています。

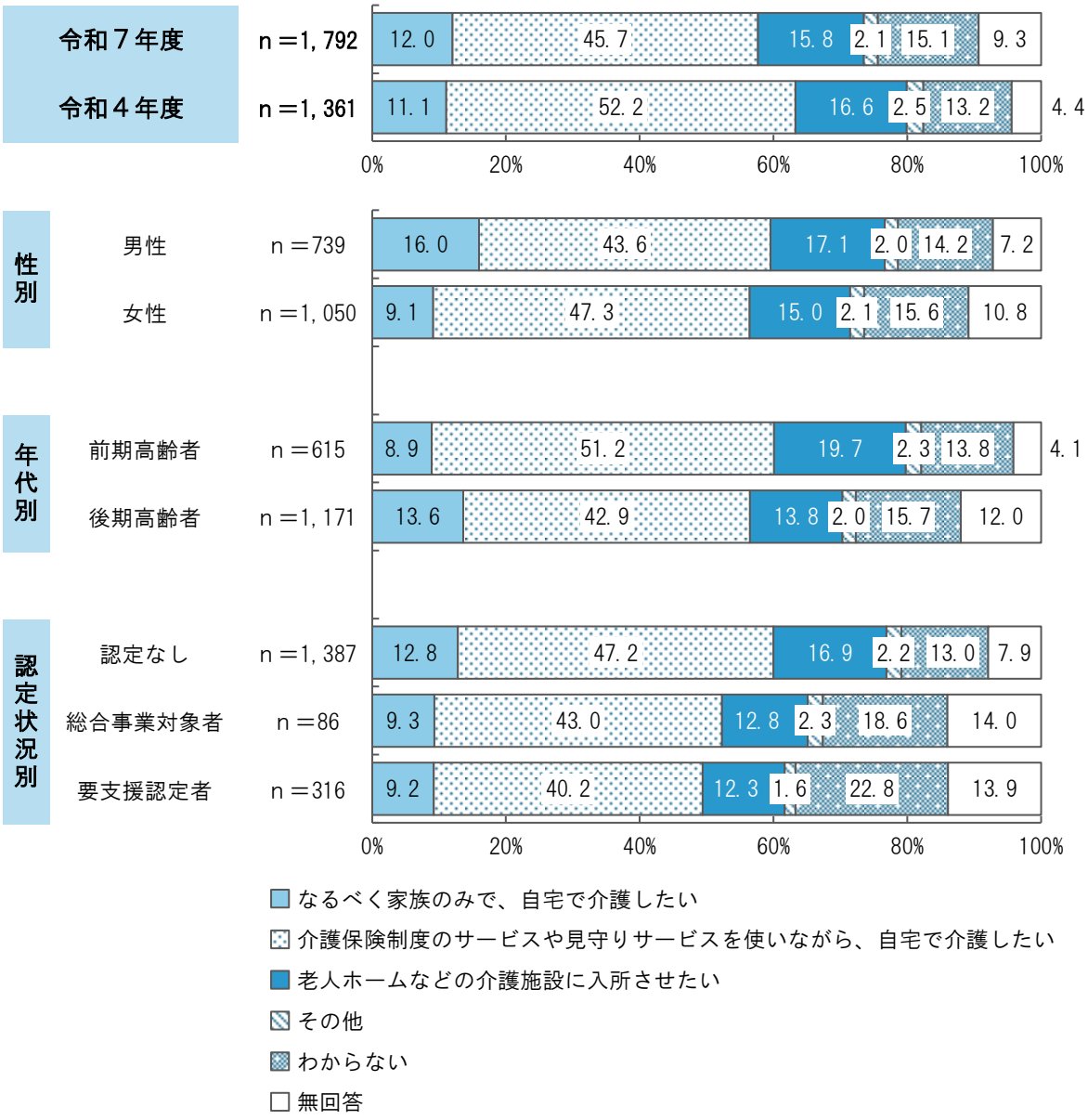
性別でみると、男性において「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 21.5%と女性より 8.7 ポイント高くなっています。女性においては「介護保険制度のサービスや見守りサービスを使いながら、自宅で介護してほしい」が 47.7%と男性より 7.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「老人ホームなどの介護施設に入所したい」が 27.2%と後期高齢者より 9.9 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 20.2%と前期高齢者より 11.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「わからない」が 13.6%と他より高くなっています。

※経年比較においては、回答対象が異なるため、令和４年度調査は参考値としコメントは割愛します。

問42　あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。
（○は１つ）



自身の家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思うかは「介護保険制度のサービスや見守りサービスを使いながら、自宅で介護したい」が 45.7%と最も多く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所させたい」が 15.8%、「わからない」が 15.1%などとなっています。

性別でみると、男性において「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が 16.0%と女性より 6.9 ポイント高くなっています。

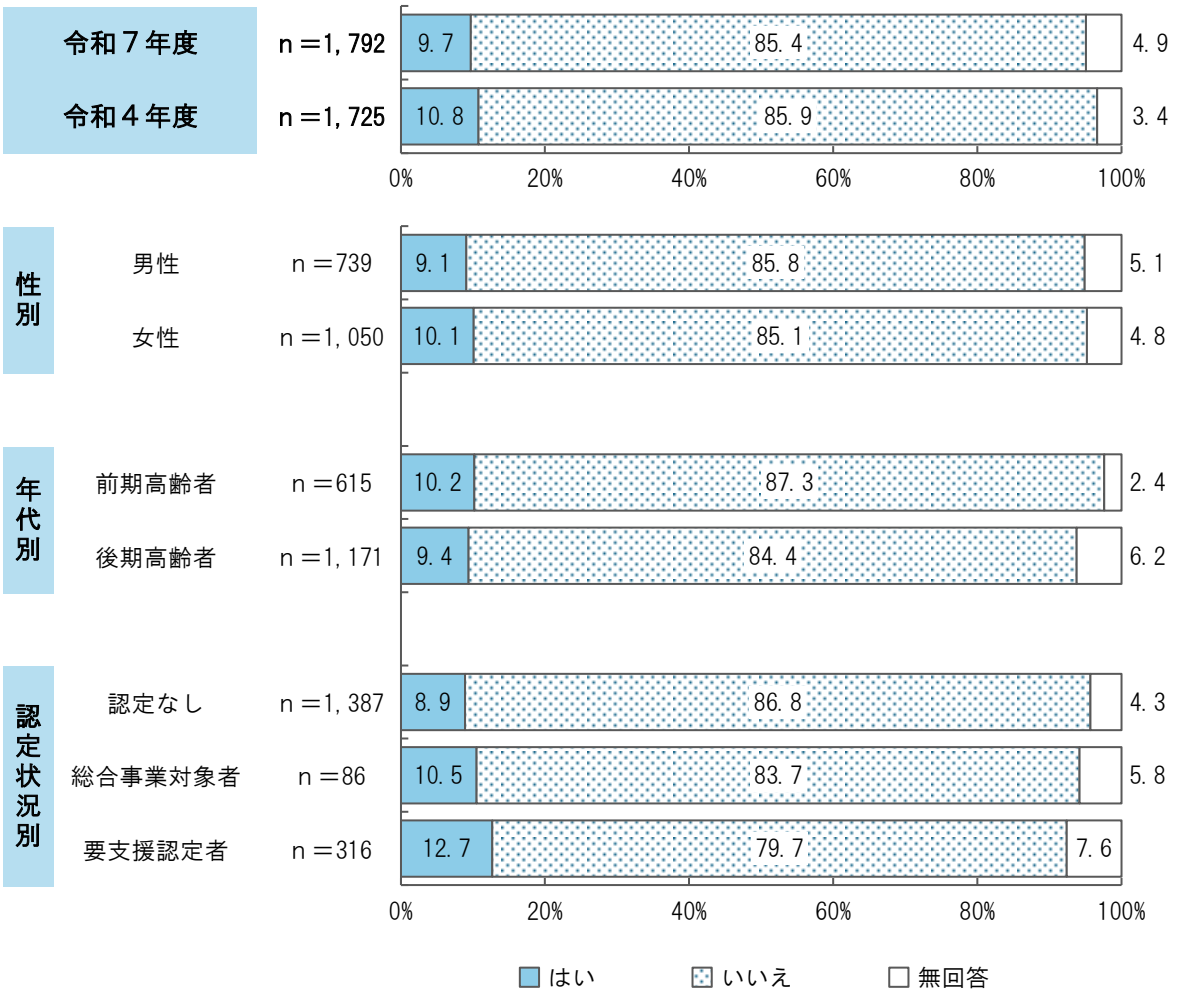
年代別でみると、前期高齢者において「介護保険制度のサービスや見守りサービスを使いながら、自宅で介護したい」が 51.2%と後期高齢者より 8.3 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、大きな差異はありません。

※経年比較においては、回答対象が異なるため、令和４年度調査は参考値としコメントは割愛します。

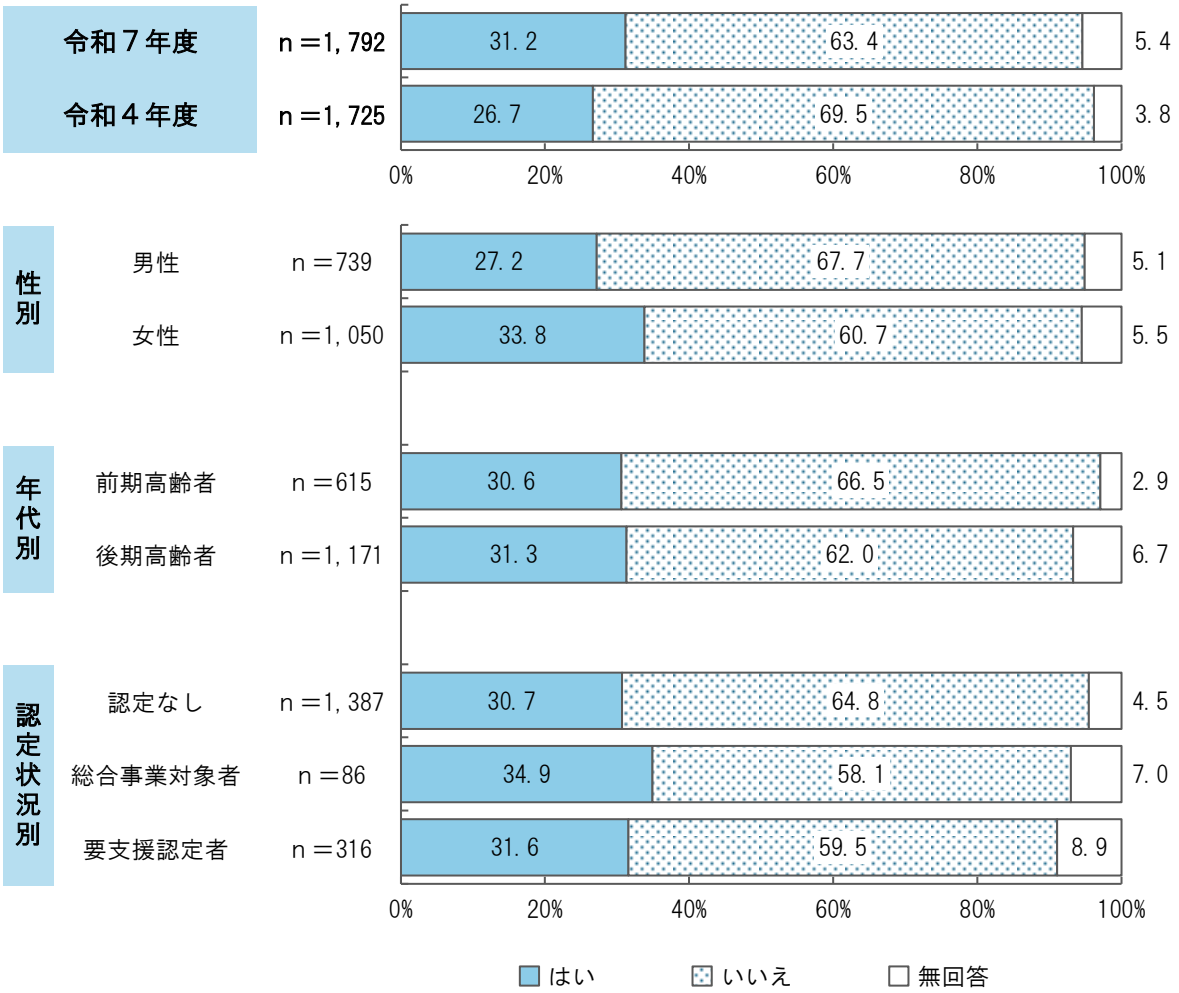
認知症について

問 43　認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）



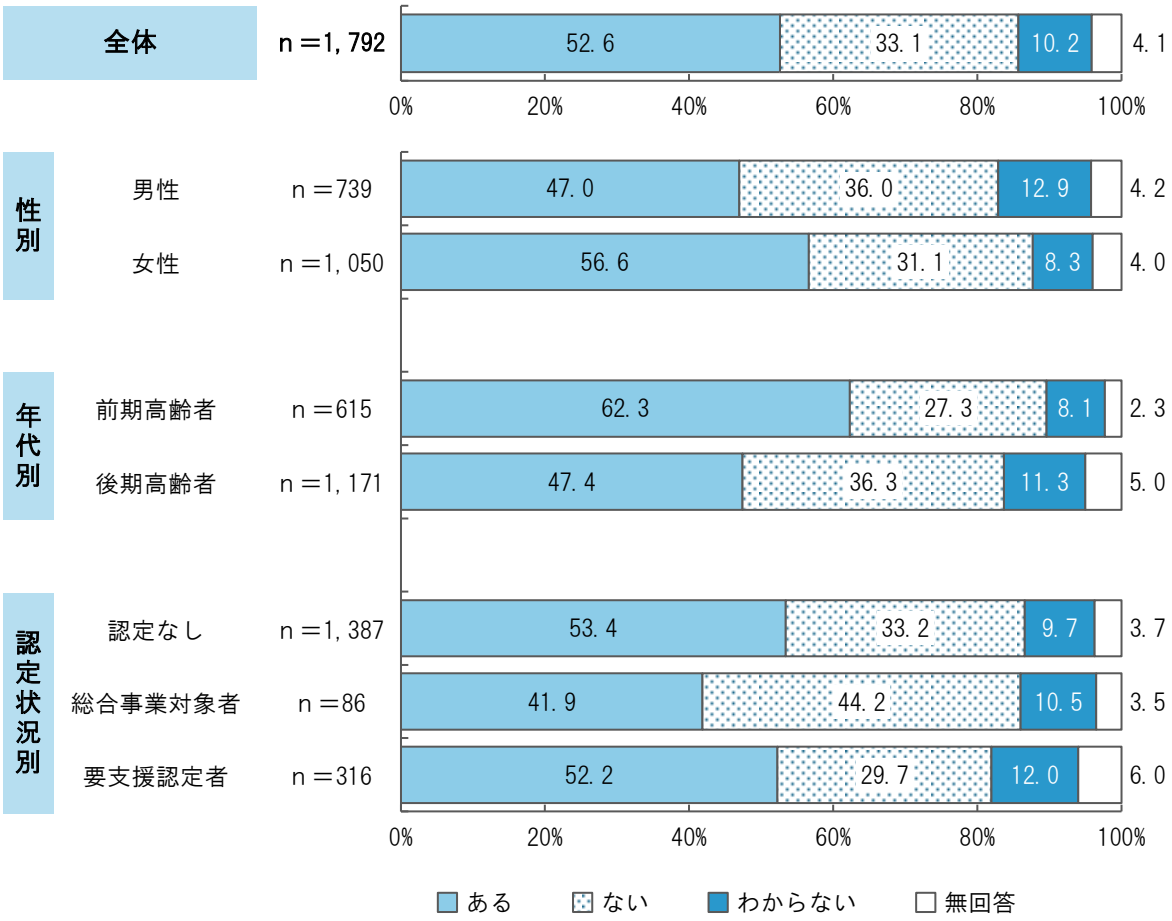
自身に認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかは「はい」が 9.7%、「いいえ」が 85.4%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。
性別・年代別・認定状況別でみると、いずれも大きな差異はありません。

問44　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）



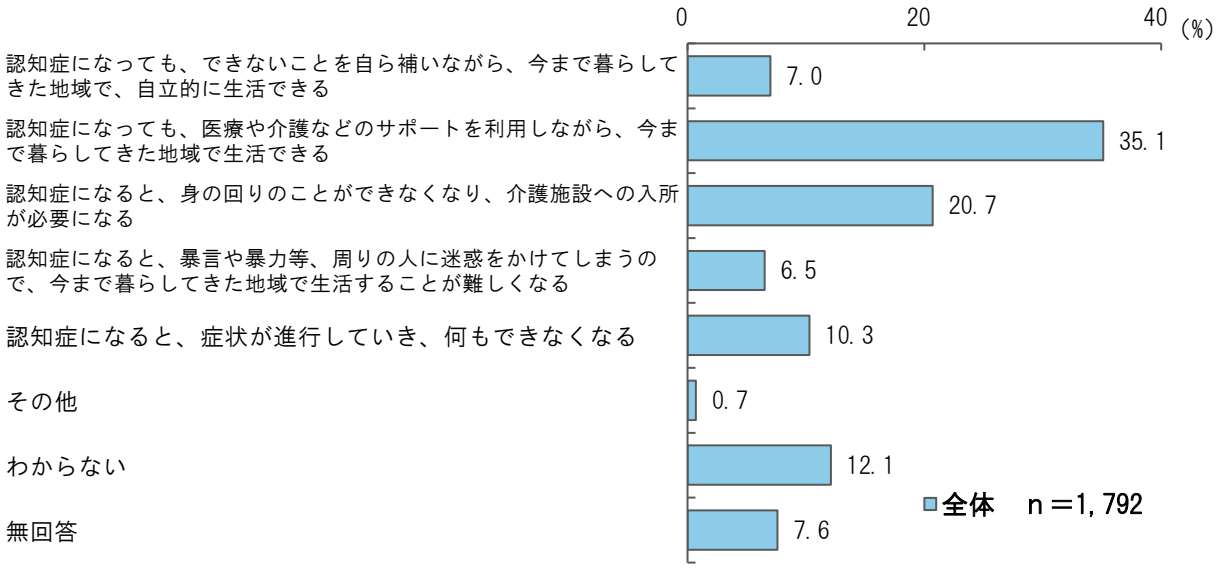
認知症に関する相談窓口の認知度は「はい」が 31.2%、「いいえ」が 63.4%となっています。令和４年度と比較すると、「いいえ」が 6.1 ポイント減少しています。
性別でみると、男性において「いいえ」が 67.7%と女性より 7.0 ポイント高くなっています。
年代別でみると、大きな差異はありません。
認定状況別でみると、認定なしにおいて「いいえ」が 64.8%と他より高くなっています。

問45　あなたはこれまでに認知症の人に接したことがありますか。（○は１つ）

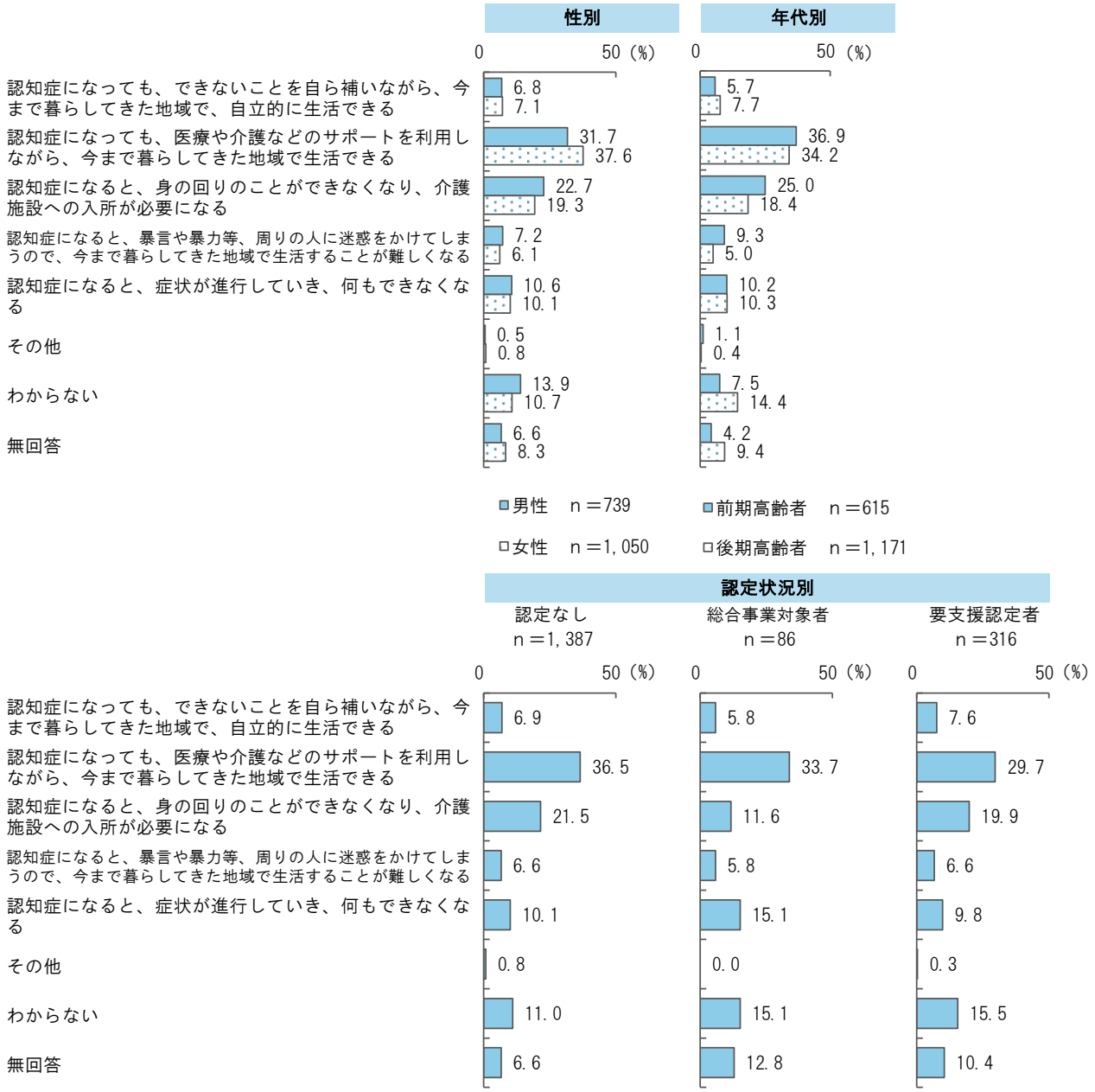


これまでに認知症の人に接したことがあるかは「ある」が 52.6%、「ない」が 33.1%、「わからない」が 10.2%となっています。
性別でみると、女性において「ある」が 56.6%と男性より 9.6 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「ある」が 62.3%と後期高齢者より 14.9 ポイント高くなっています。
認定状況別でみると、総合事業対象者において「ない」が 44.2%と他より高くなっています。

問46　あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（○は１つ）



認知症に対してどのようなイメージを持っているかは「認知症になっても、医療や介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活できる」が 35.1%と最も多く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる」が 20.7%、「わからない」が 12.1%などとなっています。

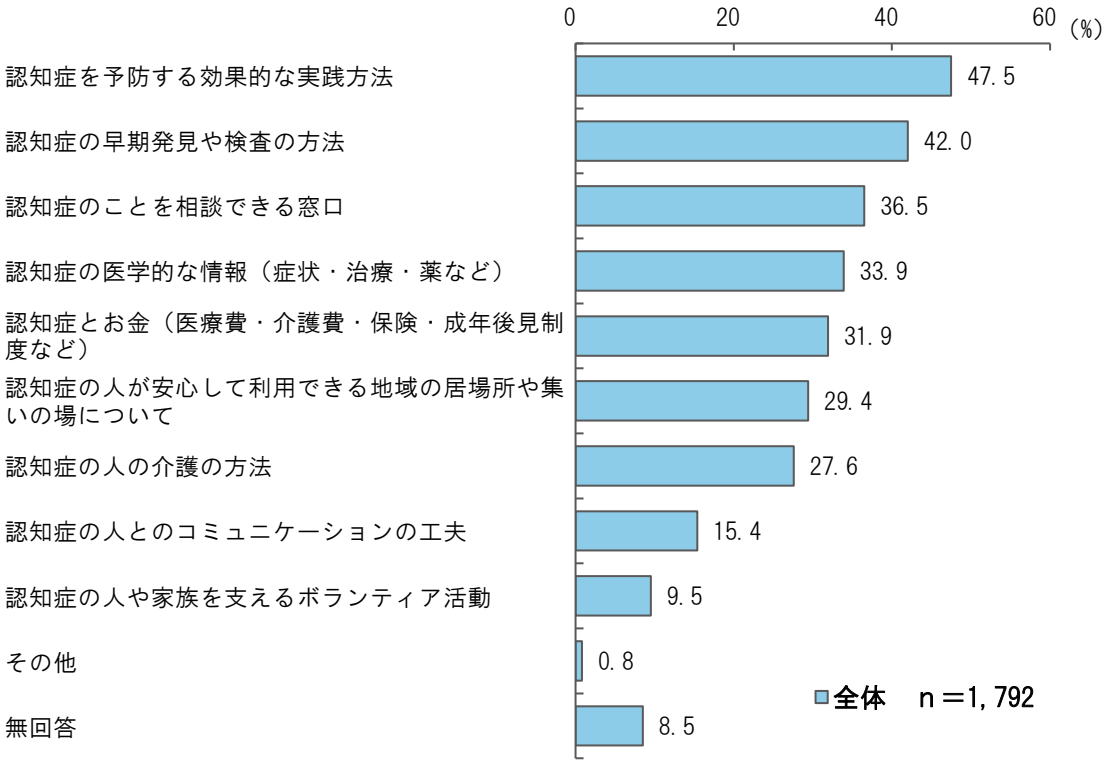


性別でみると、女性において「認知症になっても、医療や介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活できる」が 37.6%と男性より 5.9 ポイント高くなっています。

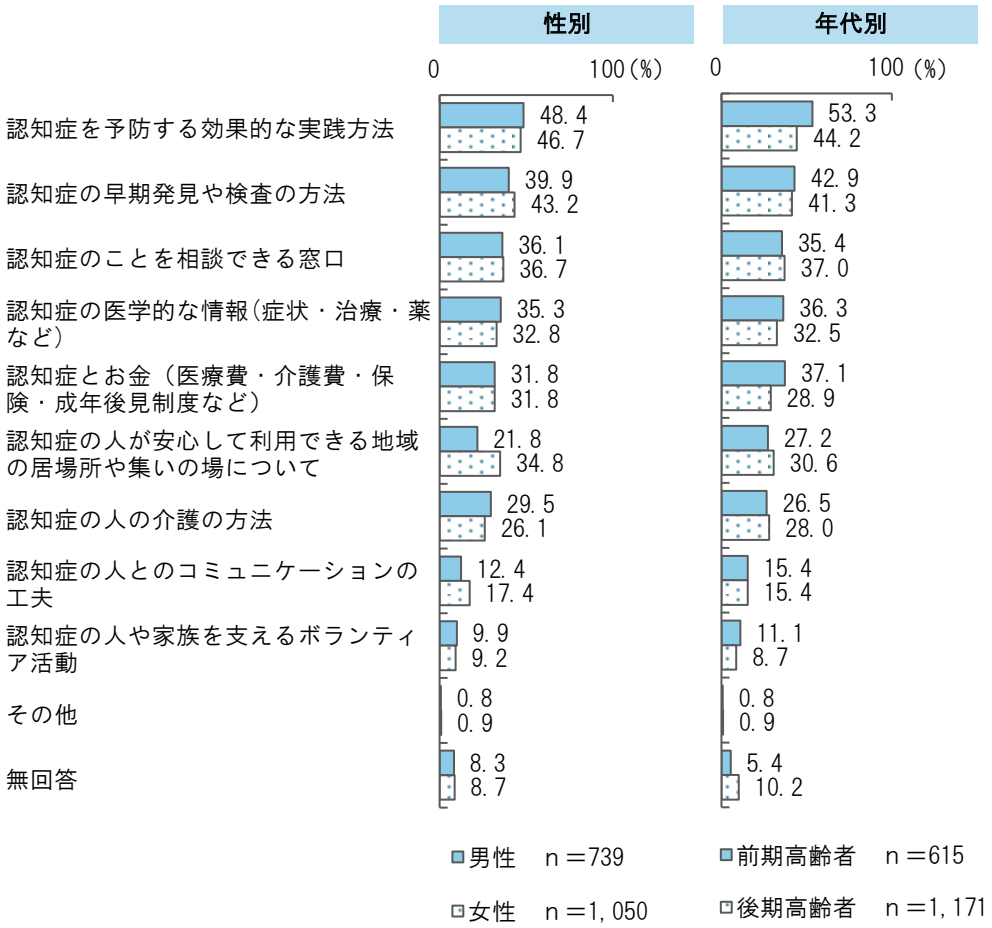
年代別でみると、前期高齢者において「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる」が 25.0%と後期高齢者より 6.6 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「わからない」が 14.4%と前期高齢者より 6.9 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、総合事業対象者において「認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなる」が 15.1%と他より高くなっています。

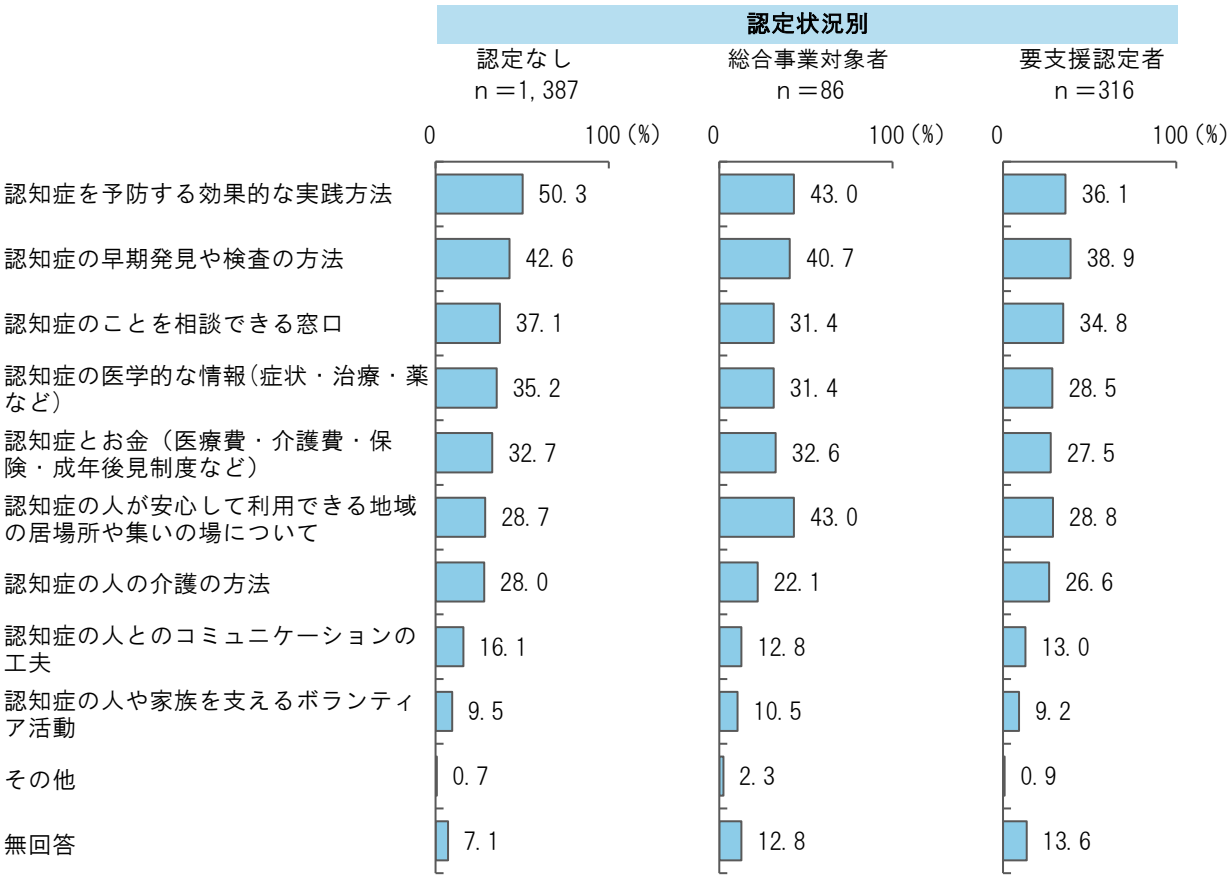
問47　あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。（○はいくつでも）



認知症について関心があることは「認知症を予防する効果的な実践方法」が 47.5%と最も多く、次いで「認知症の早期発見や検査の方法」が 42.0%、「認知症のことを相談できる窓口」が 36.5%などとなっています。

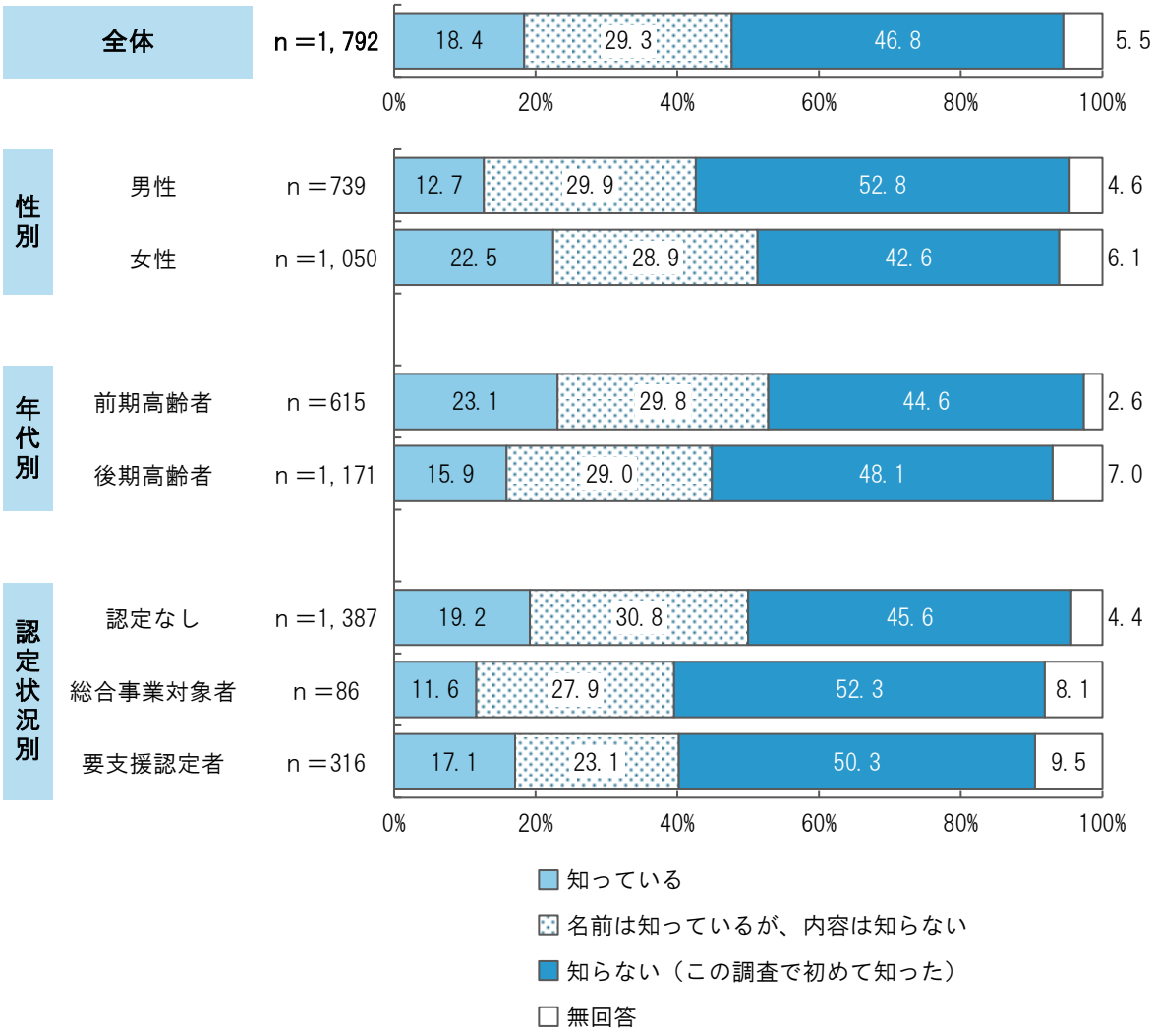


性別でみると、女性において「認知症の人とのコミュニケーションの工夫」が17.4%と男性より13.0ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「認知症を予防する効果的な実践方法」が53.3%と後期高齢者より9.1ポイント高くなっています。



認定状況別でみると、認定なしにおいて「認知症を予防する効果的な実践方法」が 50.3%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「認知症の人が安心して利用できる地域の居場所や集いの場について」が 43.0%と他より高くなっています。

問48　あなたは、認知症の前段階ともいわれる「軽度認知障害(ＭＣＩ)」を知っていますか。
（○は１つ）



「軽度認知障害(ＭＣＩ)」の認知度は「知っている」が 18.4%、「名前は知っているが、内容は知らない」が 29.3%、「知らない（この調査で初めて知った)」が 46.8%となっています。

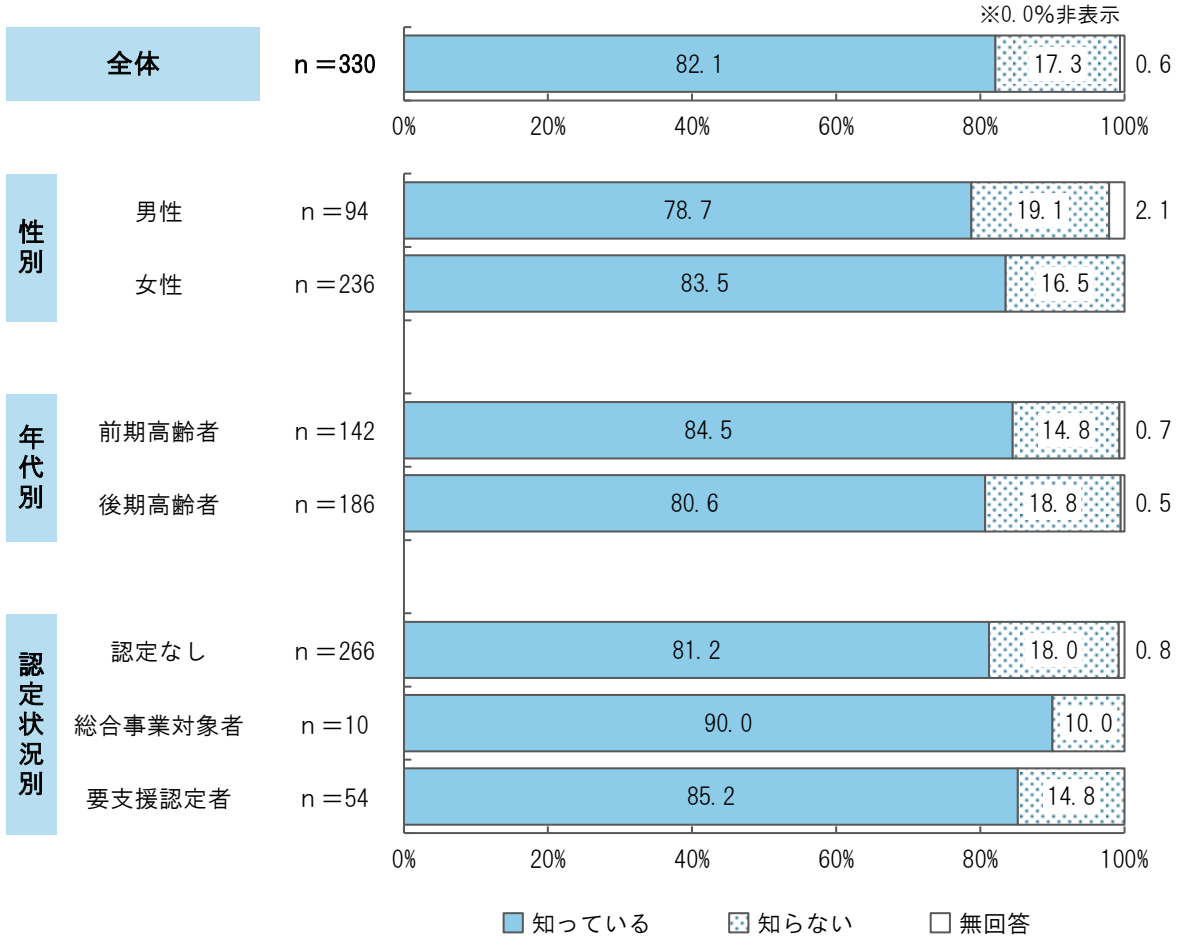
性別でみると、男性において「知らない（この調査で初めて知った)」が 52.8%と女性より 10.2 ポイント高くなっています。女性においては「知っている」が 22.5%と男性より 9.8 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「知っている」が 23.1%と後期高齢者より 7.2 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、大きな差異はありません。

問 48 で「知っている」と回答した方にお伺いします

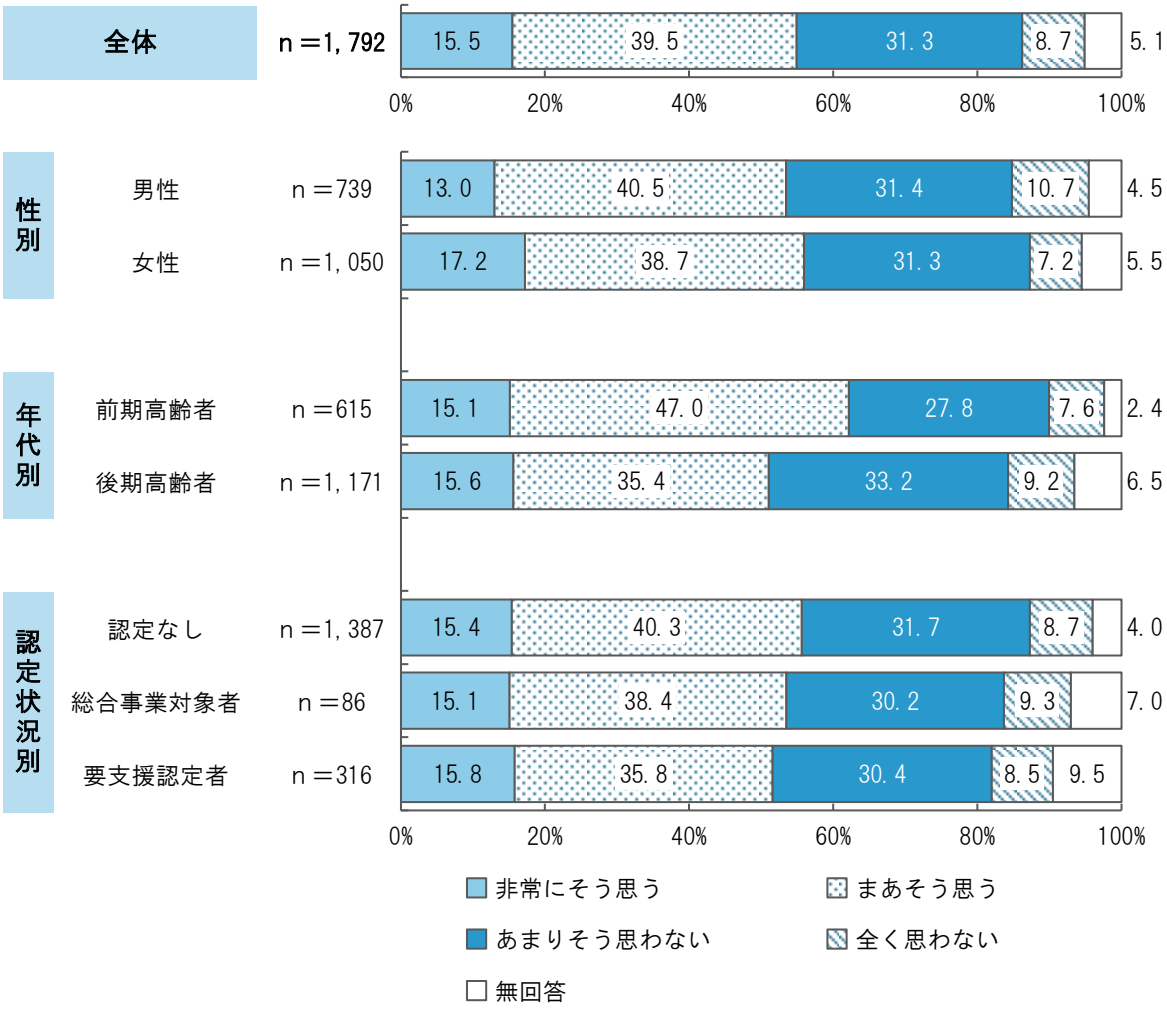
問48－１　「軽度認知障害(ＭＣⅠ)」は、運動や食生活などの生活習慣の工夫によって、改善したり進行を遅らせたりできる可能性があることを知っていますか。(○は１つ)



「軽度認知障害(ＭＣⅠ)」は、生活習慣の工夫によって、改善したり進行を遅らせたりできる可能性があることを知っているかは「知っている」が 82.1%、「知らない」が 17.3%となっています。

性別・年代別・認定状況別でみると、いずれも大きな差異はありません。

問49　あなたは、認知症を早期発見するための検診や簡易検査を受けてみたいと思いますか。
（○は１つ）



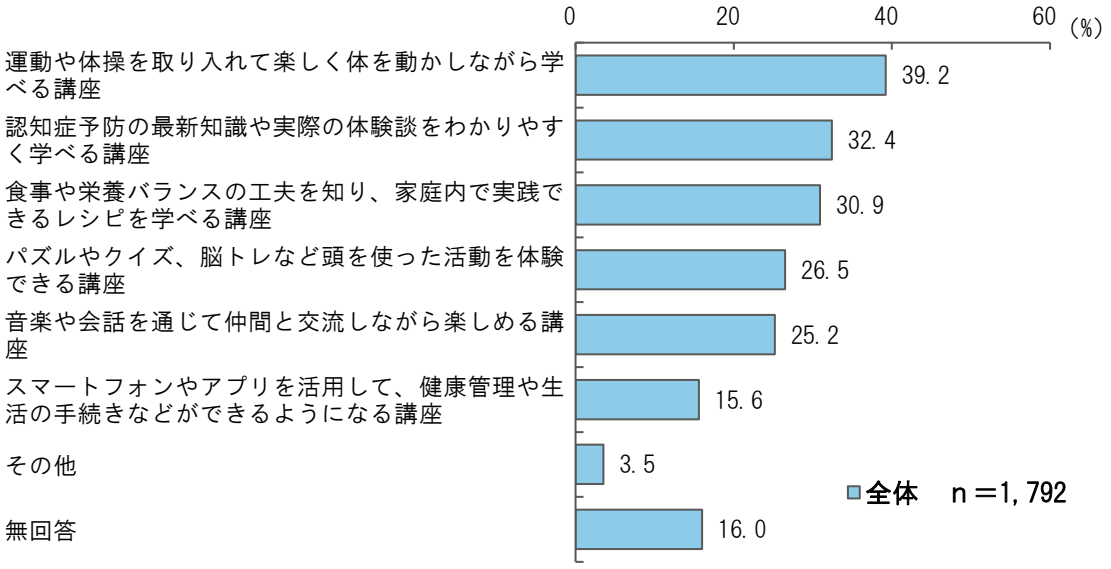
※『そう思う』：「非常にそう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合
　『そう思わない』：「全く思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合

認知症を早期発見するための検診や簡易検査を受けてみたいと思うかは「まあそう思う」が39.5%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が31.3%、「非常にそう思う」が15.5%などとなっています。また、『そう思う』は55.0%、『そう思わない』は40.0%となっています。

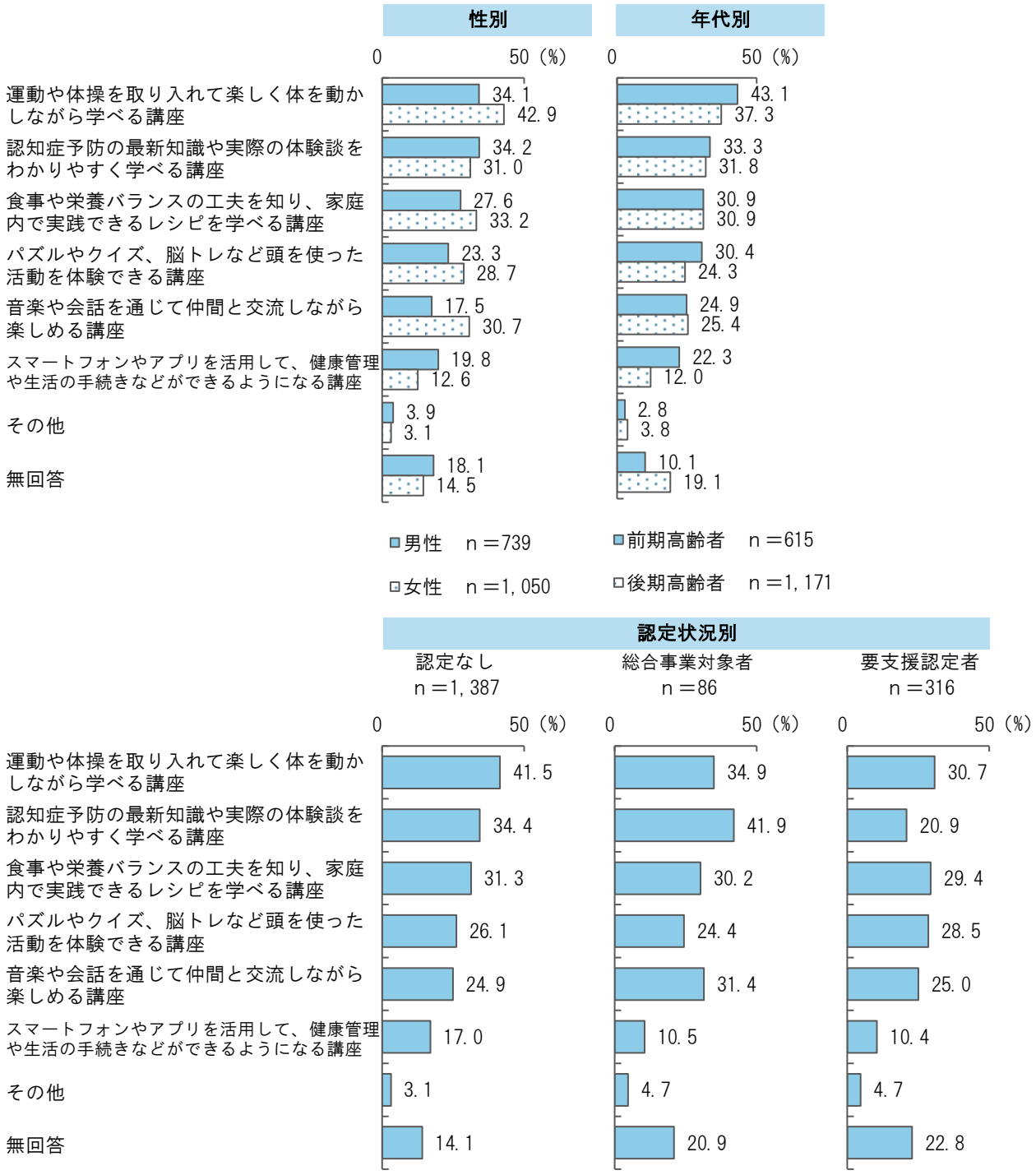
年代別でみると、前期高齢者において『そう思う』が62.1%と後期高齢者より11.1ポイント高くなっています。

性別および認定状況別でみると、大きな差異はありません。

問50　長泉町では、住民の方が認知症の予防について知り、日々の生活に取り入れられるための講座を開催しています。あなたはどのような講座に参加したいと思いますか。
（○は３つまで）



町で開催されている認知症予防講座について、どのようなものに参加したいかは「運動や体操を取り入れて楽しく体を動かしながら学べる講座」が 39.2%と最も多く、次いで「認知症予防の最新知識や実際の体験談をわかりやすく学べる講座」が 32.4%、「食事や栄養バランスの工夫を知り、家庭内で実践できるレシピを学べる講座」が 30.9%などとなっています。

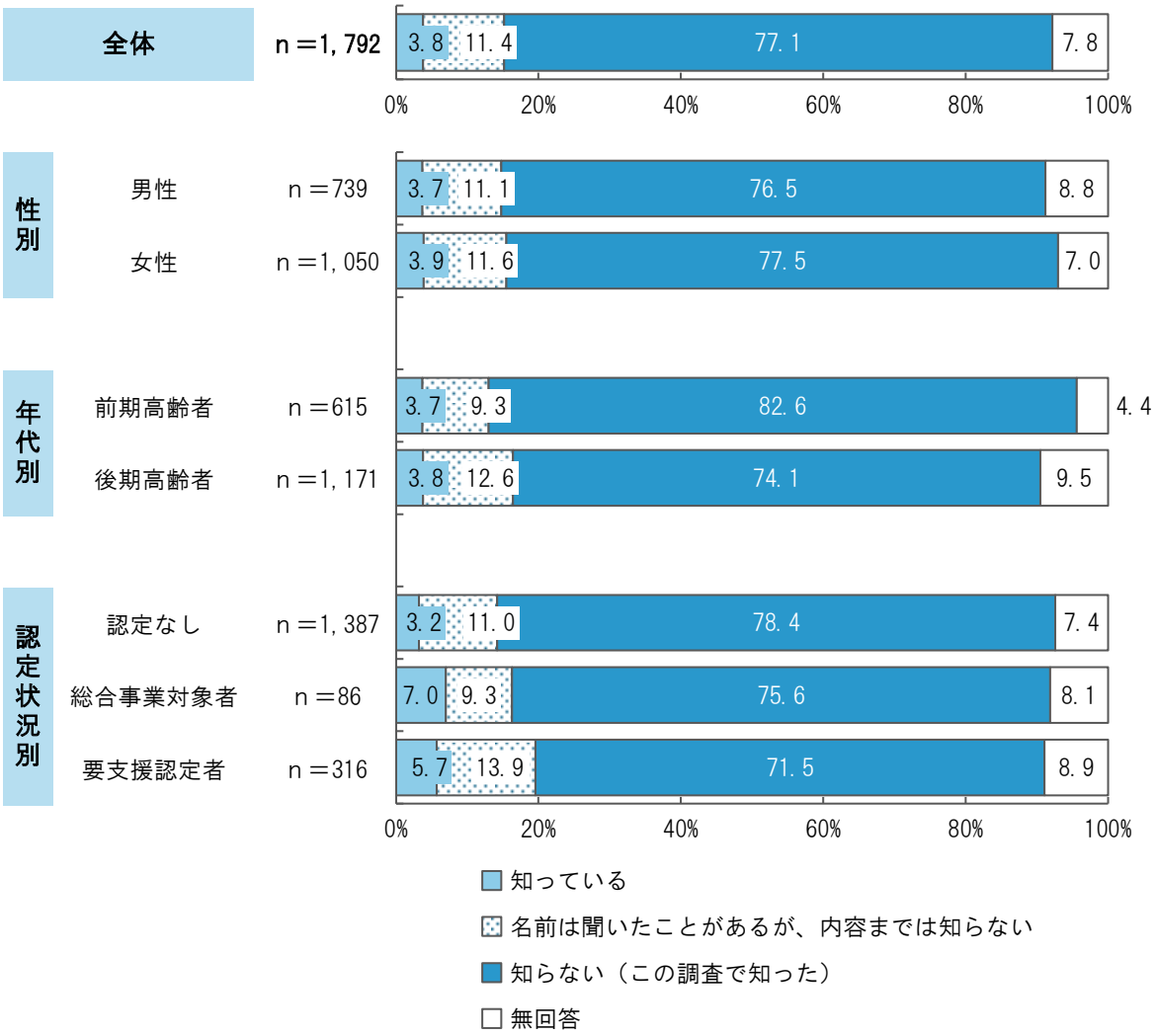


性別でみると、男性において「スマートフォンやアプリを活用して、健康管理や生活の手続きなどができるようになる講座」が19.8%と女性より7.2ポイント高くなっています。女性においては「音楽や会話を通じて仲間と交流しながら楽しめる講座」が30.7%と男性より13.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「スマートフォンやアプリを活用して、健康管理や生活の手続きなどができるようになる講座」が22.3%と後期高齢者より10.3ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「運動や体操を取り入れて楽しく体を動かしながら学べる講座」「スマートフォンやアプリを活用して、健康管理や生活の手続きなどができるようになる講座」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「認知症予防の最新知識や実際の体験談をわかりやすく学べる講座」「音楽や会話を通じて仲間と交流しながら楽しめる講座」が他より高くなっています。

問51　あなたは、認知症についての相談サポートを行う「認知症初期集中支援チーム」を知っていますか。（○は１つ）

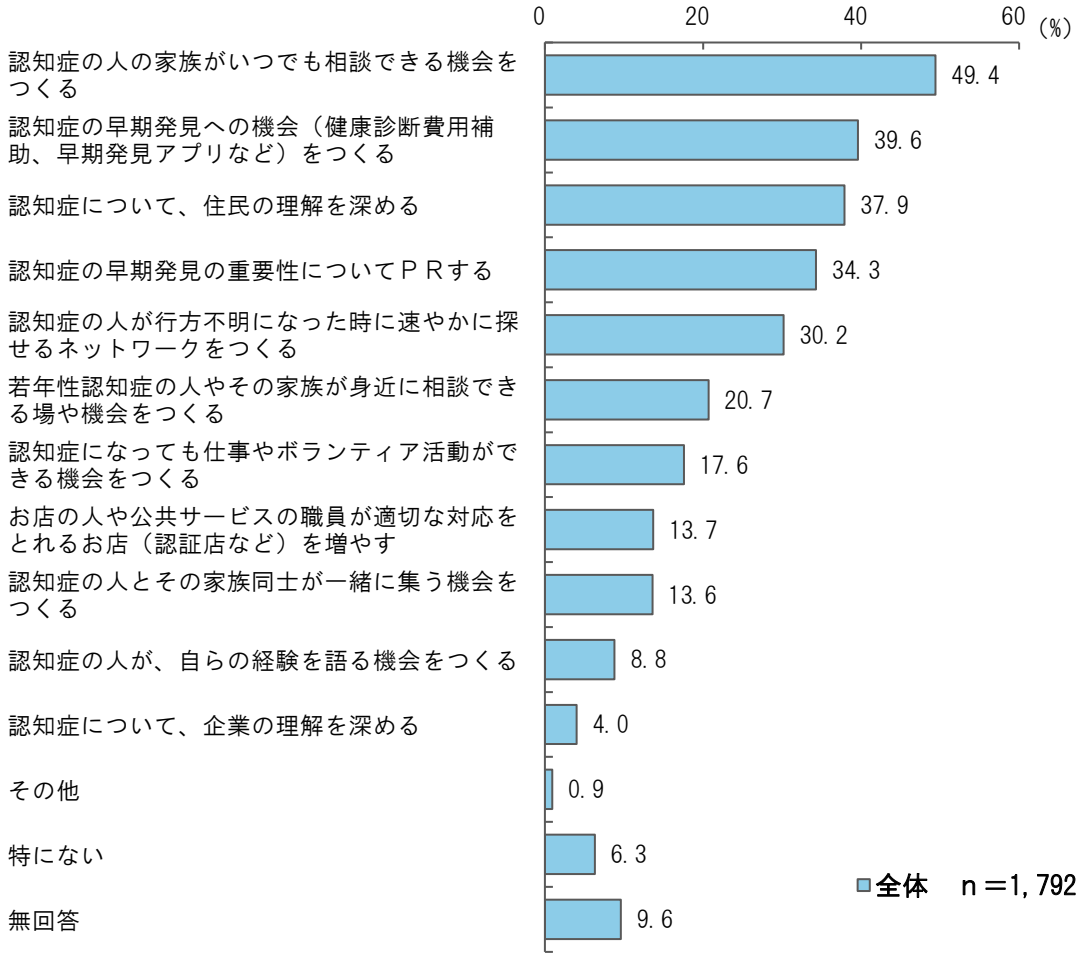


認知症の相談サポートを行う「認知症初期集中支援チーム」の認知度は「知っている」が 3.8%、「名前は知っているが、内容は知らない」が 11.4%、「知らない（この調査で知った）」が 77.1%となっています。

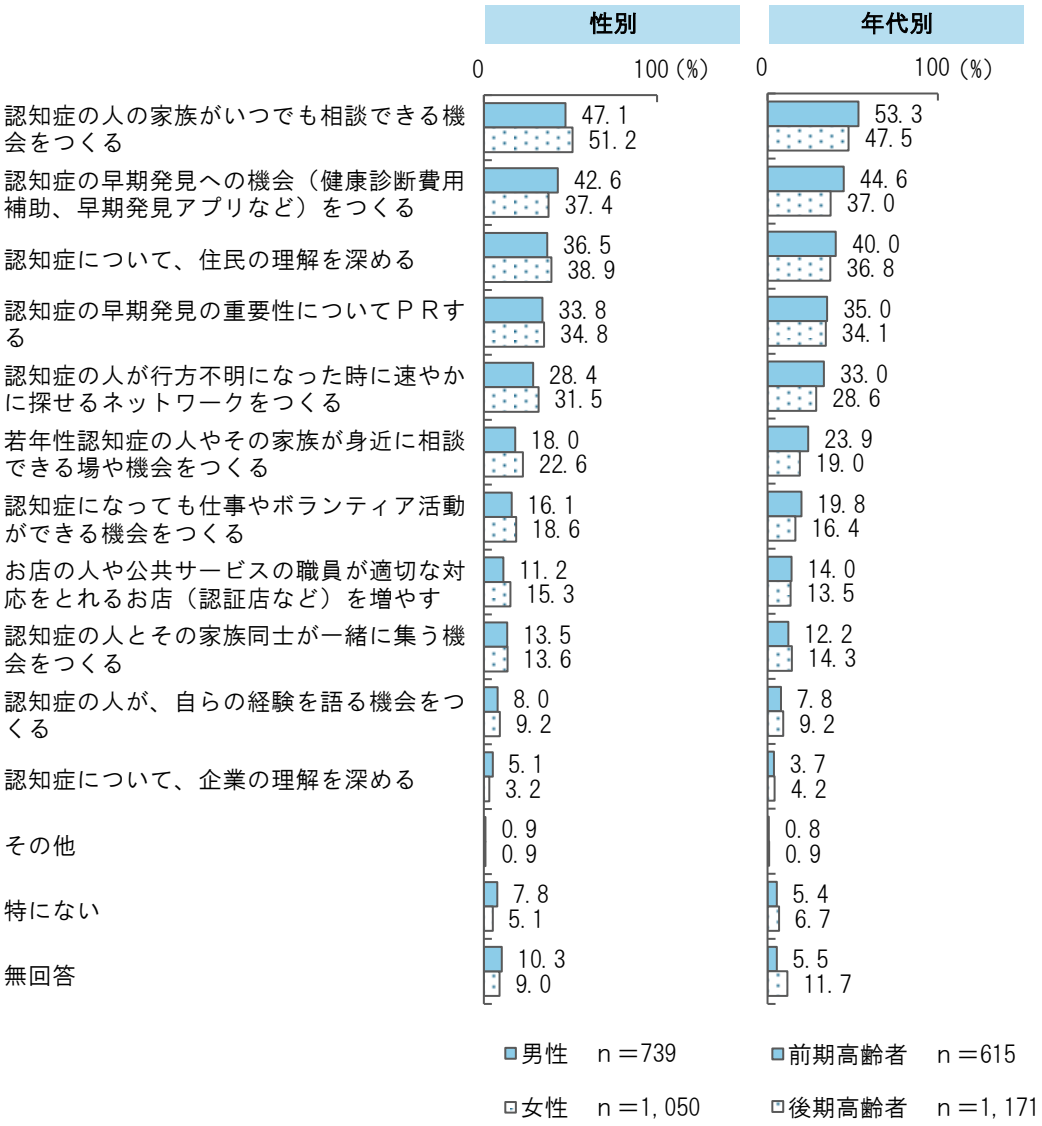
年代別でみると、前期高齢者において「知らない（この調査で知った）」が 82.6%と後期高齢者より 8.5 ポイント高くなっています。

性別および認定状況別でみると、大きな差異はありません。

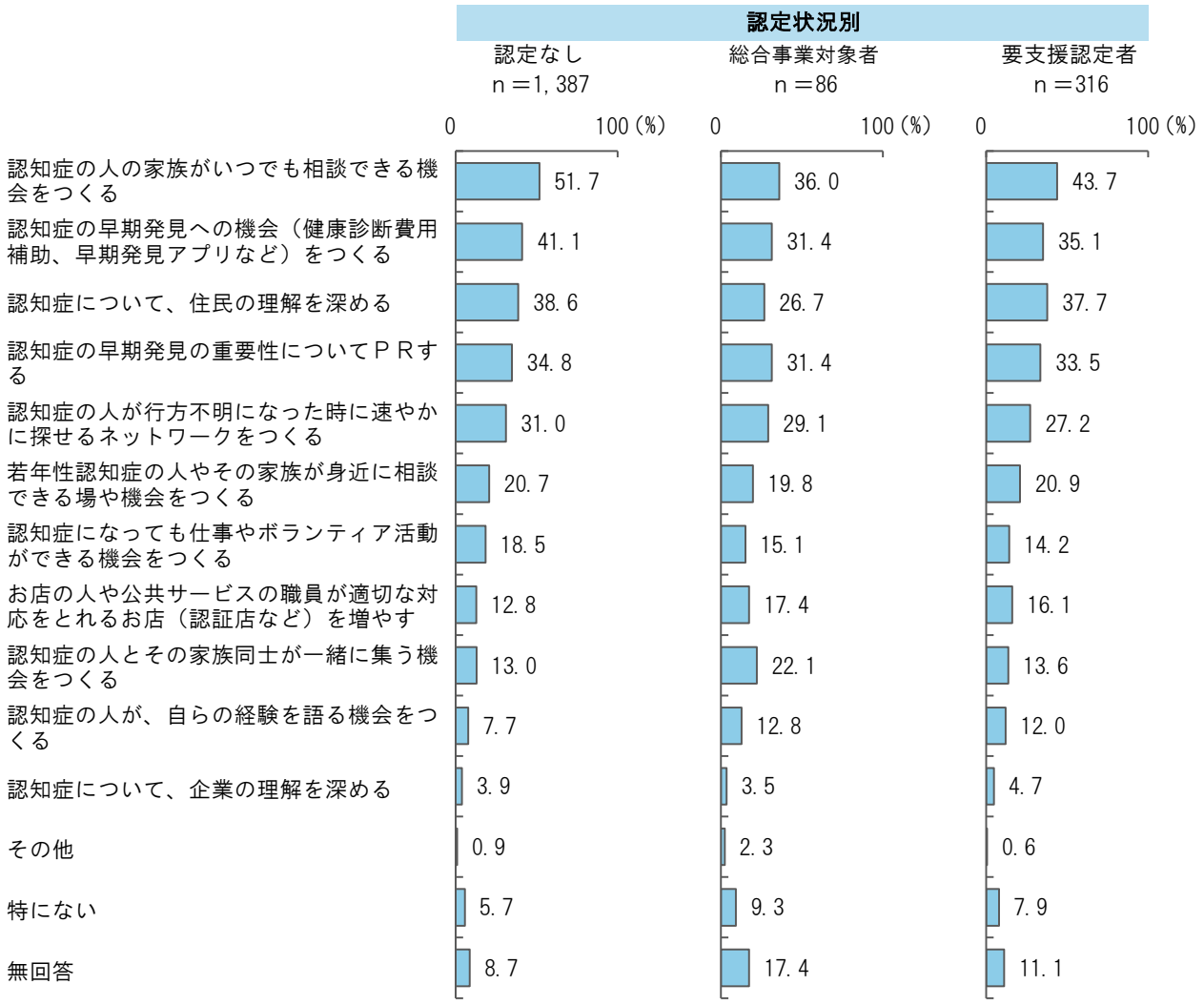
問52　認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会（地域）をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。（○はいくつでも）



認知症の人と家族が安心して暮らせる社会（地域）をつくるために必要だと思う取り組みは「認知症の人の家族がいつでも相談できる機会をつくる」が49.4%と最も多く、次いで「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が39.6%、「認知症について、住民の理解を深める」が37.9%などとなっています。

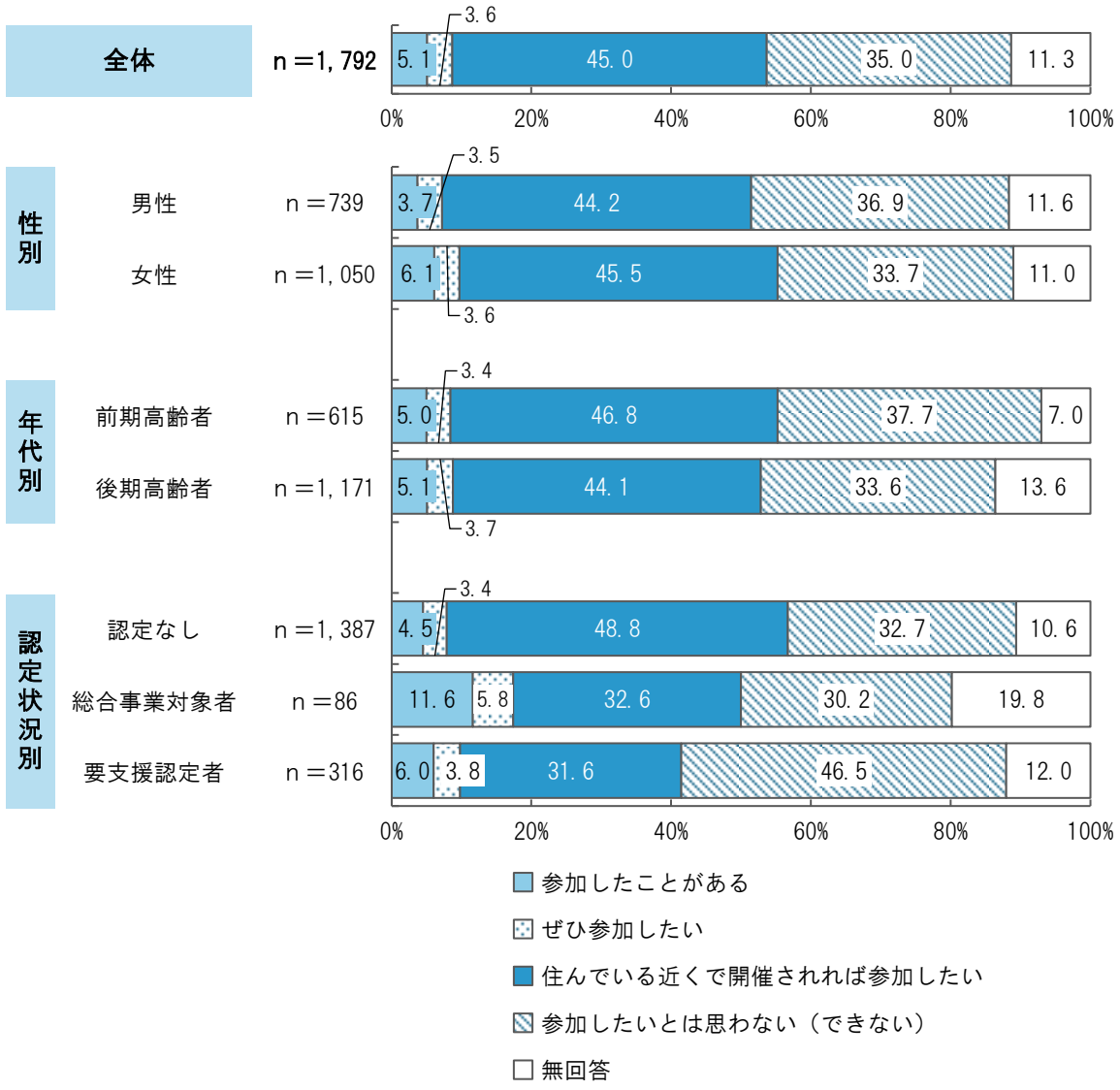


性別でみると、男性において「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が 42.6%と女性より 5.2 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が 44.6%と後期高齢者より 7.6 ポイント高くなっています。



認定状況別でみると、認定なしにおいて「認知症の人の家族がいつでも相談できる機会をつくる」「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる」が 22.1%と他より高くなっています。

問53　「認知症サポーター養成講座」により、住民の方が認知症に関する正しい知識と理解や、認知症の人とその家族への支援などの知識を習得できるよう支援しています。あなたは、このような講座に参加したいと思いますか。（○は１つ）

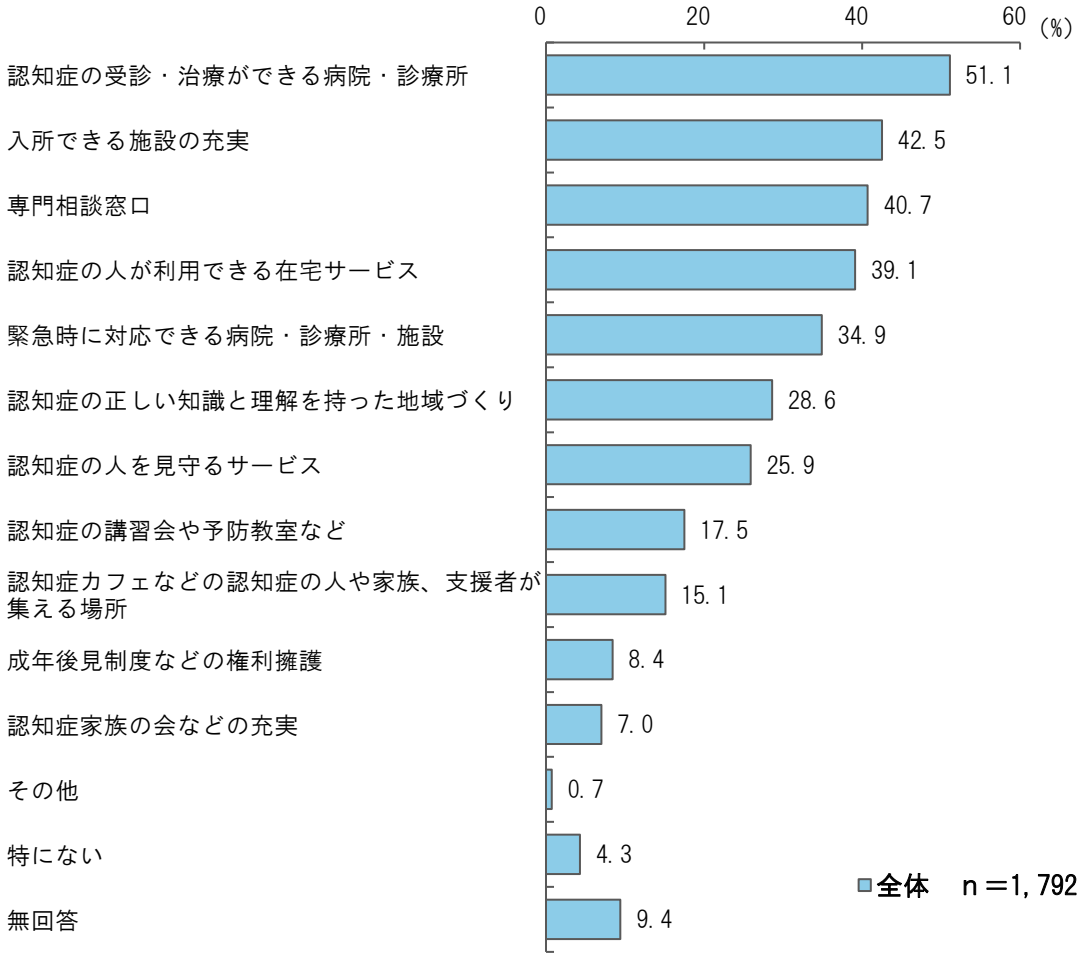


「認知症サポーター養成講座」に参加したいかは「住んでいる近くで開催されれば参加したい」が 45.0%と最も多く、次いで「参加したいとは思わない（できない）」が 35.0%、「参加したことがある」が 5.1%などとなっています。

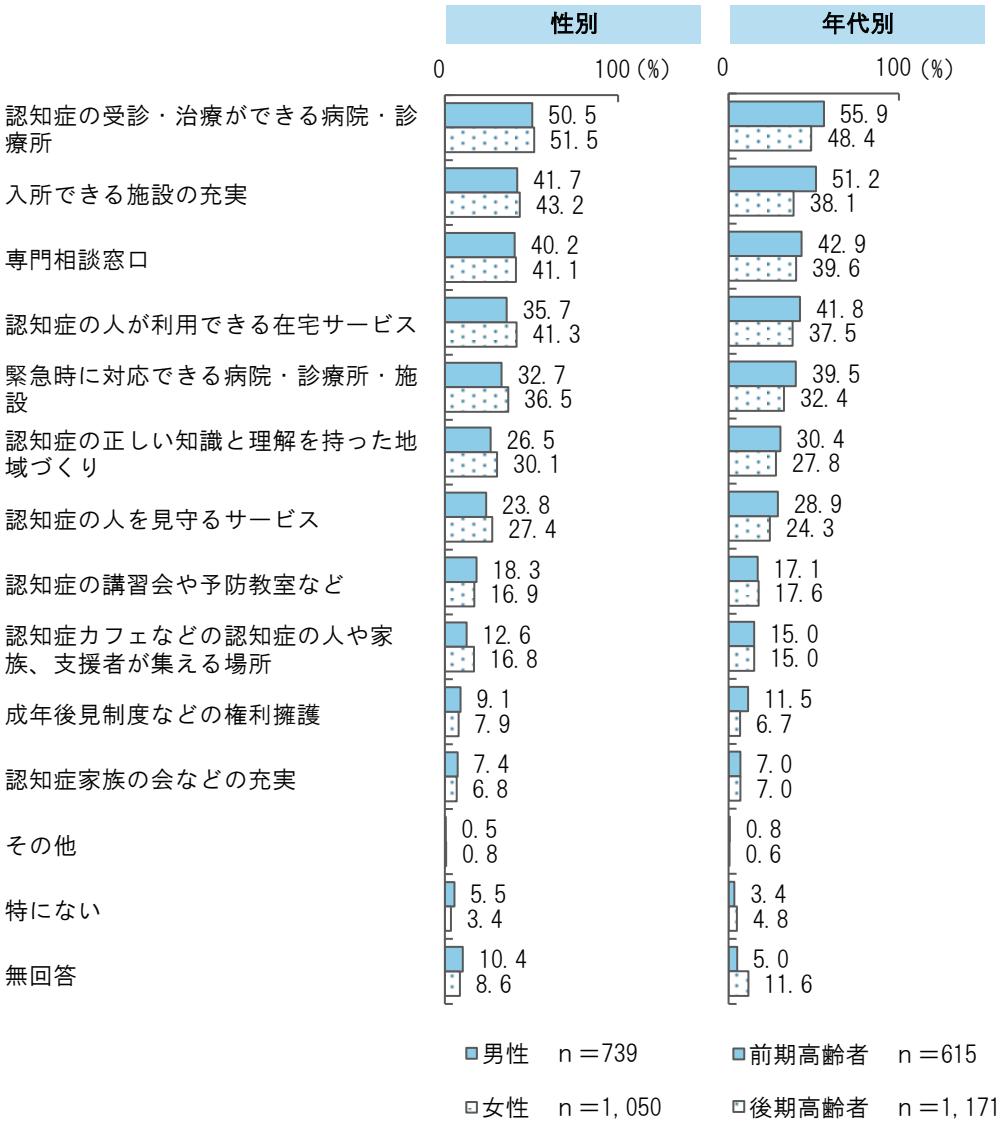
性別および年代別でみると、大きな差異はありません。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「住んでいる近くで開催されれば参加したい」が 48.8%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「参加したことがある」が 11.6%と他より高くなっています。要支援認定者においては「参加したいとは思わない（できない）」が 46.5%と他より高くなっています。

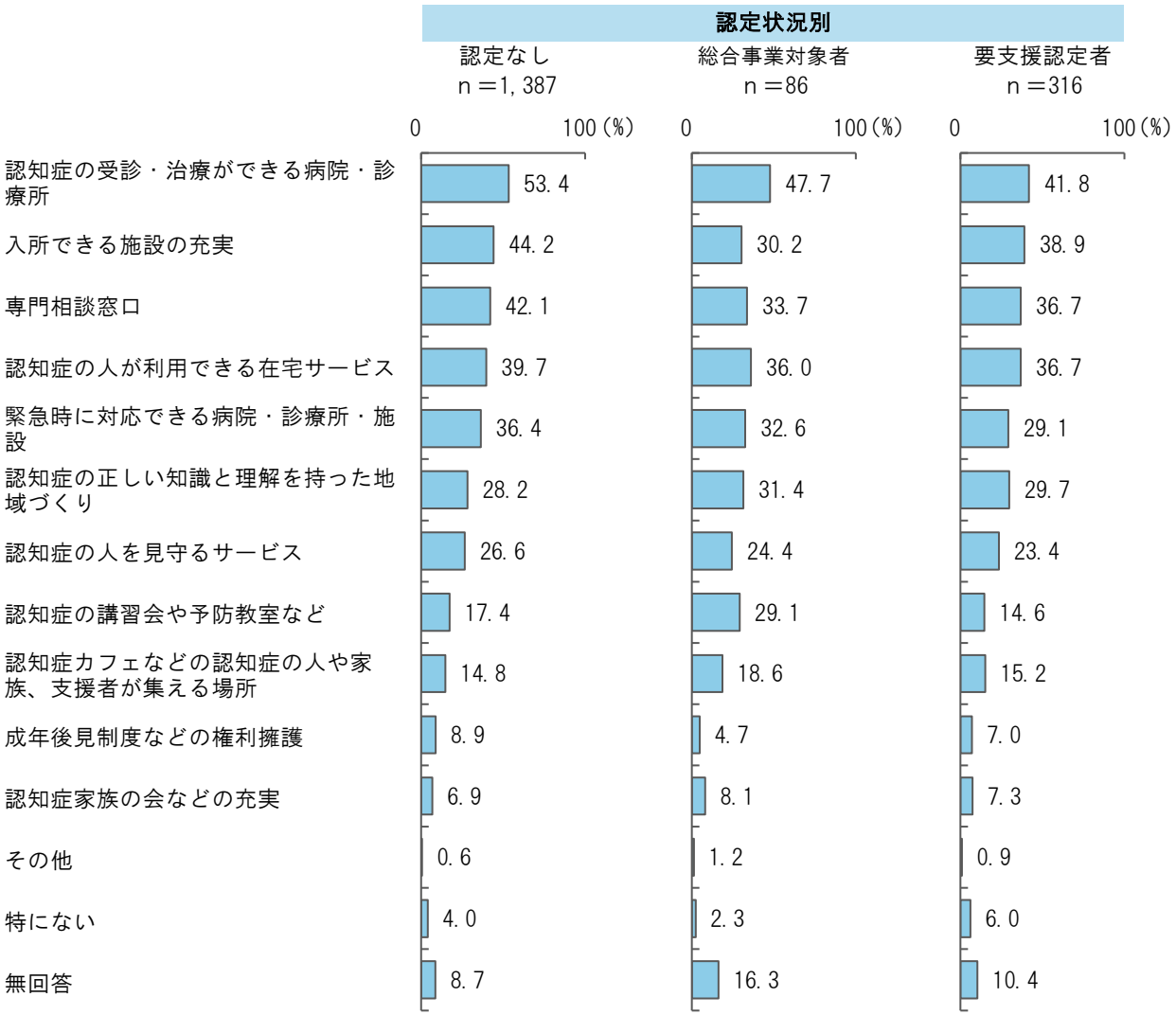
問54　どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。（○はいくつでも）



どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていけると思うかは「認知症の受診・治療ができる病院・診療所」が51.1%と最も多く、次いで「入所できる施設の充実」が42.5%、「専門相談窓口」が40.7%などとなっています。



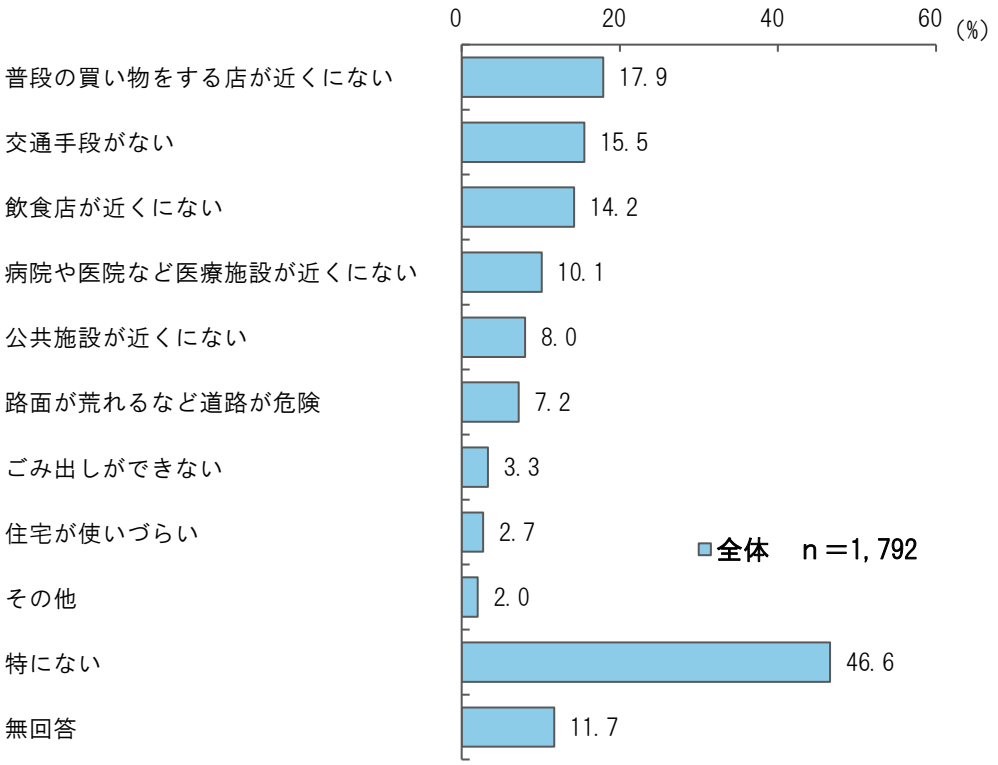
性別でみると、女性において「認知症の人が利用できる在宅サービス」が 41.3%と男性より 5.6 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「入所できる施設の充実」が 51.2%と後期高齢者より 13.1 ポイント高くなっています。



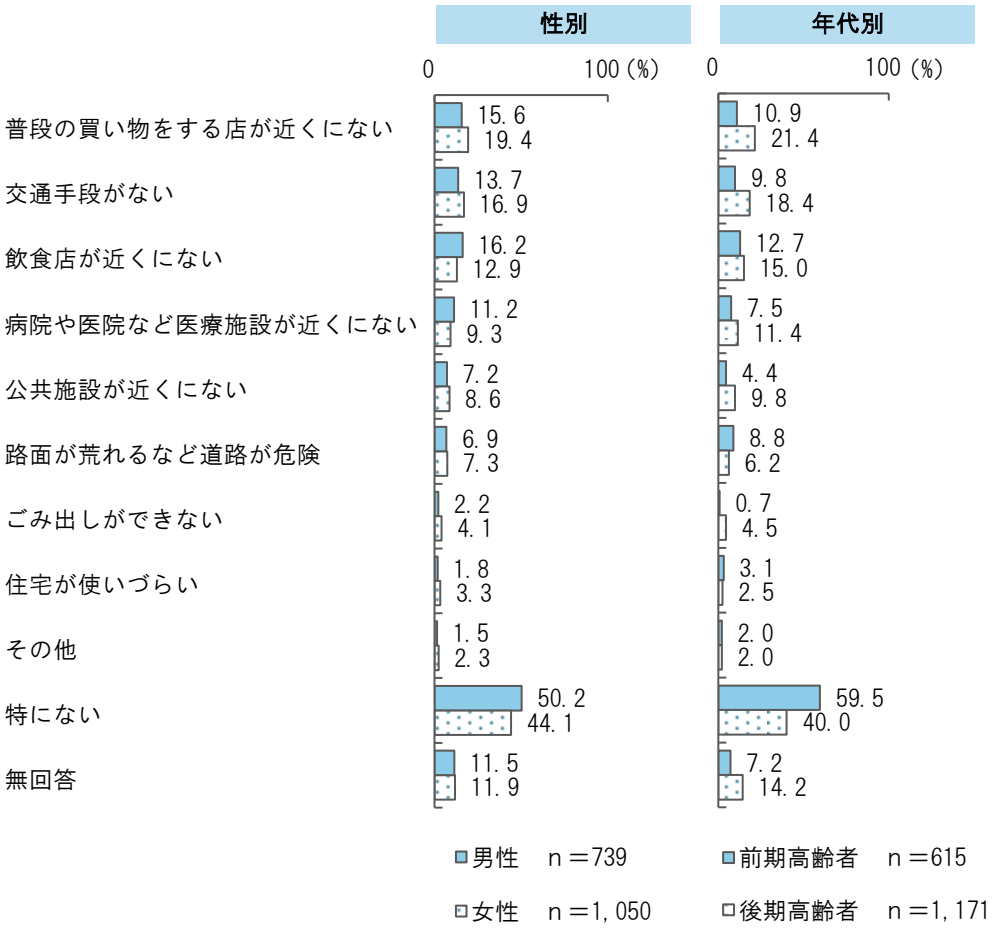
認定状況別でみると、認定なしにおいて「認知症の受診・治療ができる病院・診療所」「入所できる施設の充実」「専門相談窓口」が他より高くなっています。総合事業対象者においては「認知症の講習会や予防教室など」が29.1%と他より高くなっています。

その他について

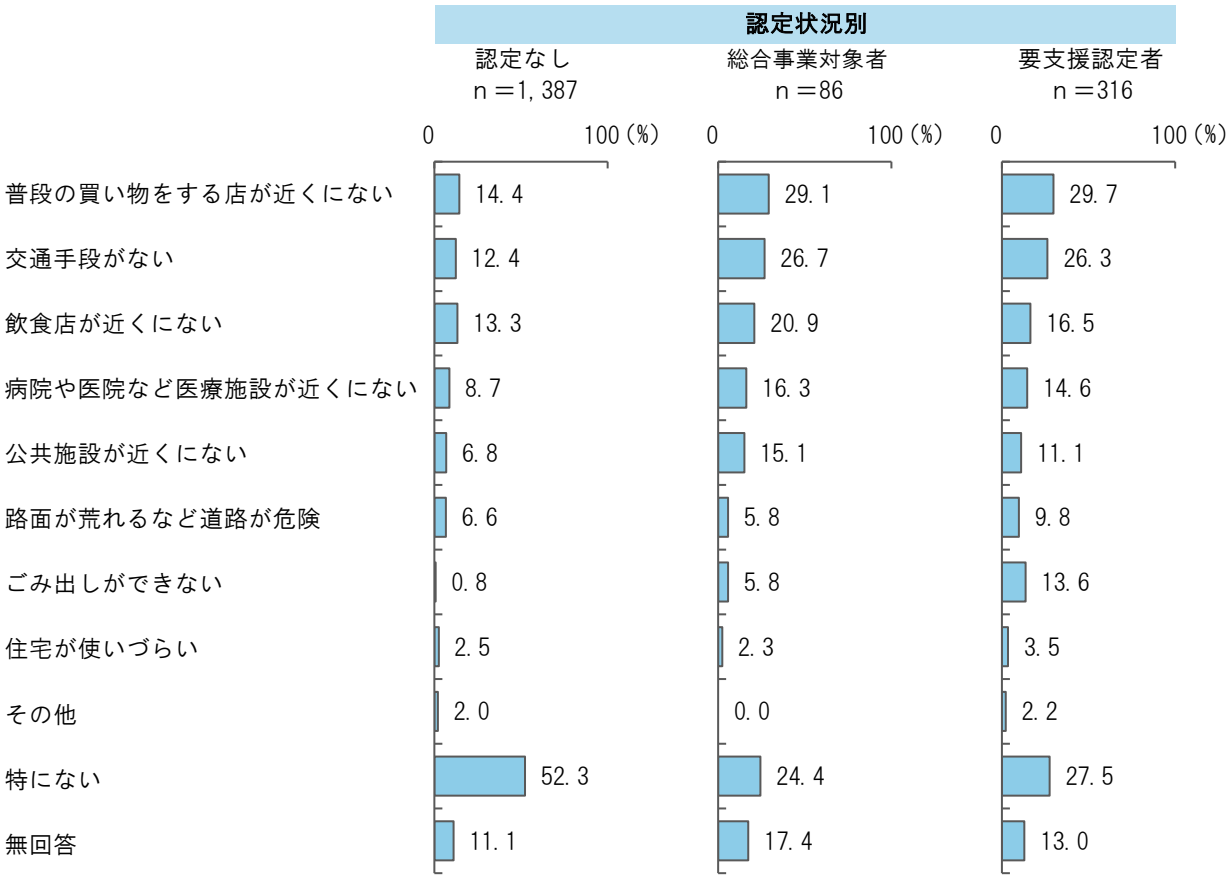
問 55　あなたは日常生活で主にどのような不便を感じていますか。（○はいくつでも）



日常生活でどのようなことに不便を感じているかは「普段の買い物をする店が近くにない」が 17.9%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 15.5%、「飲食店が近くにない」が 14.2%などとなっています。また、「特にない」は 46.6%となります。

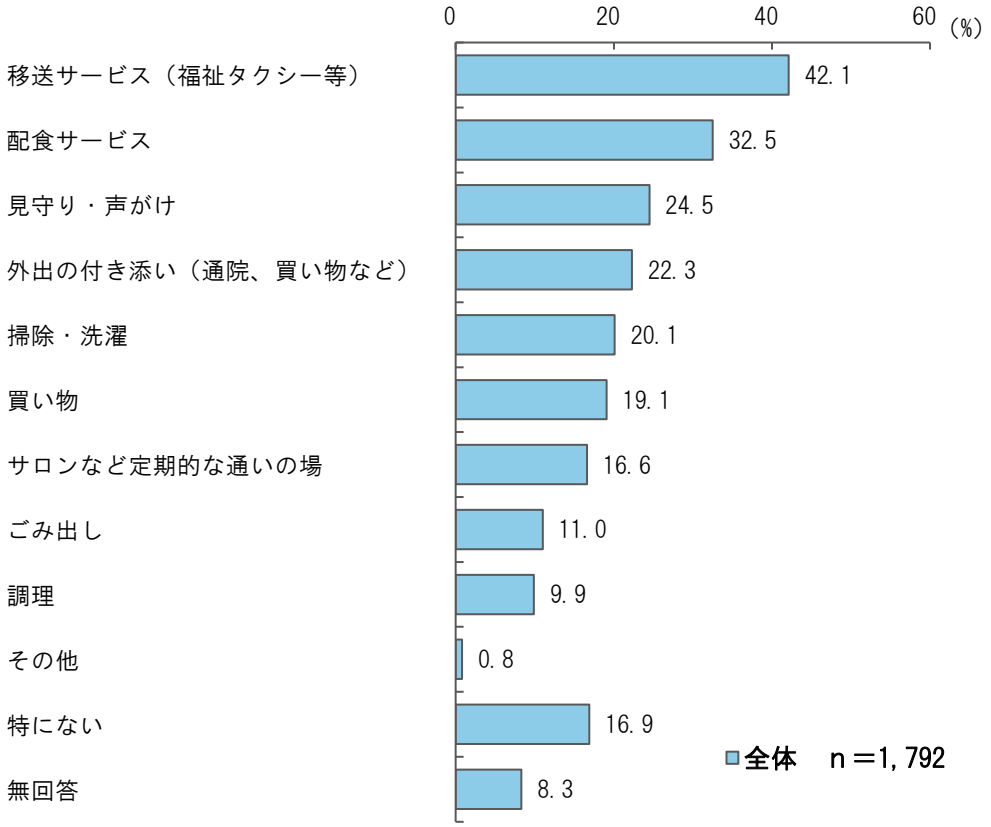


性別でみると、男性において「特にない」が 50.2%と女性より 6.1 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「特にない」が 59.5%と後期高齢者より 19.5 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「普段の買い物をする店が近くにない」が 21.4%前期高齢者より 10.5 ポイント高くなっています。

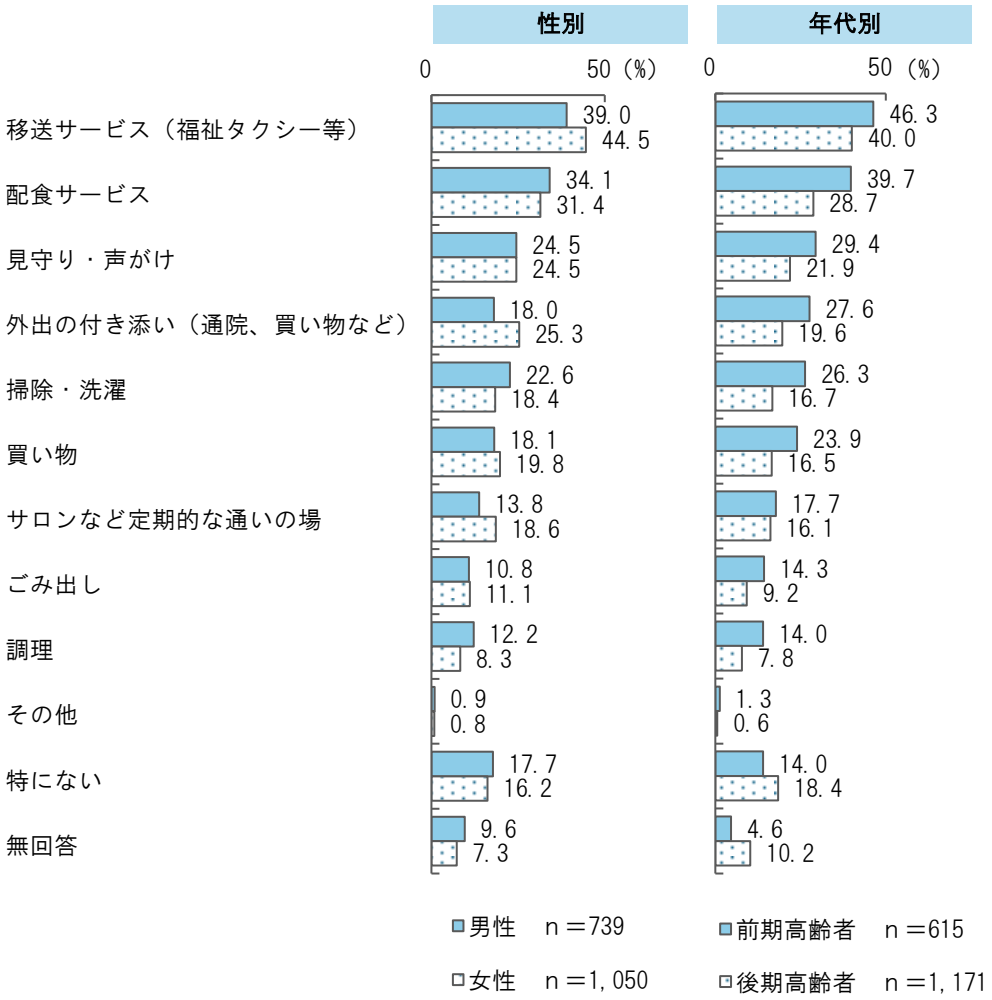


認定状況別でみると、認定なしにおいて「特にない」が 52.3%と他より高くなっています。要支援認定者においては「ごみ出しができない」が 13.6%と他より高くなっています。

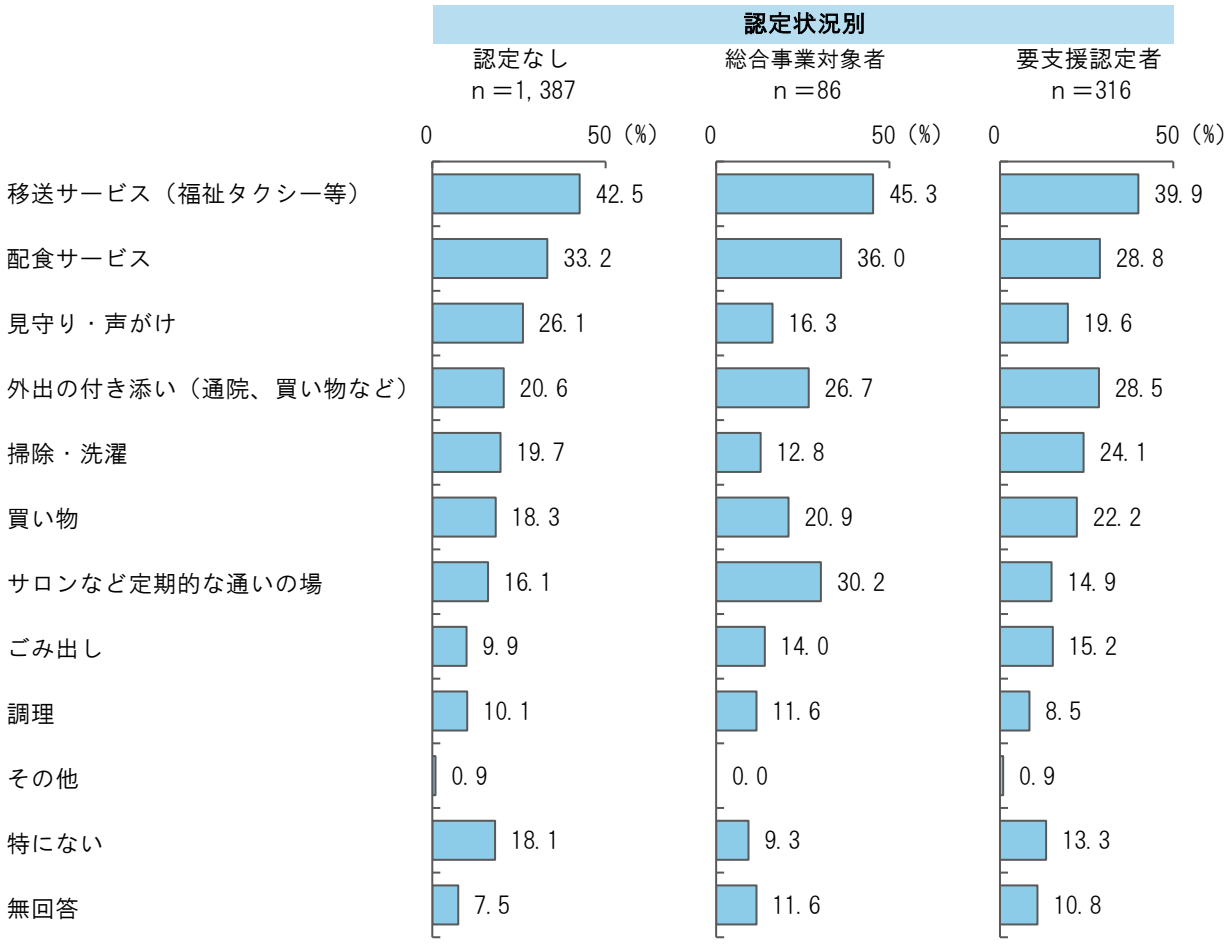
問56　高齢者に対するサービスとして、どのようなものがあったらよいと思いますか。
（○はいくつでも）



高齢者に対するサービスとして、あったらよいと思うものは「移送サービス（福祉タクシー等）」が42.1%と最も多く、次いで「配食サービス」が32.5%、「見守り・声がけ」が24.5%などとなっています。



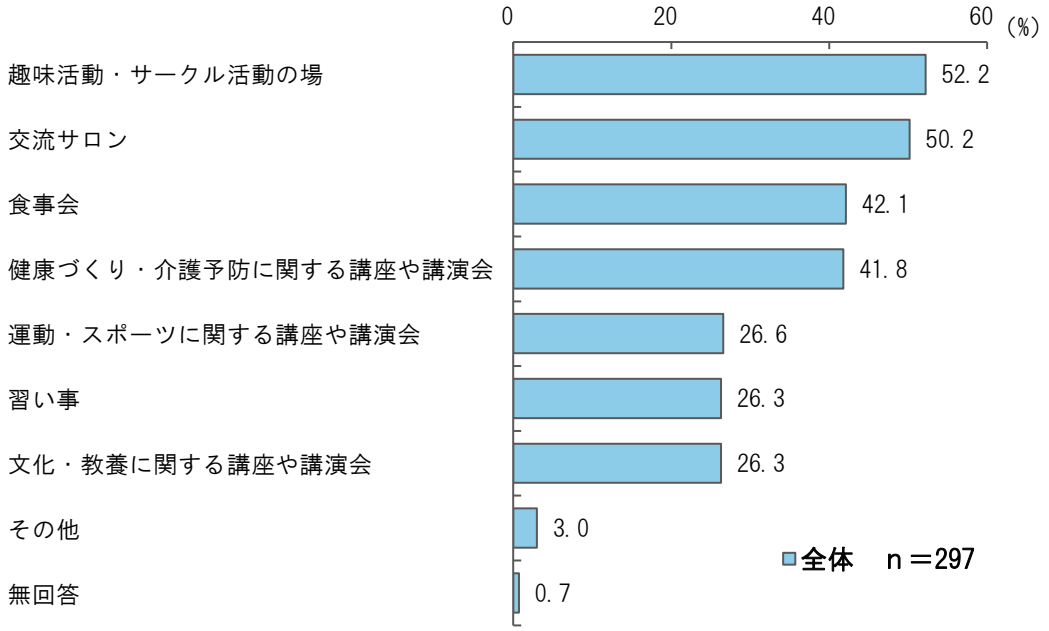
性別でみると、女性において「外出の付き添い（通院、買い物など）」が 25.3%と男性より 7.3 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「配食サービス」が 39.7%と後期高齢者より 11.0 ポイント高くなっています。



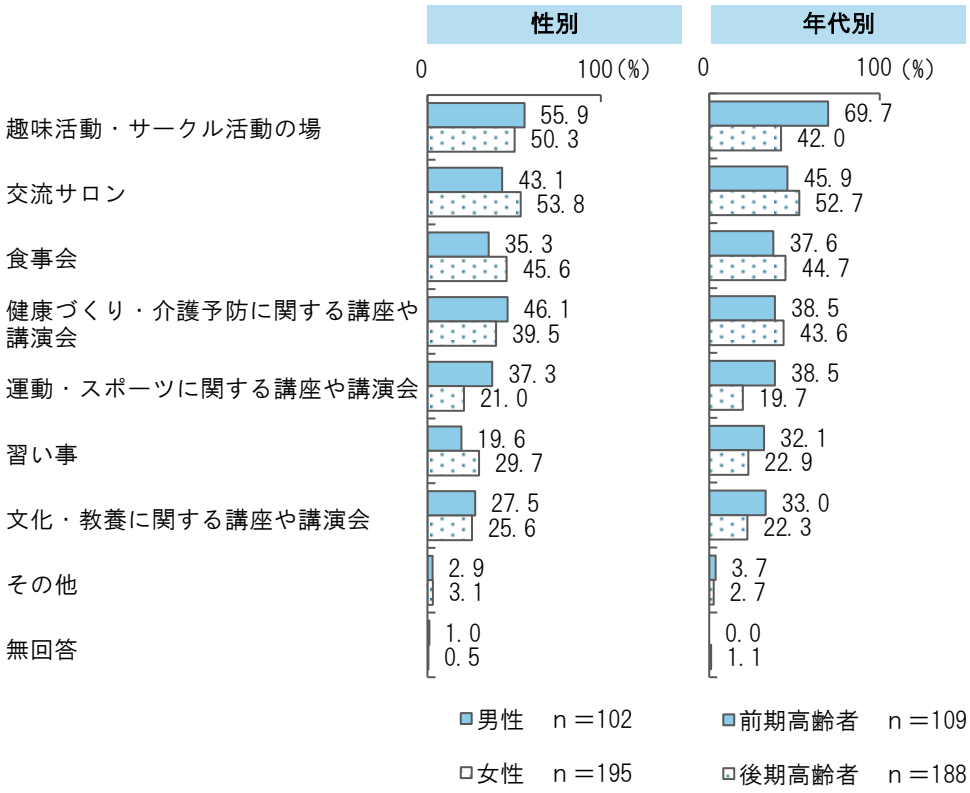
認定状況別でみると、認定なしにおいて「見守り・声がけ」が 26.1%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「サロンなど定期的な通いの場」が 30.2%と他より高くなっています。

問 56 で「サロンなど定期的な通いの場」と回答した方にお伺いします

問56－１　高齢者の「通いの場」として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。（○はいくつでも）

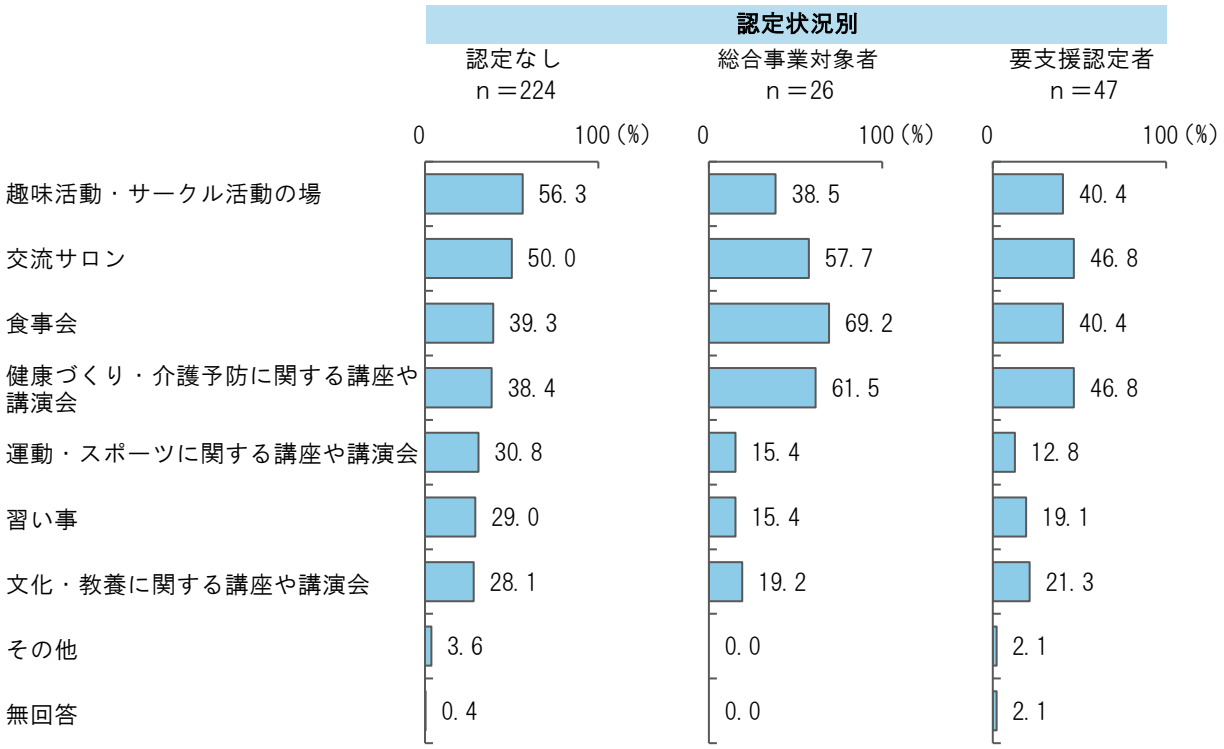


高齢者の「通いの場」として、通いたいと思うものは「趣味活動・サークル活動の場」が 52.2%と最も多く、次いで「交流サロン」が 50.2%、「食事会」が 42.1%などとなっています。



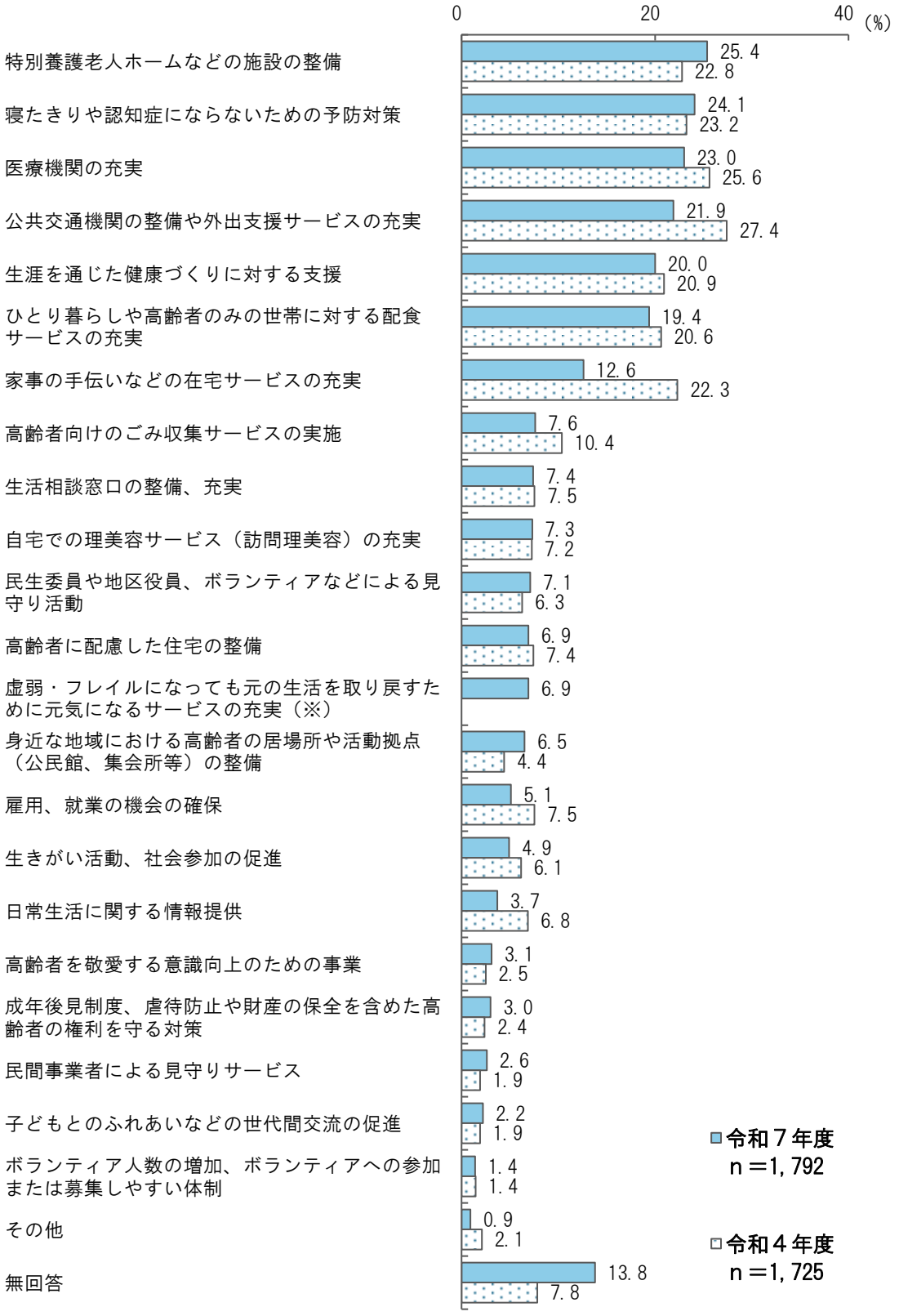
性別でみると、男性において「運動・スポーツに関する講座や講演会」が 37.3%と女性より 16.3 ポイント高くなっています。女性においては「交流サロン」が 53.8%と男性より 10.7 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「趣味活動・サークル活動の場」が 69.7%と後期高齢者より 27.7 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「食事会」が 44.7%と前期高齢者より 7.1 ポイント高くなっています。



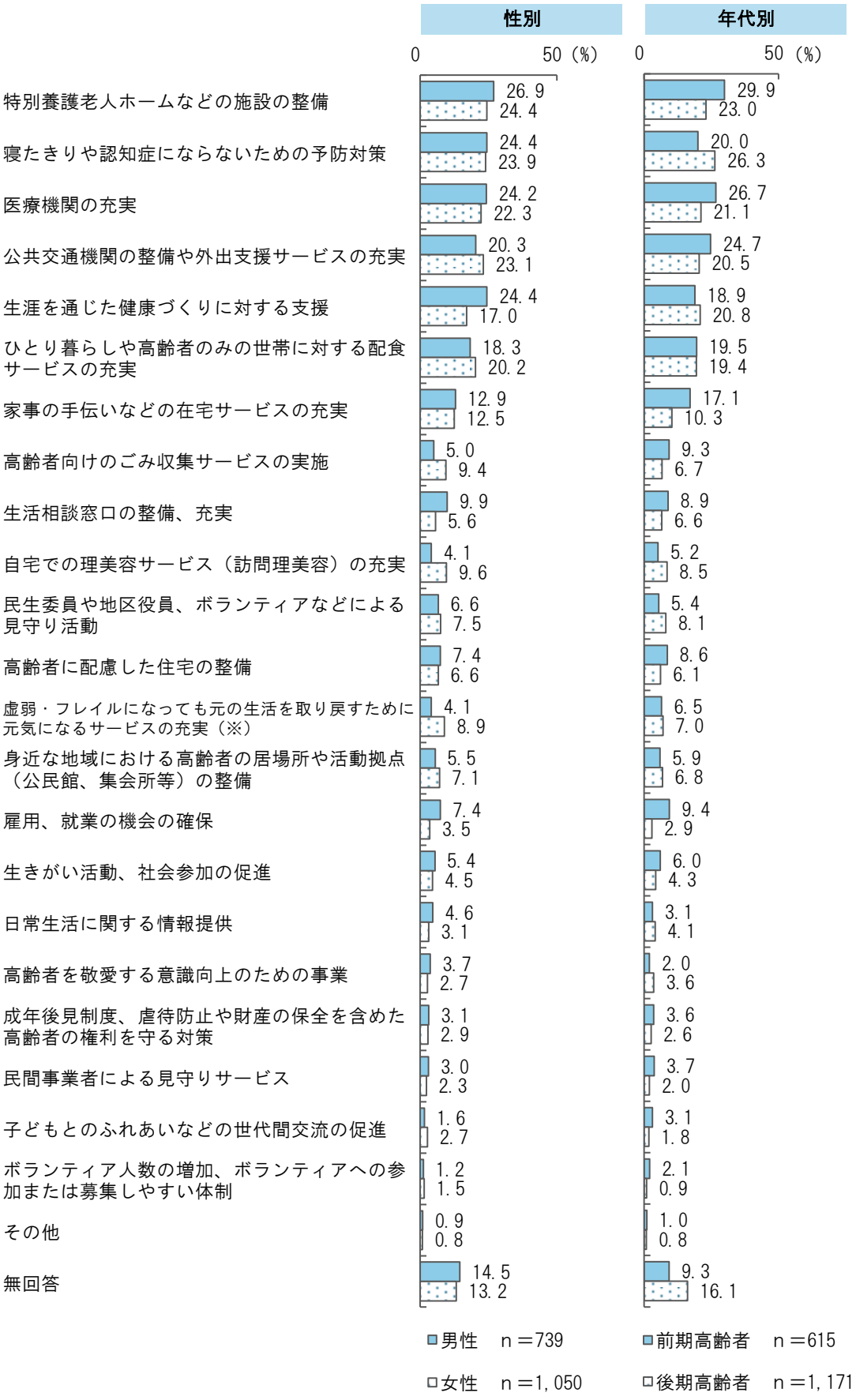
認定状況別でみると、認定なしにおいて「趣味活動・サークル活動の場」「運動・スポーツに関する講座や講演会」「習い事」などが他より高くなっています。

問57　あなたは、高齢者の方々が長泉町で安心して自分らしく暮らすため、町が行う施策として優先して取り組むべきものは何だと思いますか。（○は３つまで）



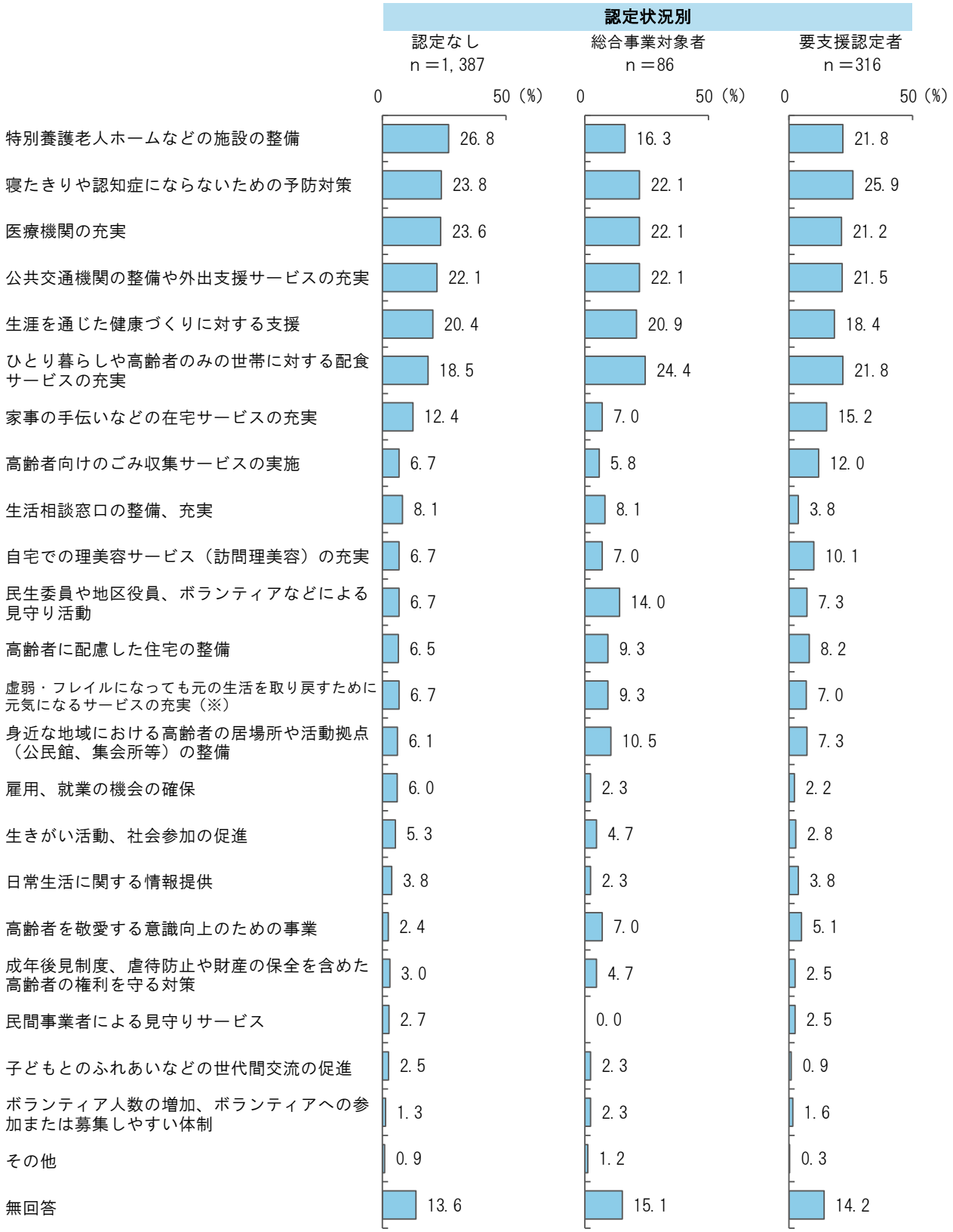
※「虚弱・フレイルになっても元の生活を取り戻すために元気になるサービスの充実」は令和７年度調査のみの選択肢

高齢者が町で安心して自分らしく暮らすため、町が優先して取り組むべきことは「特別養護老人ホームなどの施設の整備」が 25.4%と最も多く、次いで「寝たきりや認知症にならないための予防対策」が 24.1%、「医療機関の充実」が 23.0%などとなっています。令和４年度と比較すると、「公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実」「家事の手伝いなどの在宅サービスの充実」が減少しています。


性別
年代別
0
50（%）
特別養護老人ホームなどの施設の整備
26.9
24.4
29.9
23.0
寝たきりや認知症にならないための予防対策
24.4
23.9
20.0
26.3
医療機関の充実
24.2
22.3
26.7
21.1
公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実
20.3
23.1
24.7
20.5
生涯を通じた健康づくりに対する支援
24.4
17.0
18.9
20.8
ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実
18.3
20.2
19.5
19.4
家事の手伝いなどの在宅サービスの充実
12.9
12.5
17.1
10.3
高齢者向けのごみ収集サービスの実施
5.0
9.4
9.3
6.7
生活相談窓口の整備、充実
9.9
5.6
8.9
6.6
自宅での理美容サービス（訪問理美容）の充実
4.1
9.6
5.2
8.5
民生委員や地区役員、ボランティアなどによる見守り活動
6.6
7.5
5.4
8.1
高齢者に配慮した住宅の整備
7.4
6.6
8.6
6.1
虚弱・フレイルになっても元の生活を取り戻すために元気になるサービスの充実（※）
4.1
8.9
6.5
7.0
身近な地域における高齢者の居場所や活動拠点（公民館、集会所等）の整備
5.5
7.1
5.9
6.8
雇用、就業の機会の確保
7.4
3.5
9.4
2.9
生きがい活動、社会参加の促進
5.4
4.5
6.0
4.3
日常生活に関する情報提供
4.6
3.1
3.1
4.1
高齢者を敬愛する意識向上のための事業
3.7
2.7
2.0
3.6
成年後見制度、虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策
3.1
2.9
3.6
2.6
民間事業者による見守りサービス
3.0
2.3
3.7
2.0
子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進
1.6
2.7
3.1
1.8
ボランティア人数の増加、ボランティアへの参加または募集しやすい体制
1.2
1.5
2.1
0.9
その他
0.9
0.8
1.0
0.8
無回答
14.5
13.2
9.3
16.1
男性　n＝739
女性　n＝1,050
前期高齢者　n＝615
後期高齢者　n＝1,171

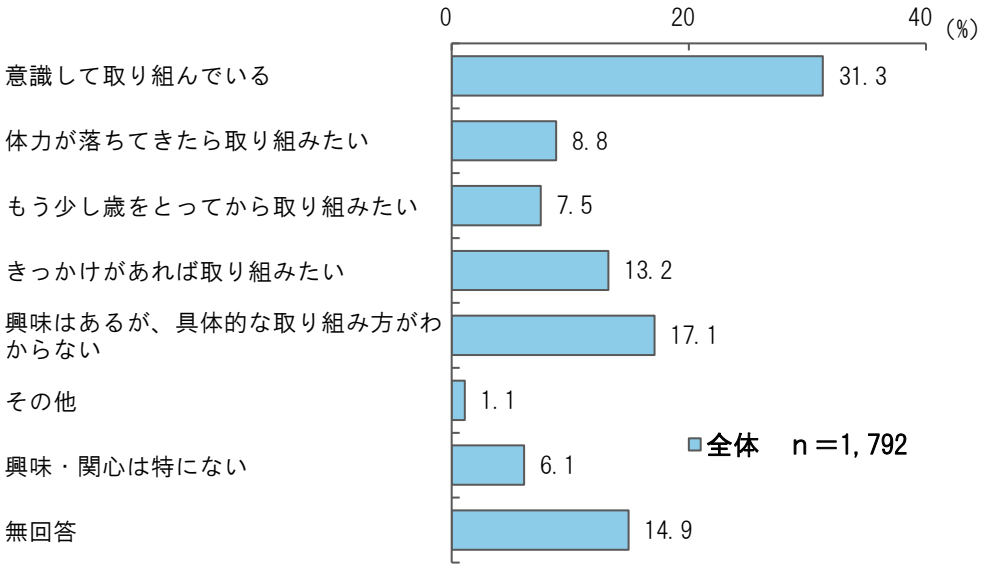
性別でみると、男性において「生涯を通じた健康づくりに対する支援」が 24.4%と女性より 7.4 ポイント高くなっています。女性においては「自宅での理美容サービス（訪問理美容）の充実」が 9.6%と男性より 5.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「特別養護老人ホームなどの施設の整備」が 29.9%と後期高齢者より 6.9 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「寝たきりや認知症にならないための予防対策」が 26.3%と前期高齢者より 6.3 ポイント高くなっています。

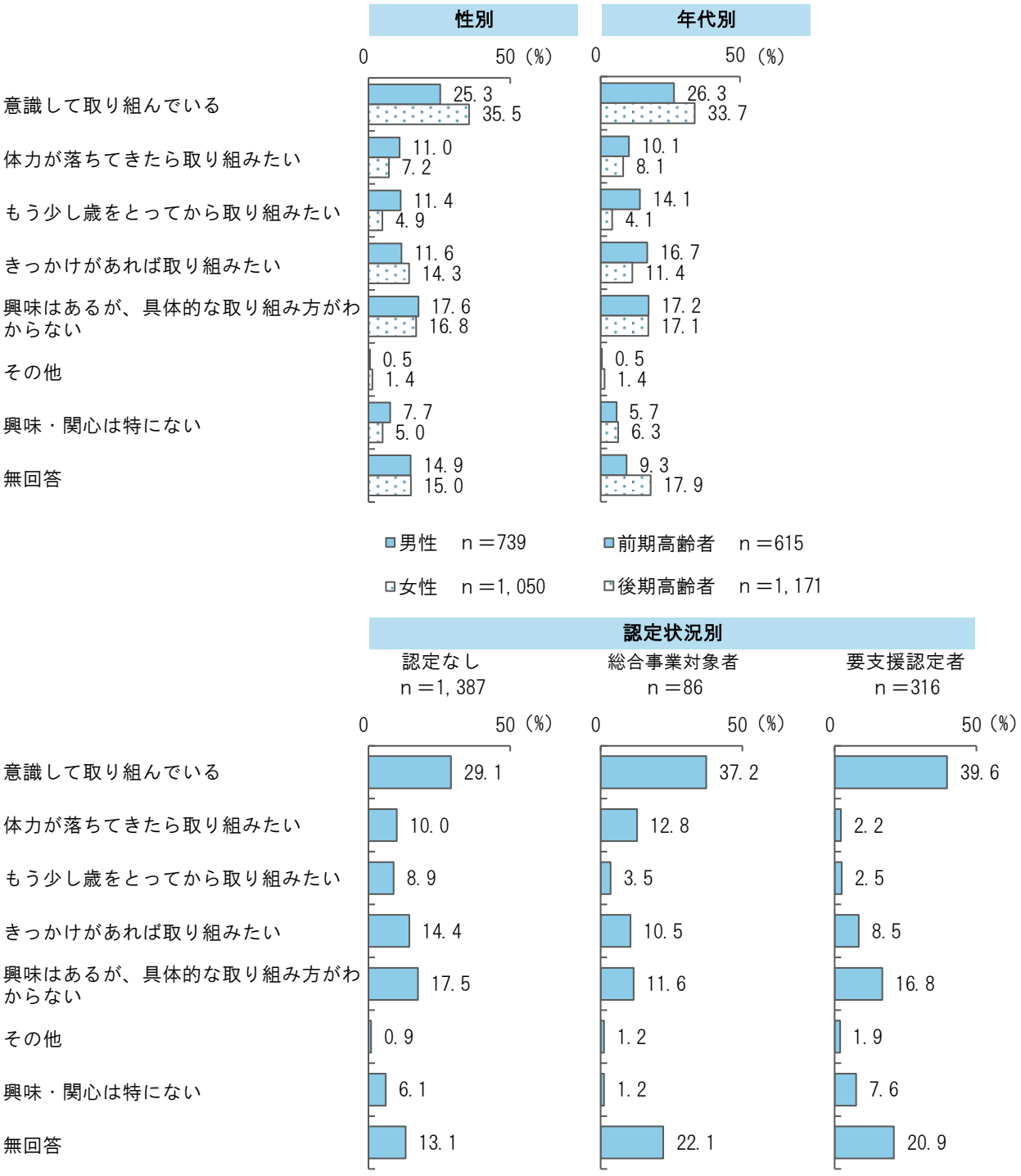


認定状況別でみると、認定なしにおいて「特別養護老人ホームなどの施設の整備」が 26.8%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「民生委員や地区役員、ボランティアなどによる見守り活動」が 14.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「高齢者向けのごみ収集サービスの実施」が 12.0%と他より高くなっています。

問58　あなたは、介護予防に取り組んでいますか。（○は１つ）



介護予防に取り組んでいるかは「意識して取り組んでいる」が 31.3%と最も多く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」が 17.1%、「きっかけがあれば取り組みたい」が 13.2%などとなっています。

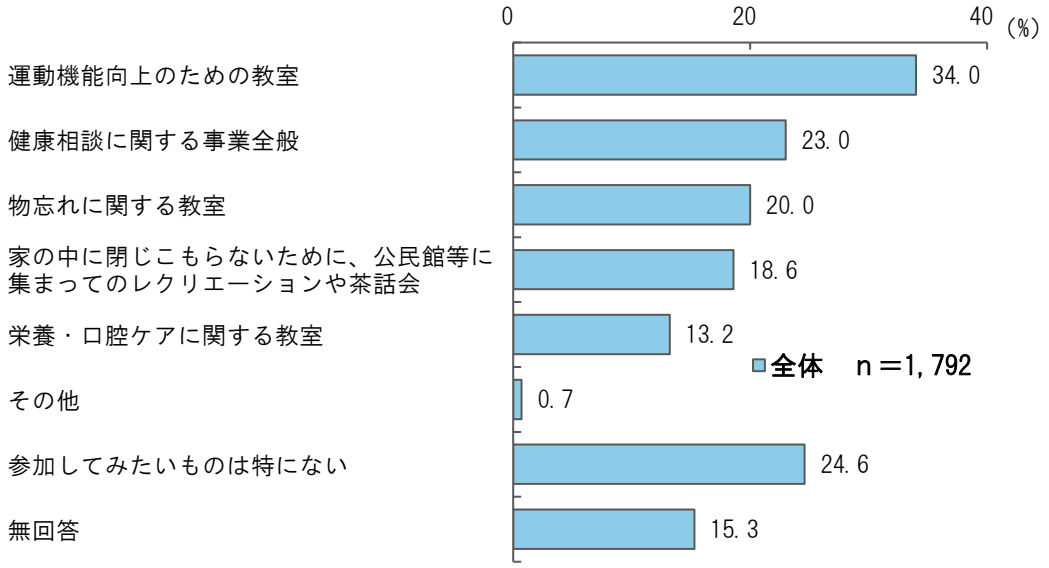


性別でみると、男性において「もう少し歳をとってから取り組みたい」が 11.4%と女性より 6.5 ポイント高くなっています。女性においては「意識して取り組んでいる」が 35.5%と男性より 10.2 ポイント高くなっています。

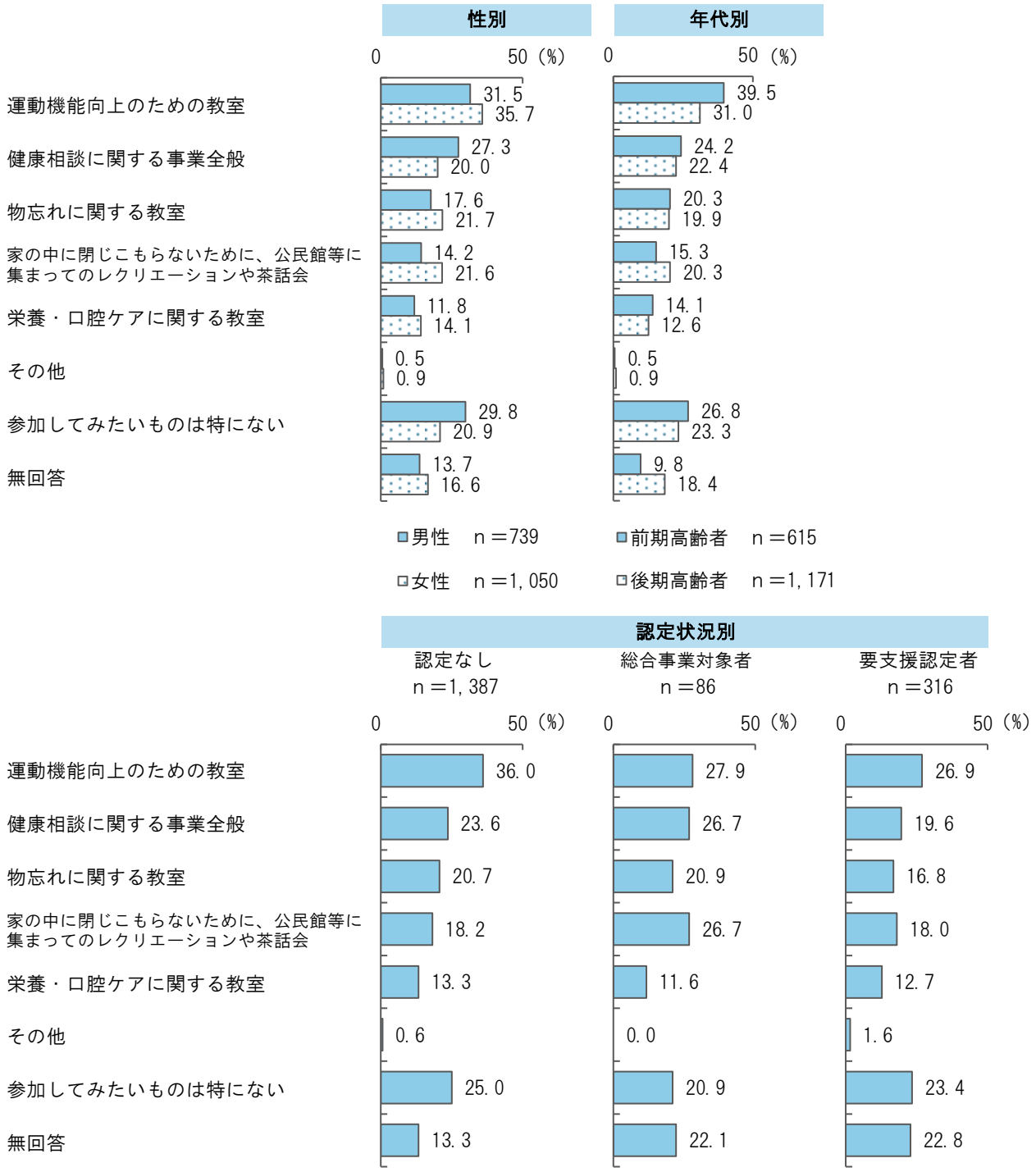
年代別でみると、前期高齢者において「もう少し歳をとってから取り組みたい」が 14.1%と後期高齢者より 10.0 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「意識して取り組んでいる」が 33.7%と前期高齢者より 7.4 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「もう少し歳をとってから取り組みたい」が 8.9%と他より高くなっています。

問59　町では、できるだけ要介護状態にならないようにするため、介護予防事業を実施しています。あなたが今後参加してみたいものはありますか。（○はいくつでも）



要介護状態にならないようにするための介護予防事業について、参加してみたいものは「運動機能向上のための教室」が 34.0%と最も多く、次いで「健康相談に関する事業全般」が 23.0%、「もの忘れに関する教室」が 20.0%などとなっています。また、「参加してみたいものは特にない」は 24.6%となります。

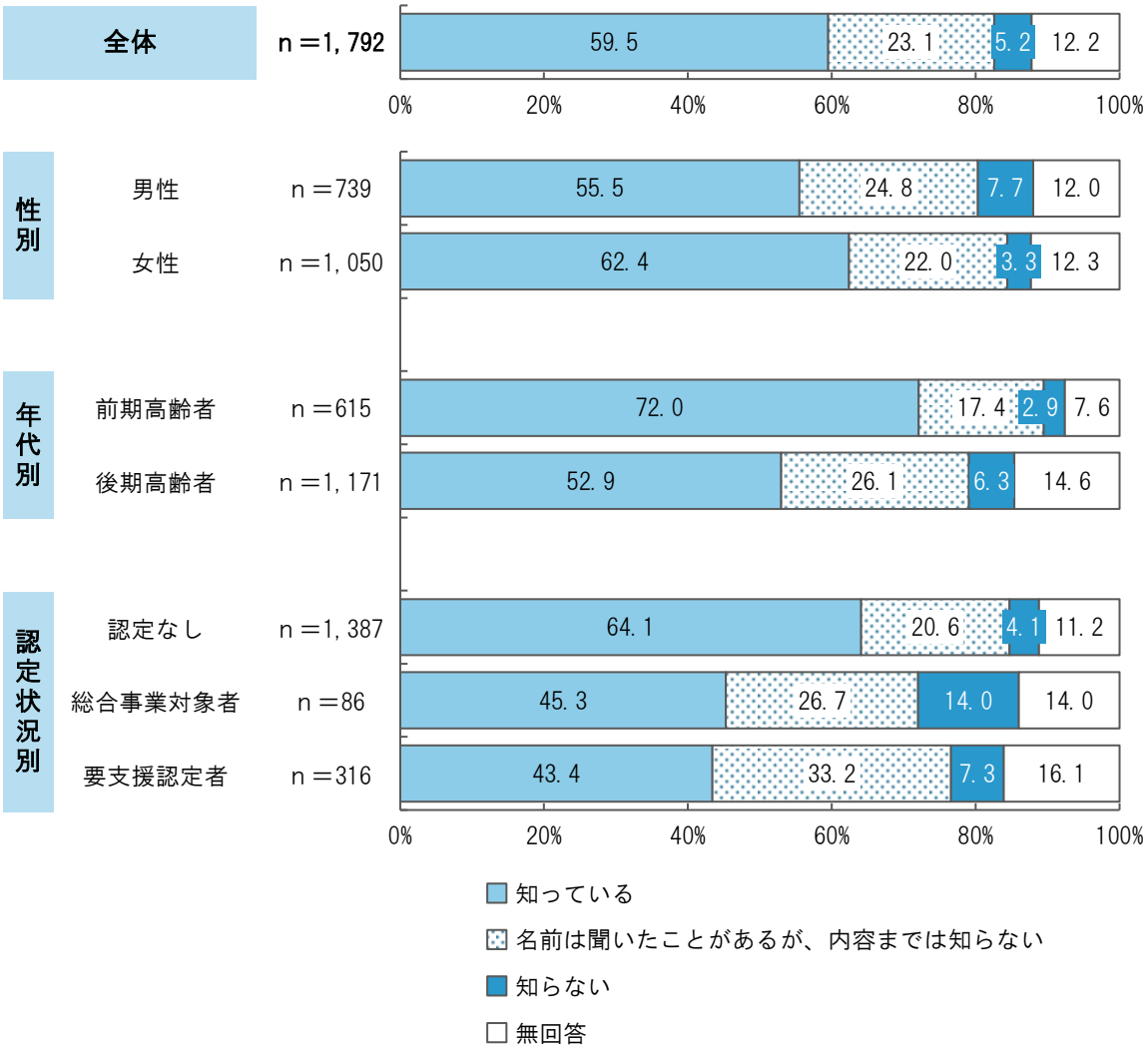


性別でみると、男性において「健康相談に関する事業全般」が 27.3%と女性より 7.3 ポイント高くなっています。女性においては「家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まってのレクリエーションや茶話会」が 21.6%と男性より 7.4 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「運動機能向上のための教室」が 39.5%と後期高齢者より 8.5 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まってのレクリエーションや茶話会」が 20.3%と前期高齢者より 5.0 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「運動機能向上のための教室」が 36.0%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まってのレクリエーションや茶話会」が 26.7%と他より高くなっています。

問60　あなたは「終活」について知っていますか。（○は１つ）



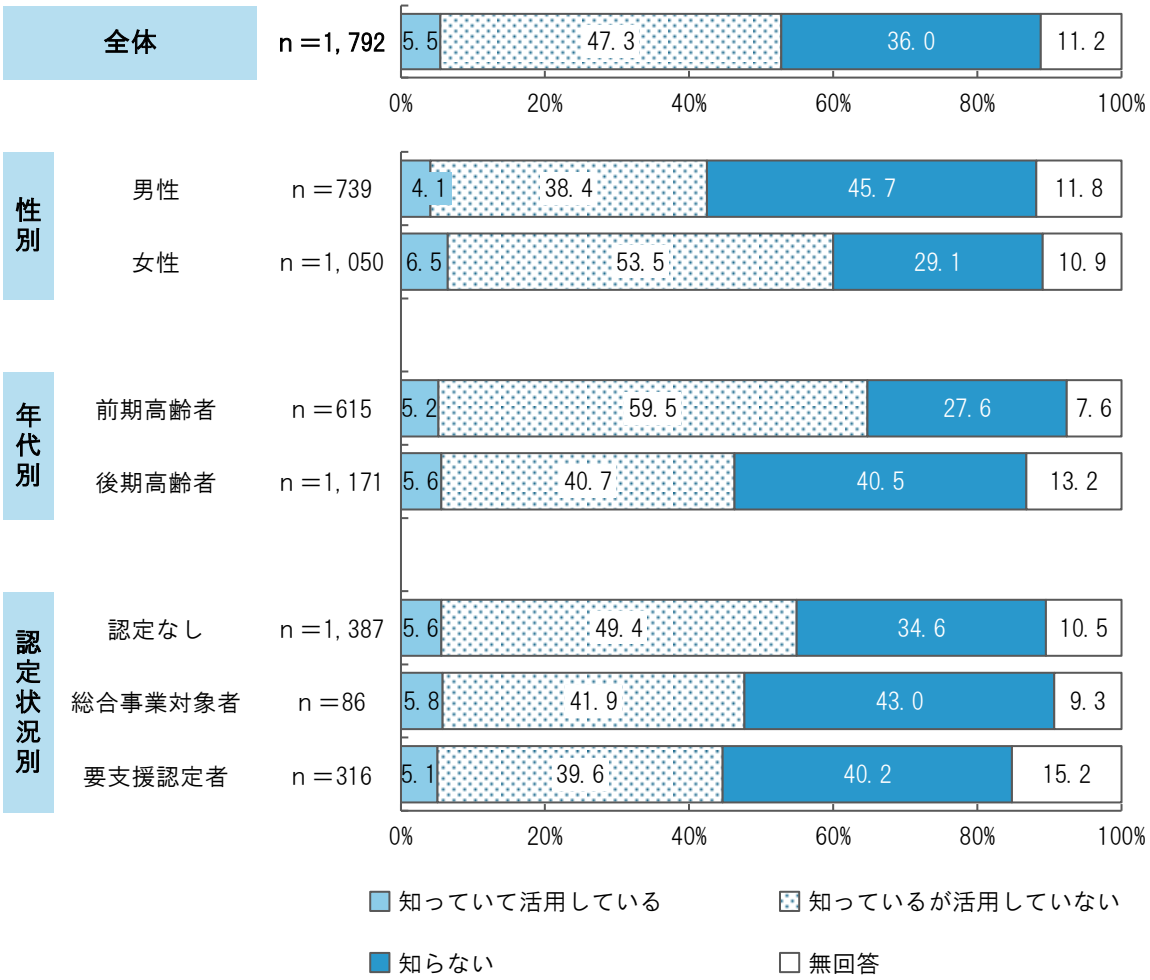
「終活」の認知度は「知っている」が 59.5%、「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 23.1%、「知らない」が 5.2%となっています。

性別でみると、女性において「知っている」が 62.4%と男性より 6.9 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「知っている」が 72.0%と後期高齢者より 19.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 26.1%と前期高齢者より 8.7 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「知っている」が 64.1%と他より高くなっています。総合事業対象者においては「知らない」が 14.0%と他より高くなっています。要支援認定者においては「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 33.2%と他より高くなっています。

問61　長泉町では「終活」を推進するため「エンディングノート※」を無料配布しています。あなたは「エンディングノート」を知っていますか。（○は１つ）



※「エンディングノート」：自分自身に何かがあったとき（終末期・認知症発症等）に備えて、自身の気持ちを書き留めておくノートのこと。「終活ノート」ともいう。

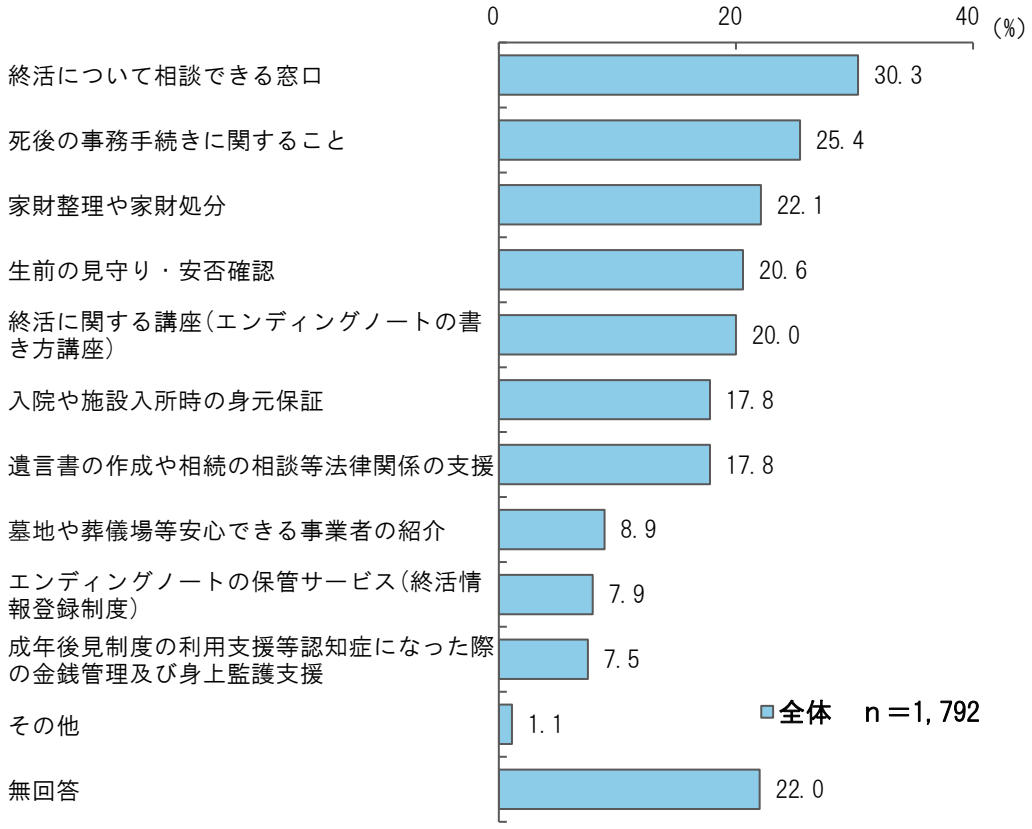
町で配布している「エンディングノート」の認知度は「知っていて活用している」が 5.5%、「知っているが活用していない」が 47.3%、「知らない」が 36.0%となっています。

性別でみると、男性において「知らない」が 45.7%と女性より 16.6 ポイント高くなっています。女性においては「知っているが活用していない」が 53.5%と男性より 15.1 ポイント高くなっています。

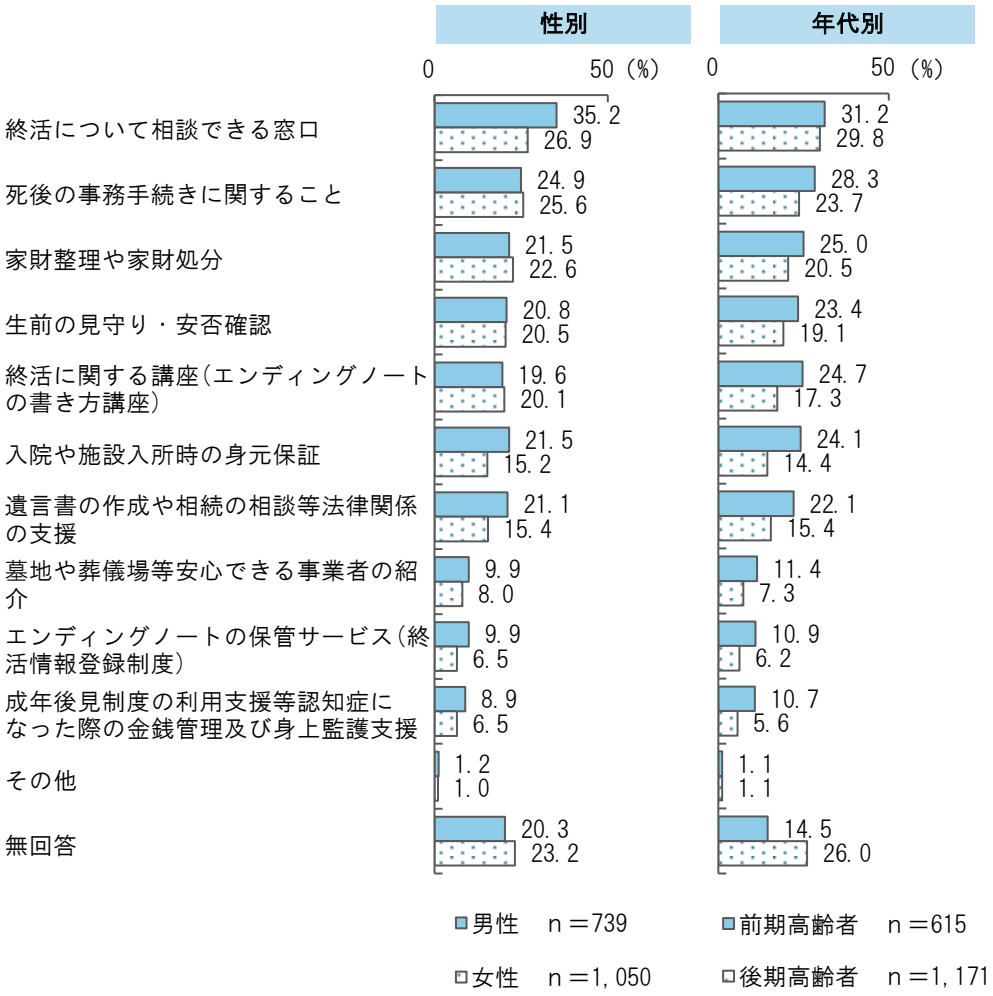
年代別でみると、前期高齢者において「知っているが活用していない」が 59.5%と後期高齢者より 18.8 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「知らない」が 40.5%と前期高齢者より 12.9 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「知っているが活用していない」が 49.4%と他より高くなっています。

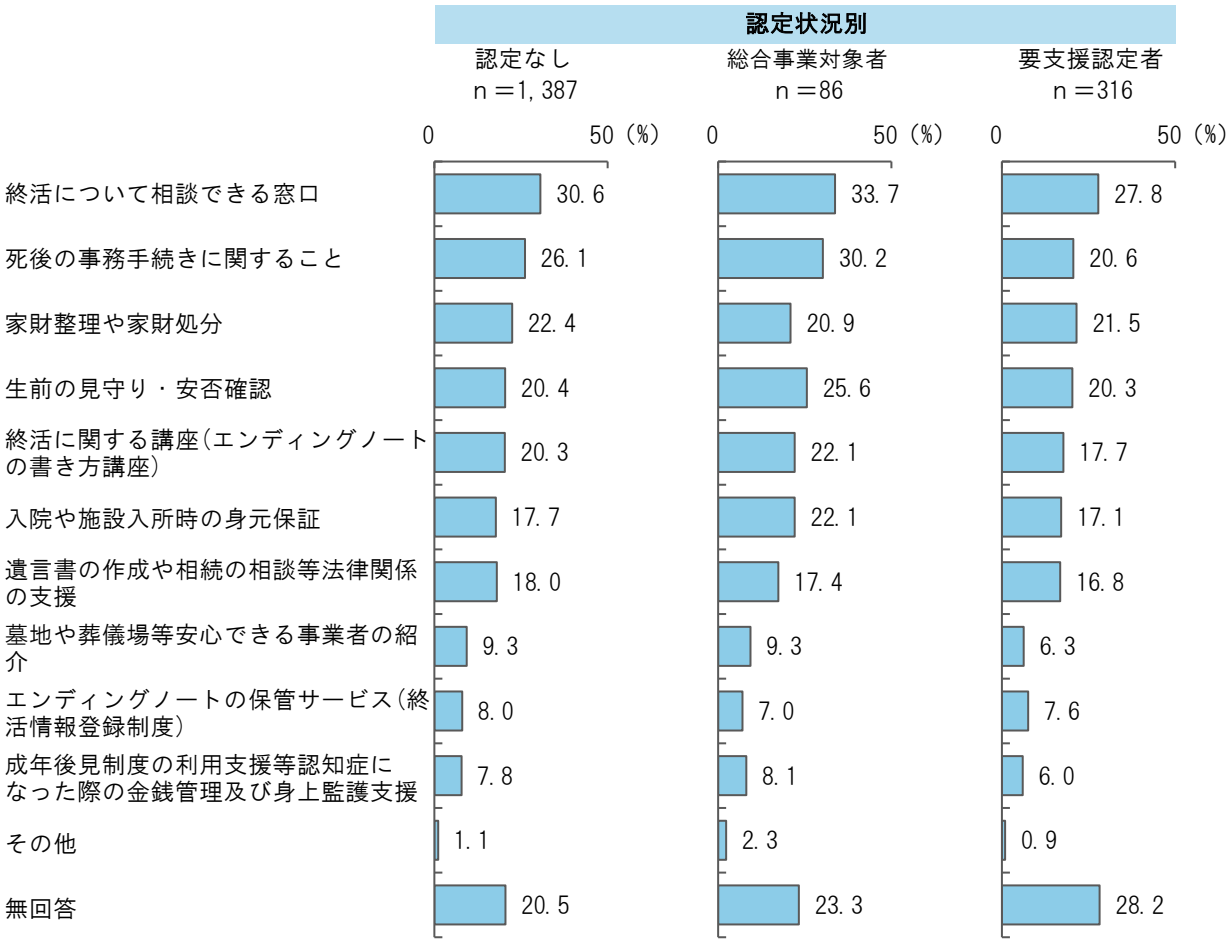
問62　終活に関するサービスとして、どのようなものがあったらよいと思いますか。
（○はいくつでも）



終活に関するサービスとして、どのようなものがあったらよいと思うかは「終活について相談できる窓口」が 30.3%と最も多く、次いで「死後の事務手続きに関すること」が 25.4%、「家財整理や家財処分」が 22.1%などとなっています。

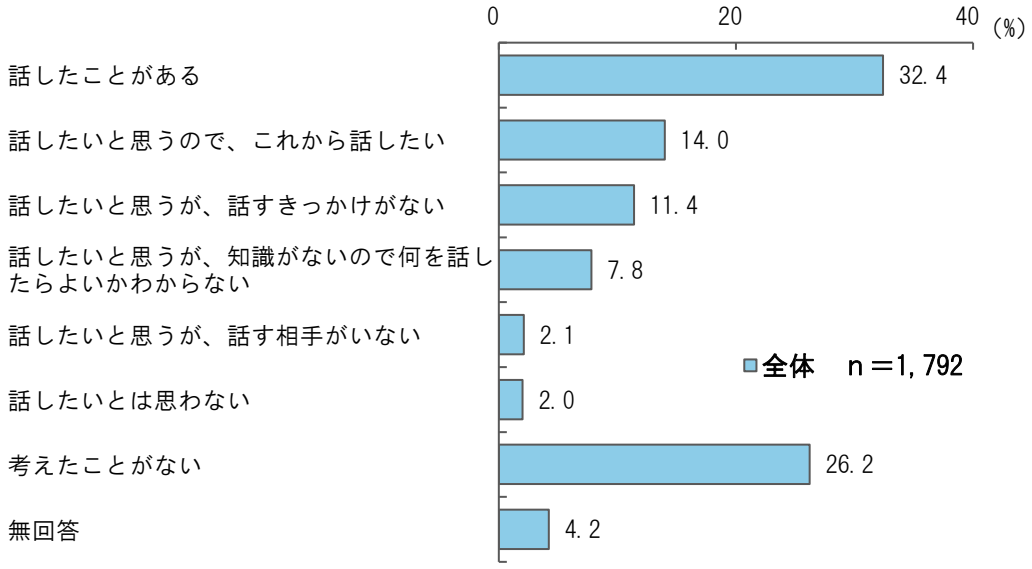


性別でみると、男性において「終活について相談できる窓口」が 35.2%と女性より 8.3 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「入院や施設入所時の身元保証」が 24.1%と後期高齢者より 9.7 ポイント高くなっています。



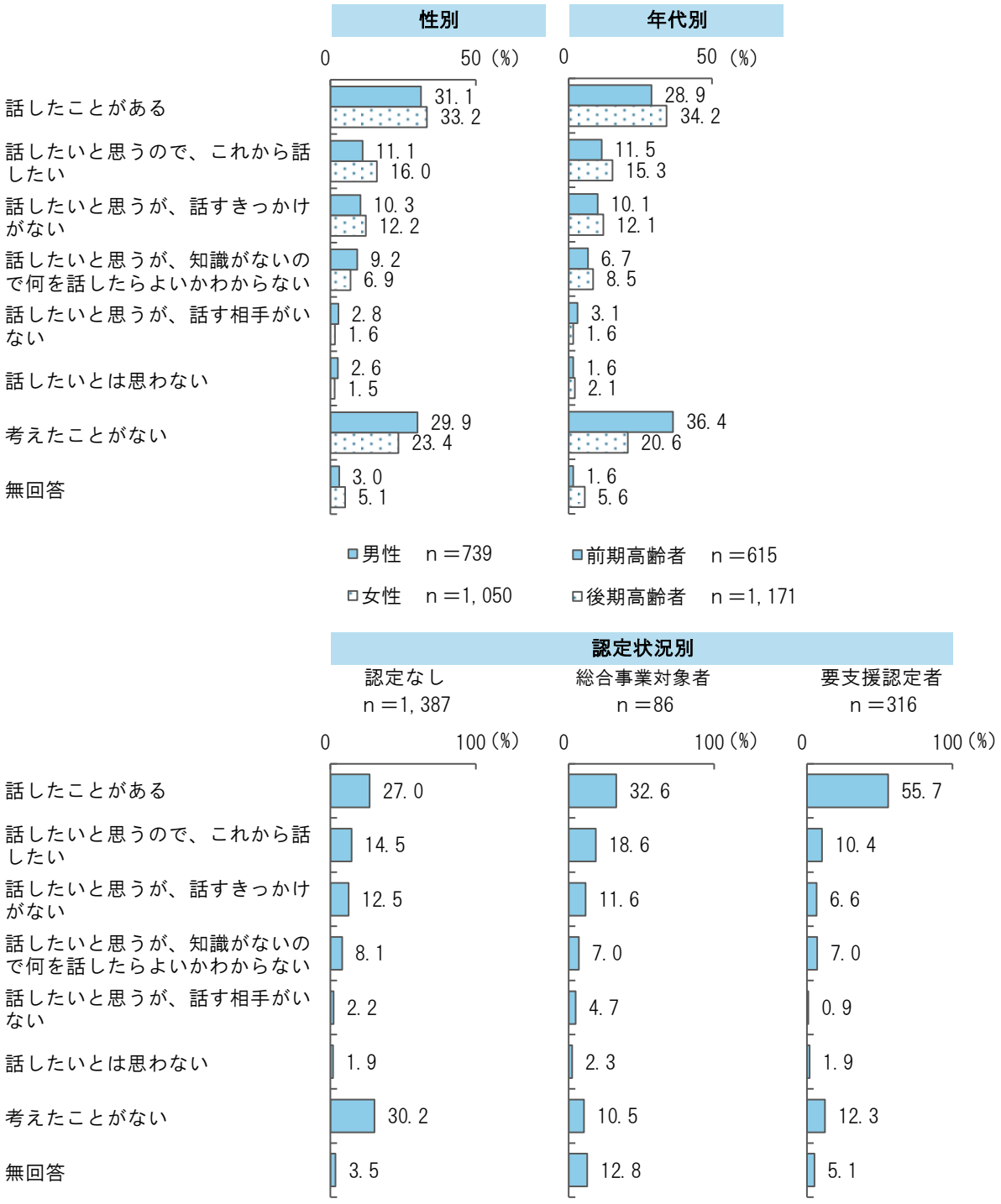
認定状況別でみると、総合事業対象者において「生前の見守り・安否確認」が 25.6%と他より高くなっています。

問63　病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネージャー等）と話したことはありますか。
（○は１つ）



※『話したいと思う』:「話したいと思うので、これから話したい」と「話したいと思うが、話すきっかけがない」と「話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいかわからない」と「話したいと思うが、話す相手がいない」を合わせた割合

病気やけがをした際、どんな治療や生活をしたいか、家族や医療従事者等と話したことがあるかは「話したことがある」が32.4%と最も多く、次いで「話したいと思うので、これから話したい」が14.0%、「話したいと思うが、話すきっかけがない」が11.4%などとなっています。なお、『話したいと思う』は35.3%となっています。また、「考えたことがない」は26.2%となります。

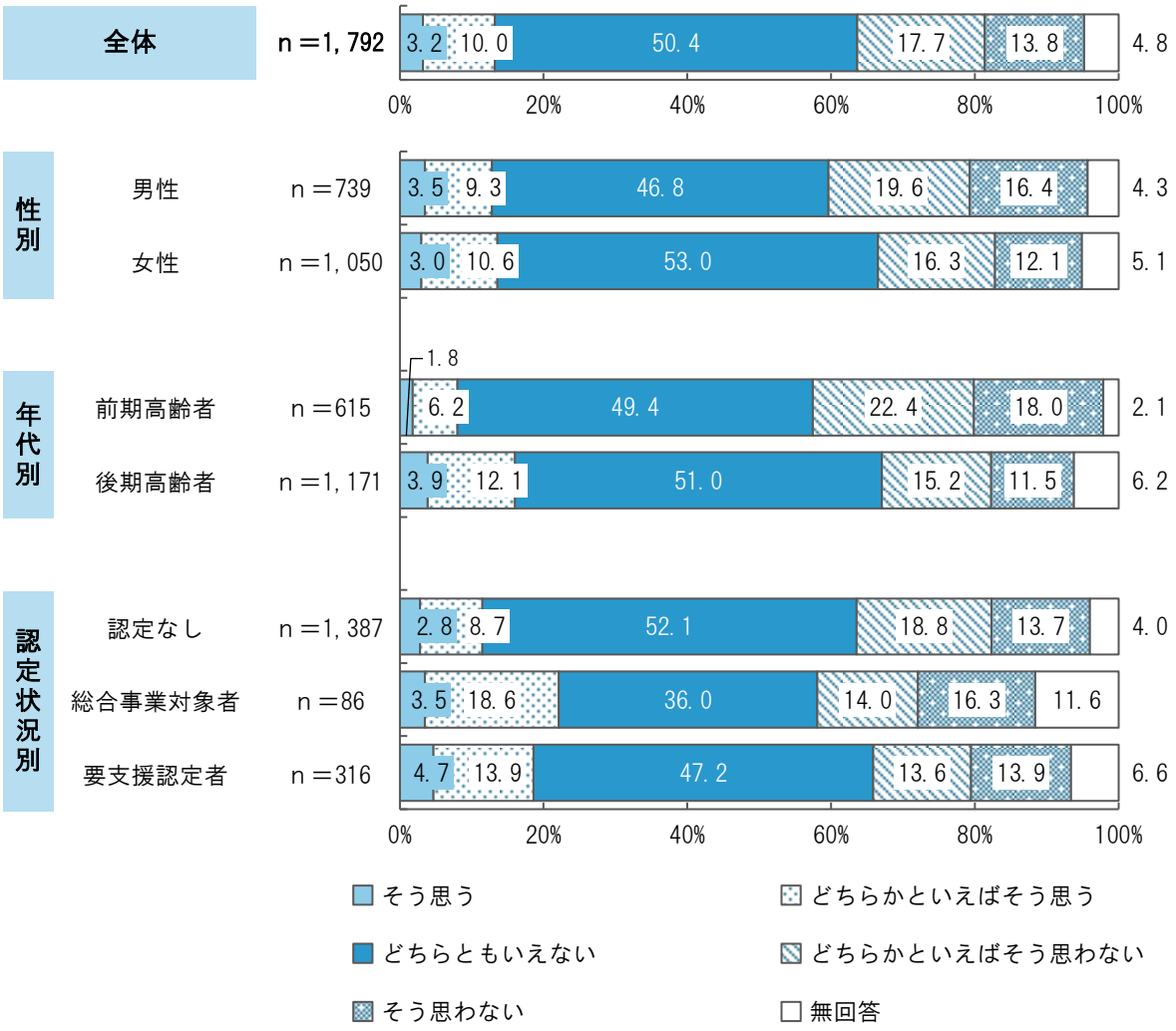


性別でみると、男性において「考えたことがない」が 29.9%と女性より 6.5 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「考えたことがない」が 36.4%と後期高齢者より 15.8 ポイント高くなっています。後期高齢者においては『話したいと思う』が 37.5%と前期高齢者より 6.1 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、認定なしにおいて「考えたことがない」が 30.2%と他より高くなっています。要支援認定者においては「話したことがある」が 55.7%と他より高くなっています。

問64　あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(○は１つ)



※『そう思う』:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合
　『そう思わない』:「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合

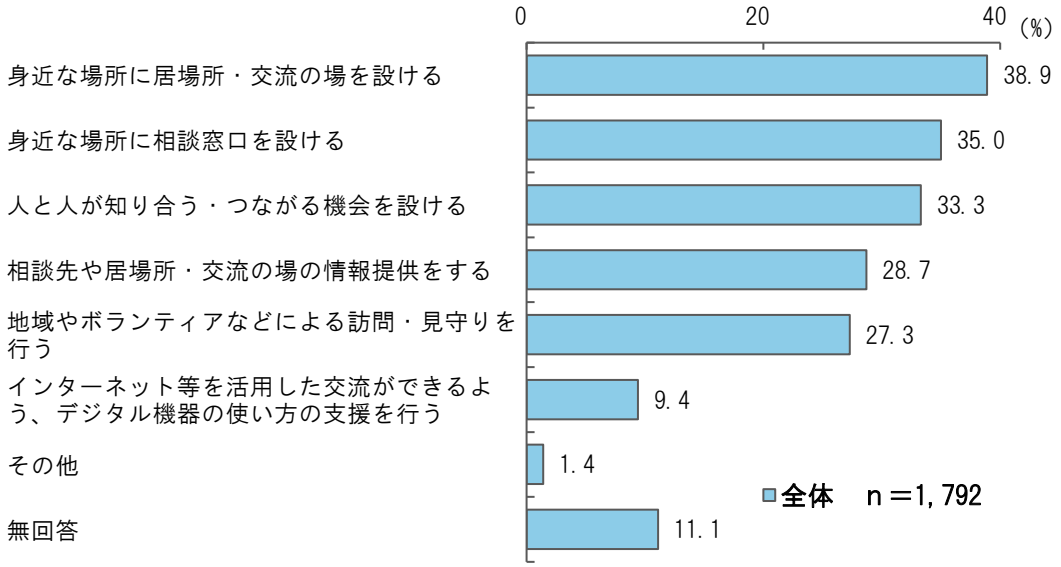
現在の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思うかは「どちらともいえない」が 50.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 17.7%、「そう思わない」が 13.8%などとなっています。また、『そう思う』は 13.2%、『そう思わない』は 31.5%となっています。

性別でみると、男性において『そう思わない』が 36.0%と女性より 7.6 ポイント高くなっています。

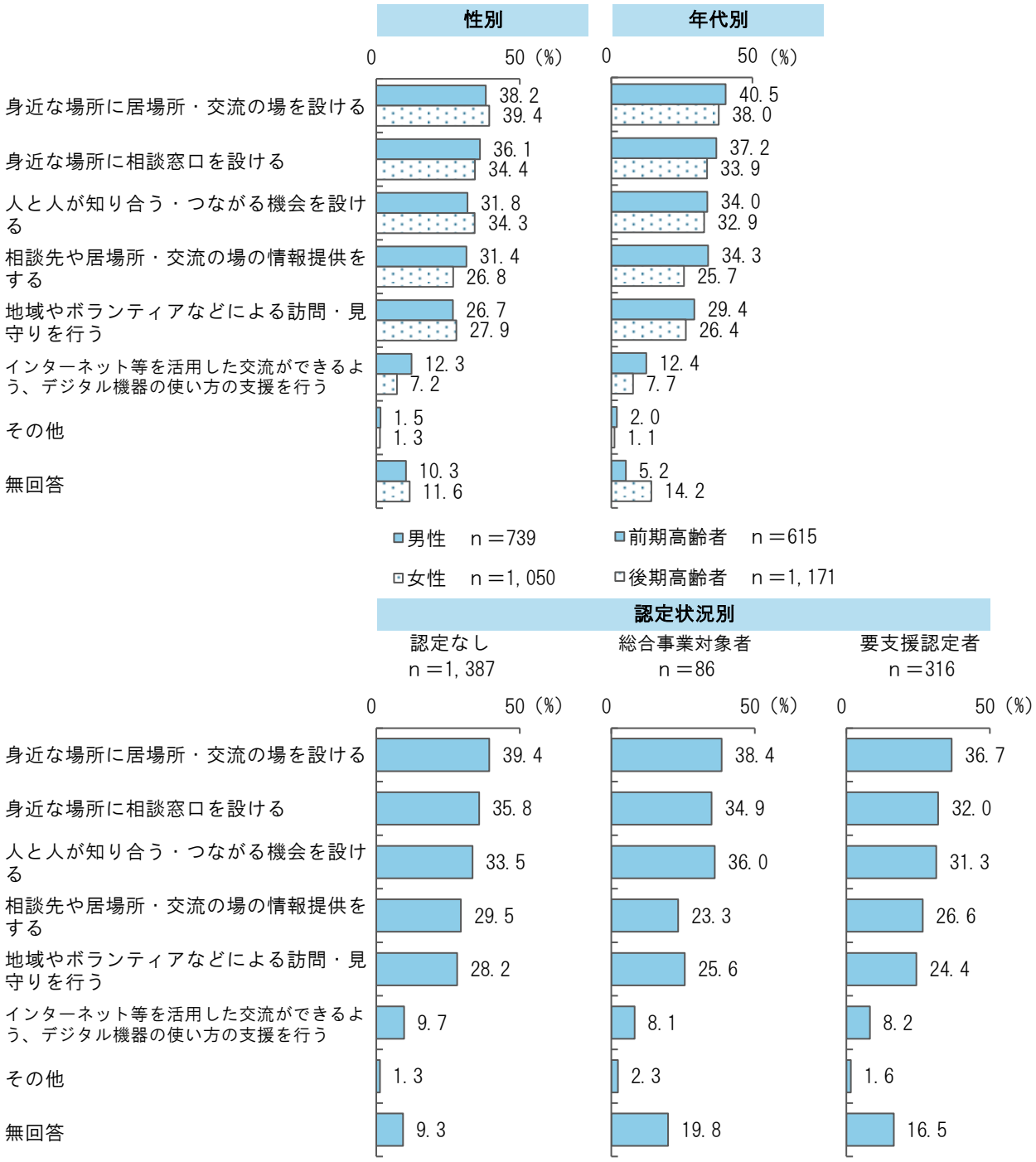
年代別でみると、前期高齢者において『そう思わない』が 40.4%と後期高齢者より 13.7 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、大きな差異はありません。

問65　職場や家庭、地域で人々の関わり合い・支え合いの機会が減少しており、孤独・孤立に関する問題が顕在化してきています。あなたは、孤独・孤立に関して、どのような支援があるとよいと思いますか。（○はいくつでも）



孤独・孤立に関して、どのような支援があるとよいと思うかは「身近な場所に居場所・交流の場を設ける」が 38.9%と最も多く、次いで「身近な場所に相談窓口を設ける」が 35.0%、「人と人が知り合う・つながる機会を設ける」が 33.3%などとなっています。

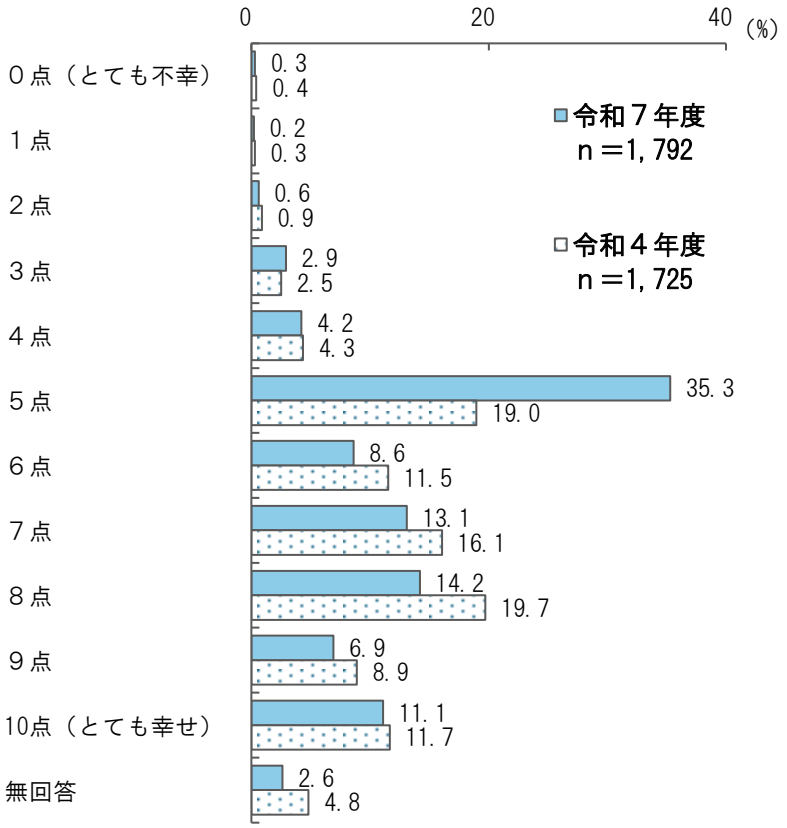


性別でみると、男性において「インターネット等を活用した交流ができるよう、デジタル機器の使い方の支援を行う」が 12.3%と女性より 5.1 ポイント高くなっています。

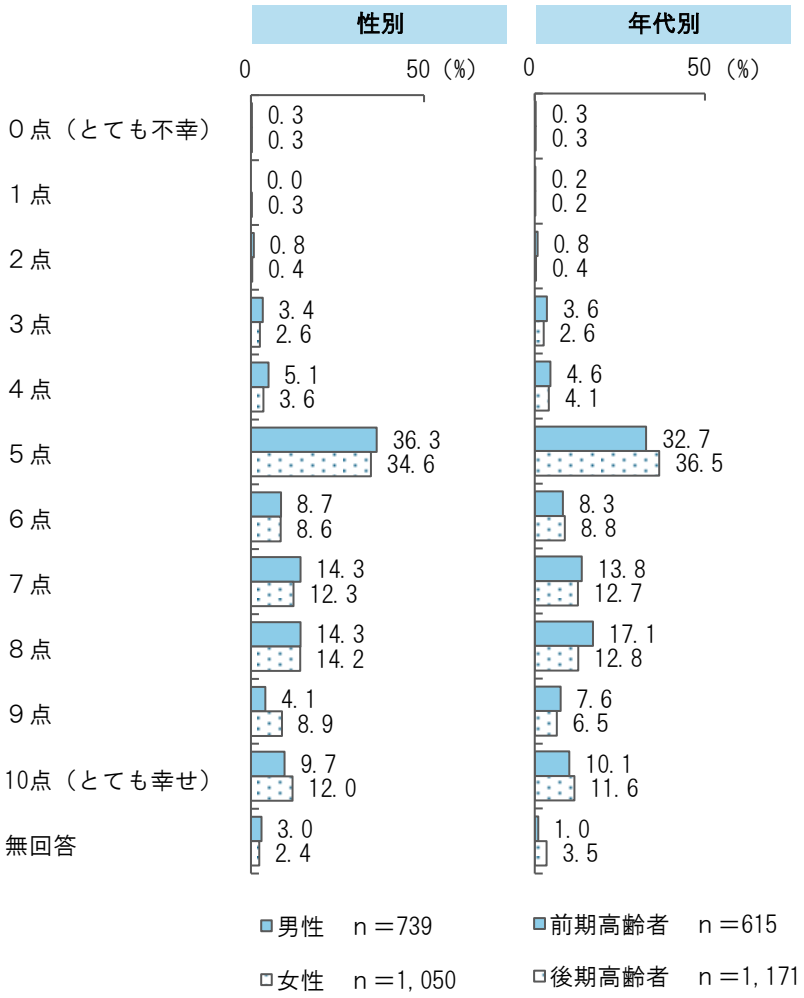
年代別でみると、前期高齢者において「相談先や居場所・交流の場の情報提供をする」が 34.3%と後期高齢者より 8.6 ポイント高くなっています。

認定状況別でみると、大きな差異はありません。

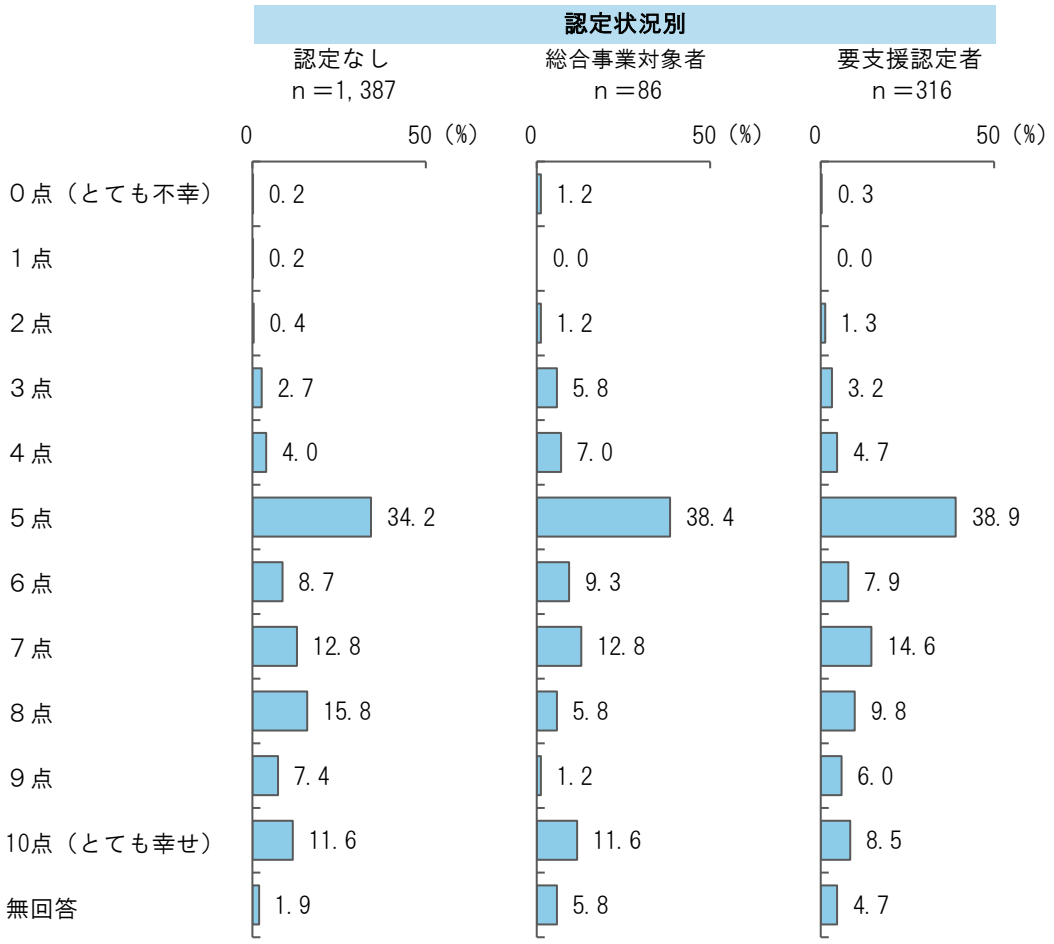
問66　あなたは、現在どの程度幸せですか。（○は１つ）



現在の幸福度は「５点」が35.3%と最も多く、次いで「８点」が14.2%、「７点」が13.1%などとなっています。また、平均点は6.51点となります。
令和４年度と比較すると「５点」が16.3ポイント増加、「８点」が5.5ポイント減少しています。



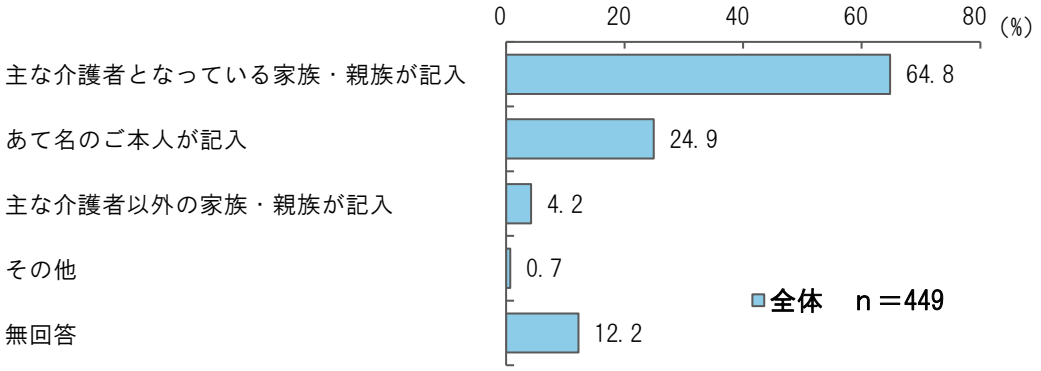
性別および年代別でみると、大きな差異はありません。



認定状況別でみると、認定なしにおいて「８点」が 15.8%と他より高くなっています。

Ⅲ　調査結果《要介護認定者》

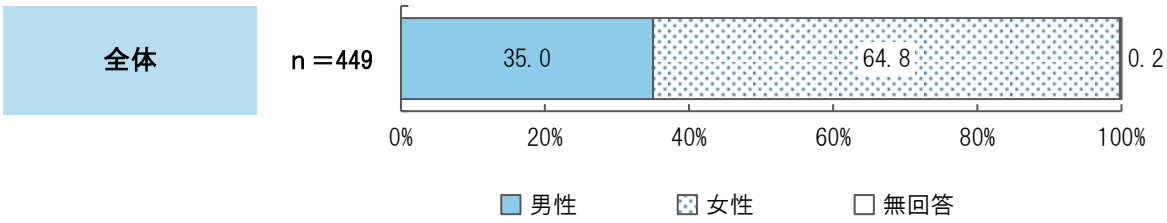
■　この調査票を記入されたのはどなたですか。（○はいくつでも）



調査票の記入者は「主な介護者となっている家族・親族が記入」が 64.8%、「あて名のご本人が記入」が 24.9%、「主な介護者以外の家族・親族が記入」が 4.2%となっています。

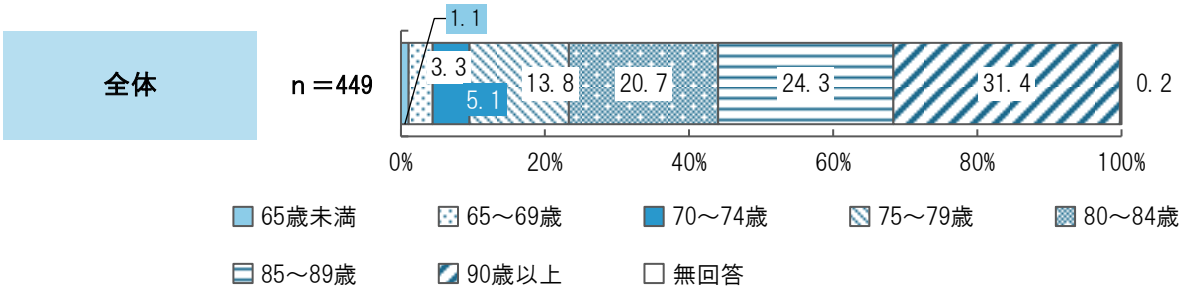
対象者本人について

■　性別



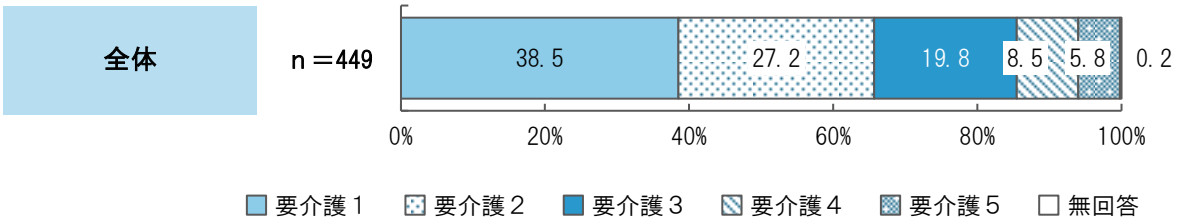
対象者の性別は「男性」が 35.0%、「女性」が 64.8%となっています。

■　年齢（令和７年 11 月 15 日現在）



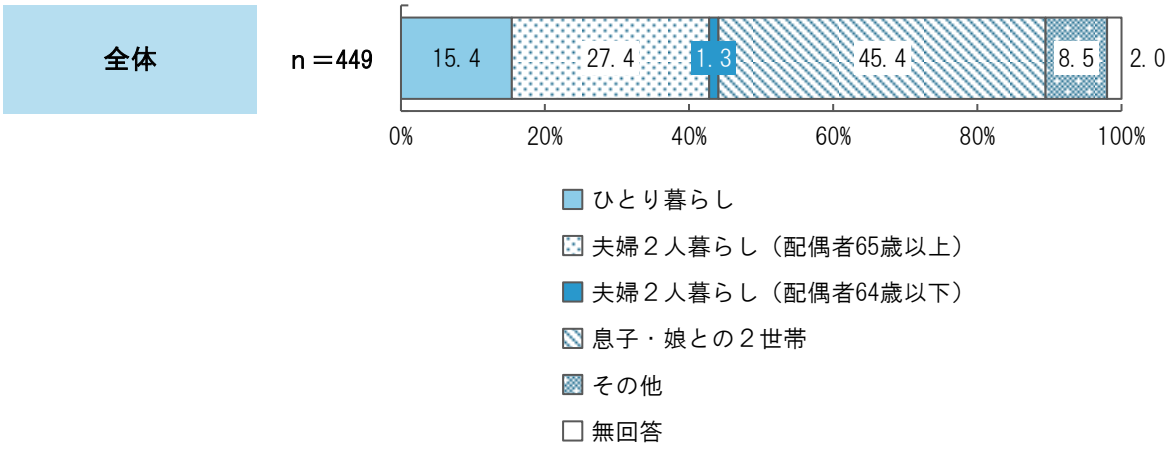
対象者の年齢は「65 歳未満」が 1.1%、「65～69 歳」が 3.3%、「70～74 歳」が 5.1%、「75～79 歳」が 13.8%、「80～84 歳」が 20.7%、「85～89 歳」が 24.3%、「90 歳以上」が 31.4%となっています。

■　対象者の要介護度



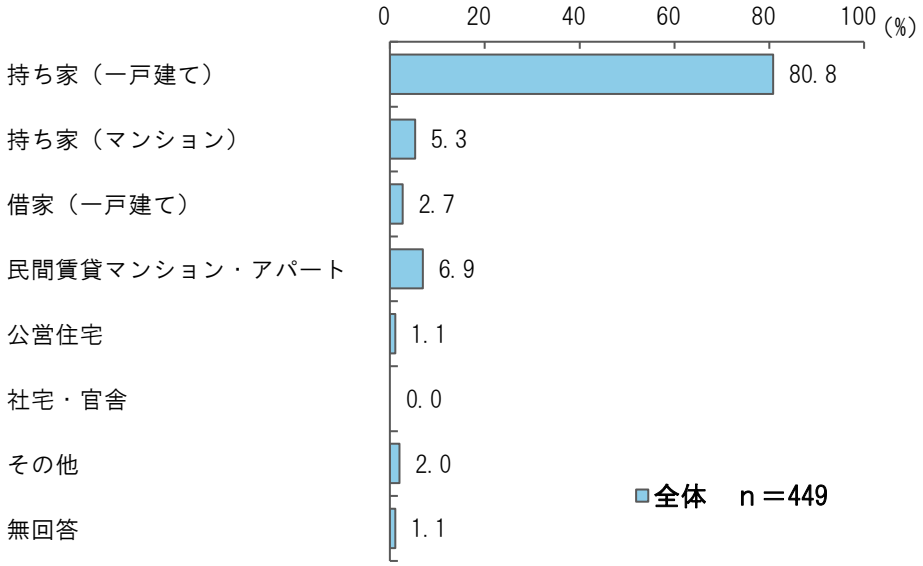
対象者の要介護度は「要介護１」が 38.5%、「要介護２」が 27.2%、「要介護３」が 19.8%、「要介護４」が 8.5%、「要介護５」が 5.8%となっています。

問１　あなたの家族構成を教えてください。（○は１つ）



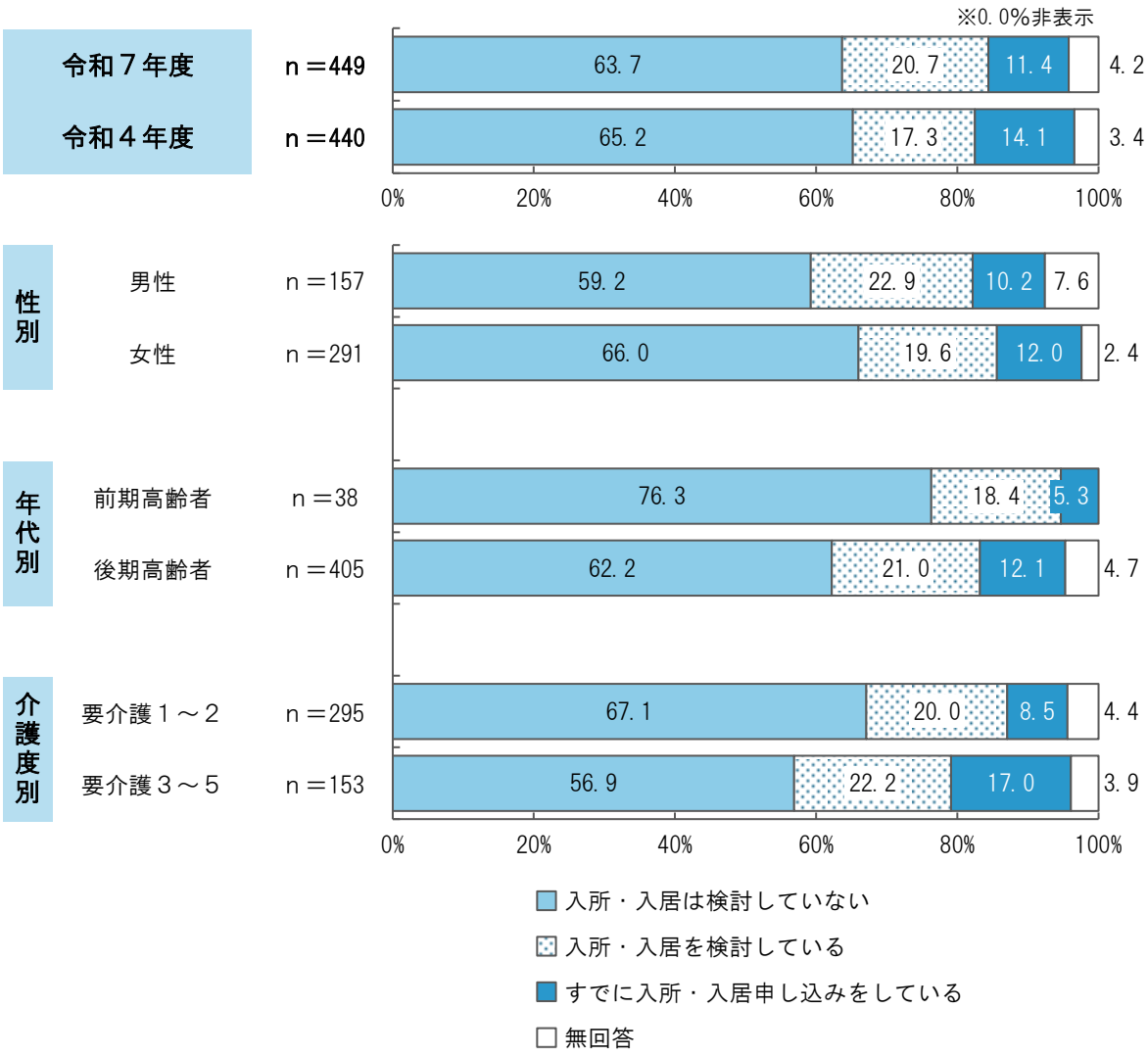
家族構成は「息子・娘との２世帯」が 45.4%と最も多く、次いで「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 27.4%、「ひとり暮らし」が 15.4%などとなっています。

問２　あなたのお住まいの状況はどれになりますか。（○は１つ）



住まいの状況は「持ち家（一戸建て）」が 80.8%と最も多く、次いで「民間賃貸マンション・アパート」が 6.9%、「持ち家（マンション）」が 5.3%などとなっています。

問３　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について教えてください。（○は１つ）



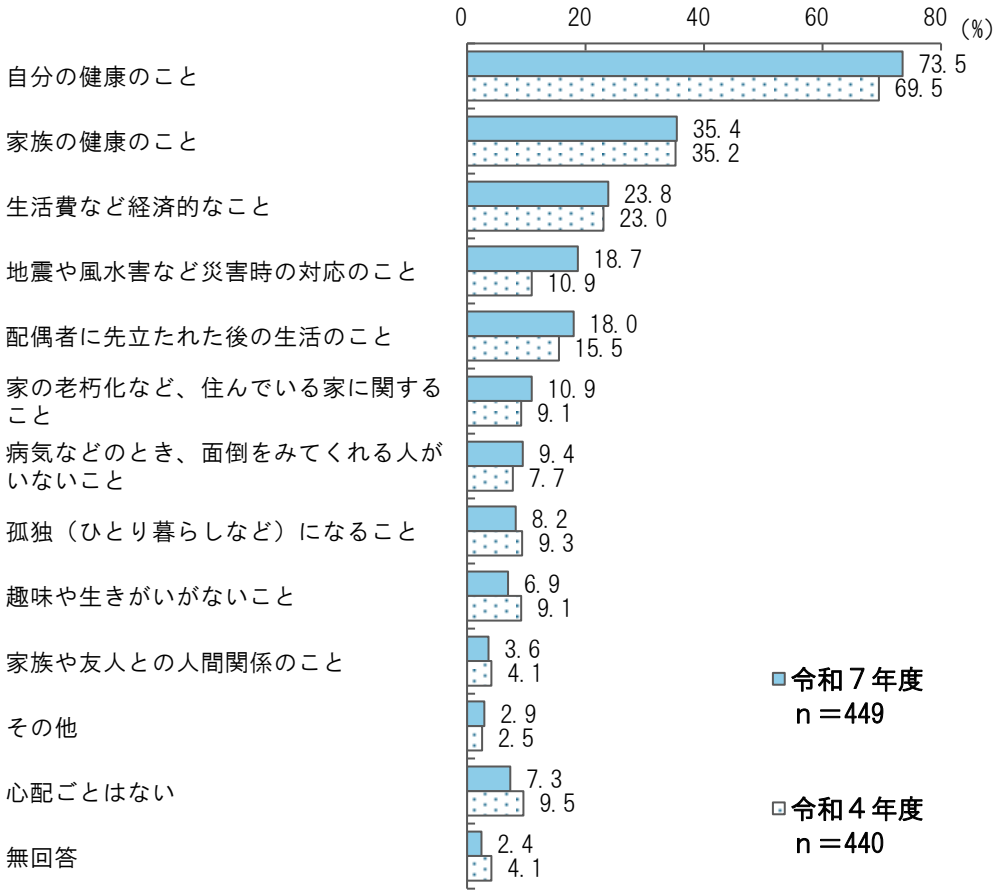
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が 63.7%、「入所・入居を検討している」が 20.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 11.4%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において「入所・入居は検討していない」が 66.0%と男性より 6.8 ポイント高くなっています。

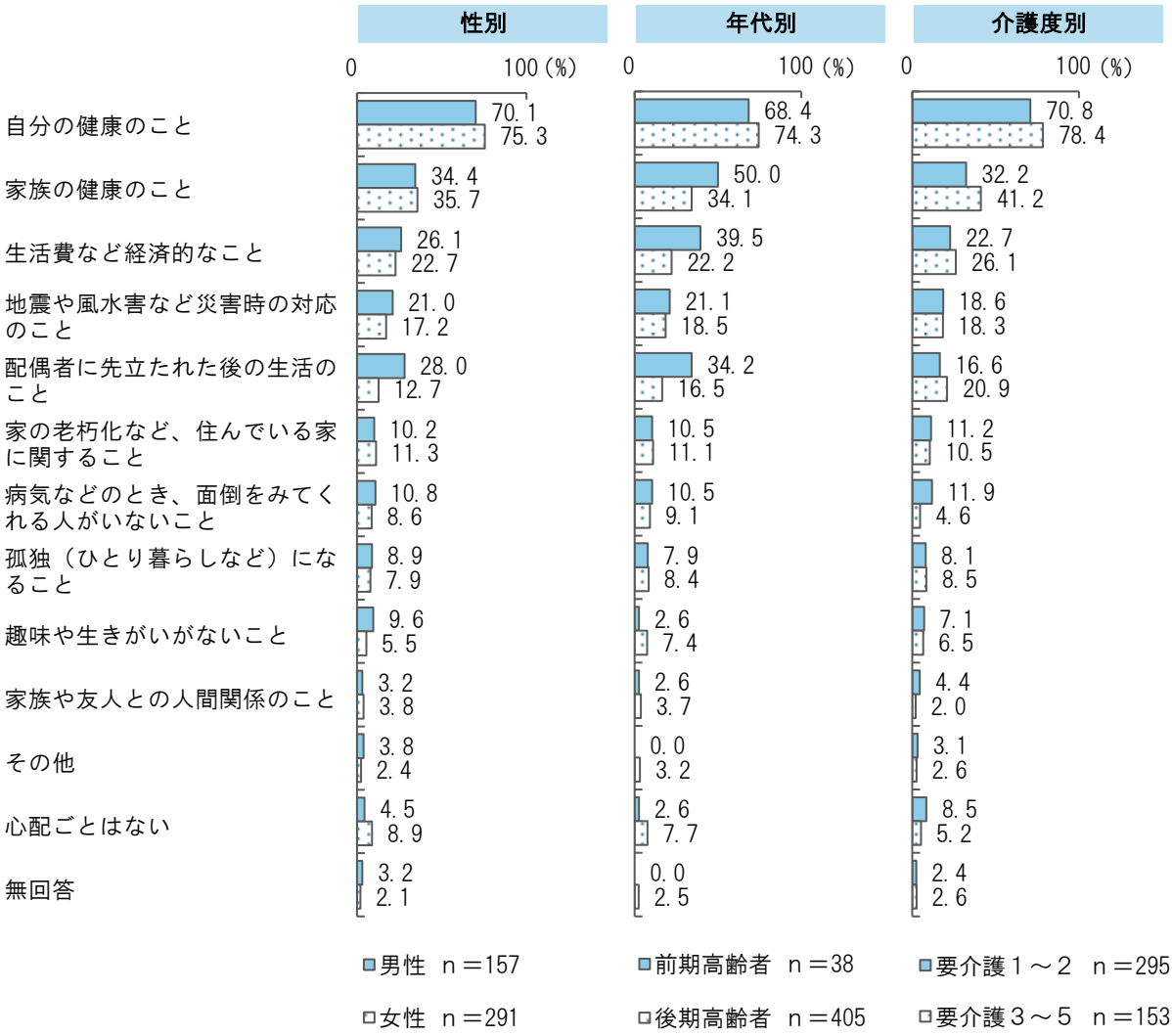
年代別でみると、前期高齢者において「入所・入居は検討していない」が 76.3%と後期高齢者より 14.1 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「すでに入所・入居申し込みをしている」が 12.1%と前期高齢者より 6.8 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「入所・入居は検討していない」が 67.1%と要介護３～５より 10.2 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「すでに入所・入居申し込みをしている」が 17.0%と要介護１～２より 8.5 ポイント高くなっています。

問４　あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。（○は３つまで）



心配ごとや悩みごとの有無は、「自分の健康のこと」が 73.5%と最も多く、次いで「家族の健康のこと」が 35.4%、「生活費など経済的なこと」が 23.8%などとなっています。令和４年度と比較すると「地震や風水害など災害時の対応のこと」が 7.8 ポイント増加しています。



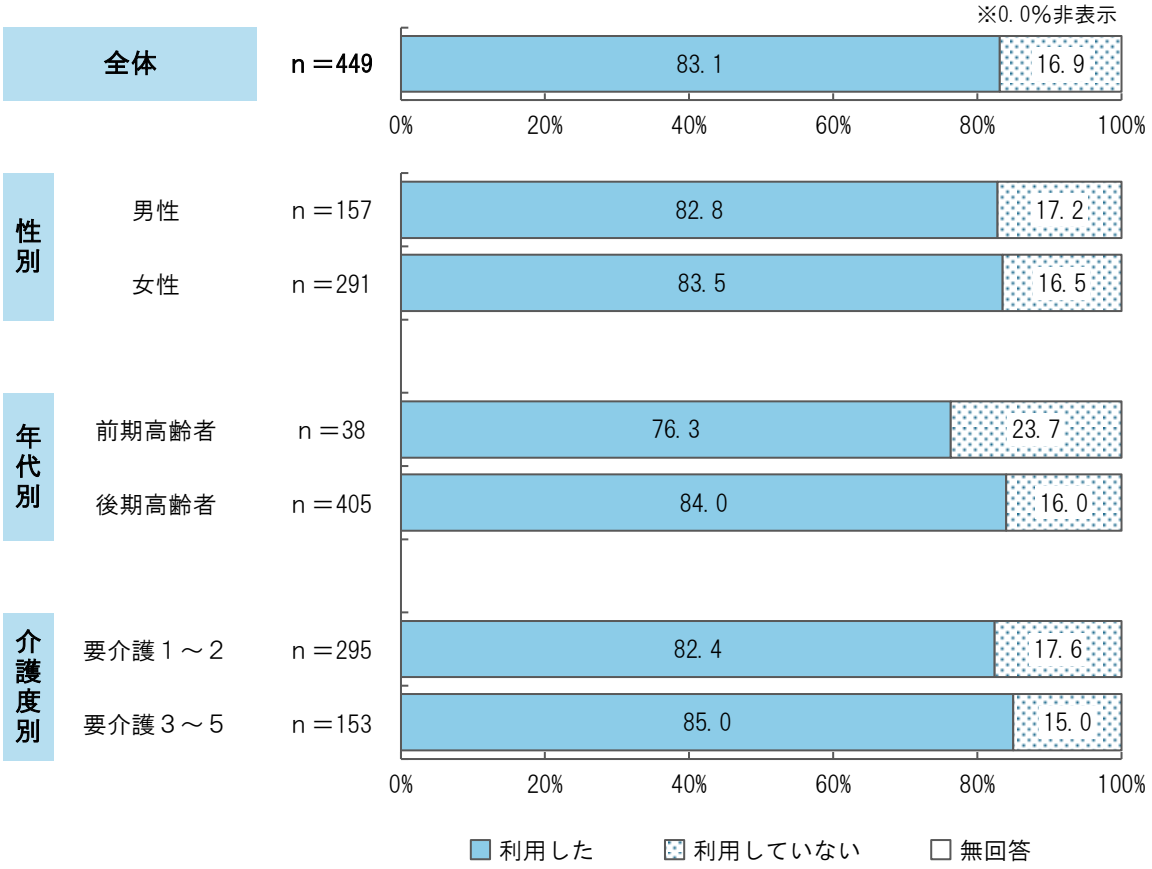
性別でみると、男性において「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が 28.0%と女性より 15.3 ポイント高くなっています。女性においては「自分の健康のこと」が 75.3%と男性より 5.2 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が 34.2%と後期高齢者より 17.7 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「自分の健康のこと」が 74.3%と前期高齢者より 5.9 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」が 11.9%と要介護３～５より 7.3 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「家族の健康のこと」が 41.2%と要介護１～２より 9.0 ポイント高くなっています。

介護保険サービスの利用について

問５　令和７年 11 月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は１つ）



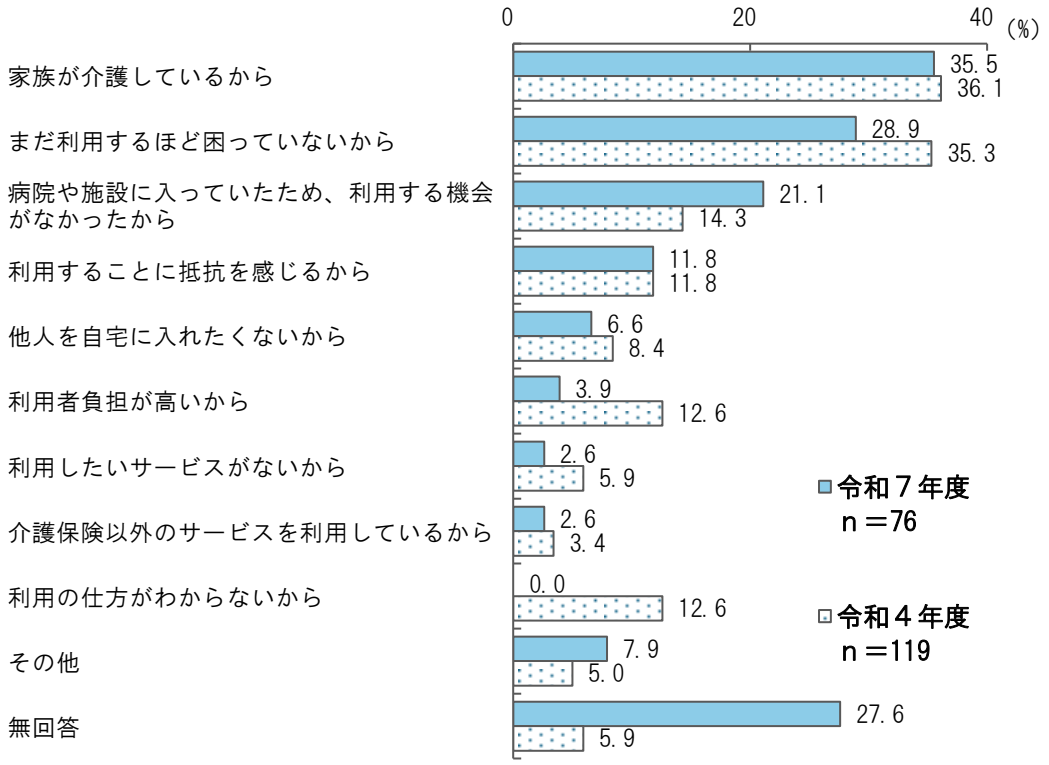
令和７年 11 月の１か月間における介護保険サービスの利用状況は、「利用した」が 83.1%、「利用していない」が 16.9%となっています。

年代別でみると、前期高齢者において「利用していない」が 23.7%と後期高齢者より 7.7 ポイント高くなっています。

性別および介護度別でみると、大きな差異はありません。

問５で「利用していない」と回答した人にお伺いします

問６　あなたが、介護保険サービスを利用しない理由は何ですか。（○はいくつでも）



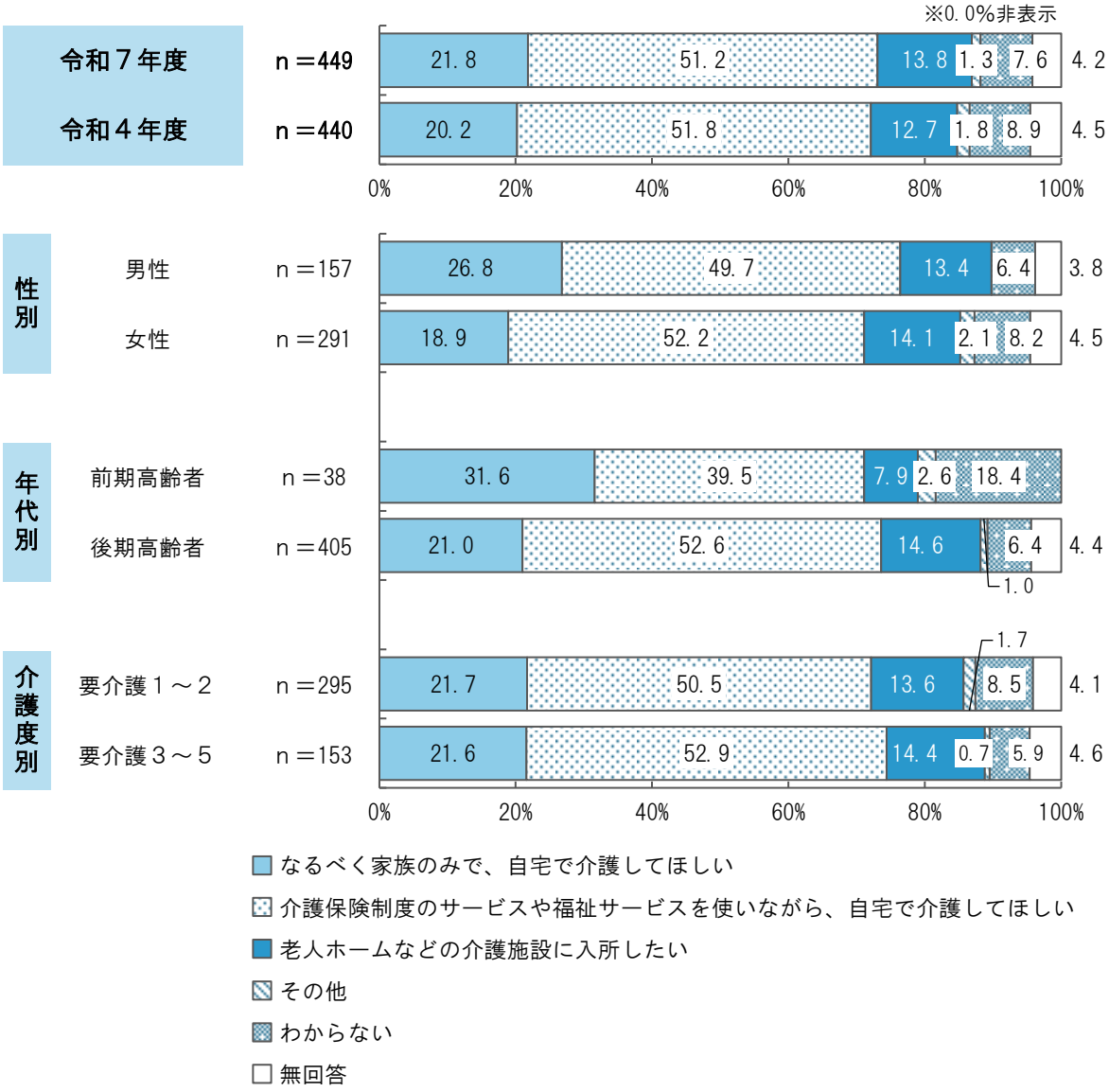
介護保険サービスを利用しない理由は、「家族が介護しているから」が 35.5%と最も多く、次いで「まだ利用するほど困っていないから」が 28.9%、「病院や施設に入っていたため、利用する機会がなかったから」が 21.1%などとなっています。令和４年度と比較すると、「病院や施設に入っていたため、利用する機会がなかったから」が 6.8 ポイント増加し、「まだ利用するほど困っていないから」「利用者負担が高いから」「利用の仕方がわからないから」が減少しています。

		全体（件）	家族が介護しているから	まだ利用するほど困っていないから	利用したいサービスがないから	他人を自宅に入れたくないから	病院や施設に入っていたため、利用する機会がなかったから	利用者負担が高いから	利用することに抵抗を感じるから	利用の仕方がわからないから	介護保険以外のサービスを利用しているから	その他	無回答
全　体（件）		76	27	22	2	5	16	3	9	0	2	6	21
性別	男性	27	7	4	0	0	8	2	1	0	1	2	11
	女性	48	20	18	2	5	8	1	8	0	1	4	9
年代別	前期高齢者	9	5	3	0	0	3	1	0	0	0	0	2
	後期高齢者	65	22	19	2	5	12	2	9	0	2	6	18
介護度別	要介護１～２	52	21	21	2	5	8	1	9	0	1	6	12
	要介護３～５	23	6	1	0	0	8	2	0	0	1	0	8

※複数回答が可能な設問のため、各項目の回答の合計件数は「全体」「性別」「年代別」及び「介護度別」の合計件数とは一致しない。

性別および年代別、介護度別でみると、上表のとおりとなります。

問７　あなたは今後、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は１つ）



今後、どこで介護を受けたいと思うかは、「介護保険制度のサービスや福祉サービスを使いながら、自宅で介護してほしい」が 51.2%と最も多く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 21.8%、「老人ホームなどの介護施設に入所したい」が 13.8%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

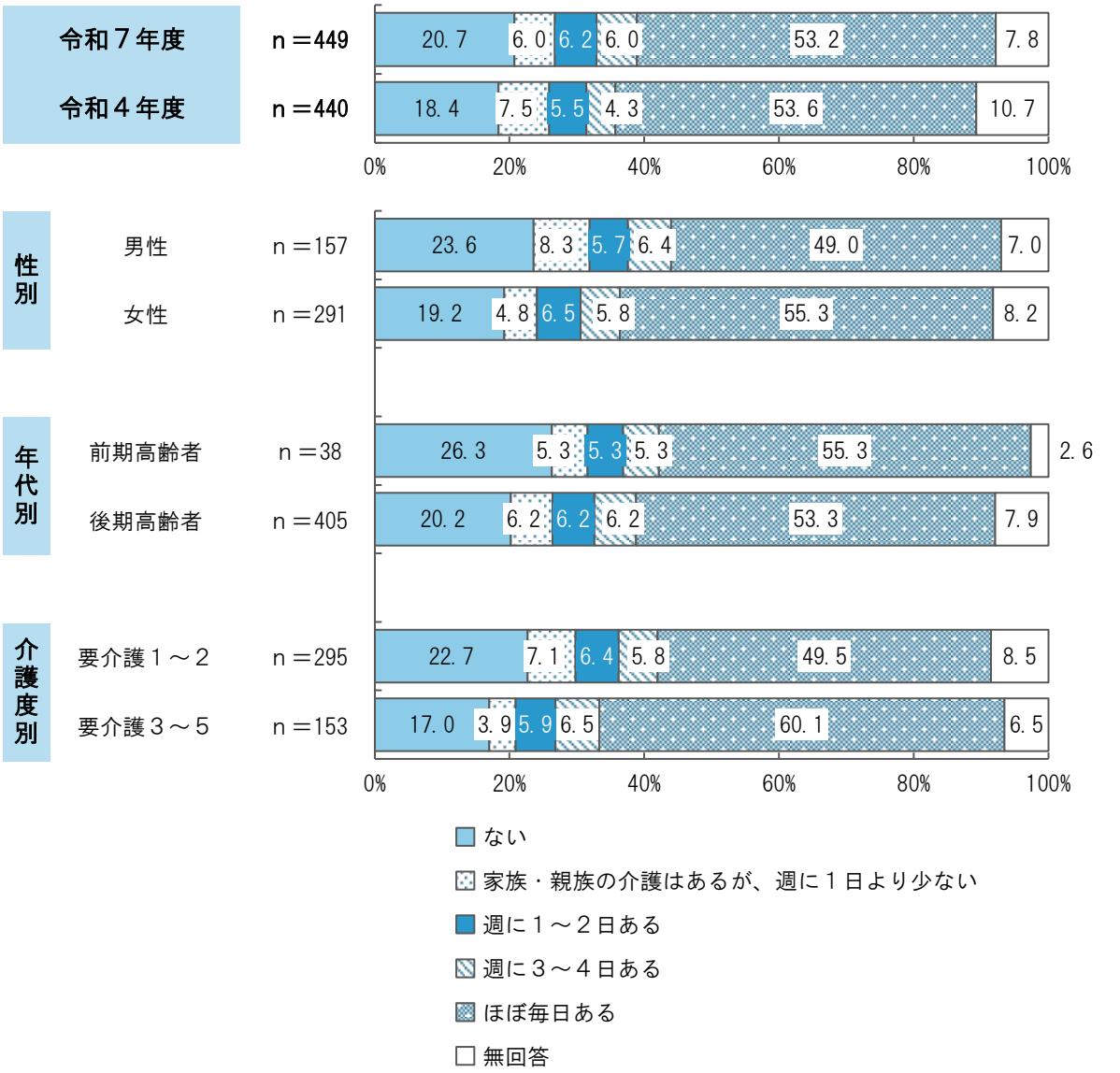
性別でみると、男性において「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 26.8%と女性より 7.9 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が 31.6%と後期高齢者より 10.6 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「介護保険制度のサービスや福祉サービスを使いながら、自宅で介護してほしい」が 52.6%と前期高齢者より 13.1 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、大きな差異はありません。

問８　あなたは、あなたのご家族やご親族の方からの介護を受けていますか。（○は１つ）

※同居していない子どもや親族等からの介護を含んでご回答ください。



家族や親族からの介護の状況・頻度は、「ほぼ毎日ある」が 53.2%と最も多く、次いで「ない」が 20.7%、「週に１～２日ある」が 6.2%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、女性において「ほぼ毎日ある」が 55.3%と男性より 6.3 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「ない」が 26.3%と後期高齢者より 6.1 ポイント高くなっています。

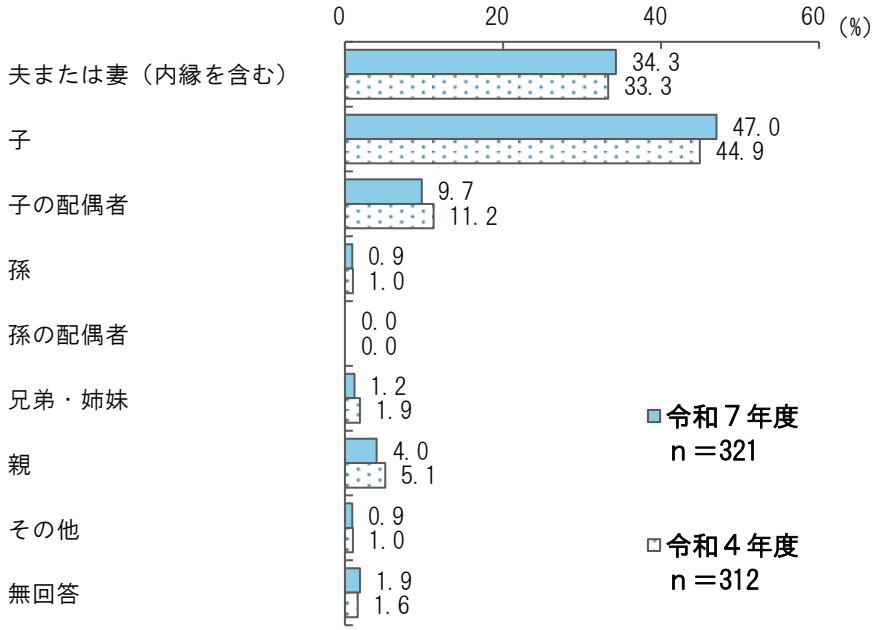
介護度別でみると、要介護１～２において「ない」が 22.7%と要介護３～５より 5.7 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「ほぼ毎日ある」が 60.1%と要介護１～２より 10.6 ポイント高くなっています。

主な介護者の方について

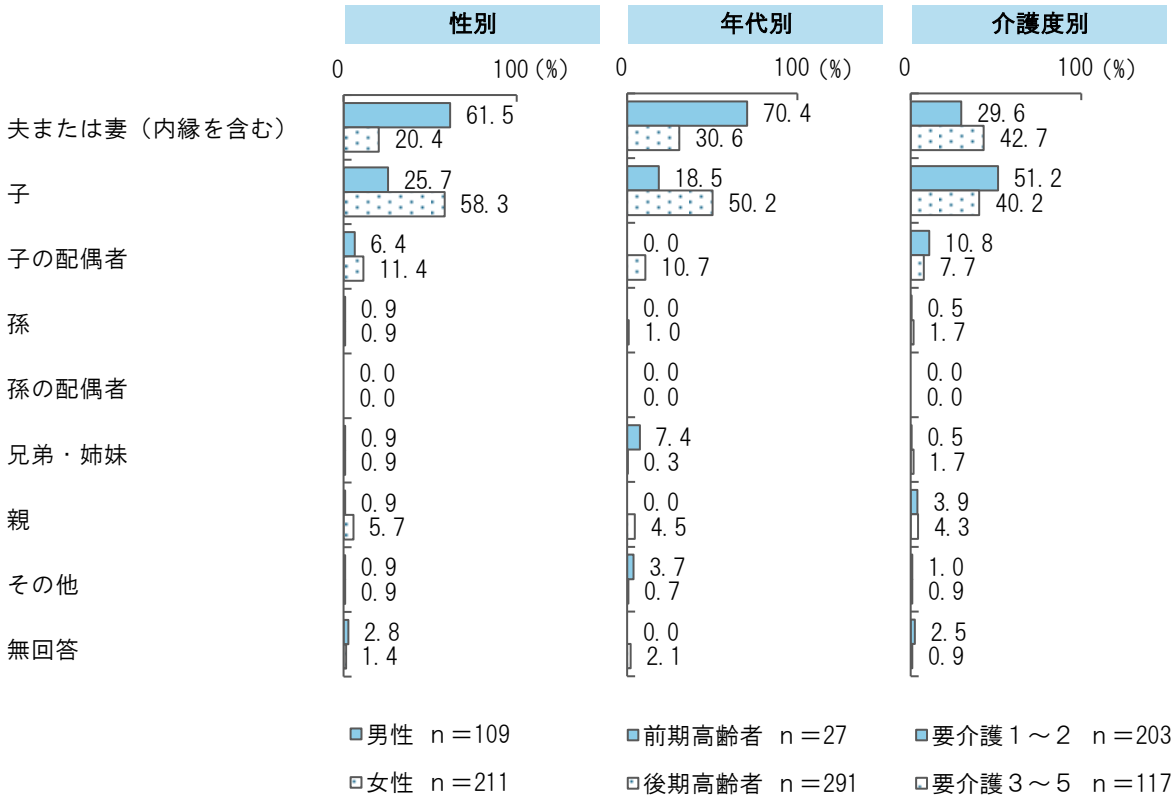
問８で「ない」以外を回答した人にお伺いします

問９　主に介護している方はどなたですか。（○は１つ）

※問９から問 13－２については、主な介護者の方にご回答・ご記入をお願いします。



主な介護者は、「子」が 47.0％と最も多く、次いで「夫または妻（内縁を含む）」が 34.3％、「子の配偶者」が 9.7％などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

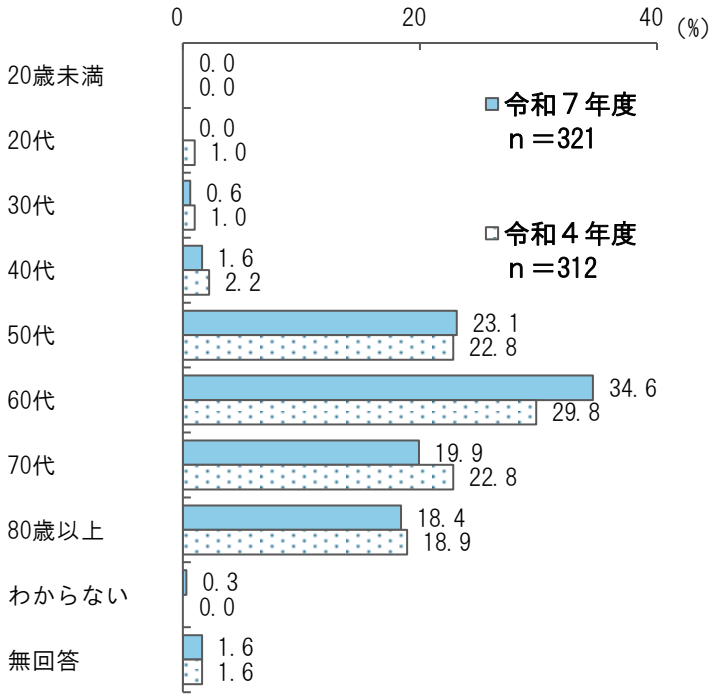


性別でみると、男性において「夫または妻（内縁を含む）」が61.5%と女性より41.1ポイント高くなっています。女性においては「子」が58.3%と男性より32.6ポイント高くなっています。

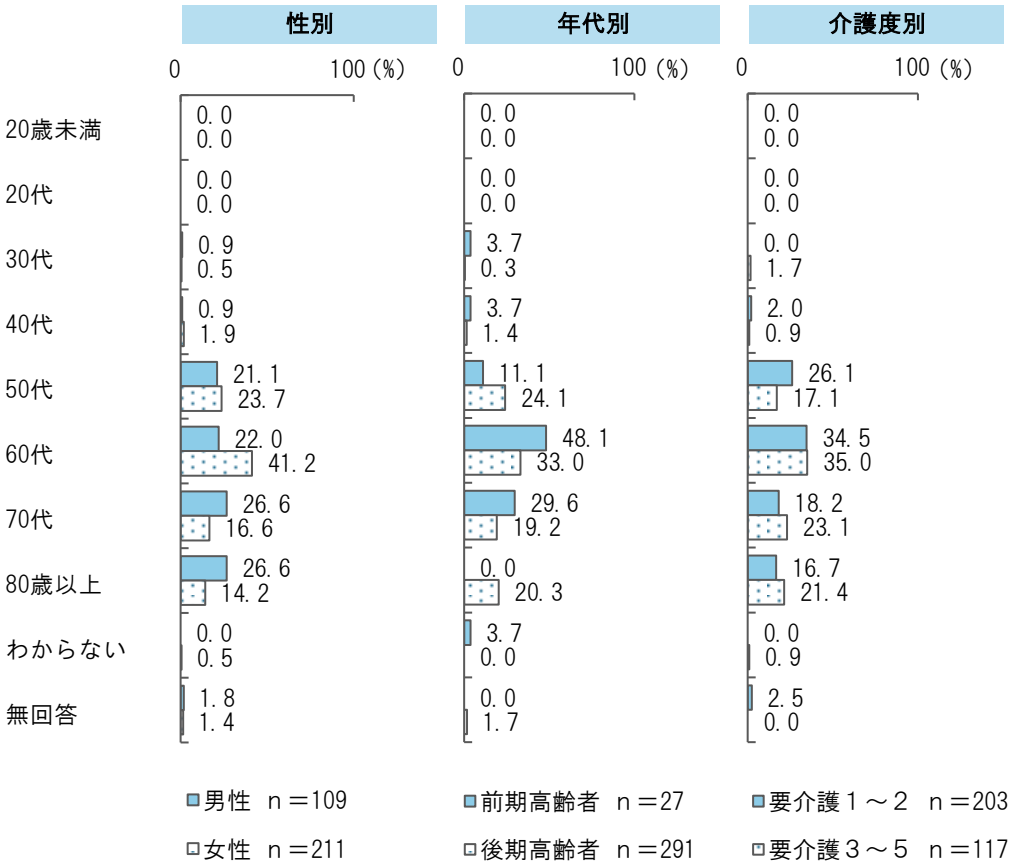
介護度別でみると、要介護１～２において「子」が51.2%と要介護３～５より11.0ポイント高くなっています。要介護３～５においては「夫または妻（内縁を含む）」が42.7%と要介護１～２より13.1ポイント高くなっています。

問８で「ない」以外を回答した人にお伺いします

問10　主な介護者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）



主な介護者の年齢は、「60 代」が 34.6%と最も多く、次いで「50 代」が 23.1%、「70 代」が 19.9%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。



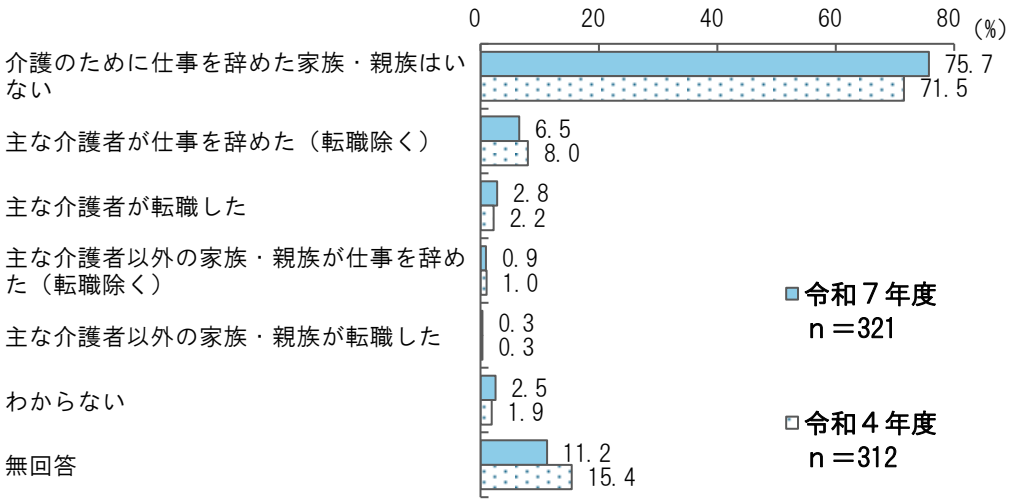
性別でみると、男性において「80 歳以上」が 26.6%と女性より 12.4 ポイント高くなっています。女性においては「60 代」が 41.2%と 41.2%と男性より 19.2 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「50 代」が 26.1%と要介護３～５より 9.0 ポイント高くなっています。

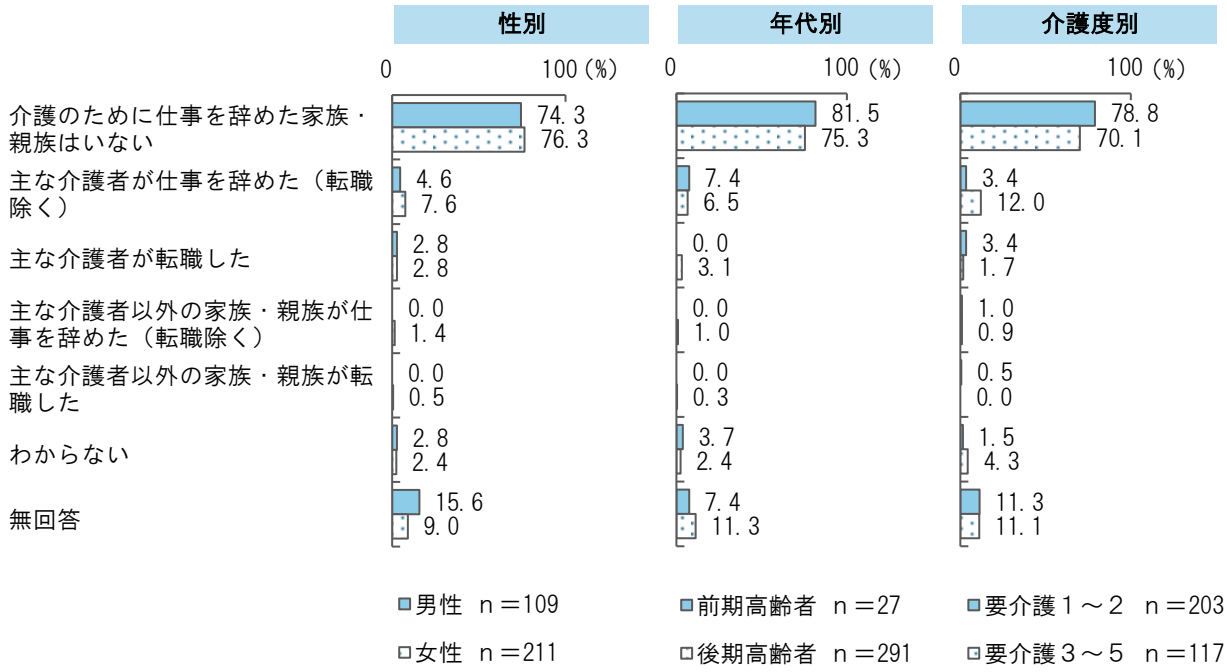
問８で「ない」以外を回答した人にお伺いします

問11　ご家族やご親族の中で、あて名のご本人様の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（○はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。



介護を主な理由として、家族や親族で過去１年の間に仕事を辞めた方がいるかは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 75.7%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.5%、「主な介護者が転職した」が 2.8%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

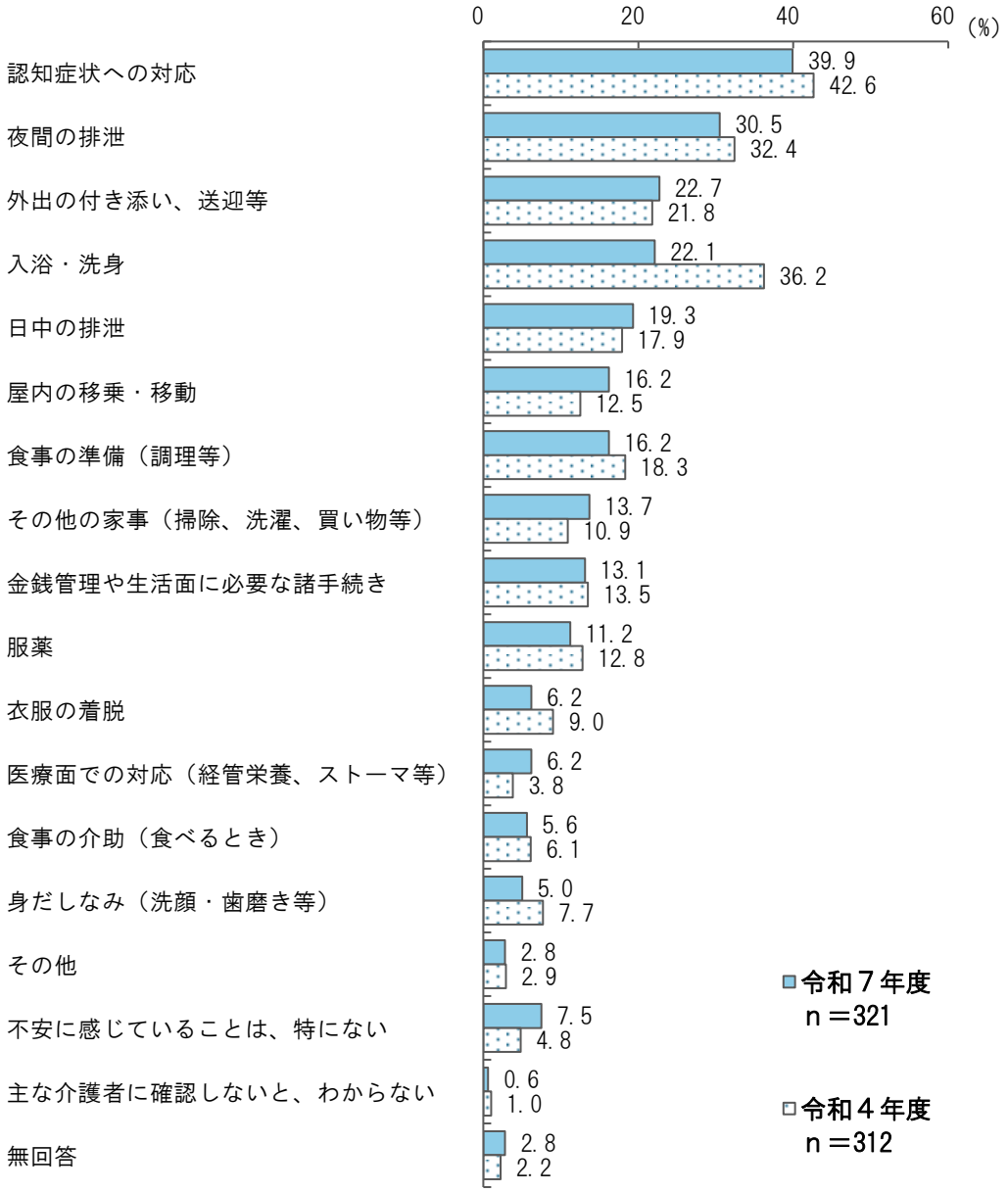


性別でみると、大きな差異はありません。
介護度別でみると、要介護１～２において「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が78.8%と要介護３～５より8.7ポイント高くなっています。要介護３～５においては「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が12.0%と要介護１～２より8.6ポイント高くなっています。

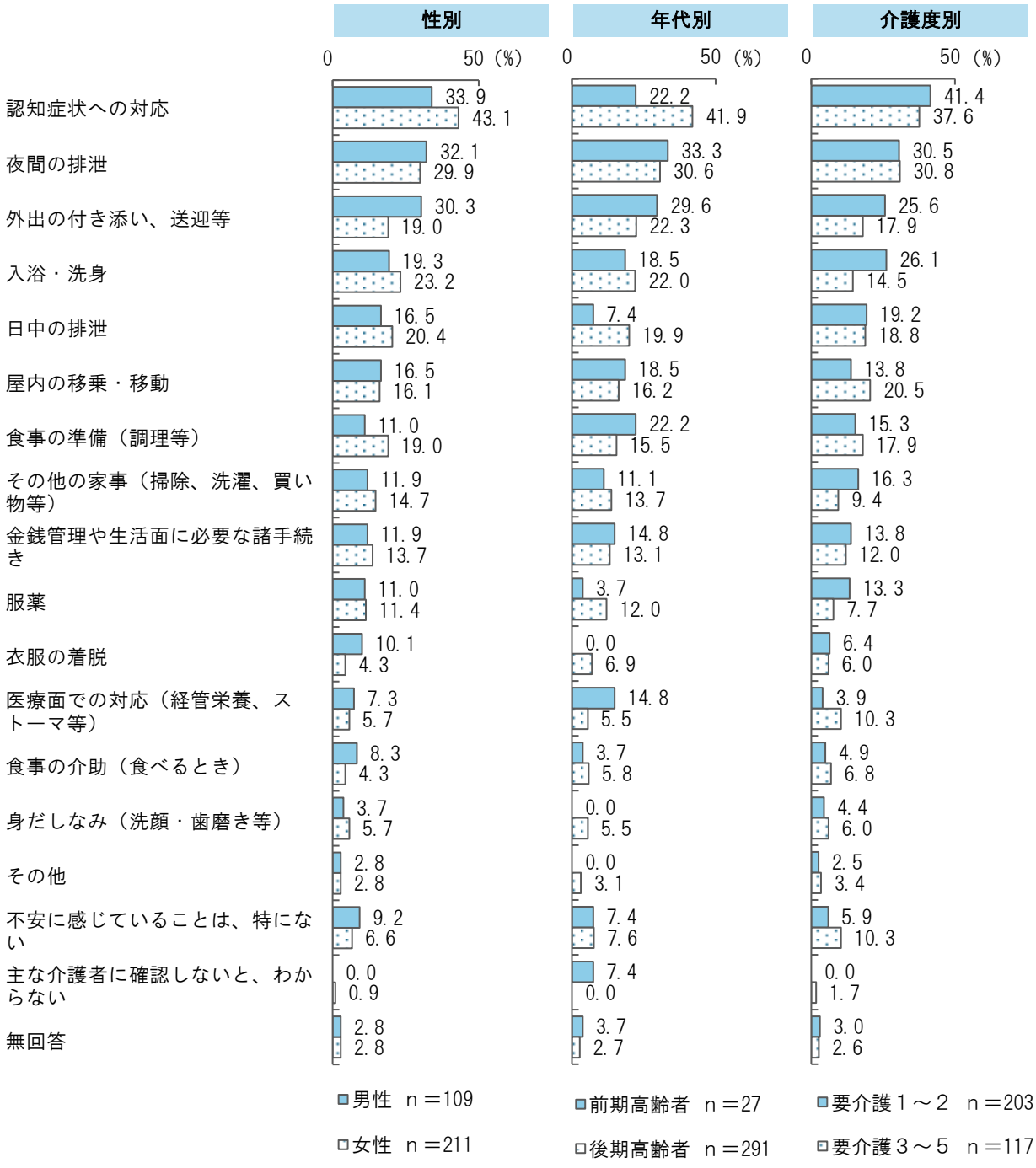
問８で「ない」以外を回答した人にお伺いします

問12　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は何ですか。（○は３つまで）

※現状で行っているか否かは問いません。



現在の生活を継続していくにあたり、主な介護者が不安に感じる介護は「認知症状への対応」が 39.9%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が 30.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 22.7%などとなっています。令和４年度と比較すると、「入浴・洗身」が 14.1 ポイント減少しています。

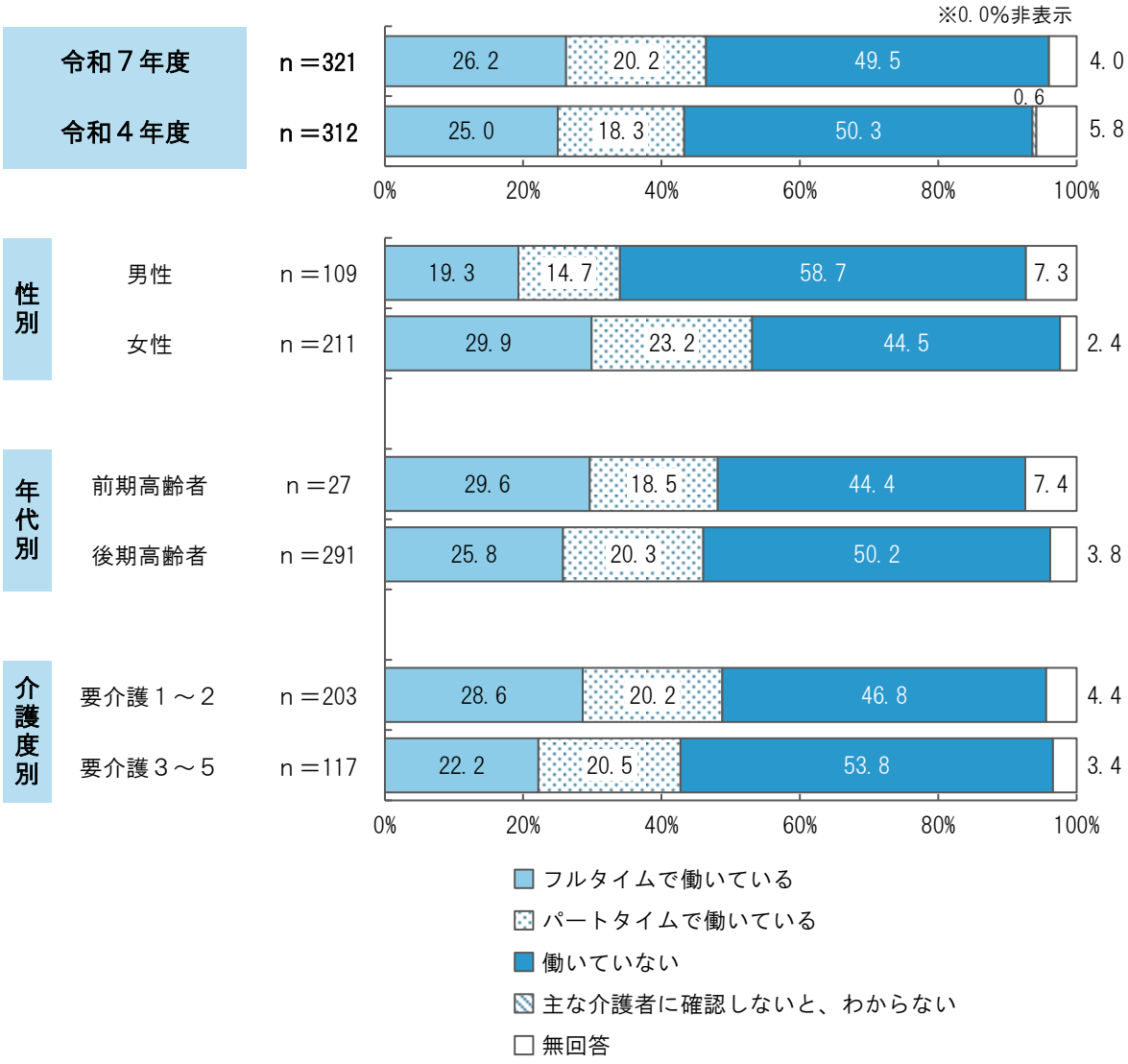


性別でみると、男性において「外出の付き添い、送迎等」が 30.3%と女性より 11.3 ポイント高くなっています。女性においては「認知症状への対応」が 43.1%と男性より 9.2 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「入浴・洗身」が 26.1%と要介護３～５より 11.6 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「屋内の移乗・移動」が 20.5%と要介護１～２より 6.7 ポイント高くなっています。

問８で「ない」以外を回答した人にお伺いします

問13　主な介護者の方の現在の勤務形態についてお答えください。（○は１つ）



主な介護者の勤務形態は「働いていない」が 49.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 26.2%、「パートタイムで働いている」が 20.2%などとなっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

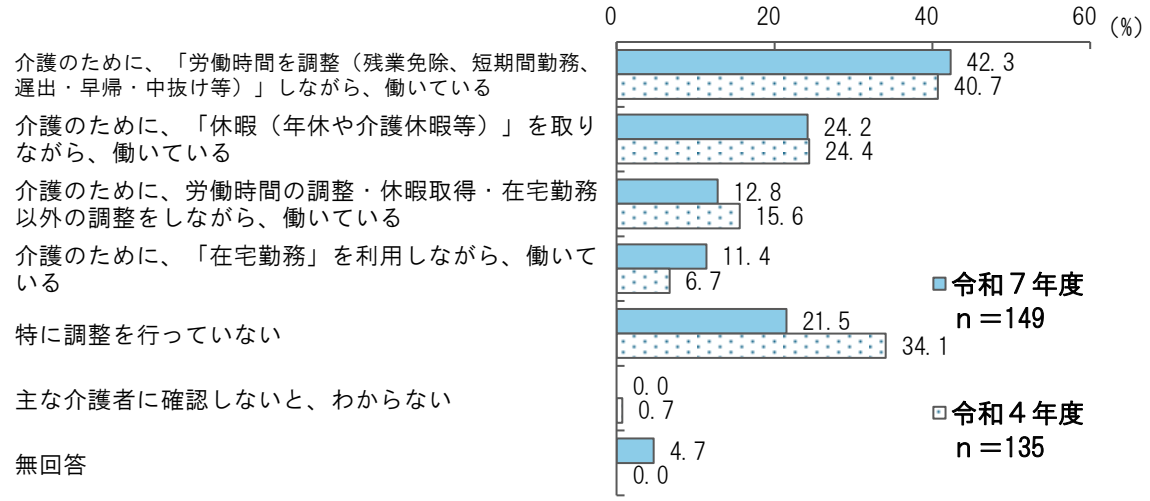
性別でみると、男性において「働いていない」が 58.7%と女性より 14.2 ポイント高くなっています。女性においては「フルタイムで働いている」が 29.9%と男性より 10.6 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「フルタイムで働いている」が 28.6%と要介護３～５より 6.4 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「働いていない」が 53.8%と要介護１～２より 7.0 ポイント高くなっています。

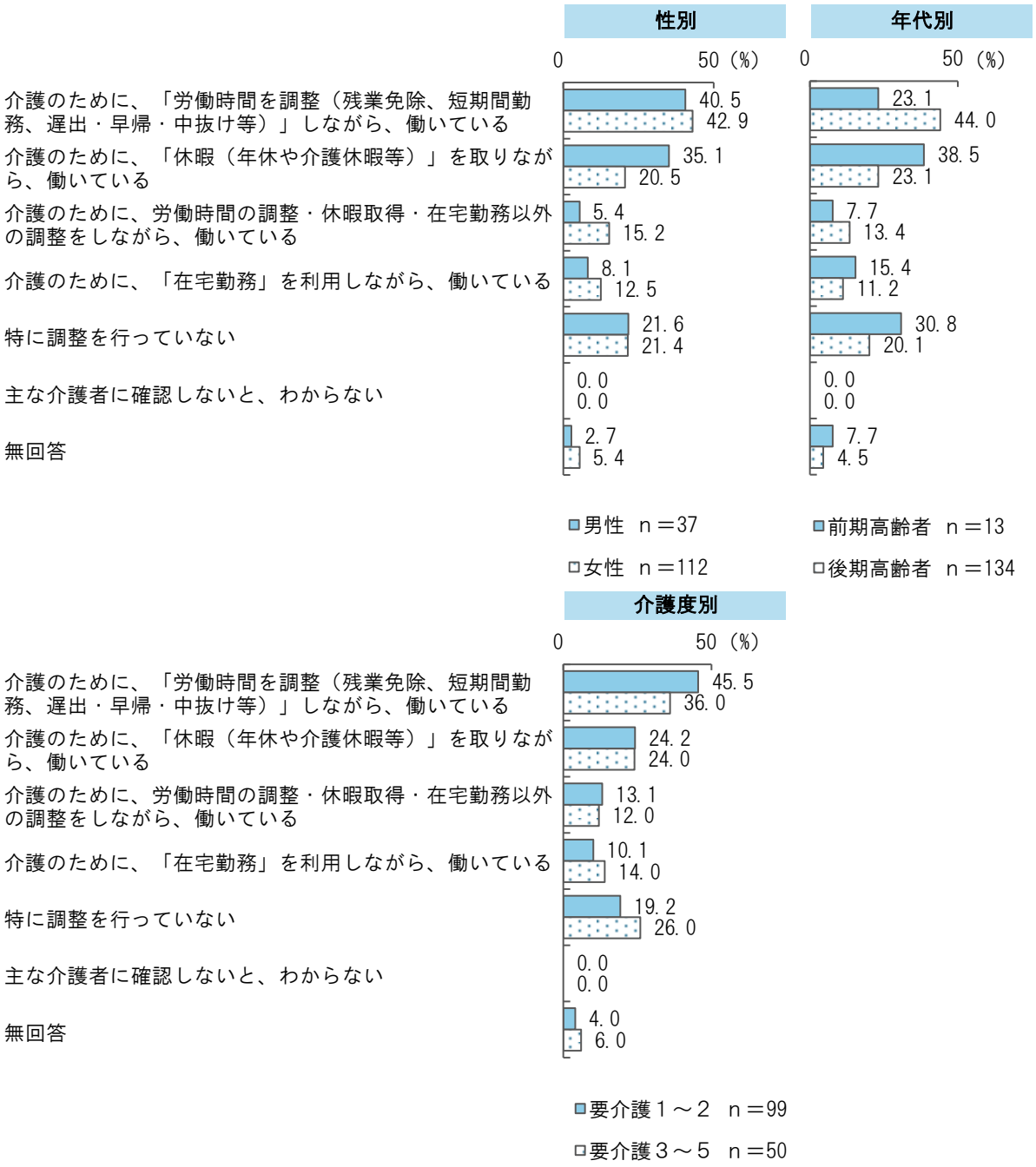
問 13 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人にお伺いします

問13－１　介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

（○はいくつでも）



主な介護者が、介護をするにあたり働き方を調整しているかは「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が 42.3%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が 24.2%、「介護のために、労働時間の調整・休暇取得・在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が 12.8%などとなっています。また、「特に調整を行っていない」は 21.5%となります。令和４年度と比較すると、「特に調整を行っていない」が 12.6 ポイント減少しています。

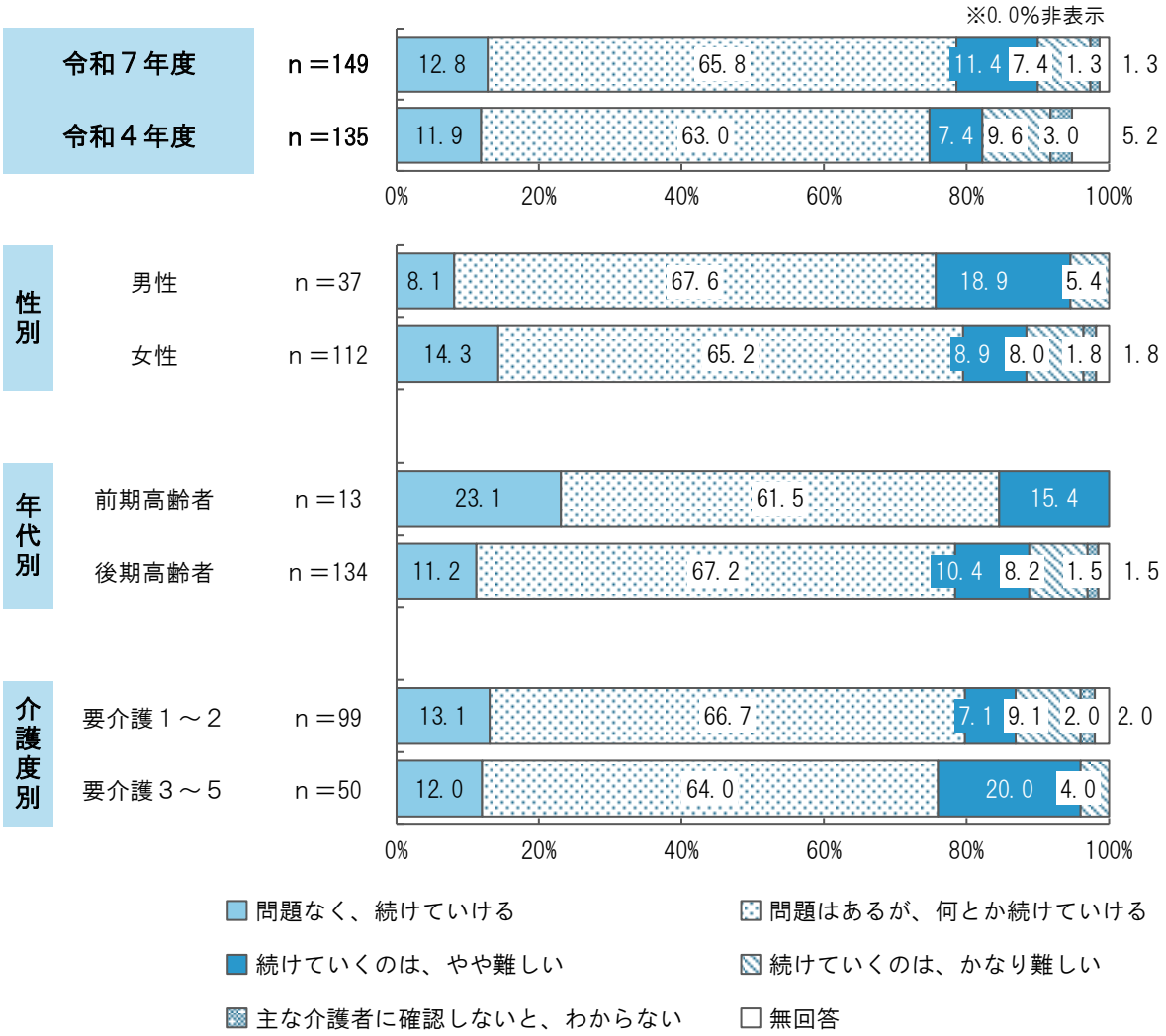


性別でみると、男性において「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が 35.1%と女性より 14.6 ポイント高くなっています。女性においては「介護のために、労働時間の調整・休暇取得・在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が 15.2%と男性より 9.8 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が 45.5%と要介護３～５より 9.5 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「特に調整を行っていない」が 26.0%と要介護１～２より 6.8 ポイント高くなっています。

問 13 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人にお伺いします

問13－２　今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は１つ）



※『続けていける』:「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた割合
『続けていくのは、難しい』：「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた割合

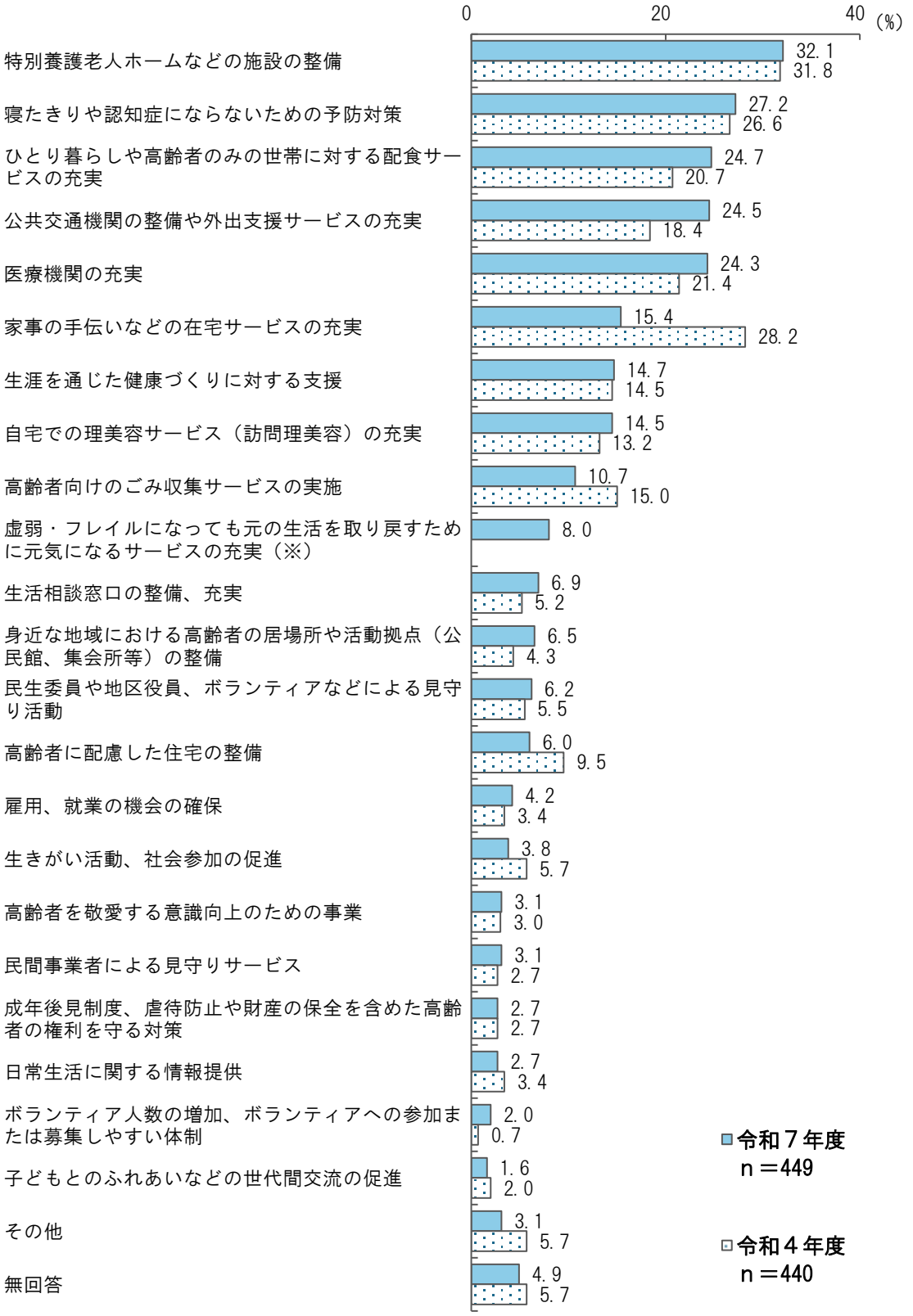
今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題はあるが、何とか続けていける」が 65.8%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 12.8%、「続けていくのは、やや難しい」が 11.4%などとなっています。また、『続けていける』は 78.6%、『続けていくのは、難しい』は 18.8%となっています。令和４年度と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、男性において『続けていくのは、難しい』が 24.3%と女性より 7.4 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護３～５において『続けていくのは、難しい』が 24.0%と要介護１～２より 7.8 ポイント高くなっています。

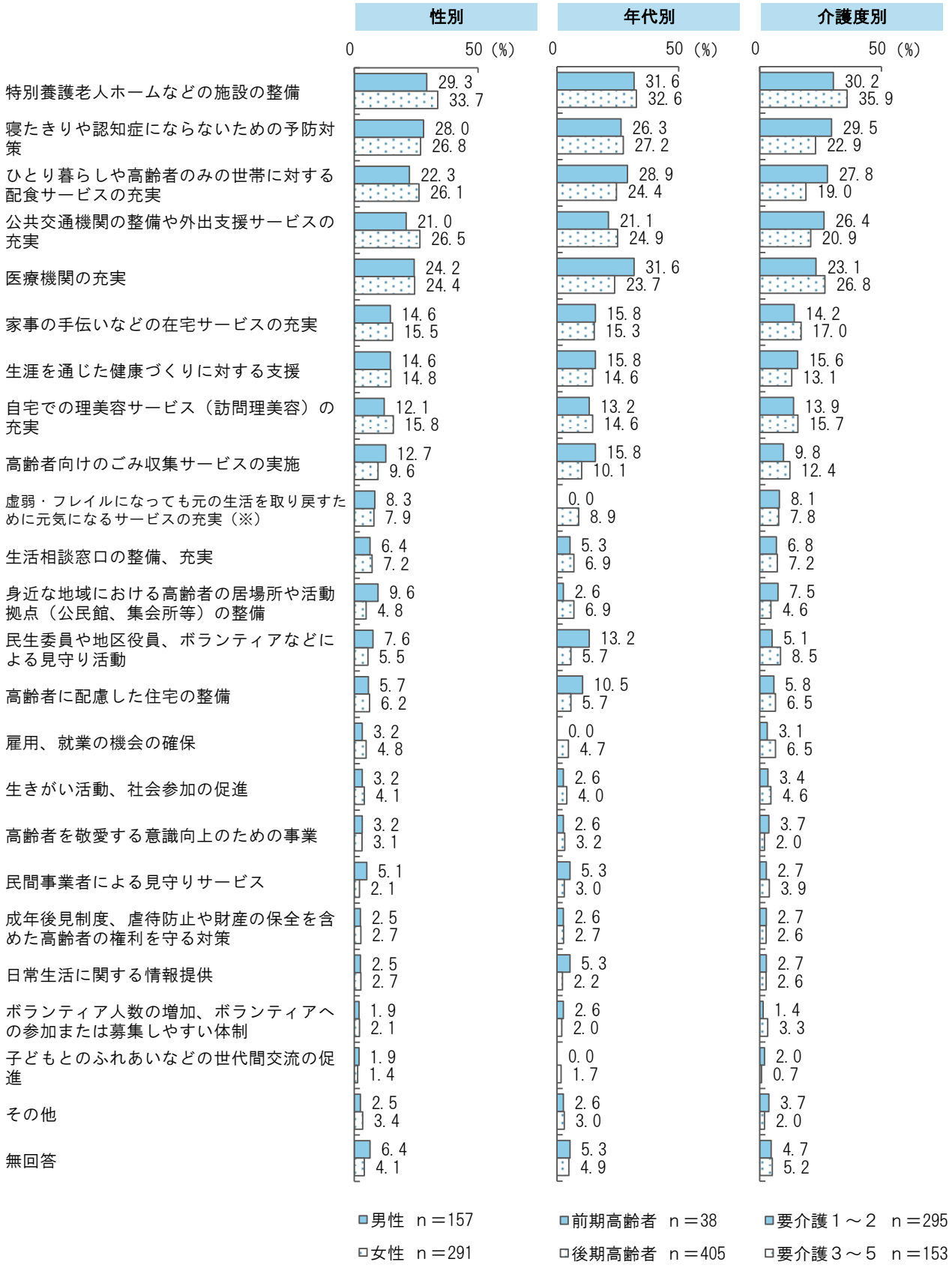
その他について

問14　あなたは、高齢者の方々が長泉町で安心して自分らしく暮らすため、町が行う施策として優先して取り組むべきものは何だと思いますか。（○は３つまで）



※「虚弱・フレイルになっても元の生活を取り戻すために元気になるサービスの充実」は令和７年度調査のみの選択肢

高齢者が安心して自分らしく暮らすため、町が優先して取り組むべきことは、「特別養護老人ホームなどの施設の整備」が 32.1%と最も多く、次いで「寝たきりや認知症にならないための予防対策」が 27.2%、「ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実」が 24.7%などとなっています。令和４年度と比較すると、「公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実」が 6.1 ポイント増加し、「家事の手伝いなどの在宅サービスの充実」が 12.8 ポイント減少しています。

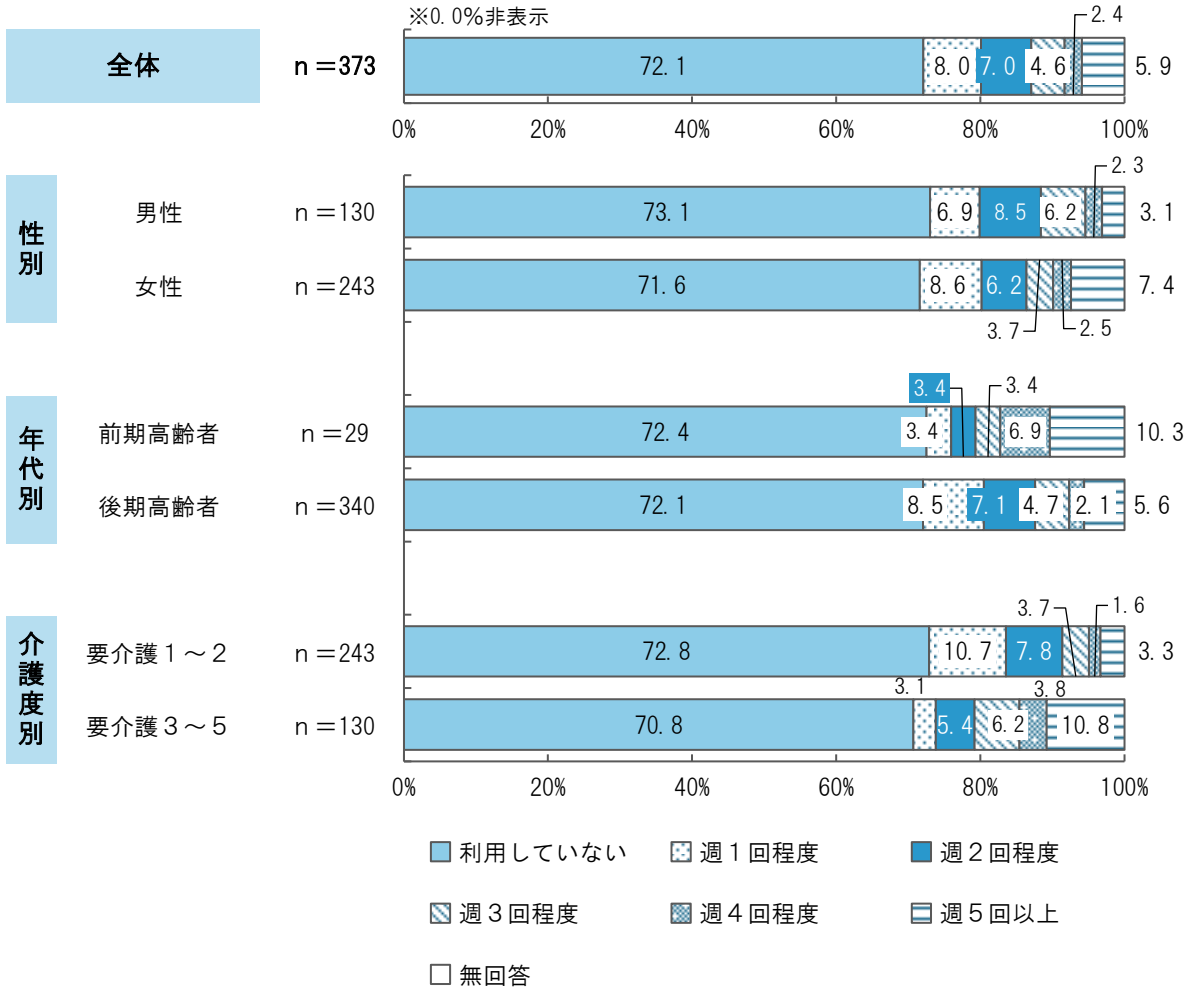

性別
年代別
介護度別
0
50（%）
特別養護老人ホームなどの施設の整備
29.3 33.7
31.6 32.6
30.2 35.9
寝たきりや認知症にならないための予防対策
28.0 26.8
26.3 27.2
29.5 22.9
ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実
22.3 26.1
28.9 24.4
27.8 19.0
公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実
21.0 26.5
21.1 24.9
26.4 20.9
医療機関の充実
24.2 24.4
31.6 23.7
23.1 26.8
家事の手伝いなどの在宅サービスの充実
14.6 15.5
15.8 15.3
14.2 17.0
生涯を通じた健康づくりに対する支援
14.6 14.8
15.8 14.6
15.6 13.1
自宅での理美容サービス（訪問理美容）の充実
12.1 15.8
13.2 14.6
13.9 15.7
高齢者向けのごみ収集サービスの実施
12.7 9.6
15.8 10.1
9.8 12.4
虚弱・フレイルになっても元の生活を取り戻すために元気になるサービスの充実（※）
8.3 7.9
0.0 8.9
8.1 7.8
生活相談窓口の整備、充実
6.4 7.2
5.3 6.9
6.8 7.2
身近な地域における高齢者の居場所や活動拠点（公民館、集会所等）の整備
9.6 4.8
2.6 6.9
7.5 4.6
民生委員や地区役員、ボランティアなどによる見守り活動
7.6 5.5
13.2 5.7
5.1 8.5
高齢者に配慮した住宅の整備
5.7 6.2
10.5 5.7
5.8 6.5
雇用、就業の機会の確保
3.2 4.8
0.0 4.7
3.1 6.5
生きがい活動、社会参加の促進
3.2 4.1
2.6 4.0
3.4 4.6
高齢者を敬愛する意識向上のための事業
3.2 3.1
2.6 3.2
3.7 2.0
民間事業者による見守りサービス
5.1 2.1
5.3 3.0
2.7 3.9
成年後見制度、虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策
2.5 2.7
2.6 2.7
2.7 2.6
日常生活に関する情報提供
2.5 2.7
5.3 2.2
2.7 2.6
ボランティア人数の増加、ボランティアへの参加または募集しやすい体制
1.9 2.1
2.6 2.0
1.4 3.3
子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進
1.9 1.4
0.0 1.7
2.0 0.7
その他
2.5 3.4
2.6 3.0
3.7 2.0
無回答
6.4 4.1
5.3 4.9
4.7 5.2
男性　n＝157
女性　n＝291
前期高齢者　n＝38
後期高齢者　n＝405
要介護１～２　n＝295
要介護３～５　n＝153

性別でみると、女性において「公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実」が 26.5%と男性より 5.5 ポイント高くなっています。
年代別でみると、前期高齢者において「医療機関の充実」が 31.6%と後期高齢者より 7.9 ポイント高くなっています。
介護度別でみると、要介護１～２において「ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実」が 27.8%と要介護３～５より 8.8 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「特別養護老人ホームなどの施設の整備」が 35.9%と要介護１～２より 5.7 ポイント高くなっています。

【参考】介護保険サービスについて

問５で「利用した」の方のみ

（１）訪問介護（ホームヘルプサービス）



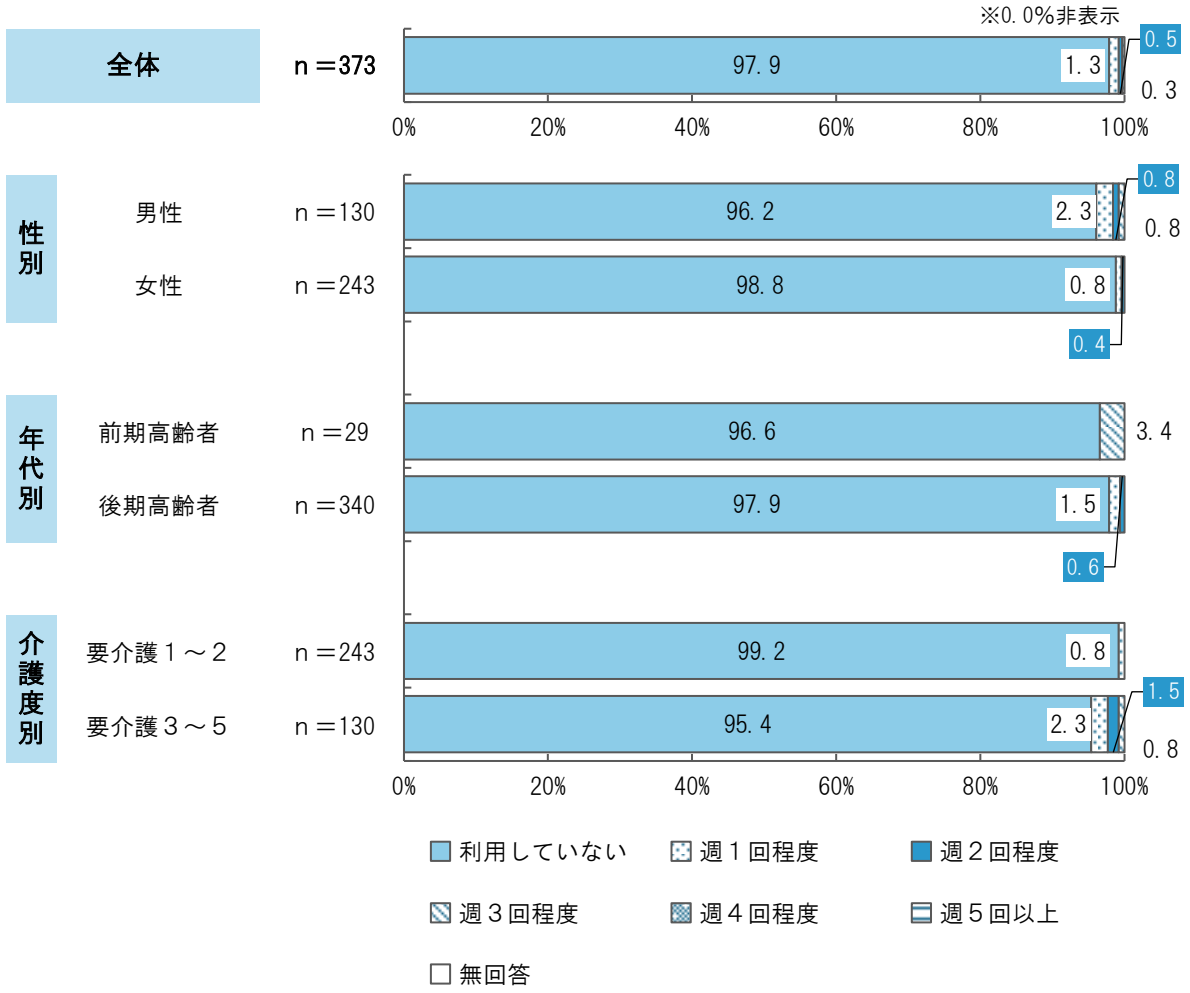
訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用状況は、「利用していない」が 72.1%と最も多く、次いで「週１回程度」が 8.0%、「週２回程度」が 7.0%などとなっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、後期高齢者において「週１回程度」が 8.5%と前期高齢者より 5.1 ポイント高くなっています。

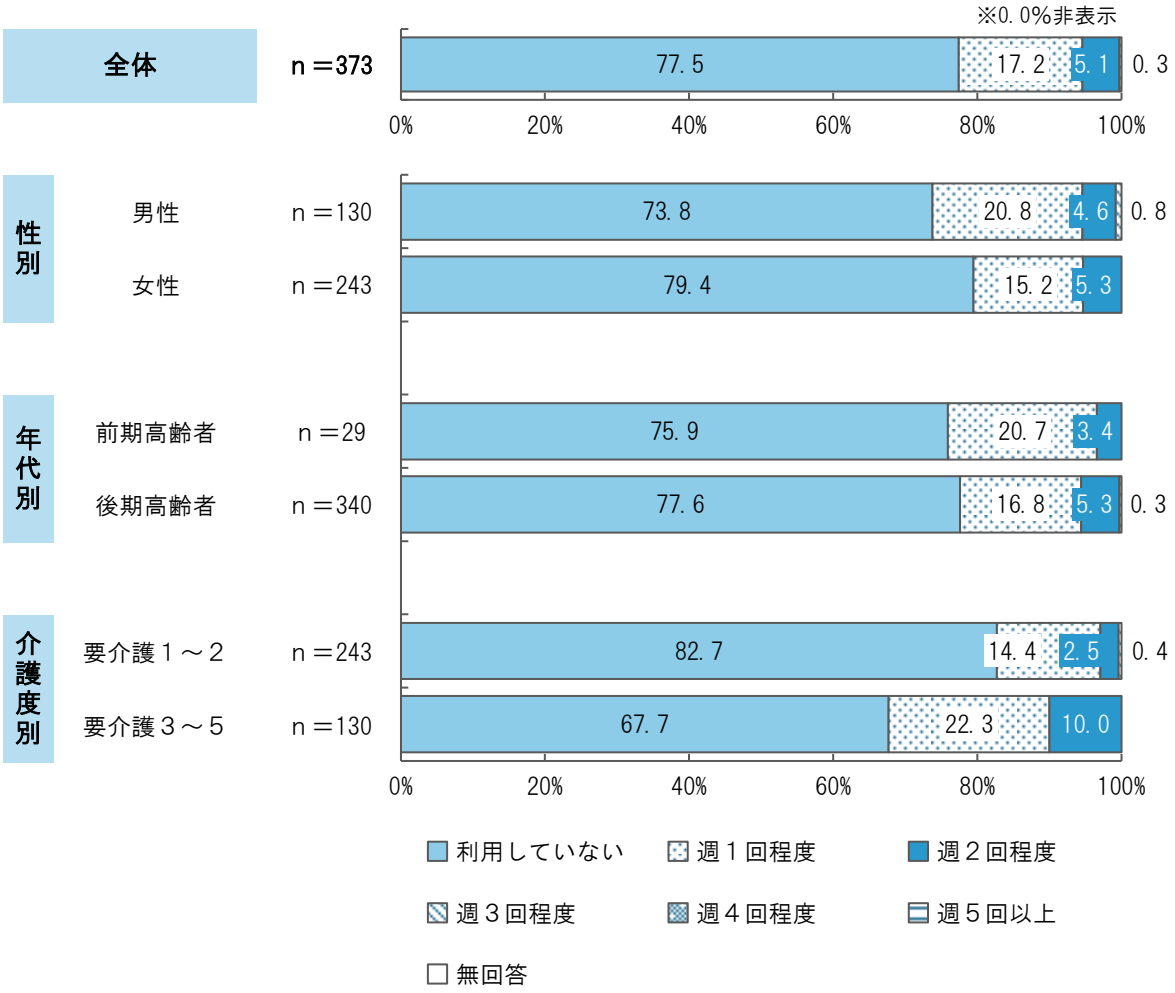
介護度別でみると、要介護１～２において「週１回程度」が 10.7%と要介護３～５より 7.6 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「週５回以上」が 10.8%と要介護１～２より 7.5 ポイント高くなっています。

（２）訪問入浴介護



訪問入浴介護の利用状況は、「利用していない」が 97.9%と突出して多くなっています。
性別・年代別・介護度別でみると、いずれも大きな差異はありません。

（３）訪問看護



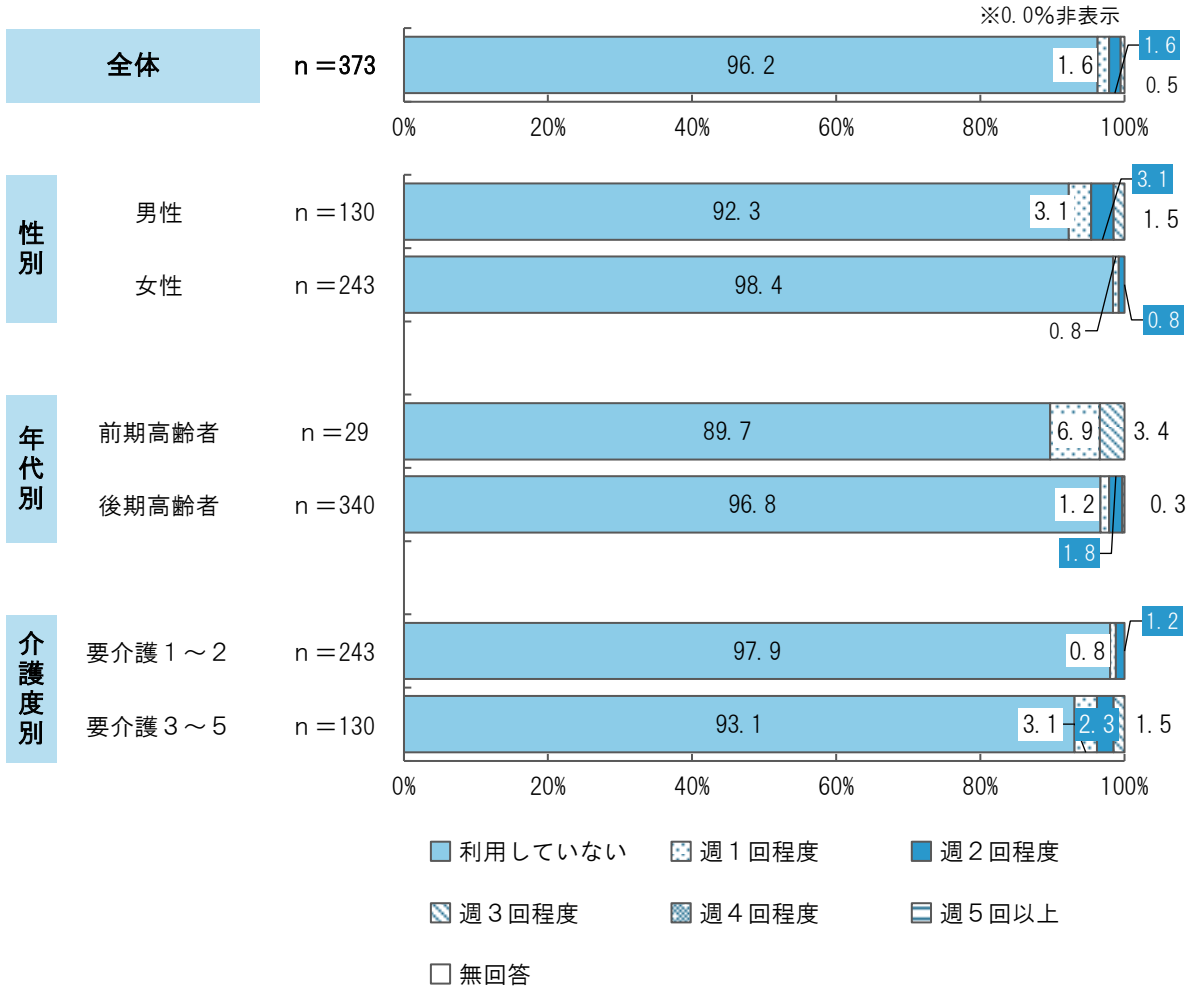
訪問看護の利用状況は、「利用していない」が 77.5%と最も多く、次いで「週１回程度」が 17.2%、「週２回程度」が 5.1%などとなっています。

性別でみると、男性において「週１回程度」が 20.8%と女性より 5.6 ポイント高くなっています。女性においては「利用していない」が 79.4%と男性より 5.6 ポイント高くなっています。

年代別でみると、大きな差異はありません。

介護度別でみると、要介護１～２において「利用していない」が 82.7%と要介護３～５より 15.0 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「週１回程度」が 22.3%と要介護１～２より 7.9 ポイント高くなっています。

（４）訪問リハビリテーション



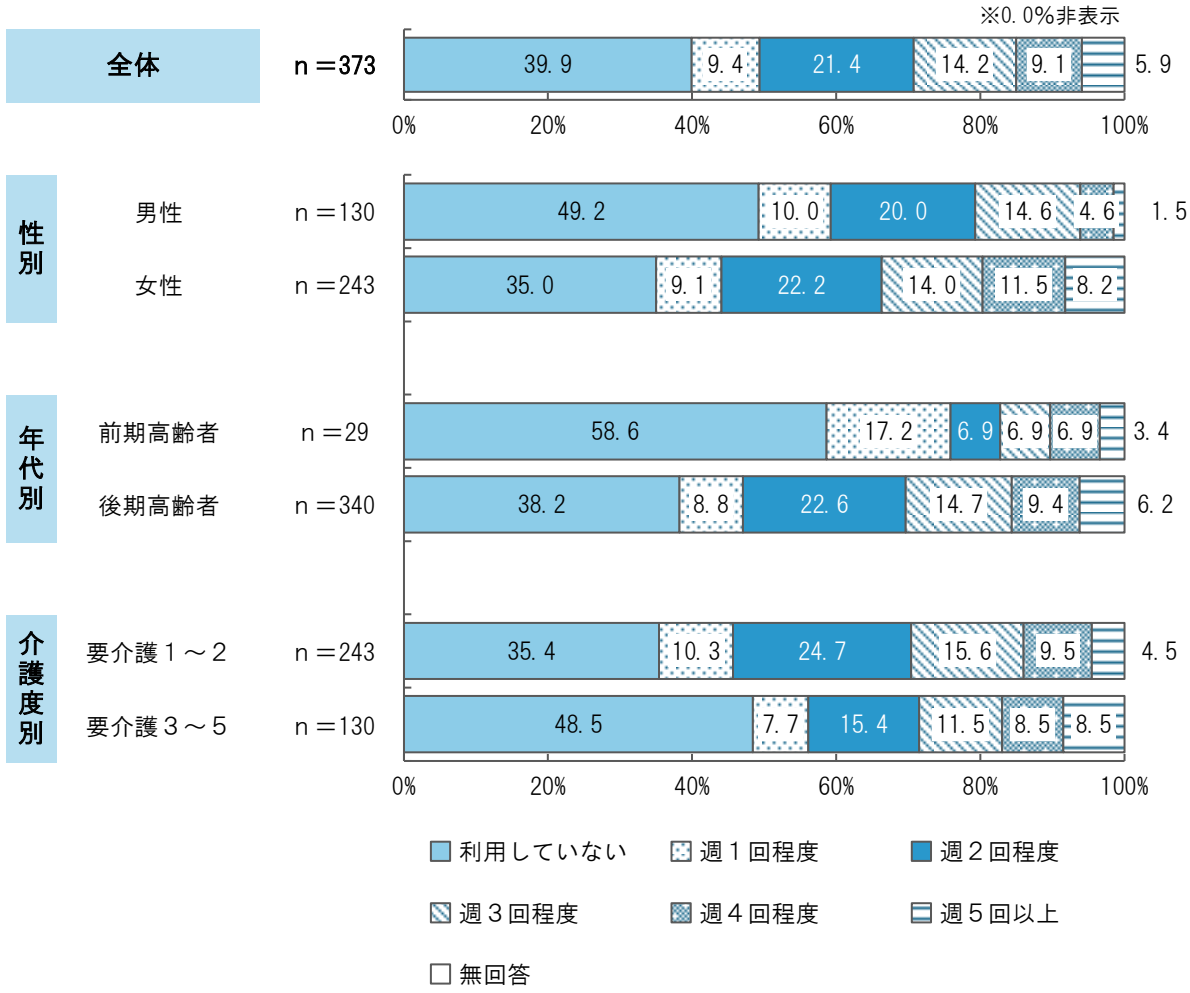
訪問リハビリテーションの利用状況は、「利用していない」が 96.2%と突出して多くなっています。

性別でみると、女性において「利用していない」が 98.4%と男性より 6.1 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「週 1 回程度」が 6.9%と後期高齢者より 5.7 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「利用していない」が 96.8%と前期高齢者より 7.1 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、大きな差異はありません。

（５）通所介護（デイサービス）



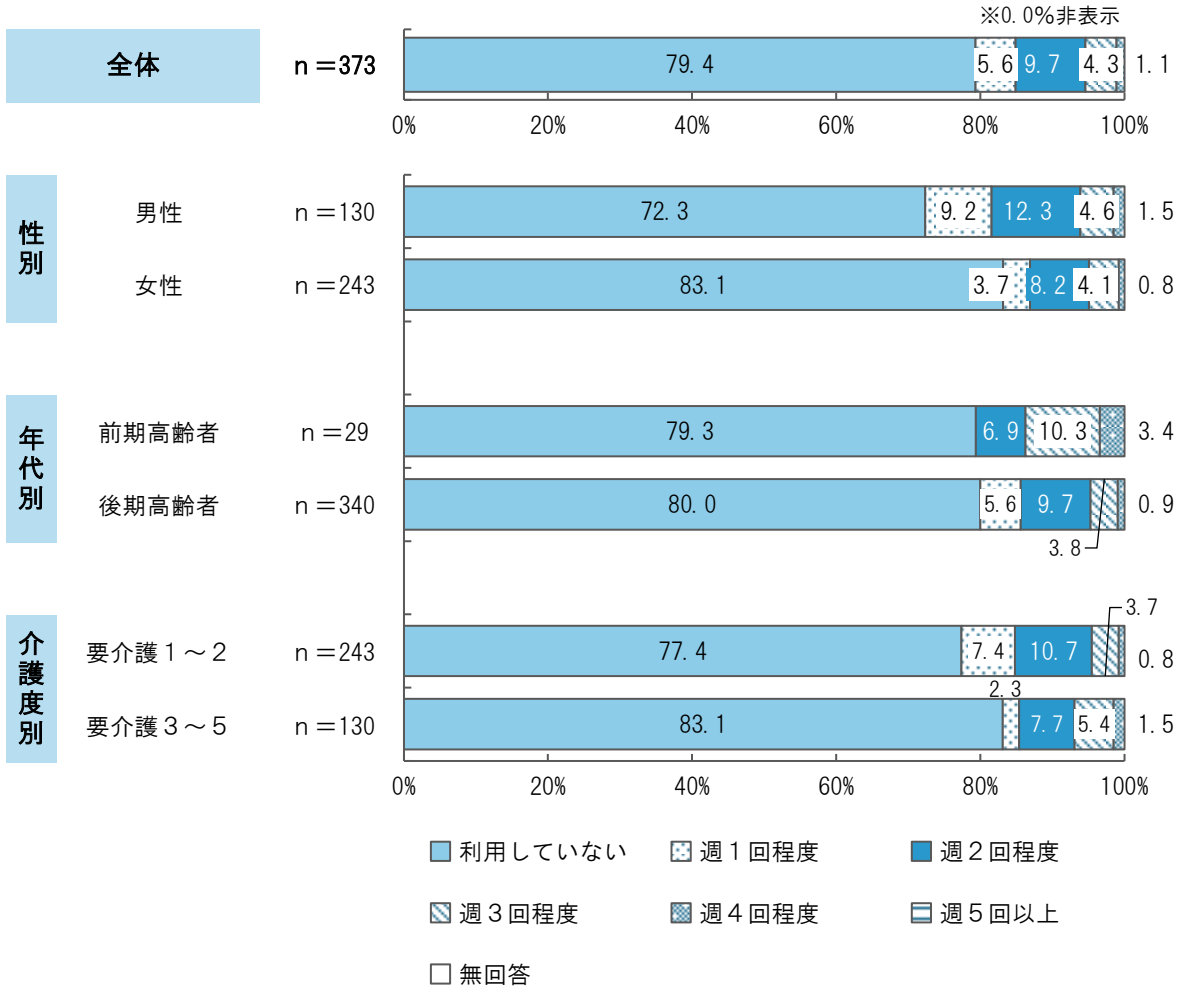
通所介護（デイサービス）の利用状況は、「利用していない」が 39.9%と最も多く、次いで「週２回程度」が 21.4%、「週３回程度」が 14.2%などとなっています。

性別でみると、男性において「利用していない」が 49.2%と女性より 14.2 ポイント高くなっています。女性においては「週４回程度」が 11.5%と男性より 6.9 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「利用していない」が 58.6%と後期高齢者より 20.4 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「週２回程度」が 22.6%と前期高齢者より 15.7 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「週２回程度」が 24.7%と要介護３～５より 9.3 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「利用していない」が 48.5%と要介護１～２より 13.1 ポイント高くなっています。

（６）通所リハビリテーション（デイケア）



通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況は、「利用していない」が 79.4%と最も多く、次いで「週２回程度」が 9.7%、「週１回程度」が 5.6%などとなっています。

性別でみると、男性において「週１回程度」が 9.2%と女性より 5.5 ポイント高くなっています。女性においては「利用していない」が 83.1%と男性より 10.8 ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者において「週３回程度」が 10.3%と後期高齢者より 6.5 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「週１回程度」が 7.4%と要介護３～５より 5.1 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「利用していない」が 83.1%と要介護１～２より 5.7 ポイント高くなっています。

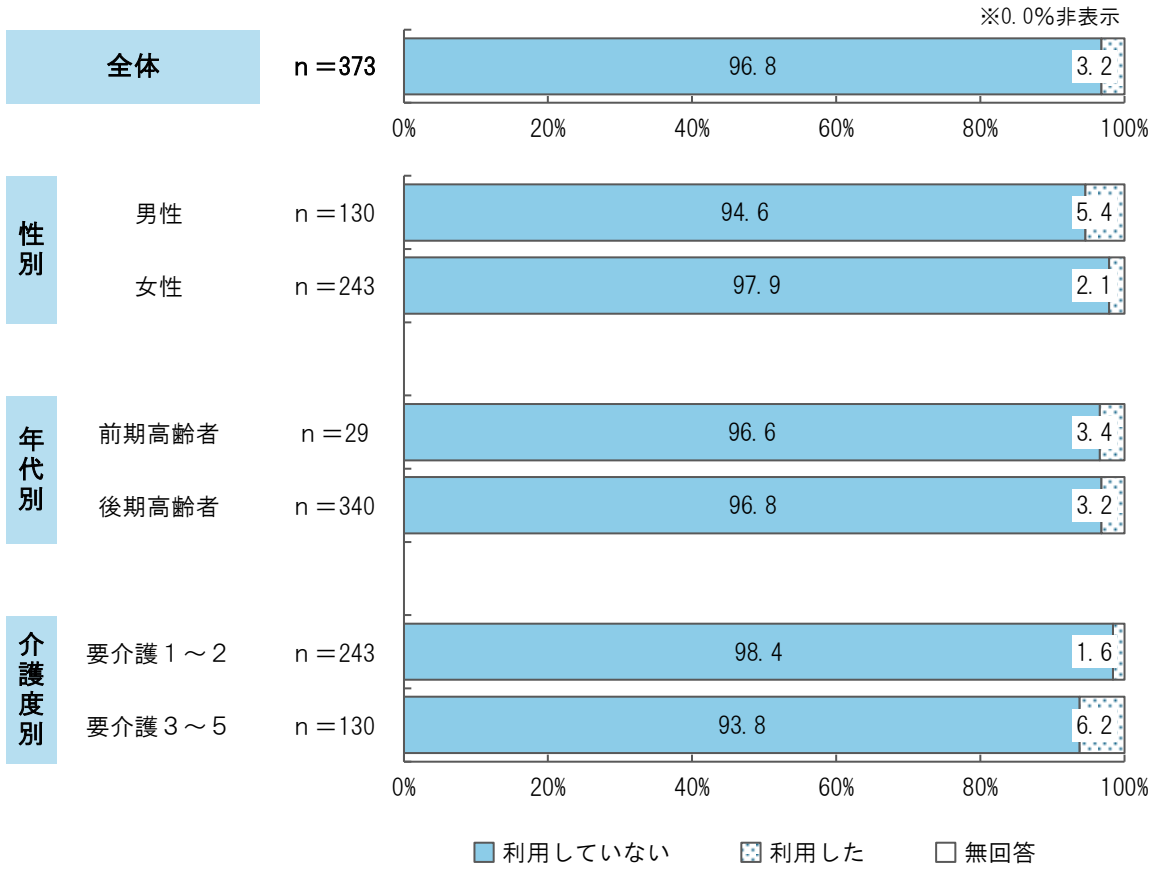
（７）夜間対応型訪問介護

長泉町内でのサービス提供はありません。

（８）定期巡回・随時対応型訪問介護看護

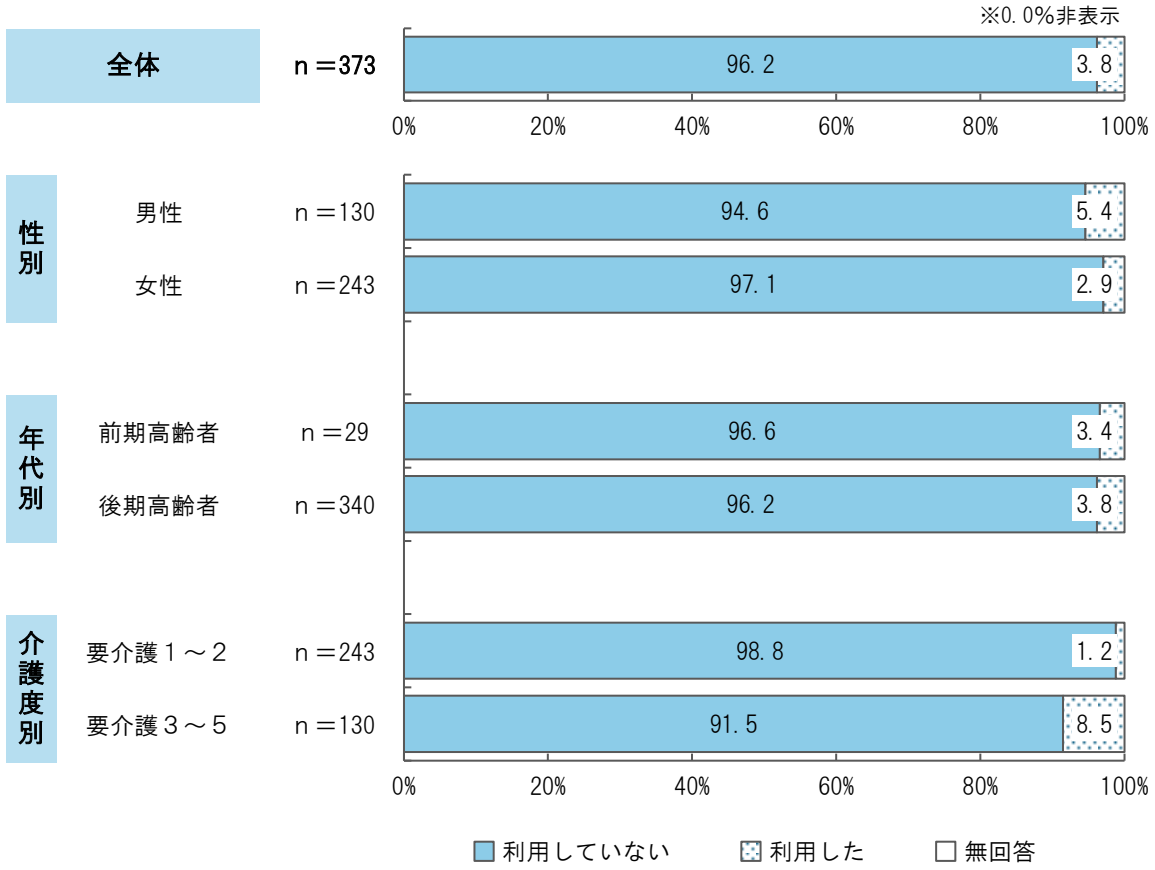
長泉町内でのサービス提供はありません。

（９）小規模多機能型居宅介護



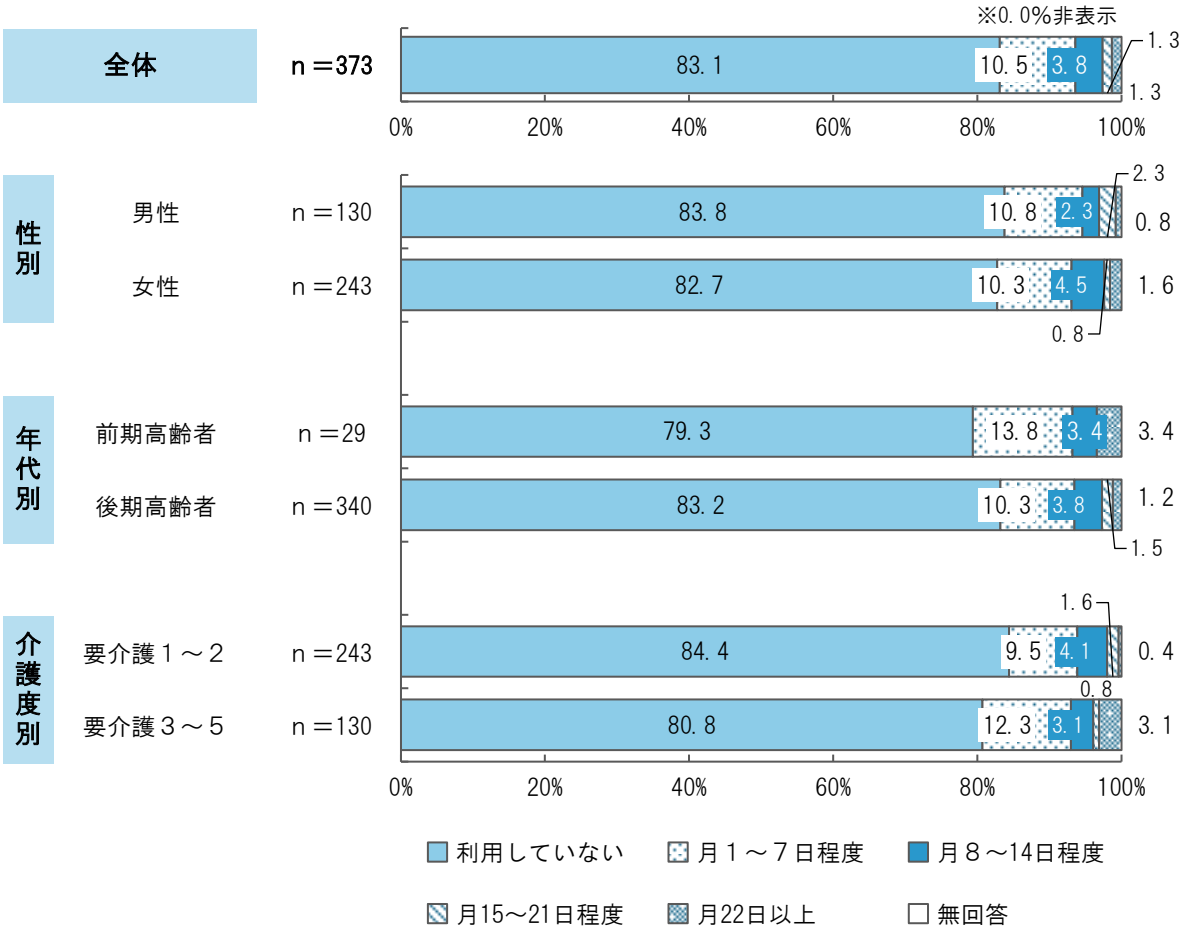
小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が 96.8%と突出して多くなっています。
性別・年代別・介護度別でみると、いずれも大きな差異はありません。

（10）看護小規模多機能型居宅介護



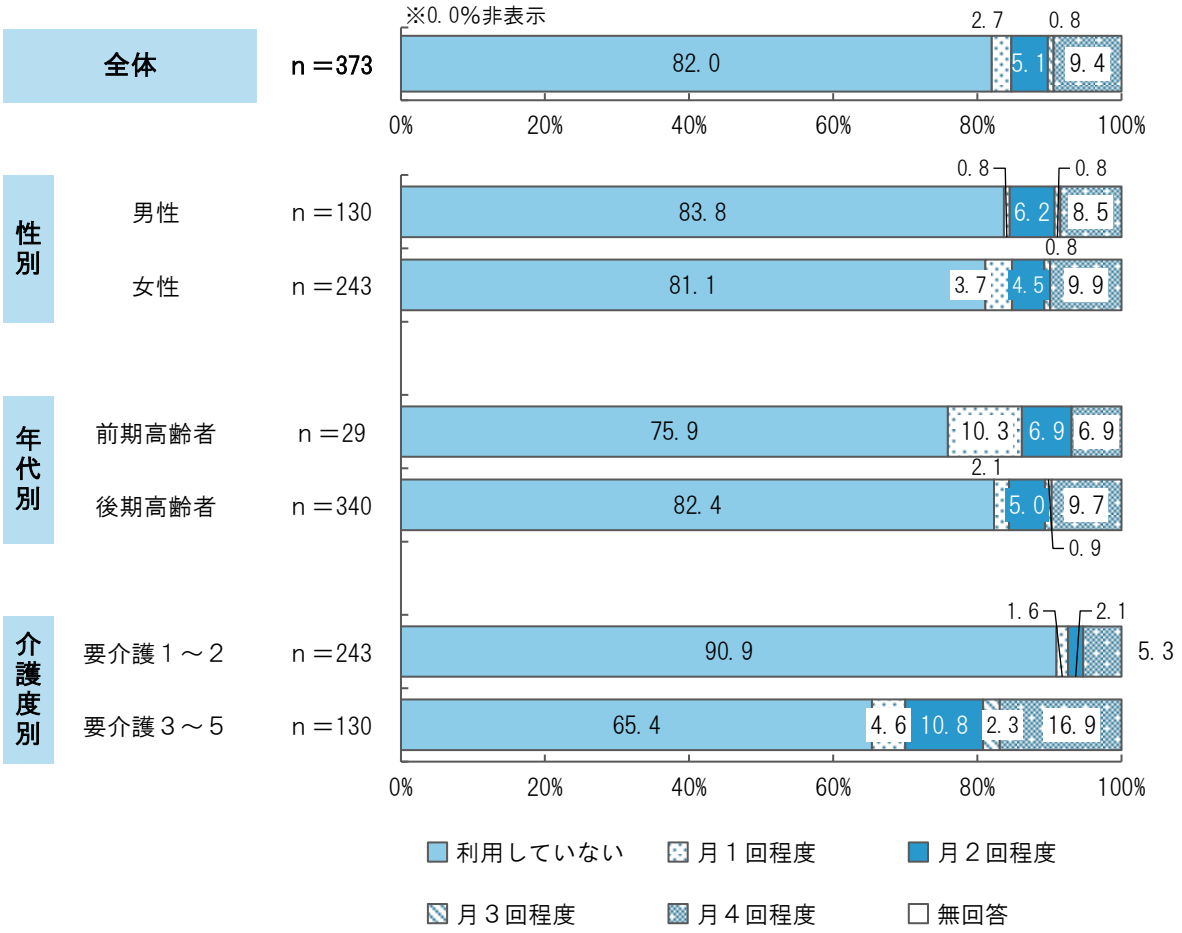
看護小規模多機能型居宅介護の利用状況は、「利用していない」が 96.2%と突出して多くなっています。
性別および年代別でみると、いずれも大きな差異はありません。
介護度別でみると、要介護１～２において「利用していない」が 98.8%と要介護３～５より 7.3 ポイント高くなっています。

（11）ショートステイ



ショートステイの利用状況は、「利用していない」が 83.1%と最も多く、次いで「月１～７日程度」が 10.5%、「月８～14 日程度」が 3.8%などとなっています。
性別・年代別・介護度別でみると、いずれも大きな差異はありません。

（12）居宅療養管理指導



居宅療養管理指導の利用状況は、「利用していない」が 82.0%と最も多く、次いで「月４回程度」が 9.4%、「月２回程度」が 5.1%などとなっています。

性別でみると、大きな差異はありません。

年代別でみると、前期高齢者において「月１回程度」が 10.3%と後期高齢者より 8.2 ポイント高くなっています。後期高齢者においては「利用していない」が 82.4%と前期高齢者より 6.5 ポイント高くなっています。

介護度別でみると、要介護１～２において「利用していない」が 90.9%と要介護３～５より 25.5 ポイント高くなっています。要介護３～５においては「月４回程度」が 16.9%と要介護１～２より 11.6 ポイント高くなっています。

Ⅳ　調査票

①65 歳以上一般高齢者

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート

長泉町にお住まいの 65 歳以上の皆様

日頃から、町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

長泉町では、高齢者の皆様の今後の福祉行政に役立てるために、普段の暮らしや介護などに関するアンケートを実施することといたしました。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、長泉町高齢者福祉計画策定の基礎資料となる大切なアンケートですので、回答にご協力をよろしくお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、個人情報の保護に十分に注意を払い、統計的に処理するため、個人のお名前が出ることは一切ありません。

※なお、このアンケートは令和７年 11 月 15 日現在で長泉町にお住まいの、65 歳以上の方の中から無作為に抽出した 2,300 人の方々を対象に、お送りさせていただきました。

令和７年 12 月

長泉町長　池田　修

◆ 回答にあたってのお願い ◆

1　このアンケートは、ご本人が記入してください。もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の立場に立って、記入してください。（アンケートの所要時間は 10～15 分程度です）

2　質問をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。設問によって、「○は１つ」、「○は３つまで」、「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。

3　質問の回答が「その他」にあてはまる場合は、（　　）内になるべく具体的にその内容を記入してください。

4　ご回答いただきましたアンケートは、**12 月 19 日（金）まで**に同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。

5　この調査に関するご質問やお問合せは、下記へお願いします。

担　当　　長泉町　長寿介護課　高齢者支援チーム　杉山
電　話　　０５５－９８９－５５３７

1

◆個人情報の取扱いについて◆

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

・この調査は、高齢者福祉計画策定のために行うものです。本調査で得られた情報は、本町の同計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、本町において適切に管理いたします。

・調査票及び送付用封筒に一連番号を付記していますが、ご回答内容に給付等データを加え、統計的に処理するためのものであり、ご回答はすべて匿名化され、個人のお名前が出ることは一切ありません。

・ご回答内容のとりまとめは、本町から委託を受けた調査分析事業者が行います。

・本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する町外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

↓↓※ここから回答を始めてください。↓↓

■　この調査票を記入されたのはどなたですか。（○は１つ）

1	あて名のご本人が記入
2	ご家族が記入　⇒　（あて名のご本人からみた続柄　＿＿＿＿＿＿　）
3	その他（　　）

あなた自身のことについて、お伺いします

問１　あなたの家族構成を教えてください。（○は１つ）

１　ひとり暮らし
２　夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）　３　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）
４　息子・娘との２世帯
５　その他（　　）

問２　あなたのお住まいの状況はどれですか。（○は１つ）

１　持ち家（一戸建て）　２　持ち家（マンション）
３　借家（一戸建て）　４　民間賃貸マンション・アパート
５　公営住宅　６　社宅・官舎
７　その他（　　）

問３　あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。（○は１つ）

１　大変苦しい　２　やや苦しい
３　ふつう
４　ややゆとりがある　５　大変ゆとりがある

からだを動かすことについて、お伺いします

問４　あなたは、階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○は１つ）

１　できるし、している　２　できるけどしていない　３　できない

問５　あなたは、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は１つ）

１　できるし、している　２　できるけどしていない　３　できない

問６　あなたは、15分位続けて歩いていますか。（○は１つ）

１　できるし、している　２　できるけどしていない　３　できない

問７　あなたは、過去１年間に転んだ経験がありますか。（○は１つ）

１　何度もある　２　１度ある　３　ない

問８　転倒に対する不安は大きいですか。（○は１つ）

１　とても不安である　２　やや不安である
３　あまり不安でない　４　不安でない

問９　あなたは、週に１回以上は外出していますか。（○は１つ）

１　ほとんど外出しない　２　週１回外出している
３　週２～４回外出している　４　週５回以上外出している

問10　あなたは、昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は１つ）

1　とても減っている	2　減っている
3　あまり減っていない	4　減っていない

問11　あなたが外出する場合の、主な手段は何ですか。（○はいくつでも）

1　徒歩	2　自転車
3　バイク	4　自動車（自分で運転）
5　自動車（人に乗せてもらう）	6　路線バス・長泉町の巡回バス
7　タクシー	8　施設や病院の送迎バス
9　電動カート・車いす	
10　その他（　　）	

食べることについて、お伺いします

問12　あなたの身長と体重をお書きください。（数字で記入）

①身長 [　　] ｃｍ　　②体重 [　　] ｋｇ

問13　あなたは、半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は１つ）

1　はい	2　いいえ

問14　あなたの歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（○は１つ）
（※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

1　自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
2　自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3　自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
4　自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

問15　あなたは、どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は１つ）

1　毎日ある
2　週に何度かある
3　月に何度かある
4　年に何度かある
5　ほとんどない

毎日の生活について、お伺いします

問16　あなたは、物忘れが多いと感じますか。（○は１つ）

1　はい	2　いいえ

問17　あなたは、バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）
（○は１つ）

1　できるし、している	2　できるけどしていない	3　できない

問18　あなたは、自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は１つ）

1　できるし、している	2　できるけどしていない	3　できない

問19　あなたは、自分で食事の用意をしていますか。（○は１つ）

1　できるし、している	2　できるけどしていない	3　できない

問20　あなたは、自分で請求書の支払いをしていますか。（○は１つ）

1　できるし、している	2　できるけどしていない	3　できない

問21　あなたは、自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は１つ）

1　できるし、している	2　できるけどしていない	3　できない

就労について、お伺いします

問22　現在のあなたの就労状態はどれですか。（○は１つ）

1　職に就いたことがない	2　引退した
3　常勤（フルタイム）	4　非常勤（パート・アルバイト等）
5　自営業	6　求職中
7　その他（　　）	

問22で「2　引退した」と回答した方にお伺いします

問22－１　あなたはいつ引退しましたか。（１つに○、数字で記入）

1　昭和［　　］年　2　平成［　　］年　3　令和［　　］年

問22で「3　常勤（フルタイム）」～「7　その他」と回答した方にお伺いします

問22－２　あなたは、自分が何歳になる頃まで働くことができると考えていますか。年齢で回答してください。（数字で記入）

［　　］歳頃まで

問22－３　現在、あなたが就労している理由を教えてください。（○はいくつでも）

1　生活のため	2　人と接することができるため
3　生きがいのため	4　仕事の他にやることがないため
5　仕事の跡継ぎがいないため	
6　その他（　　）	

地域での活動について、お伺いします

問23　あなたは、次の①～⑧の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
（○は①～⑧それぞれ１つ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
【記入例】趣味関係のグループ	1	2	③	4	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤地区の公民館などで行われている介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥シニアクラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問24　地域住民の有志によって健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行い、いきいきした地域づくりを進めることについて、あなたのお考えを教えてください。

（１）その活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

1　ぜひ参加したい	2　参加してもよい
3　参加したくない	4　既に参加している

（２）その活動に**企画・運営（お世話役）として**参加してみたいと思いますか。（○は１つ）

1　ぜひ参加したい	2　参加してもよい
3　参加したくない	4　既に参加している

「たすけあい」について、お伺いします

問25　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。
（○はいくつでも）

1　配偶者	2　同居の子ども	3　別居の子ども
4　兄弟姉妹・親戚・親・孫	5　近隣の人	6　友人
7　その他（　　）		8　そのような人はいない

問26　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。
（○はいくつでも）

1　配偶者	2　同居の子ども	3　別居の子ども
4　兄弟姉妹・親戚・親・孫	5　近隣の人	6　友人
7　その他（　　）		8　そのような人はいない

問27　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
（○はいくつでも）

1　配偶者	2　同居の子ども	3　別居の子ども
4　兄弟姉妹・親戚・親・孫	5　近隣の人	6　友人
7　その他（　　）		8　そのような人はいない

問28　反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも）

1　配偶者	2　同居の子ども	3　別居の子ども
4　兄弟姉妹・親戚・親・孫	5　近隣の人	6　友人
7　その他（　　）		8　そのような人はいない

健康について、お伺いします

問29　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は１つ）

1　とてもよい	2　まあよい
3　あまりよくない	4　よくない

問30　現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

1　ない	
2　高血圧	3　脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4　心臓病	5　糖尿病
6　高脂血症（脂質異常）	7　呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
8　胃腸・肝臓・胆のうの病気	9　腎臓・前立腺の病気
10　筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	
11　外傷（転倒・骨折等）	
12　がん（悪性新生物）	
13　血液・免疫の病気	
14　うつ病	
15　認知症（アルツハイマー病等）	
16　パーキンソン病	
17　目の病気	
18　耳の病気	
19　その他（　　）	

問31　あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。（○は３つまで）

1　自分の健康のこと	2　家族の健康のこと
3　病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと	
4　孤独（ひとり暮らしなど）になること	
5　配偶者に先立たれた後の生活のこと	
6　家の老朽化など、住んでいる家に関すること	
7　生活費など経済的なこと	8　趣味や生きがいがないこと
9　家族や友人との人間関係のこと	10　地震や風水害など災害時の対応のこと
11　その他（　　）	
12　心配ごとはない	

問32　あなたは、ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。（○は３つまで）

1　休養や睡眠を十分にとる	
2　食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体によい食べ物をとるなど）	
3　歯や口の中を清潔に保つ	4　健康診断などを定期的に受ける
5　酒、タバコを控える	6　散歩やスポーツをする
7　地域の活動に参加する	8　教養や学習活動などの楽しみを持つ
9　気持ちをなるべく明るく持つ	
10　身の回りのことはなるべく自分で行う	
11　仕事をする	
12　その他（　　）	
13　特に心がけていない	

問33　健康についてどのようなことが知りたいですか。（○は３つまで）

1　がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	
2　望ましい食生活について	
3　運動の方法について	
4　健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	
5　寝たきりや介護の予防について	6　歯の健康について
7　認知症の予防について	8　うつ病の予防について
9　その他（　　）	

問34　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は１つ）

1　はい（あった）	2　いいえ（なかった）

問35　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は１つ）

1　はい（あった）	2　いいえ（なかった）

問36　タバコは吸っていますか。（○は１つ）

1　ほぼ毎日吸っている	2　時々吸っている
3　吸っていたがやめた	4　もともと吸っていない

問37　生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのはどのようなときですか。（○はいくつでも）

1　仕事をしているとき（農作業なども含む）
2　教養を身につけること（学習）をしているとき
3　健康づくりやスポーツをしているとき
4　家族との団らんのとき
5　友人や知人と過ごすとき
6　シニアクラブ活動をしているとき
7　地域活動（町内会、自治会、ボランティア等）に参加しているとき
8　旅行に行っているとき
9　散歩や買い物をしているとき
10　テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11　パソコン、インターネットをしているとき
12　他人から感謝されたとき　　13　収入があったとき
14　おいしいものを食べているとき　　15　若い世代と交流しているとき
16　その他（　　）
17　特にない

問38　あなたが、今後やってみたいと思うものは何ですか。（○はいくつでも）

1　働くこと	2　学習や教養を高めるための活動
3　健康づくりやスポーツ	4　趣味の活動
5　シニアクラブ活動	
6　社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）	
7　町内会、自治会の活動	
8　その他（　　）	
9　特にない	

介護について、お伺いします

問39　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は１つ）

1　介護・介助は必要ない
2　何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3　現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問40　あなたは、地域包括支援センターの役割や存在を知っていますか。（○は１つ）

地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関で、県内すべての市町に設置されています。

1　知っている
2　名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3　知らない

問41　あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。
（○は１つ）

1　なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
2　介護保険制度のサービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や見守りサービスを使いながら、自宅で介護してほしい
3　老人ホームなどの介護施設に入所したい
4　その他（　　）
5　わからない

問42　あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。
（○は１つ）

1　なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2　介護保険制度のサービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や見守りサービスを使いながら、自宅で介護したい
3　老人ホームなどの介護施設に入所させたい
4　その他（　　）
5　わからない

認知症について、お伺いします

問43　認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

1　はい　　2　いいえ

問44　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

1　はい　　2　いいえ

問45　あなたはこれまでに認知症の人に接したことがありますか。（○は１つ）

1　ある
2　ない
3　わからない

問46　あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（○は１つ）

1　認知症になっても、できないことを自ら補いながら、今まで暮らしてきた地域で、自立的に生活できる
2　認知症になっても、医療や介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活できる
3　認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる
4　認知症になると、暴言や暴力等、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5　認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなる
6　その他（　　）
7　わからない

問47　あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。（○はいくつでも）

1　認知症の人の介護の方法
2　認知症を予防する効果的な実践方法
3　認知症の医学的な情報（症状・治療・薬など）
4　認知症の人や家族を支えるボランティア活動
5　認知症のことを相談できる窓口
6　認知症の人とのコミュニケーションの工夫
7　認知症の早期発見や検査の方法
8　認知症とお金（医療費・介護費・保険・成年後見制度など）
9　認知症の人が安心して利用できる地域の居場所や集いの場について
10　その他（　　）

問48　あなたは、認知症の前段階ともいわれる「軽度認知障害（ＭＣＩ）」を知っていますか。（○は１つ）

1　知っている
2　名前は知っているが、内容は知らない　3　知らない（この調査で初めて知った）

→問 48 で「１　知っている」と回答した方にお伺いします。

問48－１　「軽度認知障害（ＭＣＩ）」は、運動や食生活などの生活習慣の工夫によって、改善したり進行を遅らせたりできる可能性があることを知っていますか。（○は１つ）

1　知っている　　2　知らない

【全員にお伺いします】

問49　あなたは、認知症を早期発見するための検診や簡易検査を受けてみたいと思いますか。（○は１つ）

1　非常にそう思う　　2　まあそう思う
3　あまりそう思わない　　4　全く思わない

問50　長泉町では、住民の方が認知症の予防について知り、日々の生活に取り入れられるための講座を開催しています。あなたはどのような講座に参加したいと思いますか。（○は３つまで）

1	運動や体操を取り入れて楽しく体を動かしながら学べる講座
2	食事や栄養バランスの工夫を知り、家庭内で実践できるレシピを学べる講座
3	パズルやクイズ、脳トレなど頭を使った活動を体験できる講座
4	音楽や会話を通じて仲間と交流しながら楽しめる講座
5	認知症予防の最新知識や実際の体験談をわかりやすく学べる講座
6	スマートフォンやアプリを活用して、健康管理や生活の手続きなどができるようになる講座
7	その他（　　）

問51　あなたは、認知症についての相談サポートを行う「認知症初期集中支援チーム」を知っていますか。（○は１つ）

1	知っている	2	名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3	知らない（この調査で知った）		

問52　認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会（地域）をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。（○はいくつでも）

1	認知症について、住民の理解を深める	2	認知症について、企業の理解を深める
3	認知症の早期発見の重要性についてＰＲする		
4	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる		
5	認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる		
6	認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる		
7	認知症の人の家族がいつでも相談できる機会をつくる		
8	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応をとれるお店（認証店など）を増やす		
9	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる		
10	認知症の人が行方不明になった時に速やかに探せるネットワークをつくる		
11	若年性認知症の人やその家族が身近に相談できる場や機会をつくる		
12	その他（　　）		
13	特にない		

問53　「認知症サポーター養成講座」により、住民の方が認知症に関する正しい知識と理解や、認知症の人とその家族への支援などの知識を習得できるよう支援しています。あなたは、このような講座に参加したいと思いますか。（○は１つ）

1	参加したことがある	2	ぜひ参加したい
3	住んでいる近くで開催されれば参加したい		
4	参加したいとは思わない（できない）		

問54　どのようなことが充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思いますか。（○はいくつでも）

1　専門相談窓口	2　認知症の受診・治療ができる病院・診療所
3　緊急時に対応できる病院・診療所・施設	4　入所できる施設の充実
5　認知症の人が利用できる在宅サービス	6　認知症家族の会などの充実
7　成年後見制度などの権利擁護	8　認知症の人を見守るサービス
9　認知症の講習会や予防教室など	
10　認知症の正しい知識と理解を持った地域づくり	
11　認知症カフェなどの認知症の人や家族、支援者が集える場所	
12　その他（　　）	
13　特にない	

その他について、お伺いします

問55　あなたは日常生活で主にどのような不便を感じていますか。（○はいくつでも）

1　普段の買い物をする店が近くにない	2　病院や医院など医療施設が近くにない
3　公共施設が近くにない	4　路面が荒れるなど道路が危険
5　交通手段がない	6　飲食店が近くにない
7　ごみ出しができない	8　住宅が使いづらい
9　その他（　　）	
10　特にない	

問56　高齢者に対するサービスとして、どのようなものがあったらよいと思いますか。（○はいくつでも）

1　掃除・洗濯	2　配食サービス
3　移送サービス（福祉タクシー等）	4　外出の付き添い（通院、買い物など）
5　調理	6　ごみ出し
7　見守り・声がけ	8　サロンなど定期的な通いの場
9　買い物	10　その他（　　）
11　特にない	

問56で「8　サロンなど定期的な通いの場」と回答した方にお伺いします。

問56－1　高齢者の「通いの場」として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。（○はいくつでも）

1　交流サロン	2　食事会
3　趣味活動・サークル活動の場	4　習い事
5　運動・スポーツに関する講座や講演会	6　文化・教養に関する講座や講演会
7　健康づくり・介護予防に関する講座や講演会	
8　その他（　　）	

【全員にお伺いします】

問57　あなたは、高齢者の方々が長泉町で安心して自分らしく暮らすため、町が行う施策として優先して取り組むべきものは何だと思いますか。（○は３つまで）

1　生涯を通じた健康づくりに対する支援
2　雇用、就業の機会の確保
3　医療機関の充実
4　家事の手伝いなどの在宅サービスの充実
5　特別養護老人ホームなどの施設の整備
6　高齢者に配慮した住宅の整備
7　身近な地域における高齢者の居場所や活動拠点（公民館、集会所等）の整備
8　寝たきりや認知症にならないための予防対策
9　生きがい活動、社会参加の促進
10　公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実
11　成年後見制度※、虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策
12　子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進
13　生活相談窓口の整備、充実
14　日常生活に関する情報提供
15　高齢者を敬愛する意識向上のための事業
16　ボランティア人数の増加、ボランティアへの参加または募集しやすい体制
17　民生委員や地区役員、ボランティアなどによる見守り活動
18　民間事業者による見守りサービス
19　ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実
20　高齢者向けのごみ収集サービスの実施
21　自宅での理美容サービス（訪問理美容）の充実
22　虚弱・フレイル※になっても元の生活を取り戻すために元気になるサービス(リエイブルメント事業)の充実
23　その他（　　）

※成年後見制度：判断能力の不十分な成年者（認知症高齢者、知的障がいのある人、精神障がいのある人等）の財産や権利を保護するための制度。家庭裁判所へ申立を行い利用する。

※フ レ イ ル：健常状態と要介護状態の間に位置し、加齢により心身が老い衰えた状態。

問58　あなたは、介護予防に取り組んでいますか。（○は１つ）

1　意識して取り組んでいる
2　体力が落ちてきたら取り組みたい
3　もう少し歳をとってから取り組みたい
4　きっかけがあれば取り組みたい
5　興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない
6　その他（　　）　7　興味・関心は特にない

問59　町では、できるだけ要介護状態にならないようにするため、介護予防事業を実施しています。あなたが今後参加してみたいものはありますか。（○はいくつでも）

1　運動機能向上のための教室
2　栄養・口腔ケアに関する教室
3　家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まってのレクリエーションや茶話会
4　物忘れに関する教室
5　健康相談に関する事業全般
6　その他（　　）
7　参加してみたいものは特にない

問60　あなたは「終活」について知っていますか。（○は１つ）

1　知っている
2　名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3　知らない

問61　長泉町では「終活」を推進するため「エンディングノート※」を無料配布しています。あなたは「エンディングノート」を知っていますか。（○は１つ）

1　知っていて活用している
2　知っているが活用していない
3　知らない

※エンディングノート：自分自身に何かがあったとき（終末期・認知症発症等）に備えて、自身の気持ちを書き留めておくノートのこと。「終活ノート」ともいう。

問62　終活に関するサービスとして、どのようなものがあったらよいと思いますか。（○はいくつでも）

1　終活について相談できる窓口
2　終活に関する講座(エンディングノートの書き方講座)
3　エンディングノートの保管サービス(終活情報登録制度)
4　生前の見守り・安否確認
5　入院や施設入所時の身元保証
6　家財整理や家財処分
7　遺言書の作成や相続の相談等法律関係の支援
8　成年後見制度の利用支援等認知症になった際の金銭管理及び身上監護支援
9　墓地や葬儀場等安心できる事業者の紹介
10　死後の事務手続きに関すること
11　その他（　　）

問63　病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネージャー等）と話したことはありますか。

（○は１つ）

1	話したことがある
2	話したいと思うので、これから話したい
3	話したいと思うが、話すきっかけがない
4	話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない
5	話したいと思うが、話す相手がいない　6　話したいとは思わない
7	考えたことがない

※将来の意思決定能力の低下に備え、本人と家族、医療・介護従事者が一緒になって、本人の終末期を含めた今後の医療や介護の方針について話し合い、共有する機会を持つことを、アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）といいます。

問64　あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。（○は１つ）

1	そう思う	2	どちらかといえばそう思う	3	どちらともいえない
4	どちらかといえばそう思わない	5	そう思わない		

問65　職場や家庭、地域で人々の関わり合い・支え合いの機会が減少しており、孤独・孤立に関する問題が顕在化してきています。あなたは、孤独・孤立に関して、どのような支援があるとよいと思いますか。（○はいくつでも）

1	相談先や居場所・交流の場の情報提供をする　2　身近な場所に相談窓口を設ける
3	身近な場所に居場所・交流の場を設ける
4	インターネット等を活用した交流ができるよう、デジタル機器の使い方の支援を行う
5	地域やボランティアなどによる訪問・見守りを行う
6	人と人が知り合う・つながる機会を設ける
7	その他（　　）

問66　あなたは、現在どの程度幸せですか。（○は１つ）

※「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点としてお選びください。

とても不幸					ふつう					とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	10点

問67　介護保険制度や福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、**12 月 19 日（金）まで**にご投函ください。

16

②要介護認定者

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート

長泉町にお住まいの要介護認定者の皆様

日頃から、町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

長泉町では、高齢者の皆様の今後の福祉行政に役立てるために、普段の暮らしや介護などに関するアンケートを実施することといたしました。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、長泉町介護保険事業計画策定の基礎資料となる大切なアンケートですので、回答にご協力をよろしくお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、個人情報の保護に十分に注意を払い、統計的に処理するため、個人のお名前が出ることは一切ありません。

※なお、このアンケートは令和７年 11 月 15 日現在で長泉町にお住まいの方のうち、在宅で要介護認定を受けられている方々を対象に、お送りさせていただきました。

令和７年 12 月

長泉町長　池田 修

◆ 回答にあたってのお願い ◆

1　このアンケートは、ご本人または主な介護者の方が記入してください。もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人の立場に立って、記入してください。（アンケートの所要時間は 10 分程度です）

2　質問をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。設問によって、「○は１つ」、「○は３つまで」、「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。

3　質問の回答が「その他」にあてはまる場合は、（　　）内になるべく具体的にその内容を記入してください。

4　ご回答いただきましたアンケートは、**12 月 19 日（金）まで**に同封の返信用封筒で、ご投函ください。

5　この調査に関するご質問やお問合せは、下記へお願いします。

担　当　　長泉町　長寿介護課　介護保険チーム　伏見
電　話　　０５５－９８９－５５１１

◆個人情報の取扱いについて◆

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

・この調査は、介護保険事業計画策定のために行うものです。本調査で得られた情報は、本町の同計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、本町において適切に管理いたします。

・調査票及び送付用封筒に一連番号を付記していますが、ご回答内容に給付等データを加え、統計的に処理するためのものであり、ご回答はすべて匿名化され、個人のお名前が出ることは一切ありません。

・ご回答内容のとりまとめは、本町から委託を受けた調査分析事業者が行います。

・本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する町外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

↓↓※ここから回答を始めてください。↓↓

■ この調査票を記入されたのはどなたですか。（○はいくつでも）

1　あて名のご本人が記入

2　主な介護者となっている家族・親族が記入
　　⇒　（あて名のご本人からみた続柄　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

3　主な介護者以外の家族・親族が記入
　　⇒　（あて名のご本人からみた続柄　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

4　その他（　　）

ご本人さま自身のことについて、お伺いします

問１　あなたの家族構成を教えてください。（○は１つ）

1　ひとり暮らし
2　夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3　夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4　息子・娘との２世帯
5　その他（　　）

問２　あなたのお住まいの状況はどれになりますか。（○は１つ）

1　持ち家（一戸建て）
2　持ち家（マンション）
3　借家（一戸建て）
4　民間賃貸マンション・アパート
5　公営住宅
6　社宅・官舎
7　その他（　　）

問３　現時点での、施設等※への入所・入居の検討状況について教えてください。（○は１つ）

1　入所・入居は検討していない
2　入所・入居を検討している
3　すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問４　あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。（○は３つまで）

1　自分の健康のこと
2　家族の健康のこと
3　病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと
4　孤独（ひとり暮らしなど）になること
5　配偶者に先立たれた後の生活のこと
6　生活費など経済的なこと
7　家の老朽化など、住んでいる家に関すること
8　趣味や生きがいがないこと
9　家族や友人との人間関係のこと
10　地震や風水害など災害時の対応のこと
11　その他（　　）
12　心配ごとはない

介護保険サービスの利用について、お伺いします

問５　令和７年 11 月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は１つ）

１　利用した

２　利用していない　⇒　問６へ

【問５で「１　利用した」と回答した人にお伺いします】

問５－１　以下の介護保険サービス①～⑦について、令和７年 11 月の１か月間の利用状況をご回答ください。①～⑦の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「１　利用していない」を選択してください。

（○は①～⑦にそれぞれ１つずつ）

		利用していない	週１回程度	週２回程度	週３回程度	週４回程度	週５回以上
【記入例】訪問看護		1	2	③	4	5	6
①	**訪問介護（ホームヘルプサービス）** ・ホームヘルパーが居宅を訪問し、食事・入浴・排泄などの身体介護や、調理・洗濯などの生活援助を行う。	1	2	3	4	5	6
②	**訪問入浴介護** ・介護職員と看護職員が移動入浴車で家庭を訪問し、浴槽を提供して入浴介護を行う。	1	2	3	4	5	6
③	**訪問看護** ・疾患などを抱えている人に対し、看護師などが居宅を訪問して、療養上の世話や診療の補助を行う。	1	2	3	4	5	6
④	**訪問リハビリテーション** ・理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が訪問してリハビリを行う。	1	2	3	4	5	6
⑤	**通所介護（デイサービス）** ・通所介護施設で、食事・入浴などの介護や日常生活の支援、機能訓練などを日帰りで行う。	1	2	3	4	5	6
⑥	**通所リハビリテーション（デイケア）** ・介護老人保健施設や医療機関などで、食事・入浴などの介護や日常生活上の支援のほか、理学療法士や作業療法士などによるリハビリを日帰りで行う。	1	2	3	4	5	6
⑦	**夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）** ・夜間でも安心して在宅生活が送れるよう、巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護を行う。	1	2	3	4	5	6

⇒引き続き問５－２もお答えください。

【問５で「１　利用した」と回答した人にお伺いします】

問５－２　以下の介護保険サービス①～⑤について、令和７年 11 月の１か月間の利用状況をご回答ください。①～⑤の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「１　利用していない」を選択してください。

（○は①～⑤にそれぞれ１つずつ）

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護（利用の有無）

・訪問介護と訪問看護が連携し、日中・夜間を通じて定期的な巡回による訪問と、通報などによる随時の対応を行う。

１　利用していない　　２　利用した

②小規模多機能型居宅介護（利用の有無）

・通所を中心に利用者の選択に応じて訪問や短期間の宿泊を組み合わせた多機能なサービスを行う。

１　利用していない　　２　利用した

③看護小規模多機能型居宅介護（利用の有無）

・小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせて、通所・訪問・短期間の宿泊で介護や医療・看護を行う。

１　利用していない　　２　利用した

④ショートステイ（１か月あたりの利用日数）

・介護老人福祉施設、医療施設などに短期間入所している人に、看護や介護、日常生活上の支援、機能訓練などを行う。

１　利用していない　　２　月１～７日程度　　３　月８～14 日程度
４　月 15～21 日程度　　５　月 22 日以上

⑤居宅療養管理指導（１か月あたりの利用回数）

・医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが、通院が難しい人の家へ訪問し、療養上の管理や指導を行う。

１　利用していない　　２　月１回程度　　３　月２回程度
４　月３回程度　　５　月４回程度

【問５で「２　利用していない」と回答した人にお伺いします】

問６　あなたが、介護保険サービスを利用しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１　家族が介護しているから
２　まだ利用するほど困っていないから
３　利用したいサービスがないから
４　他人を自宅に入れたくないから
５　病院や施設に入っていたため、利用する機会がなかったから
６　利用者負担が高いから
７　利用することに抵抗を感じるから
８　利用の仕方がわからないから
９　介護保険以外のサービスを利用しているから
10　その他（　　）

【全員にお伺いします】

問７　あなたは今後、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は１つ）

1	なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
2	介護保険制度のサービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら、自宅で介護してほしい
3	老人ホームなどの介護施設に入所したい
4	その他（　　）
5	わからない

問８　あなたは、あなたのご家族やご親族の方からの介護を受けていますか。
※同居していない子どもや親族等からの介護を含んでご回答ください。（○は１つ）

1	ない　⇒ 問 14 へ		
2	家族・親族の介護はあるが、週に１日より少ない		問９へ
3	週に１～２日ある	4 週に３～４日ある	
5	ほぼ毎日ある		

主な介護者の方について、お伺いします

○問９から問13－２については、主な介護者の方にご回答・ご記入をお願いします。
○主な介護者の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします。（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。）

問９　主に介護している方はどなたですか。（○は１つ）

1	夫または妻（内縁を含む）	2	子	3	子の配偶者
4	孫	5	孫の配偶者	6	兄弟・姉妹
7	親				
8	その他（　　）				

問 10　主な介護者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）

1	20 歳未満	2	20 代	3	30 代
4	40 代	5	50 代	6	60 代
7	70 代	8	80 歳以上	9	わからない

問11　ご家族やご親族の中で、あて名のご本人様の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（○はいくつでも）
※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）		
2	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）		
3	主な介護者が転職した		
4	主な介護者以外の家族・親族が転職した		
5	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	6	わからない

問12　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は何ですか。※現状で行っているか否かは問いません。（○は３つまで）

1　日中の排泄	2　夜間の排泄
3　食事の介助（食べるとき）	4　入浴・洗身
5　身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6　衣服の着脱
7　屋内の移乗・移動	8　外出の付き添い、送迎等
9　服薬	10　認知症状への対応
11　医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）	
12　食事の準備（調理等）	
13　その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）	
14　金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
15　その他（　　）	
16　不安に感じていることは、特にない	
17　主な介護者に確認しないと、わからない	

問13　主な介護者の方の現在の勤務形態についてお答えください。（○は１つ）

1　フルタイムで働いている　　2　パートタイム※で働いている

3　働いていない
4　主な介護者に確認しないと、わからない
→ 問14へ

※パートタイム：「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問13で「１」または「２」と回答した人にお伺いします】

問13－１　介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（○はいくつでも）

1　特に調整を行っていない
2　介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3　介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4　介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5　介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている
6　主な介護者に確認しないと、わからない

問13－２　今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は１つ）

1　問題なく、続けていける	2　問題はあるが、何とか続けていける
3　続けていくのは、やや難しい	4　続けていくのは、かなり難しい
5　主な介護者に確認しないと、わからない	

【全員にお伺いします】

その他について、お伺いします

問14　あなたは、高齢者の方々が長泉町で安心して自分らしく暮らすため、町が行う施策として優先して取り組むべきものは何だと思いますか。（○は３つまで）

1　生涯を通じた健康づくりに対する支援　　2　雇用、就業の機会の確保
3　医療機関の充実
4　家事の手伝いなどの在宅サービスの充実
5　特別養護老人ホームなどの施設の整備　　6　高齢者に配慮した住宅の整備
7　身近な地域における高齢者の居場所や活動拠点（公民館、集会所等）の整備
8　寝たきりや認知症にならないための予防対策
9　生きがい活動、社会参加の促進
10　公共交通機関の整備や外出支援サービスの充実
11　成年後見制度※、虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策
12　子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進
13　生活相談窓口の整備、充実　　14　日常生活に関する情報提供
15　高齢者を敬愛する意識向上のための事業
16　ボランティア人数の増加、ボランティアへの参加または募集しやすい体制
17　民生委員や地区役員、ボランティアなどによる見守り活動
18　民間事業者による見守りサービス
19　ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対する配食サービスの充実
20　高齢者向けのごみ収集サービスの実施
21　自宅での理美容サービス（訪問理美容）の充実
22　虚弱・フレイル※になっても元の生活を取り戻すために元気になるサービス(リエイブルメント事業)の充実
23　その他（　　）

※成年後見制度：判断能力の不十分な成年者（認知症高齢者、知的障がいのある人、精神障がいのある人等）の財産や権利を保護するための制度。家庭裁判所へ申立を行い利用する。

※フ レ イ ル：健常状態と要介護状態の間に位置し、加齢により心身が老い衰えた状態。

問15　介護保険制度や福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、**12月19日（金）まで**にご投函ください。

8

長泉町　高齢者の暮らしと介護についてのアンケート
結果報告書

発行：令和８年３月
編集：長泉町　長寿介護課

〒411-8668　静岡県駿東郡長泉町中土狩 828 番地
電話：０５５－９８９－５５３７（高齢者支援チーム）
電話：０５５－９８９－５５１１（介護保険チーム）
ＦＡＸ：０５５－９８９－５５１５